

九重町人権意識調査
結果報告書

令和6年12月

九重町

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の実施要領・回答数	3
3. 調査結果利用上の注意	3
第2章 調査結果	5
1. あなたご自身のことについて	7
2. 人権の尊重・人権への関心について	11
3. 女性の人権について	35
4. 高齢者の人権について	50
5. 子どもの人権について	57
6. 障がい者（精神障がい者を含む）の人権について	66
7. 部落差別問題について	73
8. 性的少数者（LGBT）の人権について	95
9. 外国人の人権について	102
10. その他の人権について	106
11. ご意見・ご要望について	119
第3章 クロス集計表..... エラー! ブックマークが定義されていません。	
第4章 参考資料..... エラー! ブックマークが定義されていません。	

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、差別や偏見のない住みやすい九重町を目指すため、町民の人権・部落差別問題に関する意識の実態を探り、人権施策推進のための基礎資料とすることを目的としてします。

2. 調査の実施要領・回答数

調査時期	令和6年10月
調査対象者	九重町在住の18歳以上の町民
調査方法	郵送による配布・回収及びインターネット調査
対象者数	1,000件
有効回答数	398件（郵送回収：352件、Web回答：46件）
有効回答率	39.8%
分析について	比較可能な項目については、前回調査及び大分県・国調査と比較 前回調査：「九重町人権意識調査」（平成30年11月実施） 大分県調査：「人権に関する県民意識調査」（令和5年8月実施） 全国調査：「人権擁護に関する世論調査」（令和4年8月実施）

3. 調査結果利用上の注意

- ・各設問のnは、回答者数を表しています。
- ・回答率は百分比の小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ・2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、選択肢ごとの割合を合計すると100%を超える場合があります。
- ・回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たない場合は、図表には「0.0」と表記しています。
- ・数表・図表は、スペースの都合上、文言等を省略している場合があります。

第2章 調査結果

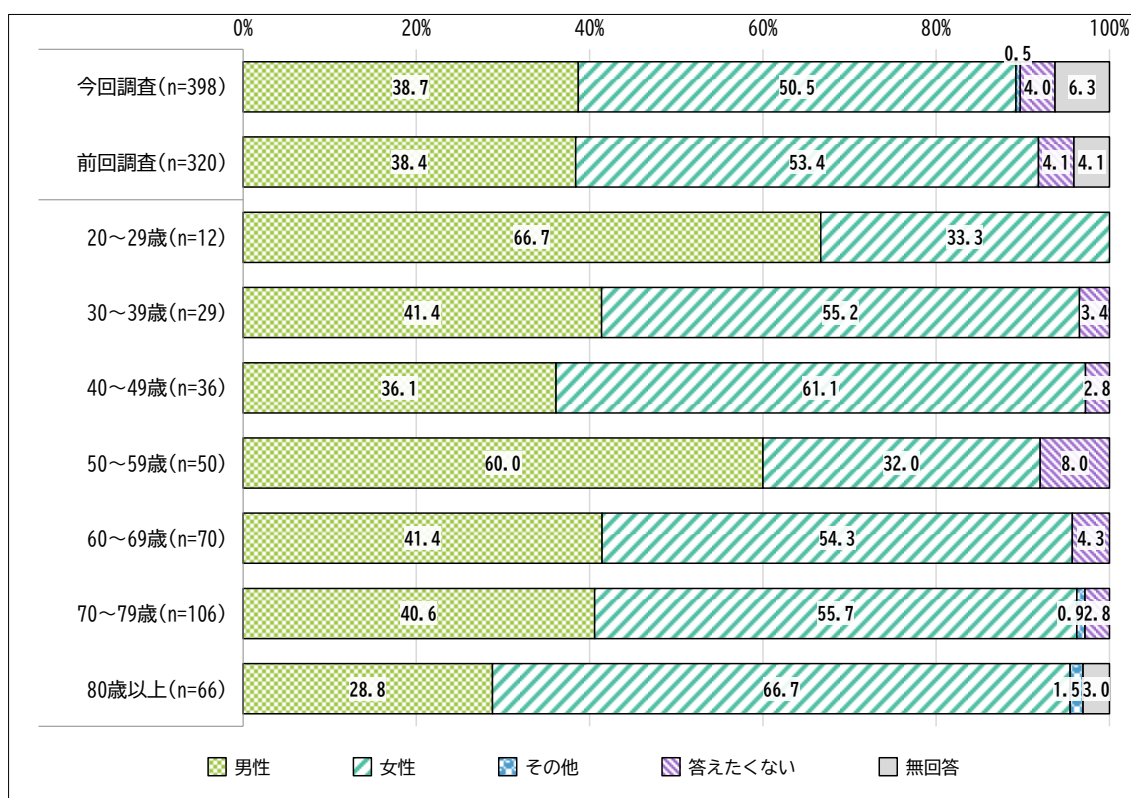
1. あなたご自身のことについて

◆ あなたの性別についておたずねします。(単数回答)

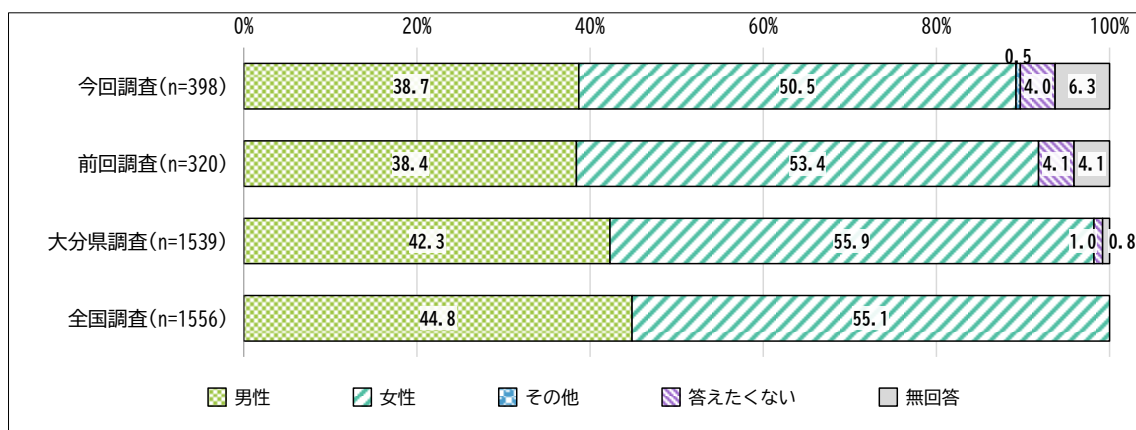
○ 「男性」が38.7%、「女性」が50.5%、「その他」が0.5%、「答えたくない」が4.0%となっています。

○ 「20～29歳」「50～59歳」では「男性」、それ以外の年代では「女性」の割合が高くなっています。

※ 「18～19歳」は回答が無かったため、以後割愛。



【他調査との比較】

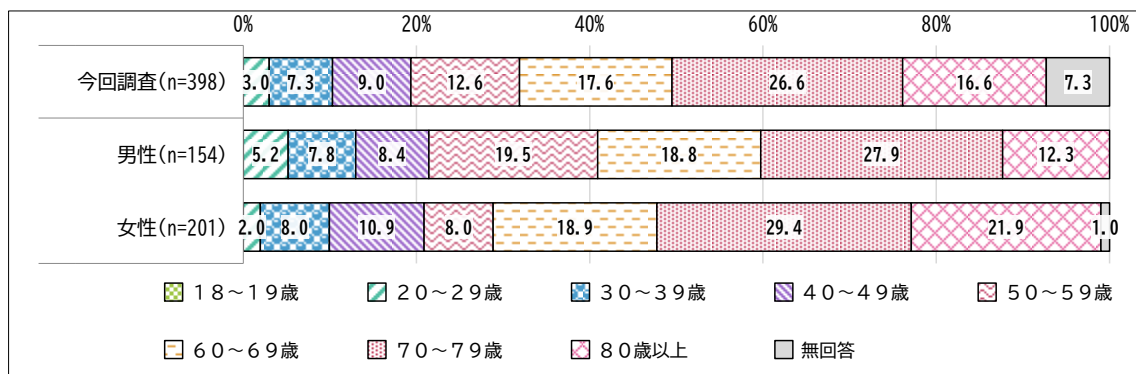


◆ あなたの年齢（令和6年4月1日現在の満年齢）について1つ選んでください。
（単数回答）

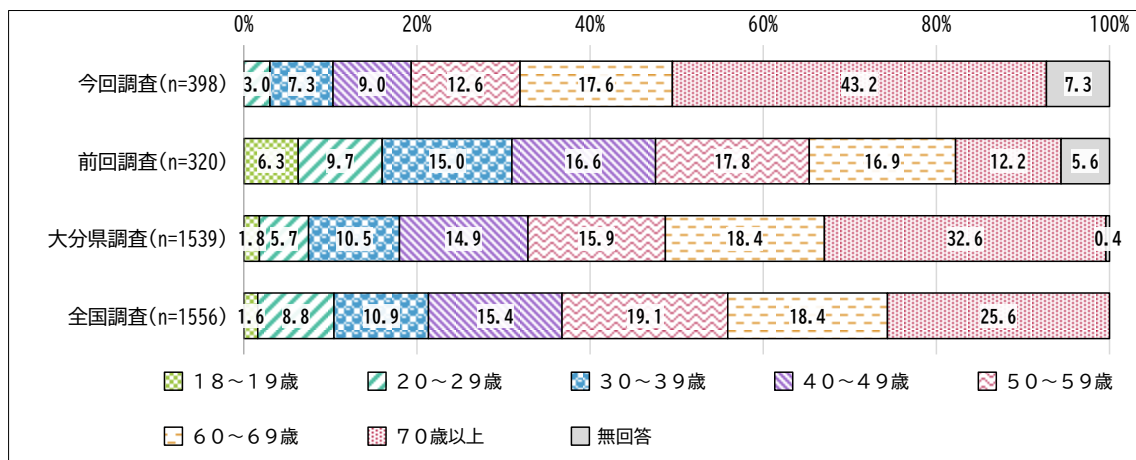
○全体では「70～79歳」が26.6%と最も高く、次いで「60～69歳」17.6%、「80歳以上」16.6%となっています。

○前回調査との比較をみると、「70歳以上」が31.0ポイント高くなっています。

○大分県調査及び全国調査との比較をみると、「70歳以上」が10ポイント以上高くなっています。

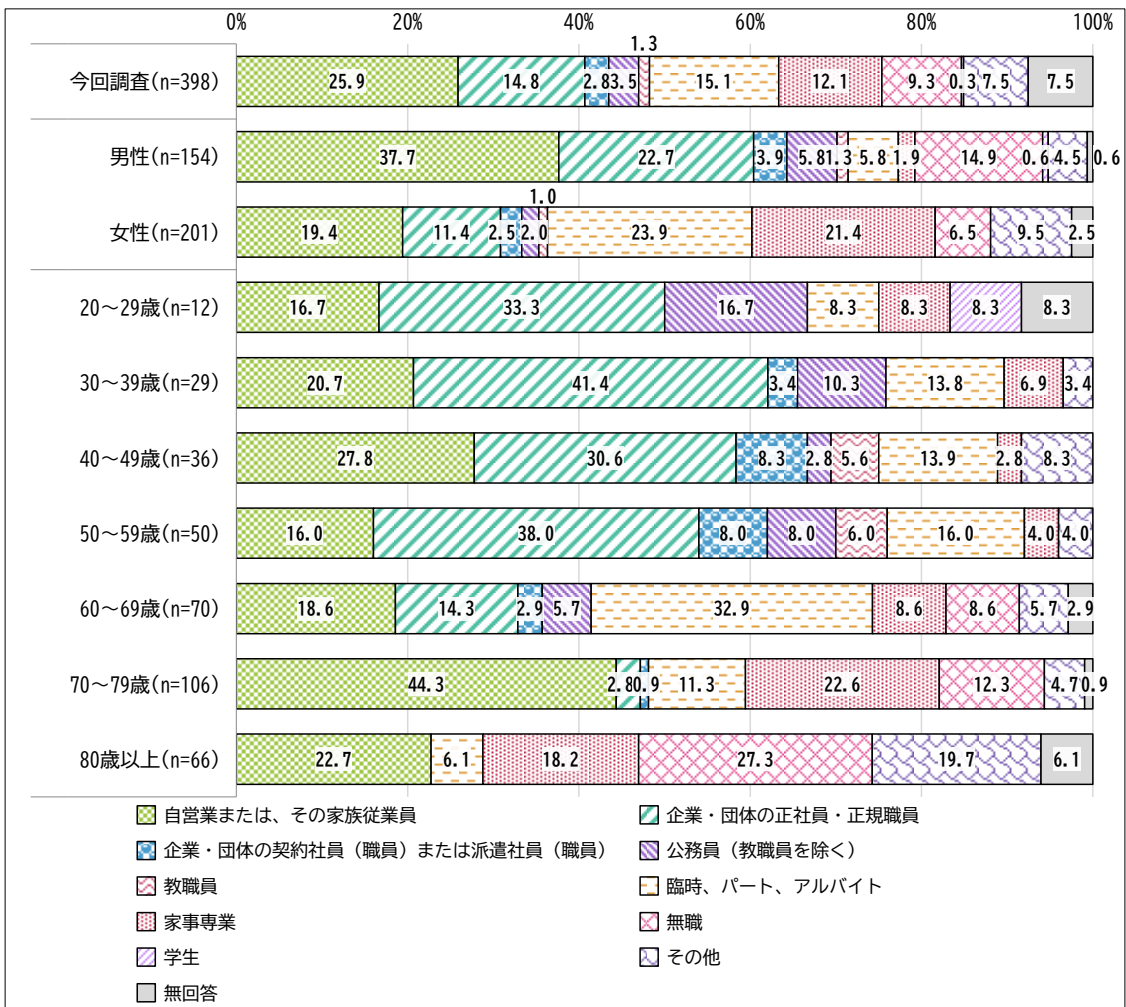


【他調査との比較】

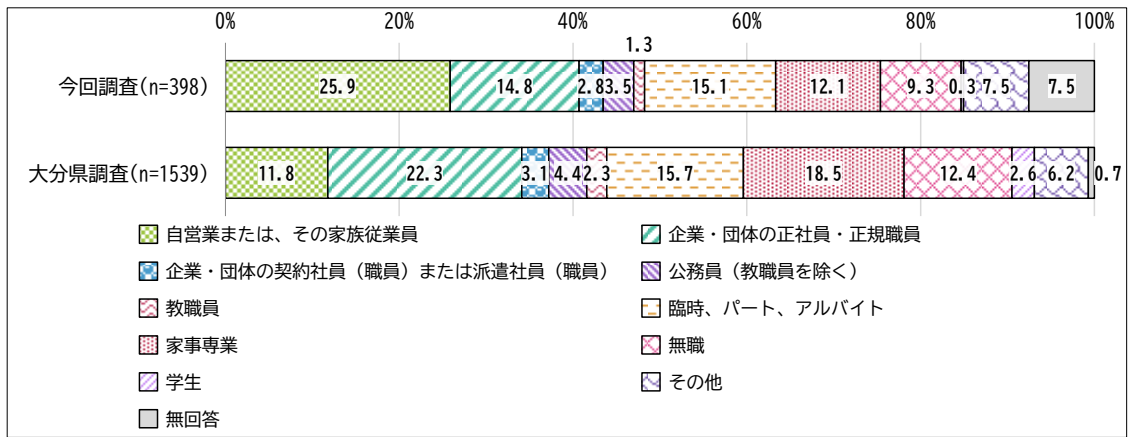


◆ あなたの職業について1つ選んでください。(単数回答)

- 全体では「自営業または、その家族従業員」が25.9%と最も高く、次いで「臨時、パート、アルバイト」15.1%、「企業・団体の正社員・正規職員」14.8%となっています。
- 性別で見ると、男性では「自営業または、その家族従業員」、女性では「臨時、パート、アルバイト」が最も高くなっています。また、男性では女性と比べて「自営業または、その家族従業員」「企業・団体の正社員・正規職員」が高く、「臨時、パート、アルバイト」「家事専業」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。
- 年代別で見ると、20～50歳代では「企業・団体の正社員・正規職員」、60歳代では「臨時、パート、アルバイト」、70歳代では「自営業または、その家族従業員」、80歳以上では「無職」が最も高くなっています。また、20～50歳代では「企業・団体の正社員・正規職員」が約3～4割台となっていますが、60歳以上では1割台～1割以下と低くなっており、反対に60歳代では「臨時、パート、アルバイト」、70歳代では「自営業または、その家族従業員」、80歳以上では「無職」「その他」が他の年代より10ポイント以上高くなっています。
- 大分県調査との比較をみると、「自営業または、その家族従業員」が14.1ポイント高くなっています。



【他調査との比較】



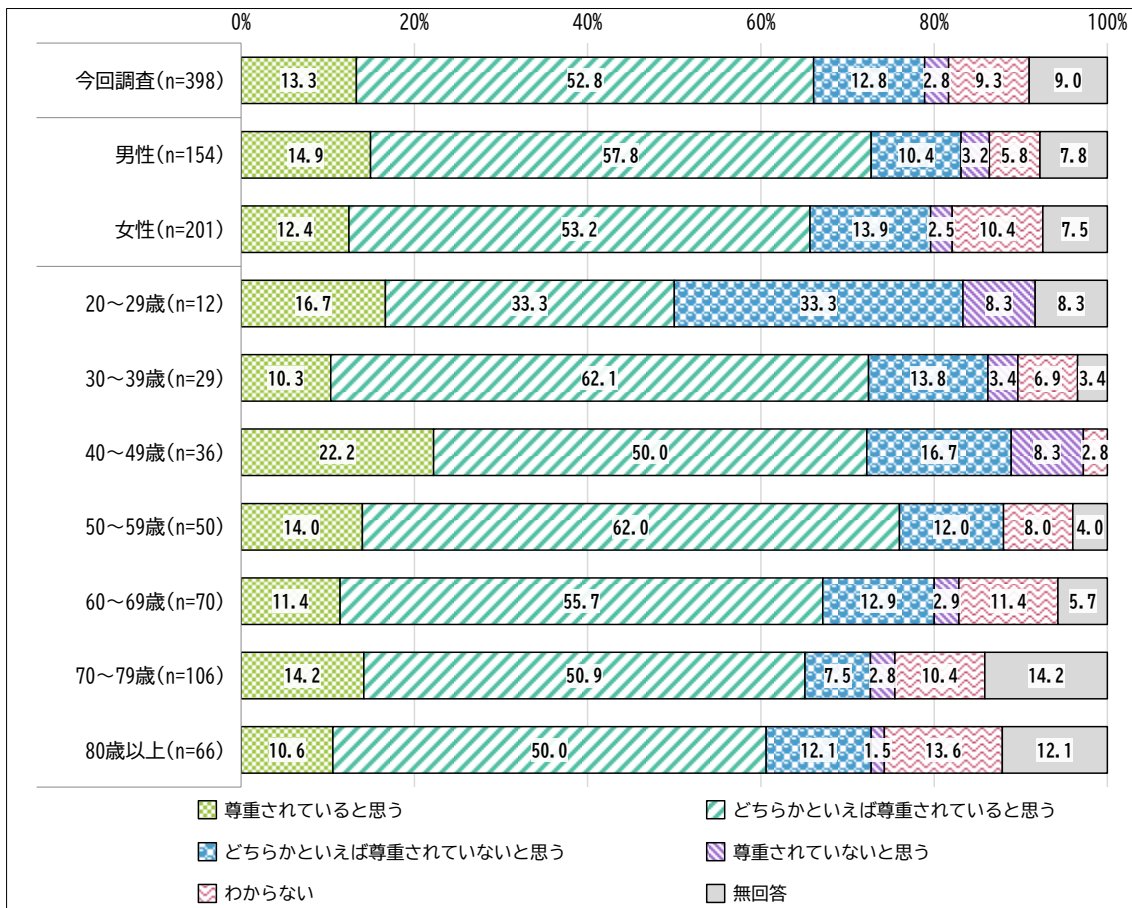
2. 人権の尊重・人権への関心について

問1 あなたは、今の日本で、人権は尊重されていると思いますか。(単数回答)

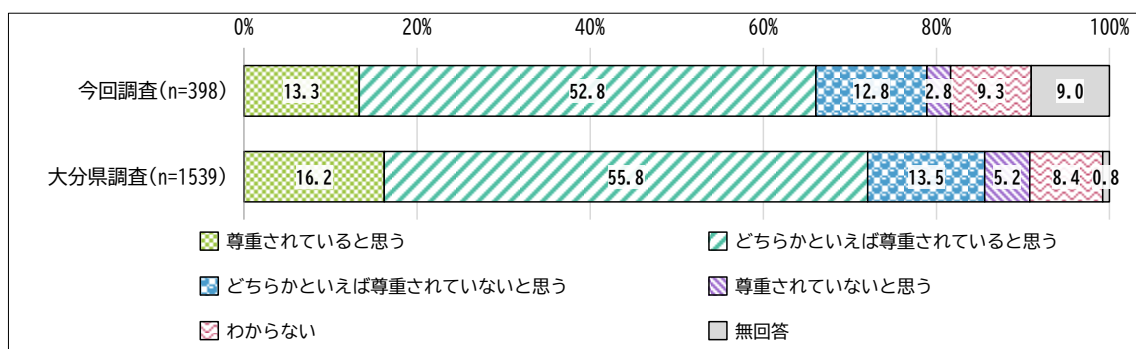
○全体では「どちらかといえば尊重されていると思う」が 52.8%と最も高く、次いで「尊重されていると思う」13.3%、「どちらかといえば尊重されていないと思う」12.8%となっており、6割は「尊重されていると思う：尊重されていると思う+どちらかといえば尊重されていると思う」と回答しています。

○性別で見ると、男女ともに「どちらかといえば尊重されていると思う」が最も高く、『尊重されていると思う』が6割を超えています。

○年代別で見ると、どの年代も「どちらかといえば尊重されていると思う」が最も高く、『尊重されていると思う』が『尊重されていないと思う』を上回っていますが、20歳代では『尊重されていないと思う』が4割を超えており、他の年代と比べて15ポイント以上高くなっています。



【他調査との比較】

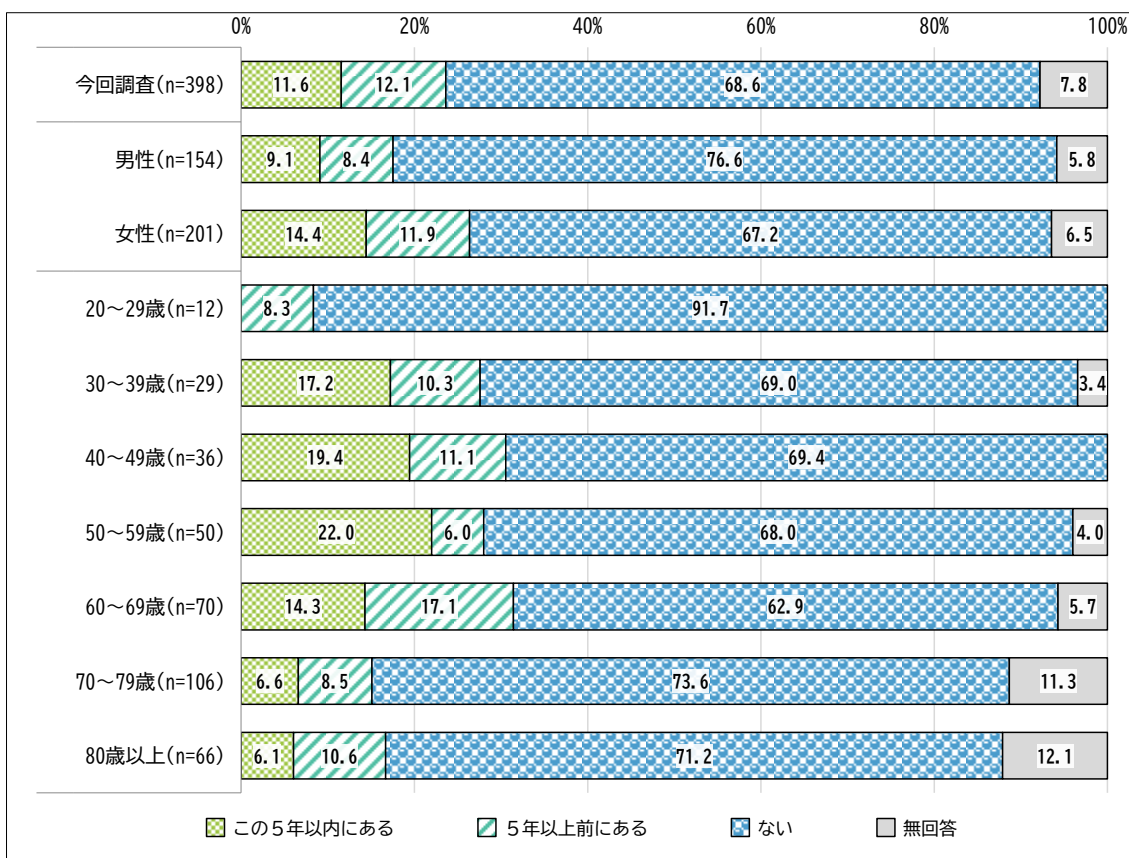


問2 あなたは、これまでに、自分が「差別された」「人権を侵害された」と思ったことがありますか。(単数回答)

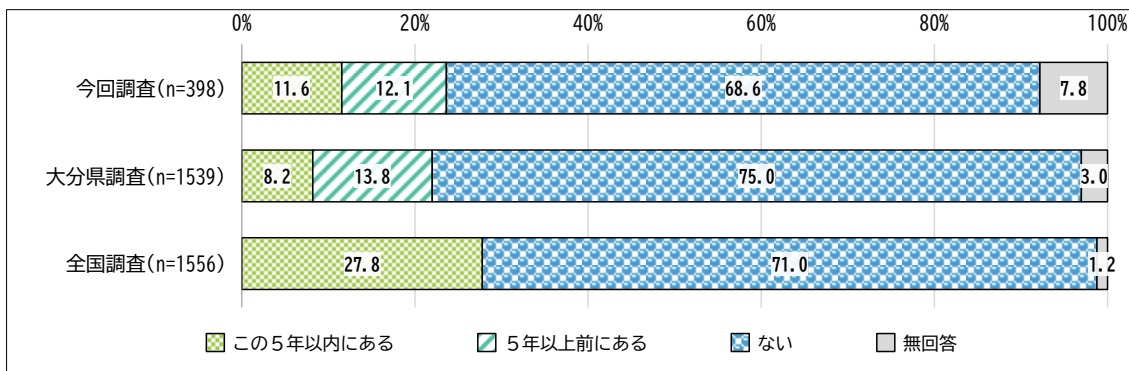
○全体では「ない」が68.6%と最も高く、次いで「5年以上前にある」12.1%、「この5年以内にある」11.6%となっており、約7割は「差別や人権を侵害されたことはない」と回答しています。

○性別で見ると、男女ともに「ない」が最も高く、6割を超えています。

○年代別で見ると、どの年代も「ない」の割合が最も高く6割を超えています。30～60歳代では約3割が「ある：この5年以内にある+5年以上前にある」と回答しています。



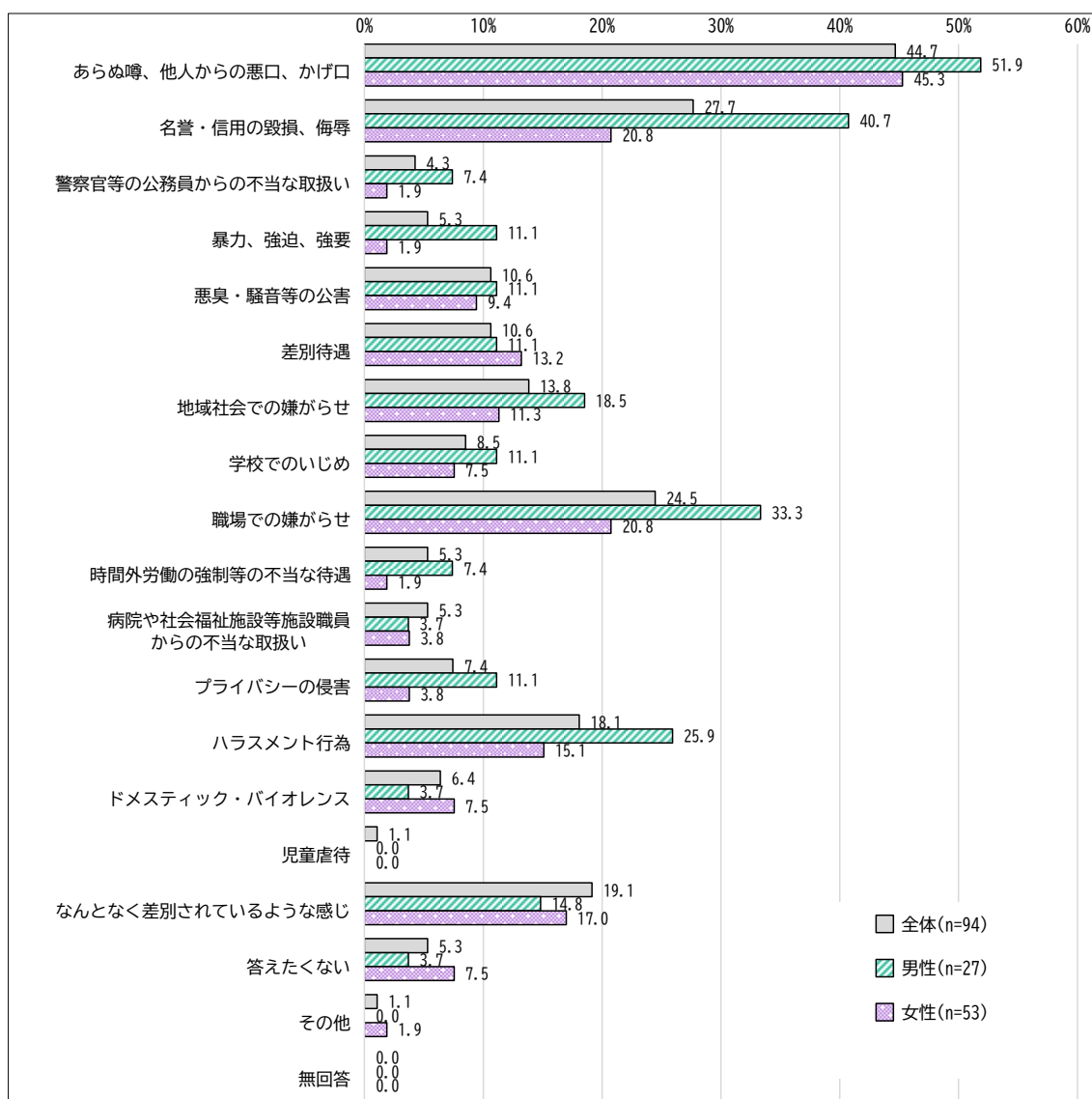
【他調査との比較】



※全国調査では「5年以上前にある」の選択肢なし

問3 それは、どのような性質のものですか。(複数回答)

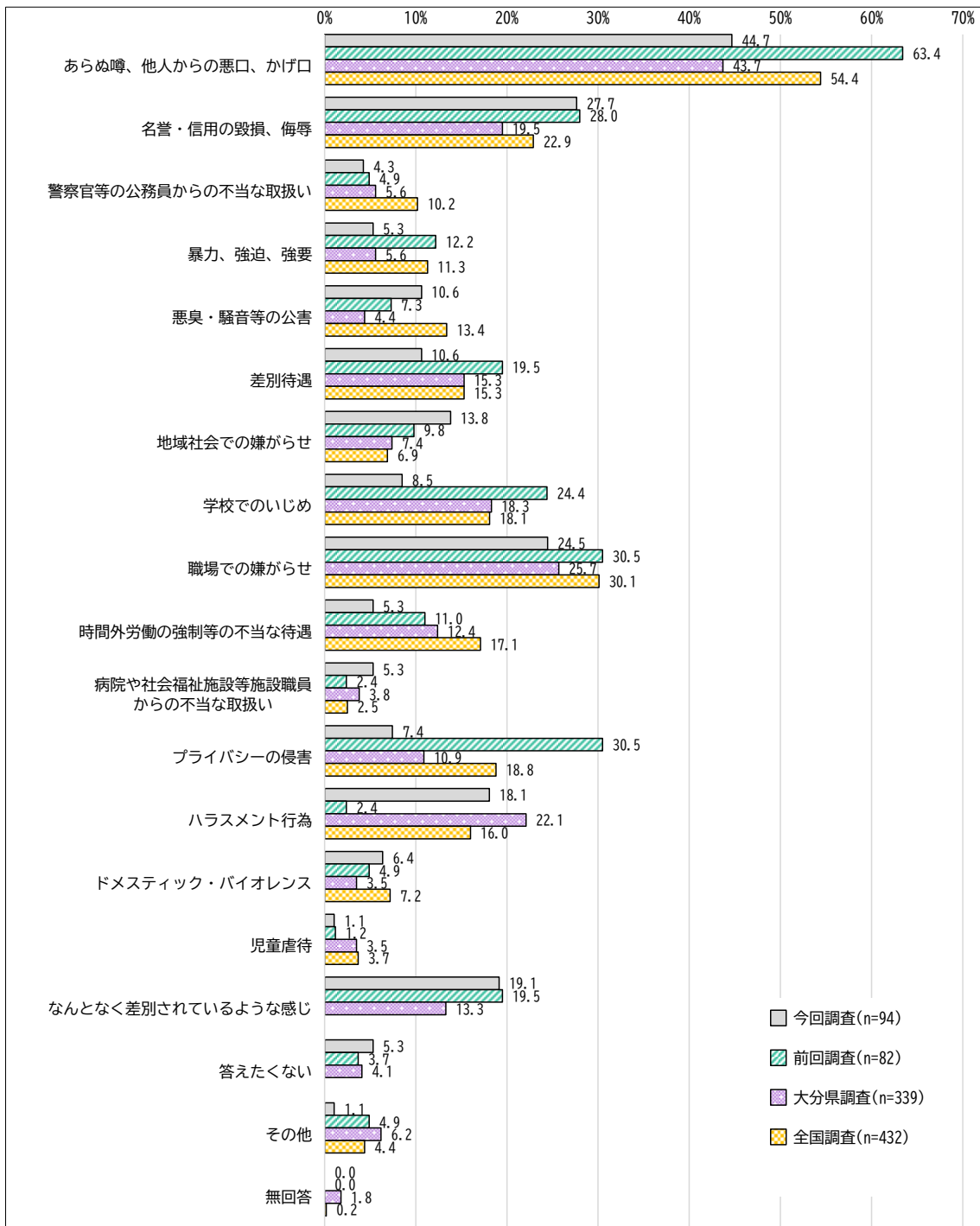
- 全体では「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が44.7%と最も高く、次いで「名誉・信用の毀損、侮辱」27.7%「職場での嫌がらせ」24.5%となっています。
- 性別で見ると、男女ともに「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が最も高くなっています。また、男性では女性と比べて「名誉・信用の毀損、侮辱」「職場での嫌がらせ」「ハラスメント行為」が10ポイント以上高くなっています。
- 年代別についてはサンプル数が少ないため参考程度(問3～問5)。
- 前回調査との比較をみると、「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」「学校でのいじめ」「プライバシーの侵害」が低く、「ハラスメント行為」が高くなっており、15ポイント以上差が生じています。
- 全国調査との比較をみると、「時間外労働の強制等の不当な待遇」「プライバシーの侵害」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。



(上段：人 下段：%)

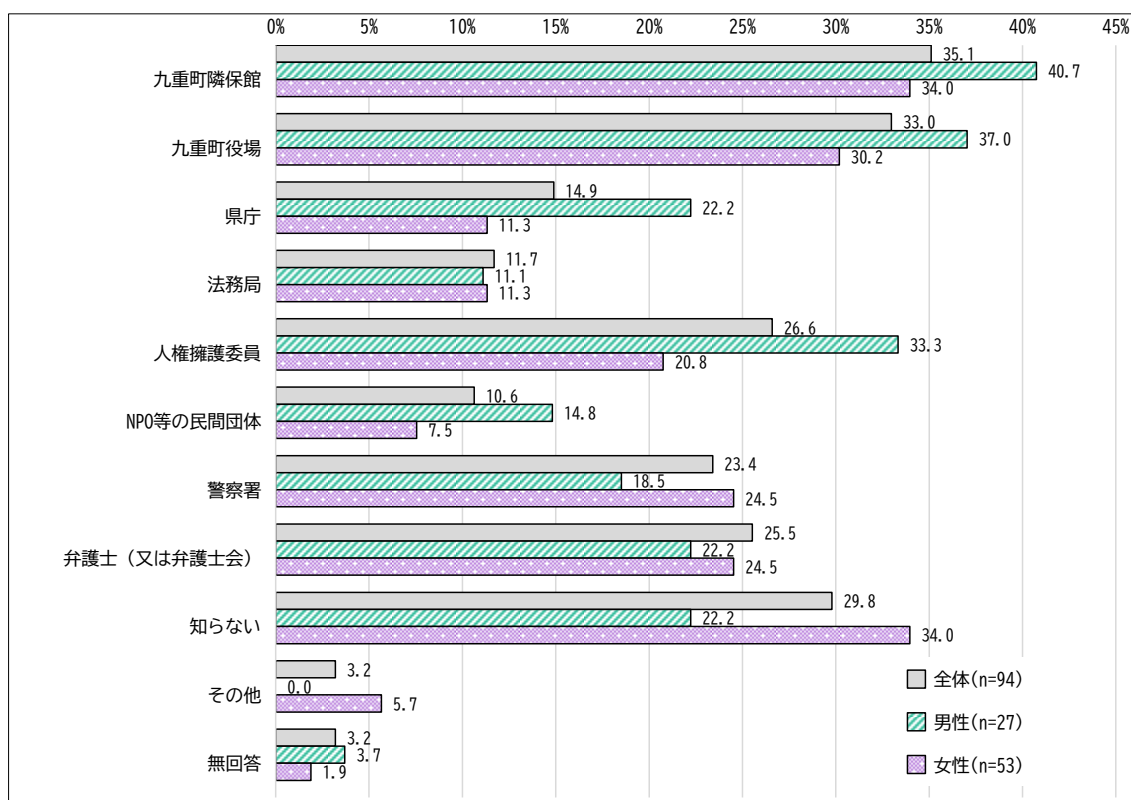
	標本数(人)	かけ口、あらぬ噂、他人からの悪口、	名誉・信用の毀損、侮辱	警察官等の公務員からの不当な取扱い	暴力、強迫、強要	悪臭・騒音等の公害	差別待遇	地域社会での嫌がらせ	学校でのいじめ	職場での嫌がらせ	待遇 時間外労働の強制等の不当な	病院や社会福祉施設等施設職員からの不当な取扱い	プライバシーの侵害	ハラスメント行為	ドメスティック・バイオレンス	児童虐待	なんとなく差別されているような感じ	答えたくない	その他	無回答
全体 (単純集計)	94	42 44.7%	26 27.7%	4 4.3%	5 5.3%	10 10.6%	10 10.6%	13 13.8%	8 8.5%	23 24.5%	5 5.3%	5 5.3%	7 7.4%	17 18.1%	6 6.4%	1 1.1%	18 19.1%	5 5.3%	1 1.1%	0 0.0%
年代別	20～29歳	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30～39歳	8 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	2 25.0%	1 12.5%	1 12.5%	3 37.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	3 37.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	40～49歳	11 36.4%	3 27.3%	0 0.0%	2 18.2%	1 9.1%	2 18.2%	2 18.2%	2 18.2%	4 36.4%	0 0.0%	1 9.1%	2 18.2%	4 36.4%	1 9.1%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	50～59歳	14 50.0%	5 35.7%	2 14.3%	2 14.3%	3 21.4%	0 0.0%	1 7.1%	1 7.1%	5 35.7%	3 21.4%	0 0.0%	2 14.3%	6 42.9%	1 7.1%	0 0.0%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	60～69歳	22 27.3%	6 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%	3 13.6%	1 4.5%	1 4.5%	6 27.3%	0 0.0%	2 9.1%	0 0.0%	3 13.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 9.1%	3 13.6%	1 4.5%	0 0.0%
	70～79歳	16 56.3%	4 25.0%	2 12.5%	1 6.3%	2 12.5%	1 6.3%	3 18.8%	1 6.3%	2 12.5%	0 0.0%	1 6.3%	1 6.3%	0 0.0%	3 18.8%	0 0.0%	7 43.8%	1 6.3%	1 6.3%	0 0.0%
	80歳以上	11 63.6%	5 45.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 18.2%	3 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%

【他調査との比較】



問4 あなたは、差別や人権侵害を受けた場合に相談できる機関（場所）を知っていますか。（複数回答）

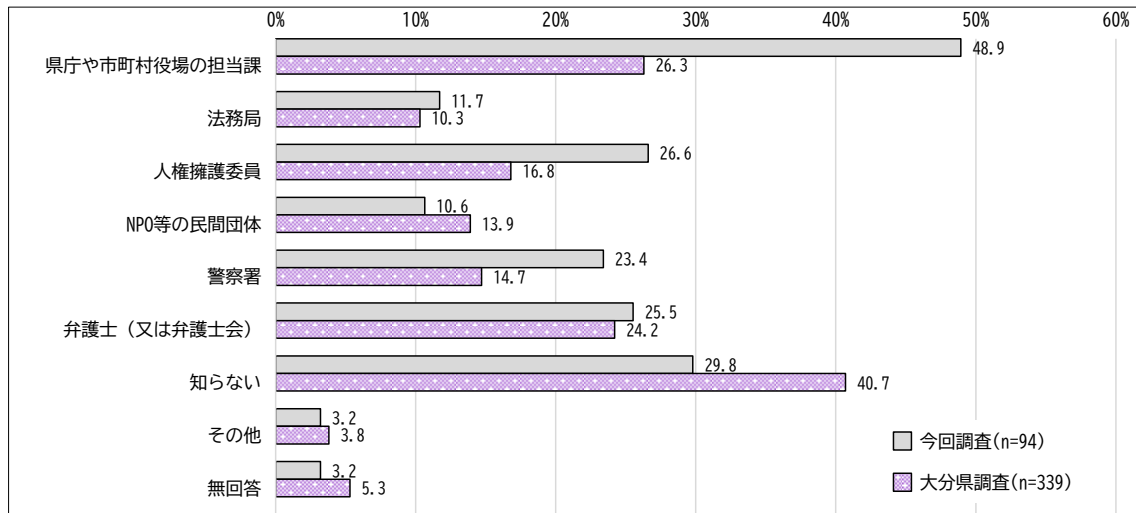
- 全体では「九重町隣保館」が 35.1%と最も高く、次いで「九重町役場」33.0%、「知らない」29.8%となっており、約3割が「相談できる機関（場所）を知らない」と回答しています。
- 性別で見ると、男性では「九重町隣保館」、女性では「知らない」が最も高くなっています。また、男性では女性と比べて「県庁」「人権擁護委員」が高く、「知らない」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。
- 大分県調査との比較をみると、「県庁や市町村役場の担当課」が高く、「知らない」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。



(上段：人 下段：%)

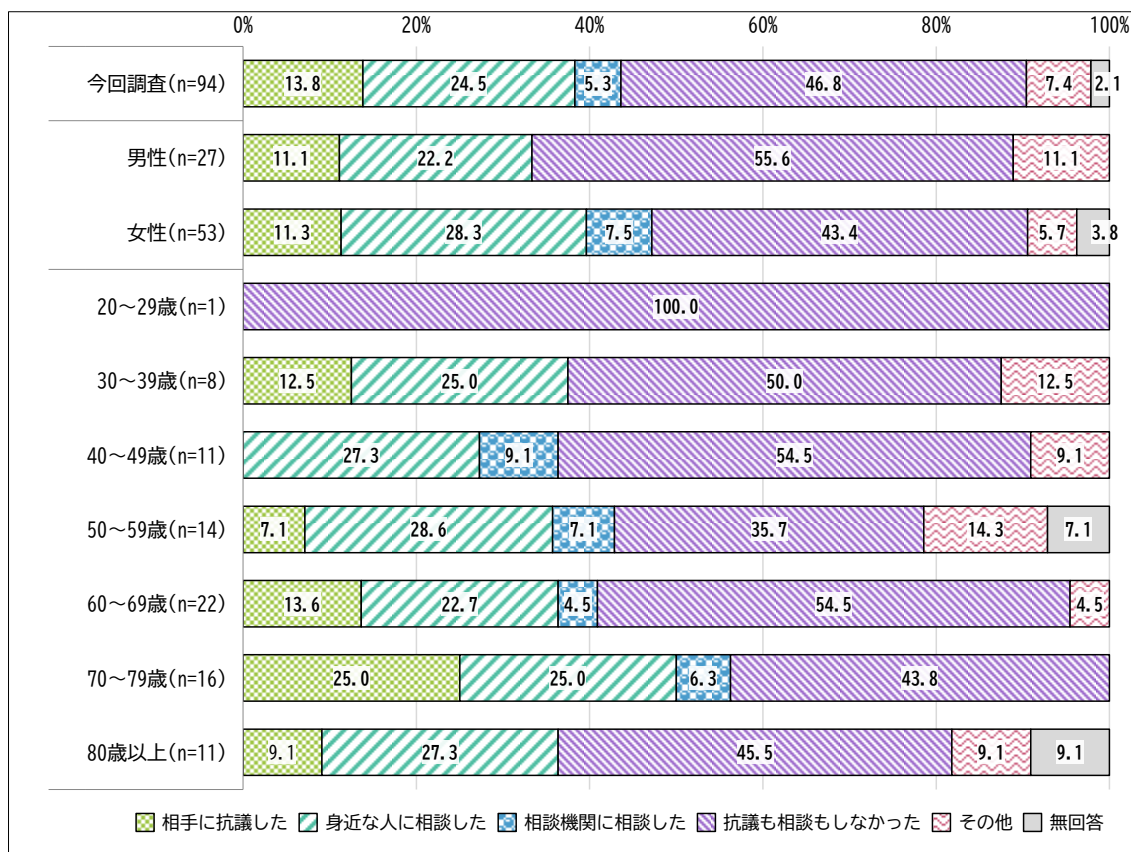
		標本数 (人)	九重町隣保館	九重町役場	県庁	法務局	人権擁護委員	NPO等の民間団体	警察署	弁護士(又は弁護士会)	知らない	その他	無回答
全体 (単純集計)		94	33 35.1%	31 33.0%	14 14.9%	11 11.7%	25 26.6%	10 10.6%	22 23.4%	24 25.5%	28 29.8%	3 3.2%	3 3.2%
年代別	20~29歳	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30~39歳	8	3 37.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	4 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	40~49歳	11	4 36.4%	5 45.5%	1 9.1%	1 9.1%	3 27.3%	1 9.1%	4 36.4%	1 9.1%	3 27.3%	1 9.1%	0 0.0%
	50~59歳	14	5 35.7%	5 35.7%	0 0.0%	1 7.1%	2 14.3%	1 7.1%	6 42.9%	5 35.7%	4 28.6%	1 7.1%	0 0.0%
	60~69歳	22	6 27.3%	6 27.3%	3 13.6%	1 4.5%	8 36.4%	2 9.1%	2 9.1%	9 40.9%	7 31.8%	1 4.5%	0 0.0%
	70~79歳	16	6 37.5%	6 37.5%	4 25.0%	3 18.8%	5 31.3%	1 6.3%	2 12.5%	2 12.5%	3 18.8%	0 0.0%	1 6.3%
	80歳以上	11	5 45.5%	3 27.3%	3 27.3%	2 18.2%	3 27.3%	2 18.2%	3 27.3%	3 27.3%	4 36.4%	0 0.0%	1 9.1%

【他調査との比較】

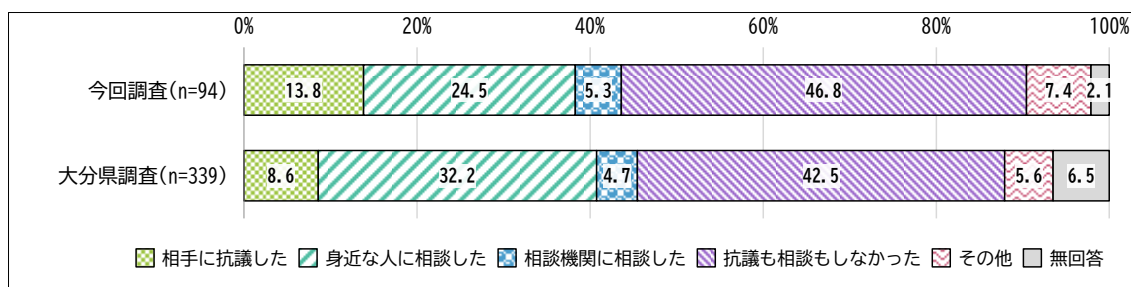


問5 そのとき、あなたはどうしましたか。(単数回答)

- 全体では「抗議も相談もしなかった」が46.8%と最も高く、次いで「身近な人に相談した」24.5%、「相手に抗議した」13.8%となっています。
- 性別で見ると、男女ともに「抗議も相談もしなかった」が最も高くなっており、男性では女性と比べて12.2ポイント高くなっています。



【他調査との比較】

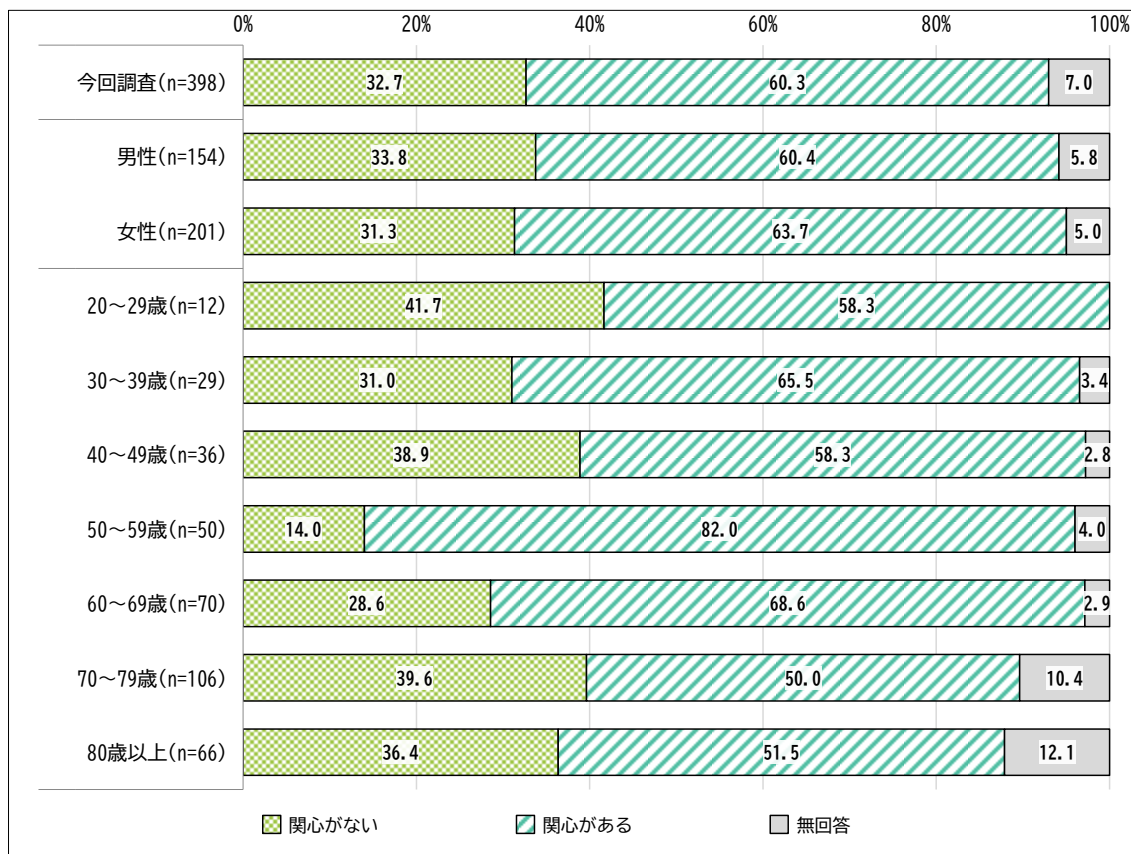


問6 日本における人権課題について、あなたは関心がありますか。(単数回答)

○全体では「関心がない」が32.7%、「関心がある」が60.3%となっており、6割が「人権課題について関心がある」と回答しています。

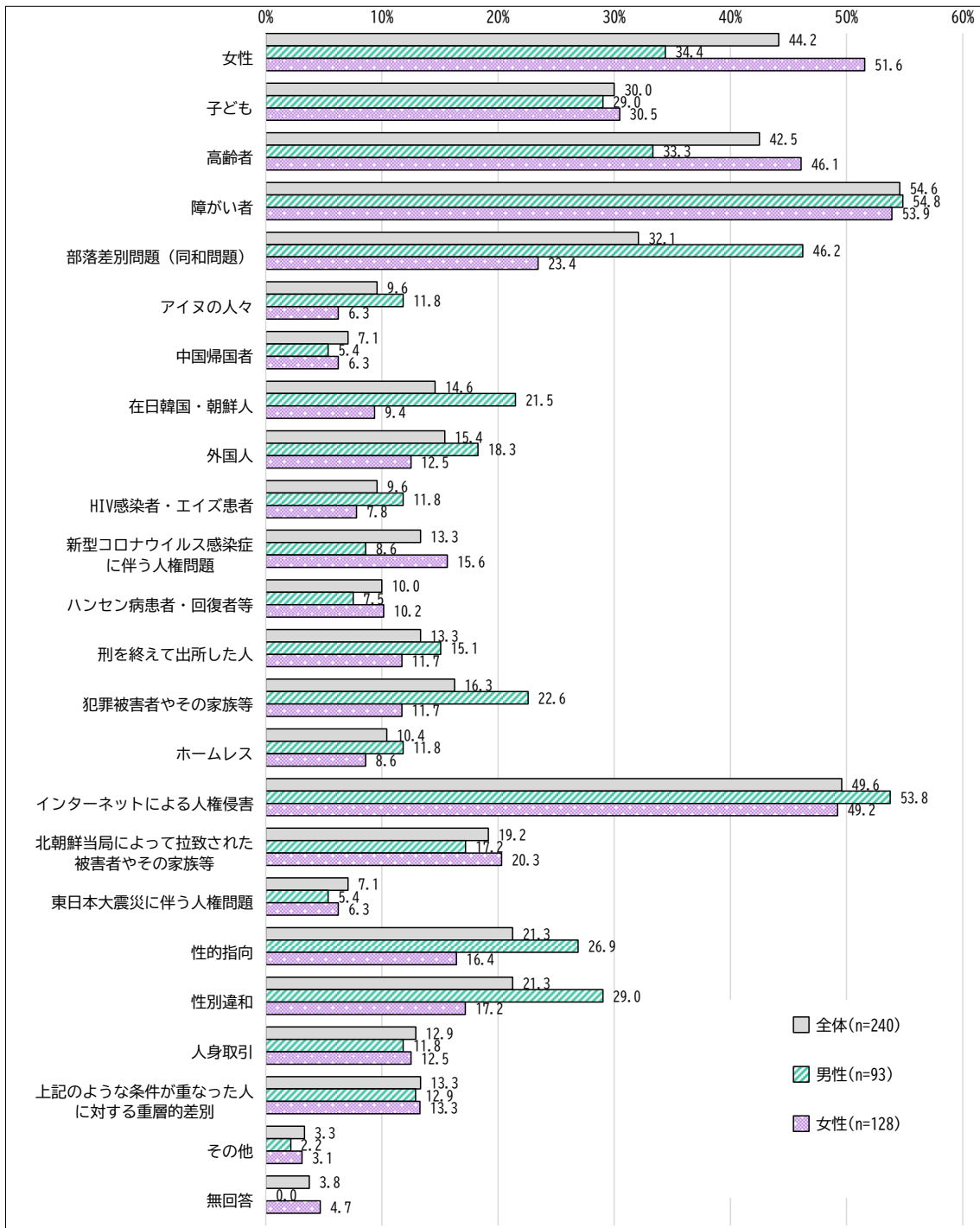
○性別でも、男女ともに「関心がある」が6割を超えています。

○年代別で見ると、どの年代も「関心がある」の割合が高くなっており、特に50歳代では8割を超えています。



問6－1 関心がある人権課題（複数回答）

- 全体では「障がい者」が 54.6%と最も高く、次いで「インターネットによる人権侵害」49.6%、「女性」44.2%となっています。
- 性別で見ると、男女ともに「障がい者」が最も高く、また、男性では女性と比べて「部落差別問題（同和問題）」「在日韓国・朝鮮人」「犯罪被害者やその家族等」「性的指向」「性別違和」が高く、「女性」「高齢者」が低くなっており、10 ポイント以上差が生じています。
- 年代別で見ると、30 歳代では「女性」、40 歳代では「インターネットによる人権侵害」、50～70 歳代では「障がい者」、80 歳以上では「高齢者」が最も高くなっています。また、70 歳代では「インターネットによる人権侵害」も同率で最も高くなっています。（20 歳代はサンプル数が少ないため参考程度）

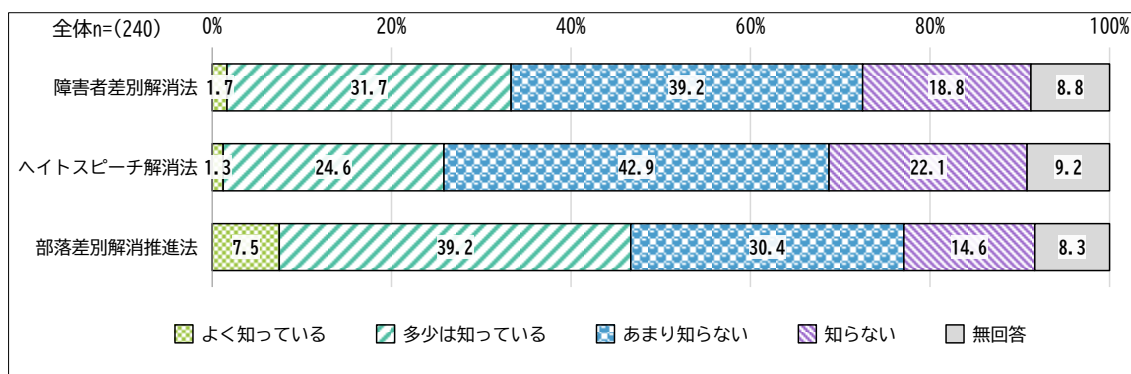


(上段：人 下段：%)

	標本数(人)	女性	子ども	高齢者	障がい者	部落差別問題(同和問題)	アイヌの人々	中国帰国者	在日韓国・朝鮮人	外国人	HIV感染者・エイズ患者	新型コロナウイルス感染症に伴う人権問題	ハンセン病患者・回復者等	刑を終えて出所した人	犯罪被害者やその家族等	ホームレス	害	インターネットによる人権侵害	北朝鮮当局によつて拉致された被害者やその家族等	東日本大震災に伴う人権問題	性的指向	性別違和	人身取引	上記のような条件が重なった人に対する重層的差別	その他	無回答	
全体(単純集計)	240	106 44.2%	72 30.0%	102 42.5%	131 54.6%	77 32.1%	23 9.6%	17 7.1%	35 14.6%	37 15.4%	23 9.6%	32 13.3%	24 10.0%	32 13.3%	39 16.3%	25 10.4%	119 49.6%	46 19.2%	17 7.1%	51 21.3%	51 21.3%	31 12.9%	32 13.3%	8 3.3%	9 3.8%		
年代別	20~29歳	7	4 57.1%	4 57.1%	2 28.6%	3 42.9%	4 57.1%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 42.9%	2 28.6%	1 14.3%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	
	30~39歳	19	12 63.2%	8 42.1%	3 15.8%	7 36.8%	7 36.8%	1 5.3%	0 0.0%	3 15.8%	3 15.8%	3 15.8%	3 15.8%	2 10.5%	4 21.1%	1 5.3%	4 21.1%	0 0.0%	11 57.9%	4 21.1%	2 10.5%	6 31.6%	7 36.8%	4 21.1%	2 10.5%	0 0.0%	
	40~49歳	21	11 52.4%	10 47.6%	5 23.8%	11 52.4%	7 33.3%	5 23.8%	4 19.0%	6 28.6%	8 38.1%	4 19.0%	3 14.3%	2 9.5%	4 19.0%	3 14.3%	1 4.8%	4 19.0%	7 33.3%	4 19.0%	2 9.5%	9 42.9%	11 52.4%	6 28.6%	6 28.6%	1 4.8%	0 0.0%
	50~59歳	41	22 53.7%	12 29.3%	17 41.5%	28 68.3%	14 34.1%	6 14.6%	1 2.4%	9 22.0%	7 17.1%	4 9.8%	8 19.5%	3 7.3%	1 2.4%	4 9.8%	1 2.4%	22 53.7%	7 17.1%	2 4.9%	7 17.1%	2 5.0%	9 22.0%	11 27.1%	6 14.6%	2 5.0%	2 5.0%
	60~69歳	48	20 41.7%	16 33.3%	23 47.9%	29 60.4%	16 33.3%	4 8.3%	5 10.4%	8 16.7%	9 18.8%	7 14.6%	9 18.8%	7 14.6%	13 27.1%	9 18.8%	8 16.7%	13 27.1%	9 18.8%	8 16.7%	12 25.0%	12 25.0%	13 27.1%	6 12.5%	7 14.6%	1 2.1%	2 4.2%
	70~79歳	53	17 32.1%	11 20.8%	23 43.4%	27 50.9%	16 30.2%	0 0.0%	1 1.9%	4 7.5%	3 5.7%	2 3.8%	3 5.7%	6 11.3%	8 15.1%	5 9.4%	6 11.3%	20 37.7%	13 24.5%	3 5.7%	7 13.2%	7 13.2%	8 15.1%	5 9.4%	1 1.9%	1 1.9%	
	80歳以上	34	12 35.3%	6 17.6%	19 55.9%	16 47.1%	9 26.5%	2 5.9%	2 5.9%	1 2.9%	1 2.9%	1 2.9%	2 5.9%	0 0.0%	2 5.9%	7 20.6%	3 8.8%	8 23.5%	6 17.6%	0 0.0%	2 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	2 5.9%	2 5.9%	3 8.8%	

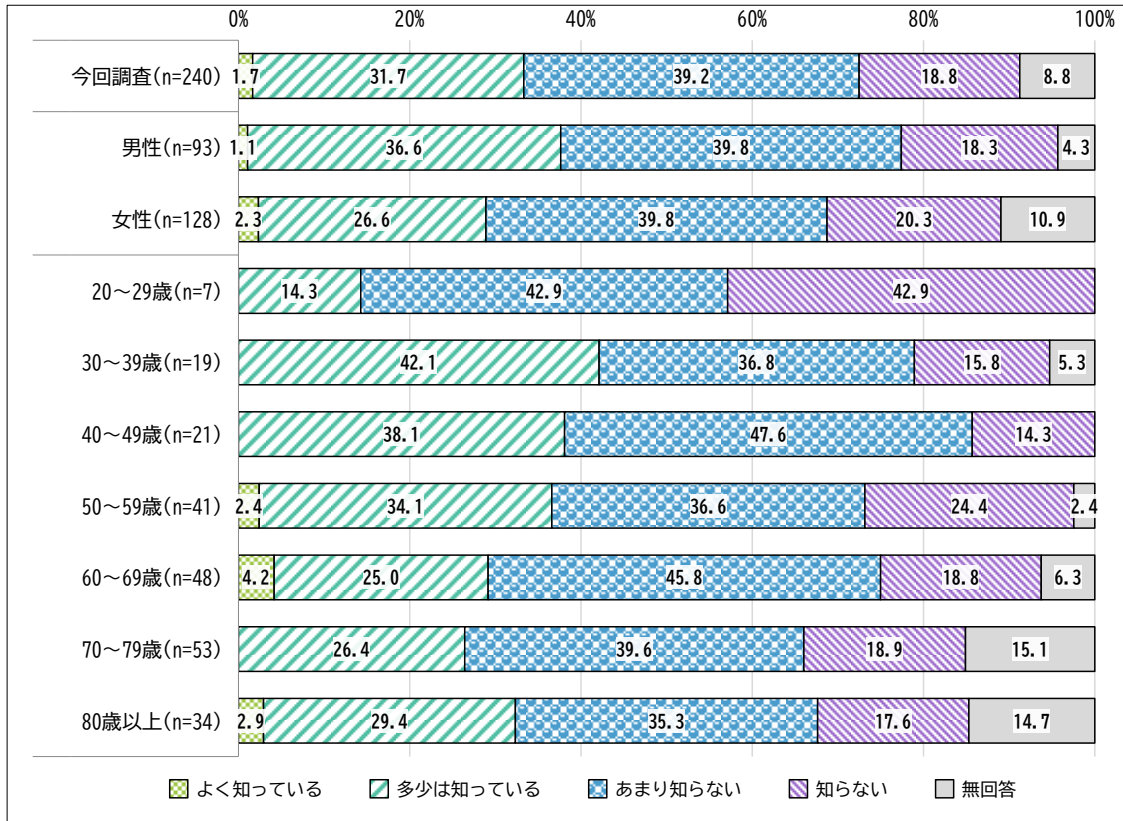
問7 あなたは、次にあげる法律をどの程度ご存じですか。(単数回答)

○全体では、「障害者差別解消法」及び「ヘイトスピーチ解消法」では「あまり知らない」、「部落差別解消推進法」では「多少は知っている」が最も高くなっており、「障害者差別解消法」及び「ヘイトスピーチ解消法」では「知らない：あまり知らない+知らない」が「知っている：よく知っている+多少は知っている」を上回っています。また、認知度が最も高い法律としては「部落差別解消推進法」46.7%、次いで「障害者差別解消法」33.4%、「ヘイトスピーチ解消法」25.9%となっています。



(1) 障害者差別解消法

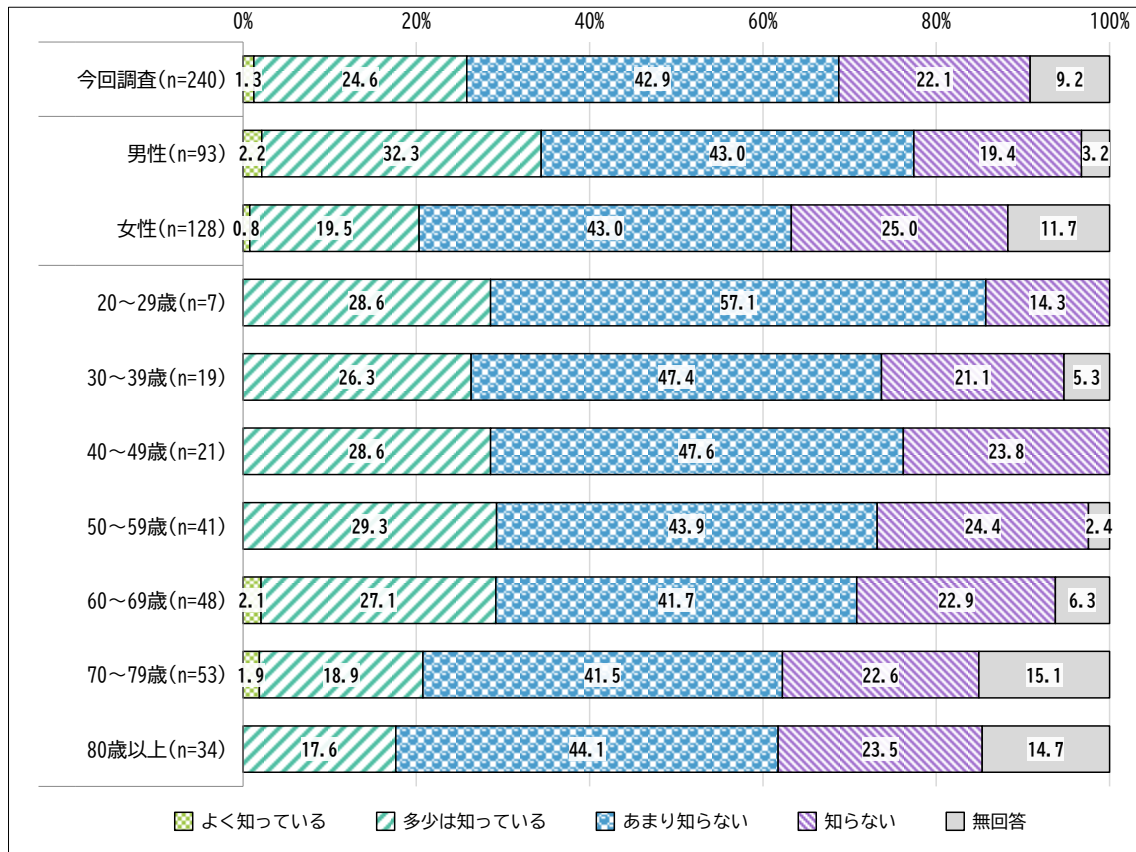
○性別及び年代別でも、いずれも『知らない』が『知っている』を上回っているものの、30～50歳代では4割前後が障害者差別解消法を『知っている』と回答しており、他の年代と比べて認知度が高くなっています。(問8～10：20歳代はサンプル数が少ないため参考程度)



(2) ハイトスピーチ解消法

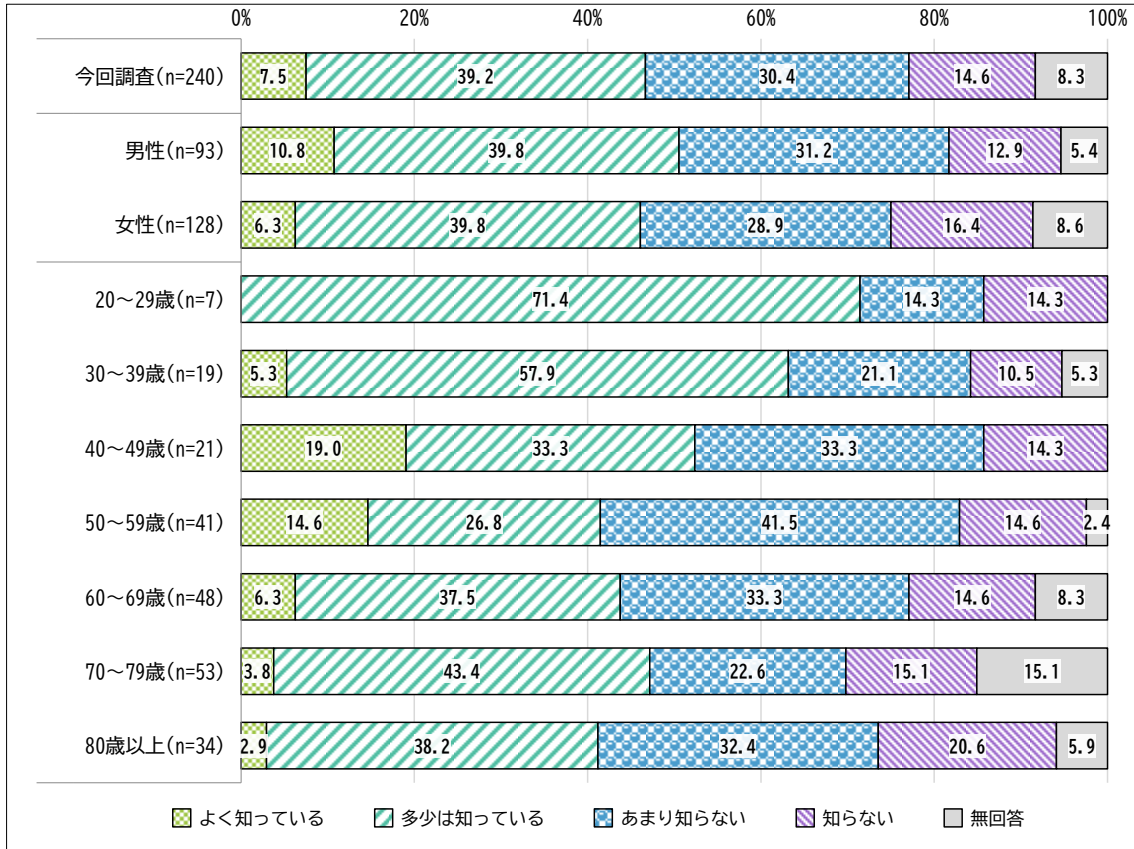
○性別で見ると、男女ともに「あまり知らない」が最も高くなっています。また、男性では女性と比べて『知っている』が14.2ポイント高くなっており、男性の認知度が高くなっています。

○年代別で見ると、どの年代も『知らない』が『知っている』を上回っています。



(3) 部落差別解消推進法

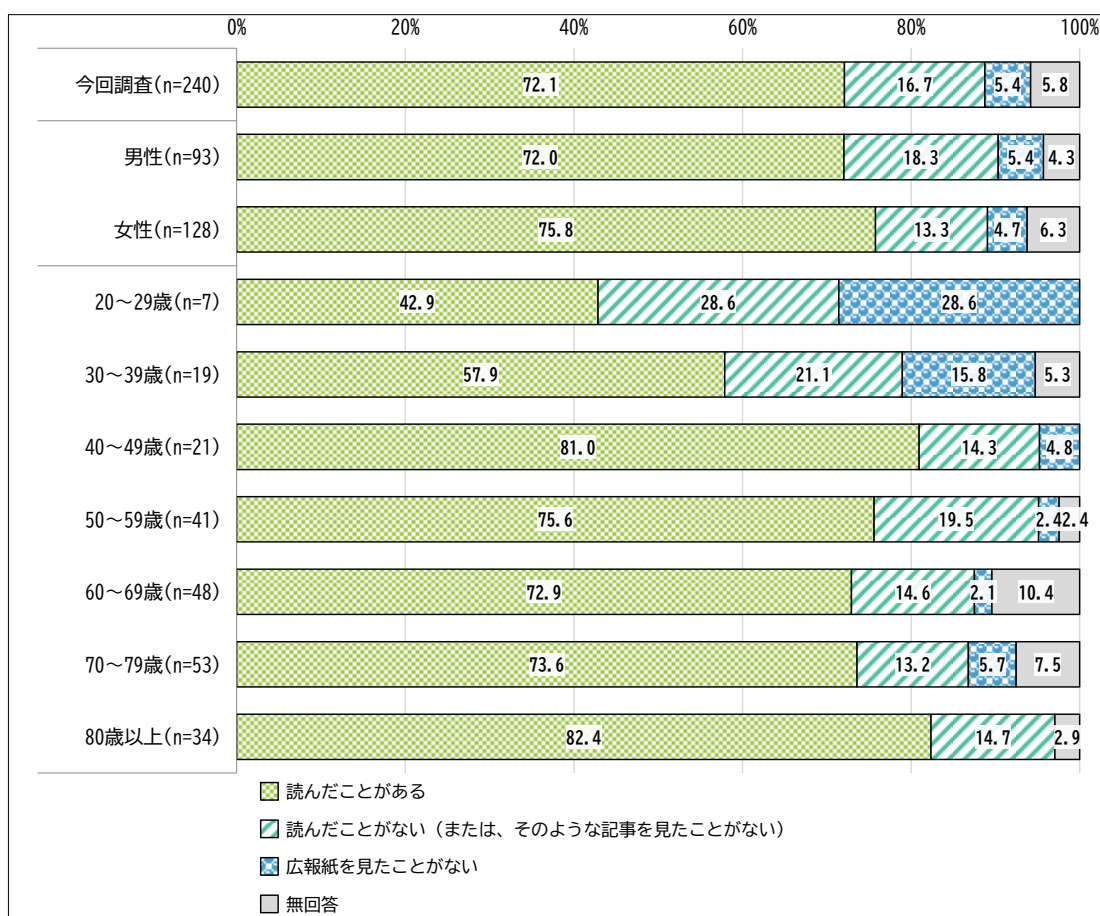
- 性別で見ると、男女ともに「多少は知っている」が最も高く、男女ともに『知っている』が『知らない』をやや上回っています。
- 年代別で見ると、40歳代まで『知っている』が『知らない』を上回っていますが、50歳以上では『知らない』の割合が高くなっています。



問6で「2. 関心がある」を回答した方のみ

問8 九重町が出している広報紙に、人権に関する記事が掲載されることがあります。
あなたはこの5年間でそのような記事を読んだことがありますか。(単数回答)

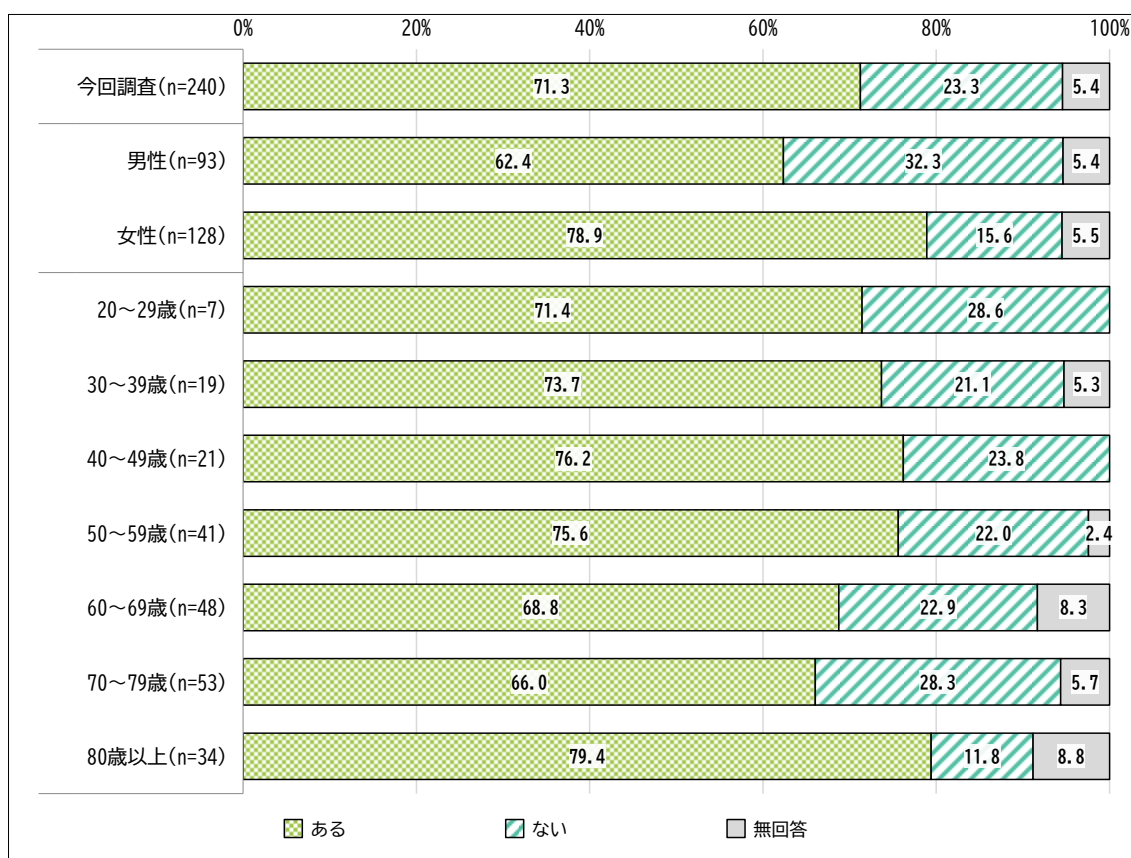
- 全体では「読んだことがある」が72.1%と最も高く、次いで「読んだことがない(または、そのような記事を見たことがない)」16.7%、「広報紙を見たことがない」5.4%となっており、7割が「広報紙で人権に関する記事を読んだことがある」と回答しています。
- 性別でも、男女ともに7割が「読んだことがある」と回答しています。
- 年代別で見ると、30歳代までは「読んだことがある」が4～5割台ですが、40歳代以上では7割を超えて高くなっています。



問6で「2. 関心がある」を回答した方のみ

問9 あなたは、この5年間で、人権に関する映画やビデオ、ラジオ放送、テレビ番組（ケーブルテレビを含む）を見たり、聴いたりしたことがありますか。
(単数回答)

- 全体では「ある」が71.3%、「ない」が23.3%となっており、7割が「この5年間で、人権に関する番組等を見聞きしたことがある」と回答しています。
- 性別及び年代別でも、いずれも「ある」が6割を超えて高くなっています。また、女性では男性と比べて16.5ポイント高くなっています。

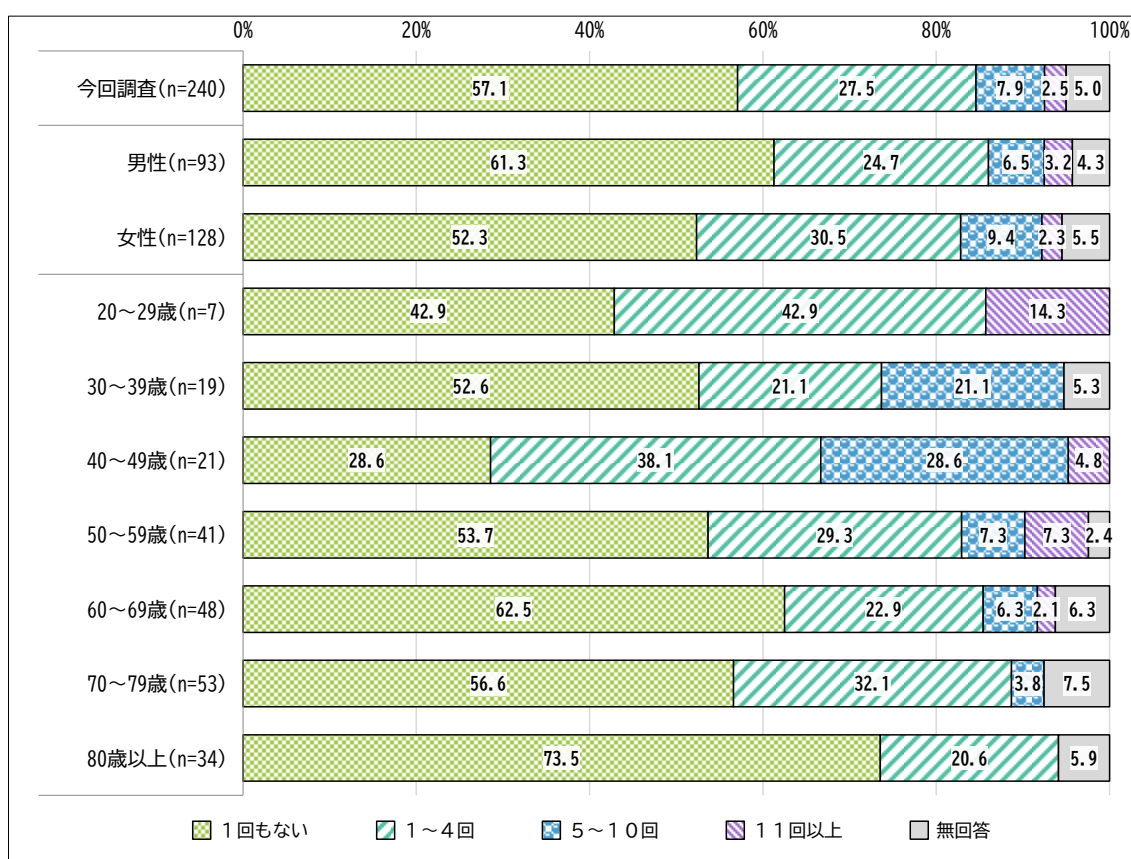


問6で「2. 関心がある」を回答した方のみ

問10 あなたは、この5年間で人権に関する講演会や研修、学習会等に何回くらい参加しましたか。(単数回答)

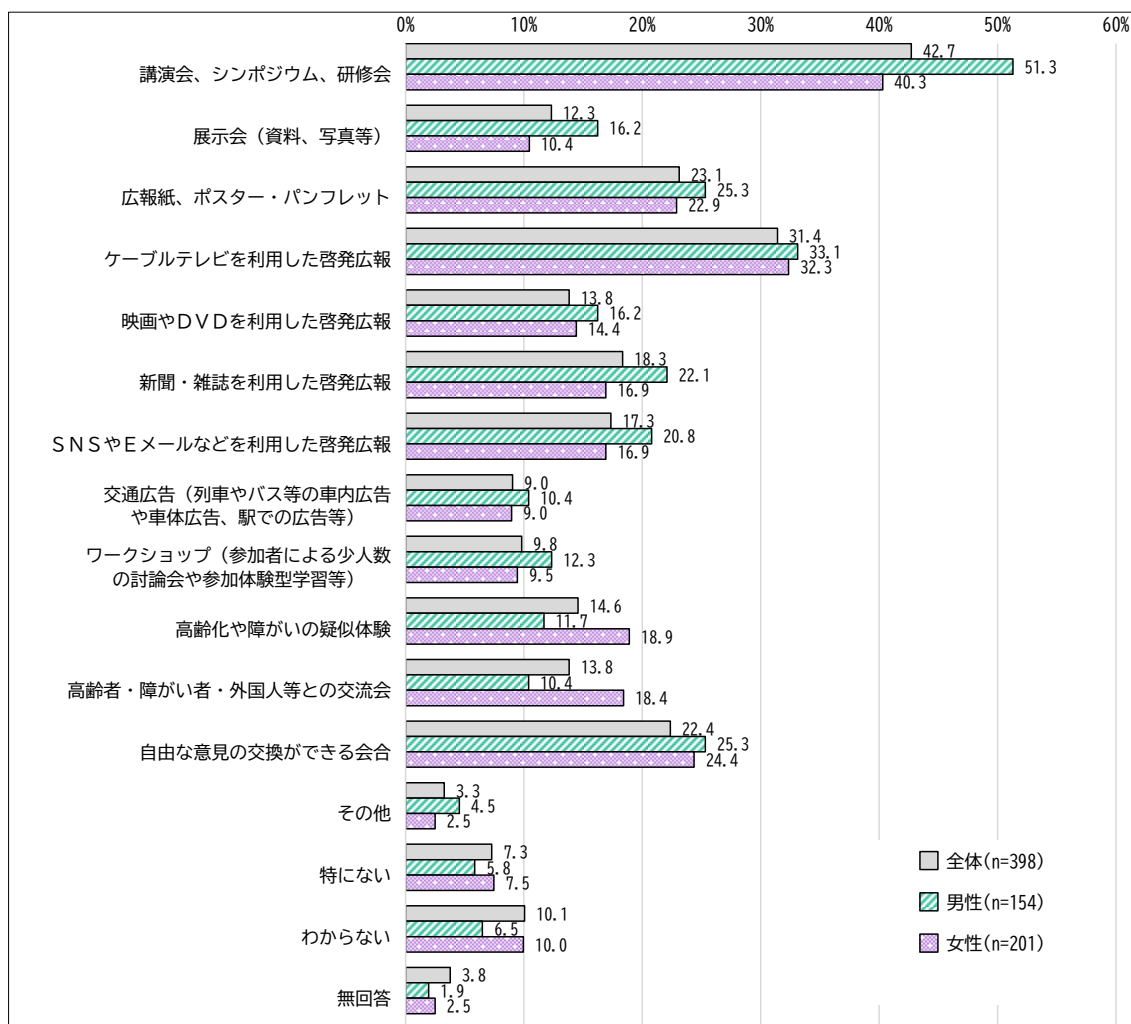
○全体では「1回もない」が57.1%と最も高く、次いで「1～4回」27.5%、「5～10回」7.9%となっています。また、約6割が「この5年間で人権に関する講演会等に1度も参加していない」と回答しており、人権に関する講習会等への参加率は3割台となっています。

○年代別でみると、40歳代では「1～4回」が最も高く、それ以外の年代では「1回もない」が最も高くなっています。



問11 あなたは、人権の大切さを多くの人に知ってもらうには、どのような方法が効果的だと思いますか（また、あなたならどれが良いですか）。（複数回答）

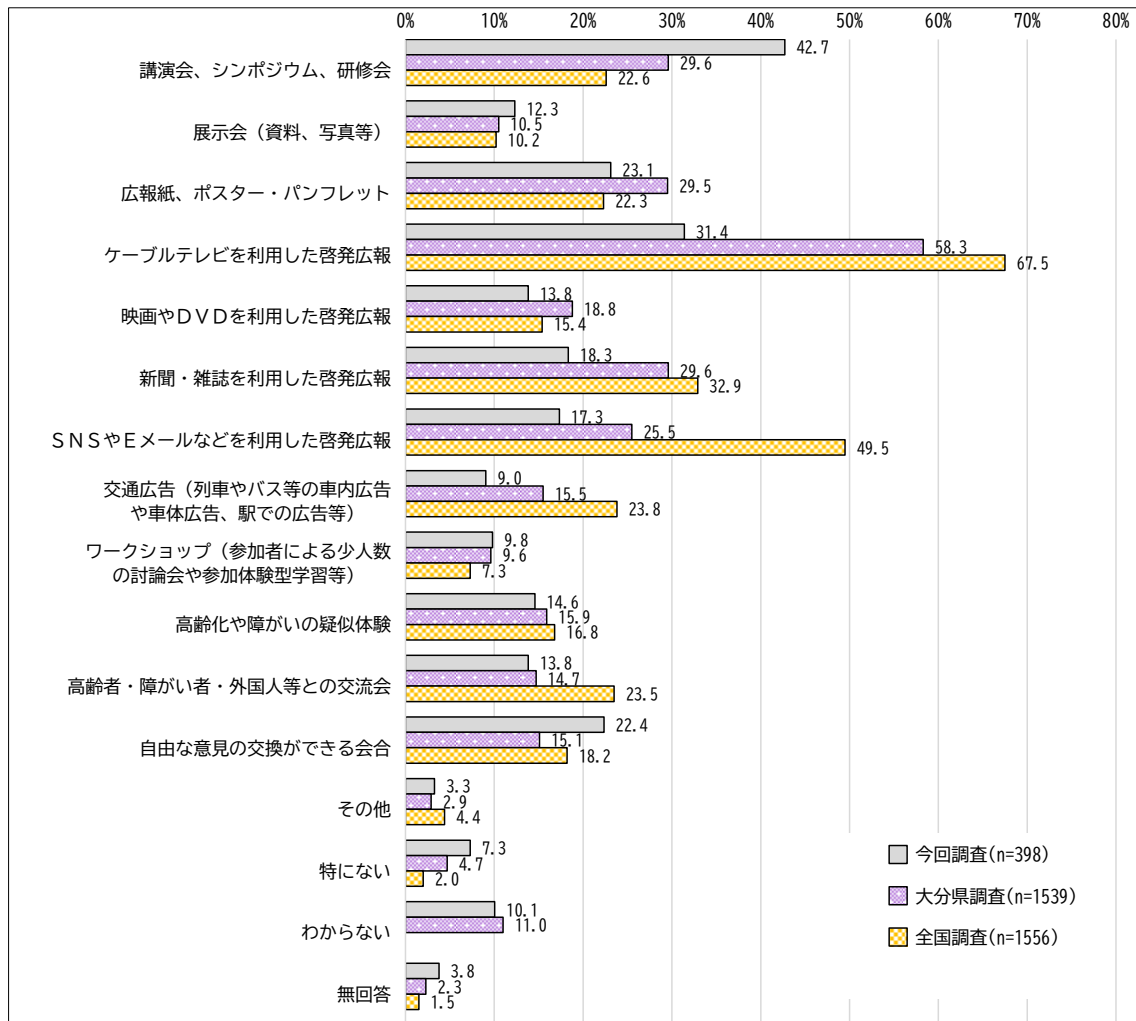
- 全体では「講演会、シンポジウム、研修会」が42.7%と最も高く、次いで「ケーブルテレビを利用した啓発広報」31.4%、「広報紙、ポスター・パンフレット」23.1%となっています。
- 性別で見ると、男女ともに「講演会、シンポジウム、研修会」が最も高く、男性では女性と比べて11.0ポイント高くなっています。
- 年代別で見ると、30歳代までは「SNSやEメールなどを利用した啓発広報」、40歳代以上では「講演会、シンポジウム、研修会」が最も高くなっています。
- 大分県調査との比較をみると、「講演会、シンポジウム、研修会」が高く、「ケーブルテレビを利用した啓発広報」「新聞・雑誌を利用した啓発広報」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。
- 全国調査との比較をみると、「講演会、シンポジウム、研修会」が高く、「ケーブルテレビを利用した啓発広報」「新聞・雑誌を利用した啓発広報」「SNSやEメールなどを利用した啓発広報」「交通広告（列車やバス等の車内広告や車体広告、駅での広告等）」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。



(上段：人 下段：%)

		標本数(人)	講演会、シンポジウム、研修会	展示会(資料、写真等)	広報紙、ポスター・パンフレット	ケーブルテレビを利用した啓発広報	映画やDVDを利用した啓発広報	新聞・雑誌を利用した啓発広報	SNSやEメールなどを利用した啓発広報	交通広告(列車やバス等の車内広告や車体広告、駅での広告等)	ワークショップ(参加者による少人数の討論会や参加体験型学習等)	高齢化や障がいの疑似体験	高齢者・障がい者・外国人等との交流会	自由な意見の交換ができる会合	その他	特にない	わからない	無回答
全体(単純集計)		398	42.7%	12.3%	23.1%	31.4%	13.8%	18.3%	17.3%	9.0%	9.8%	14.6%	13.8%	22.4%	3.3%	7.3%	10.1%	3.8%
年代別	20~29歳	12	33.3%	8.3%	25.0%	16.7%	25.0%	16.7%	58.3%	8.3%	16.7%	33.3%	16.7%	25.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	30~39歳	29	41.4%	13.8%	10.3%	17.2%	17.2%	27.6%	58.6%	17.2%	10.3%	13.8%	10.3%	6.9%	3.4%	0.0%	6.9%	3.4%
	40~49歳	36	41.7%	5.6%	22.2%	33.3%	16.7%	16.7%	38.9%	19.4%	22.2%	13.9%	19.4%	16.7%	8.3%	11.1%	0.0%	0.0%
	50~59歳	50	58.0%	16.0%	22.0%	36.0%	14.0%	18.0%	34.0%	14.0%	12.0%	16.0%	16.0%	22.0%	4.0%	4.0%	6.0%	2.0%
	60~69歳	70	42.9%	21.4%	37.1%	30.0%	21.4%	18.6%	11.4%	11.4%	14.3%	20.0%	25.7%	24.3%	0.0%	10.0%	10.0%	2.9%
	70~79歳	106	42.5%	11.3%	23.6%	39.6%	13.2%	17.9%	4.7%	5.7%	2.8%	14.2%	8.5%	30.2%	2.8%	8.5%	7.5%	0.9%
	80歳以上	66	37.9%	7.6%	19.7%	31.8%	7.6%	19.7%	0.0%	3.0%	9.1%	10.6%	10.6%	22.7%	3.0%	6.1%	22.7%	6.1%

【他調査との比較】

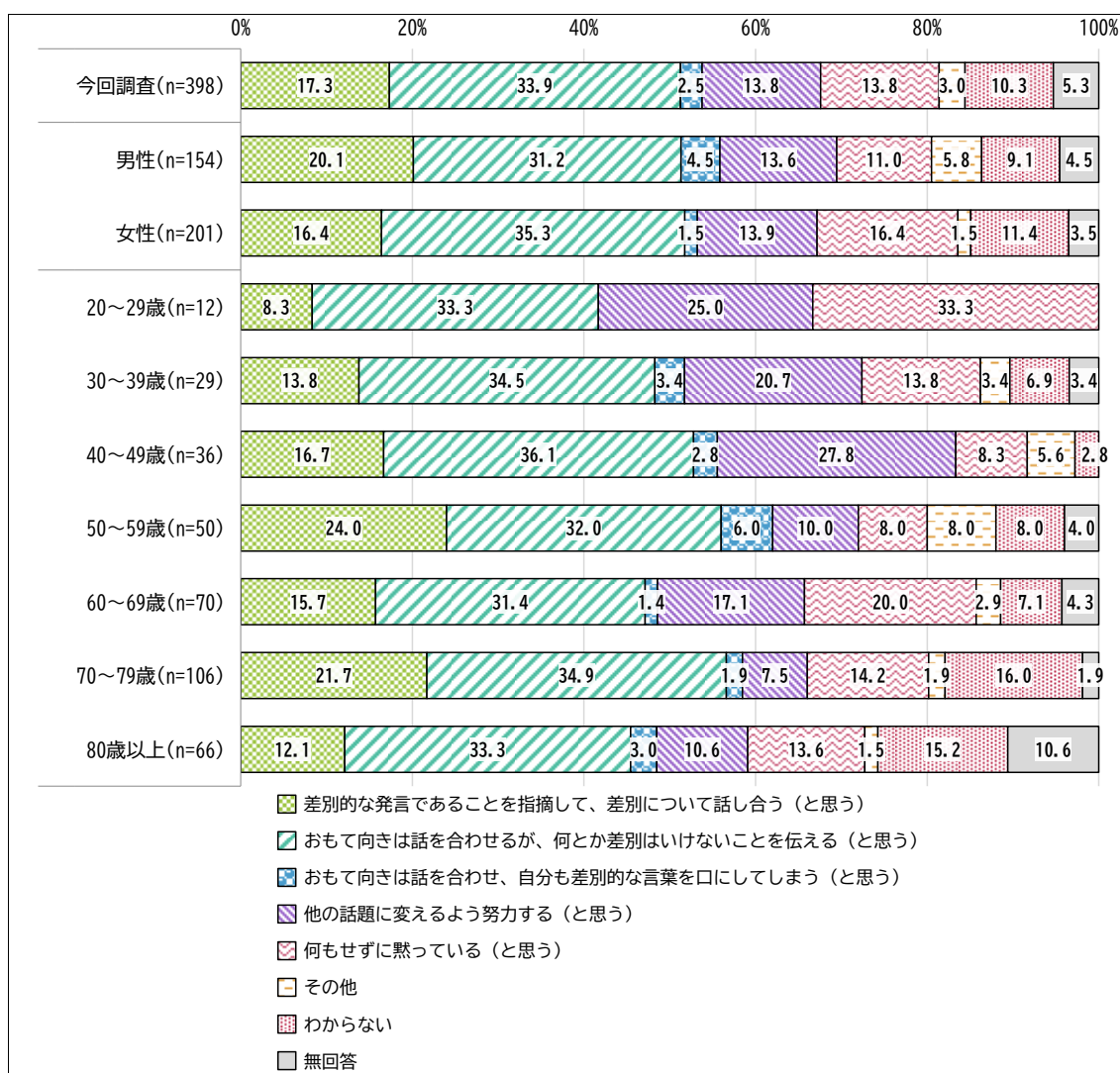


問12 学校や職場、日常生活の中で、誰かが差別的な発言をしたとき、あなたはどのような態度をとりますか。(単数回答)

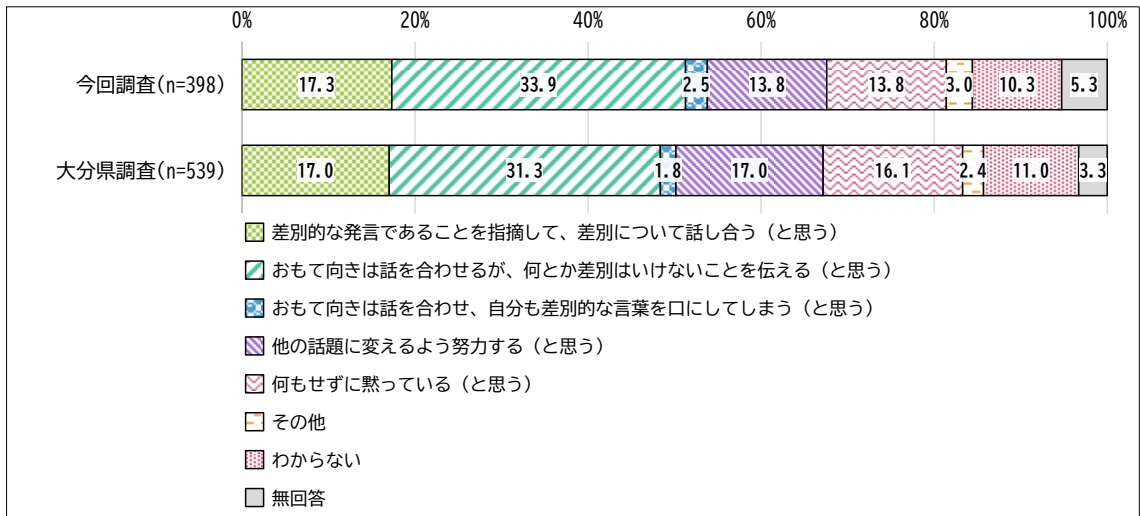
○全体では「おもて向きは話を合わせるが、何とか差別はいけないことを伝える(と思う)」が33.9%と最も高く、次いで「差別的な発言であることを指摘して、差別について話し合う(と思う)」17.3%、「他の話題に変えるよう努力する(と思う)」「何もせずに黙っている(と思う)」13.8%となっています。

○性別でみると、男女ともに「おもて向きは話を合わせるが、何とか差別はいけないことを伝える(と思う)」が最も高くなっています。

○年代別でみると、20歳代では「おもて向きは話を合わせるが、何とか差別はいけないことを伝える(と思う)」「何もせずに黙っている(と思う)」、それ以外の年代では「おもて向きは話を合わせるが、何とか差別はいけないことを伝える(と思う)」が最も高くなっています。



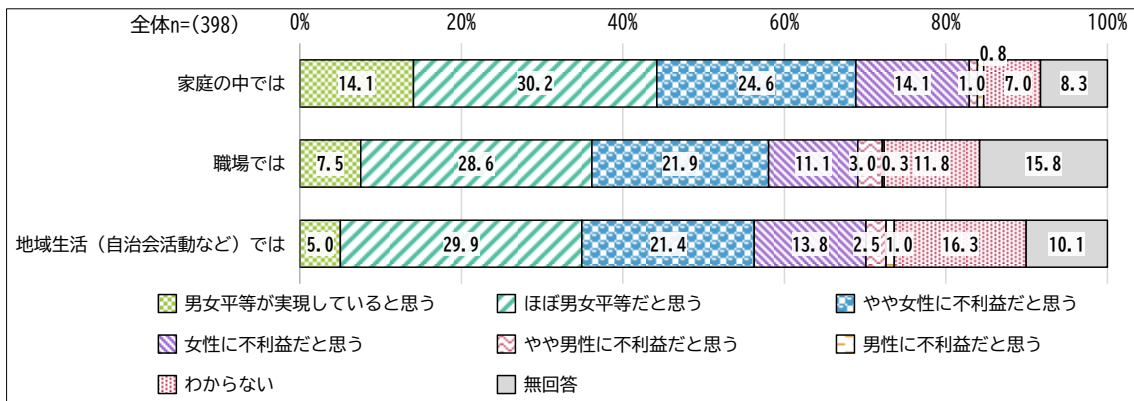
【他調査との比較】



3. 女性の人権について

問13 あなたは、男女平等が実現していると思いますか。(単数回答)

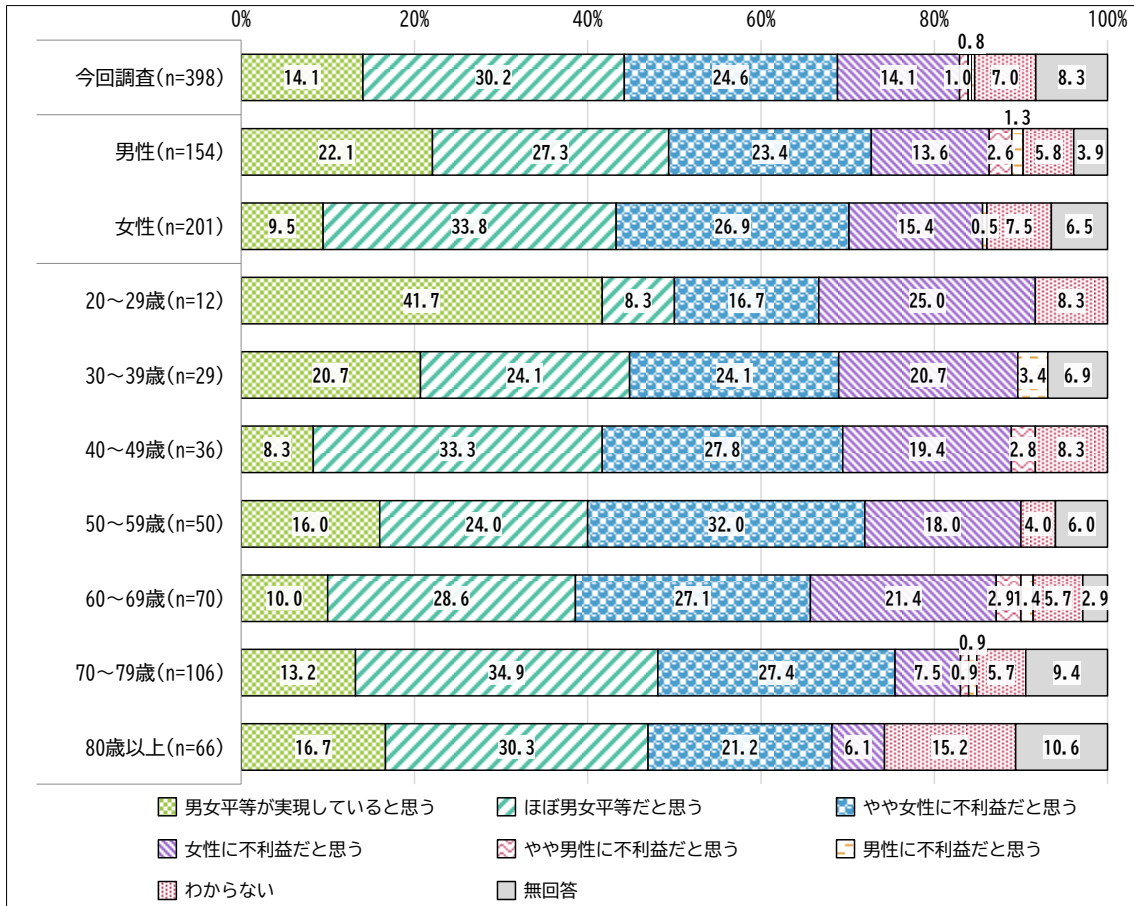
○男女平等の実現について、「男女平等と思う：男女平等が実現していると思う+ほぼ男女平等だと思う」では「家庭の中では」が44.3%と最も高く、次いで「職場では」36.1%、「地域生活（自治会活動など）では」34.9%となっています。また、「女性に不利益だと思う：やや女性に不利益だと思う+女性に不利益だと思う」がいずれも3割台となっています。



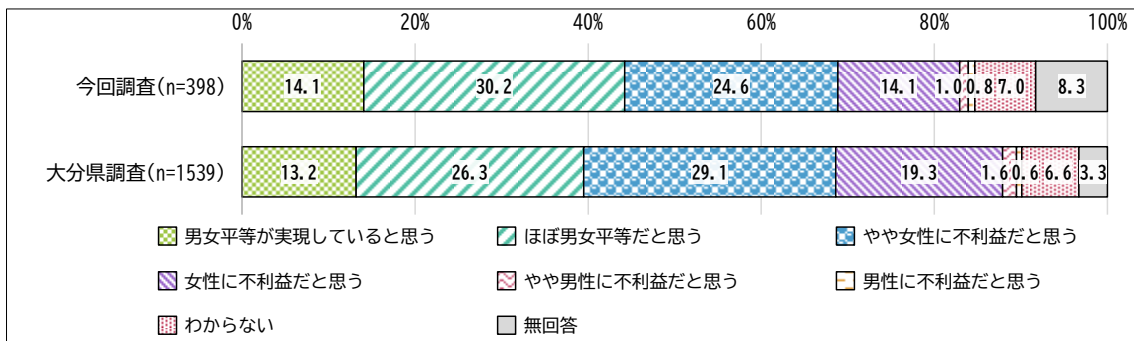
(1) 家庭の中では

○性別で見ると、男女ともに「ほぼ男女平等だと思う」が最も高くなっており、男性では女性と比べて「男女平等が実現していると思う」が12.6ポイント高くなっています。

○年代別で見ると、20歳代では「男女平等が実現していると思う」、50歳代では「やや女性に不利だと思う」、それ以外の年代では「ほぼ男女平等だと思う」が最も高くなっています。



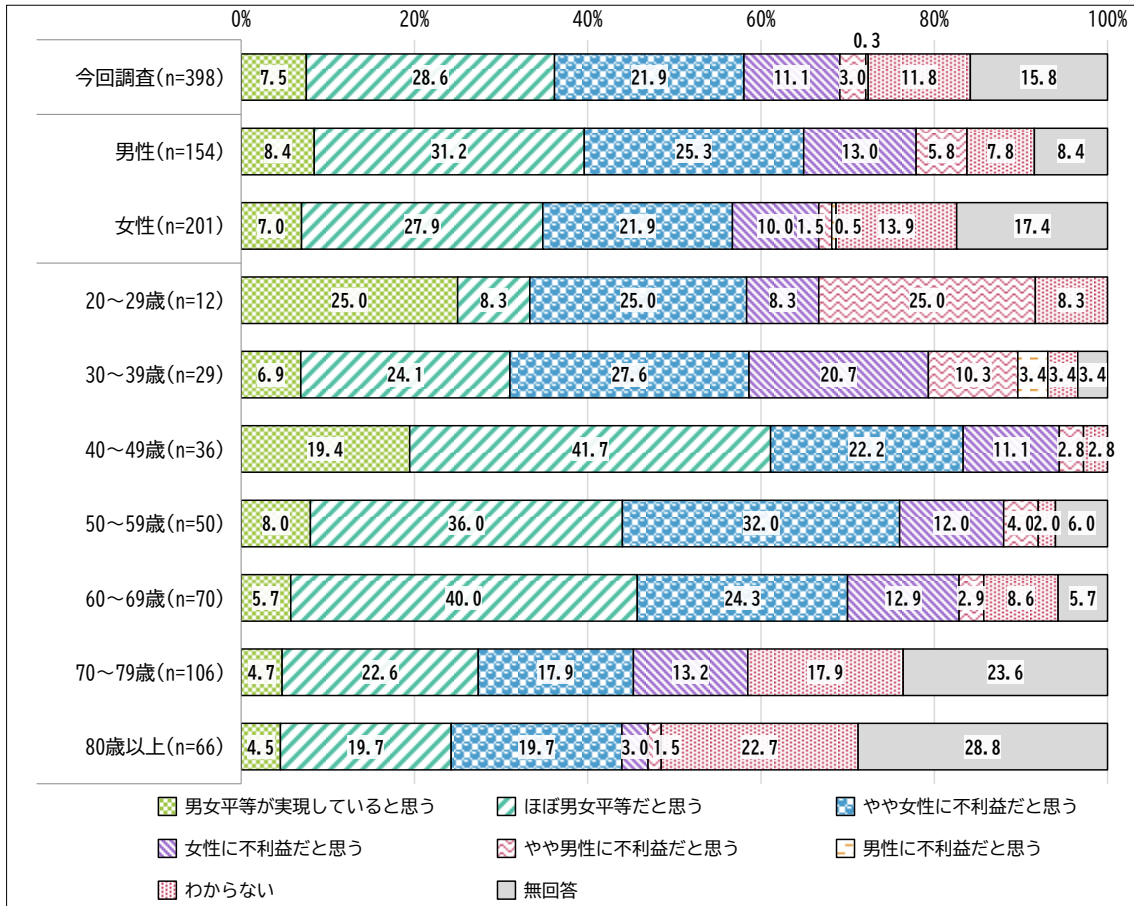
【他調査との比較】



(2) 職場では

○性別でみると、男女ともに「ほぼ男女平等だと思う」が最も高くなっています。

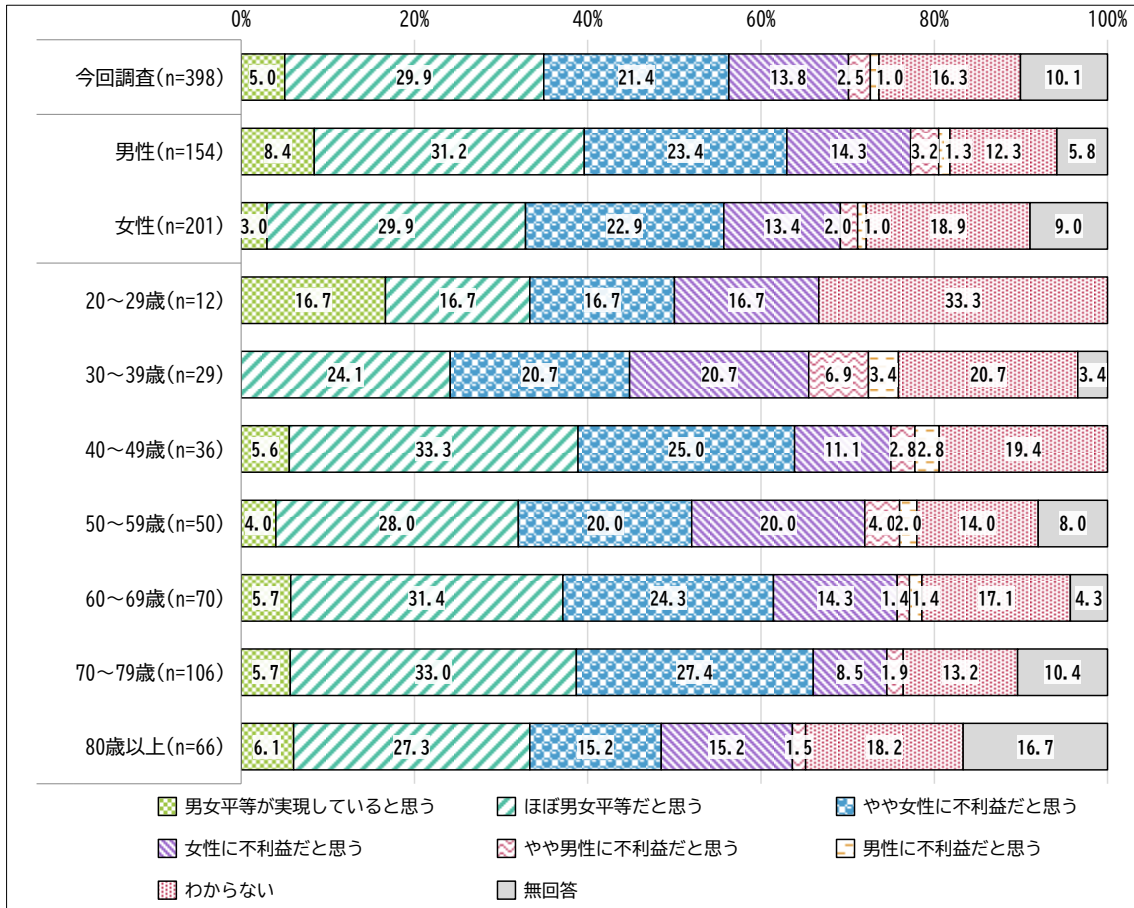
○年代別でみると、20歳代では「男女平等が実現していると思う」「女性に不利益だと思う」「やや男性に不利益だと思う」、30歳代では「やや女性に不利だと思う」、40～70歳代では「ほぼ男女平等だと思う」、80歳以上では「わからない」が最も高くなっています。



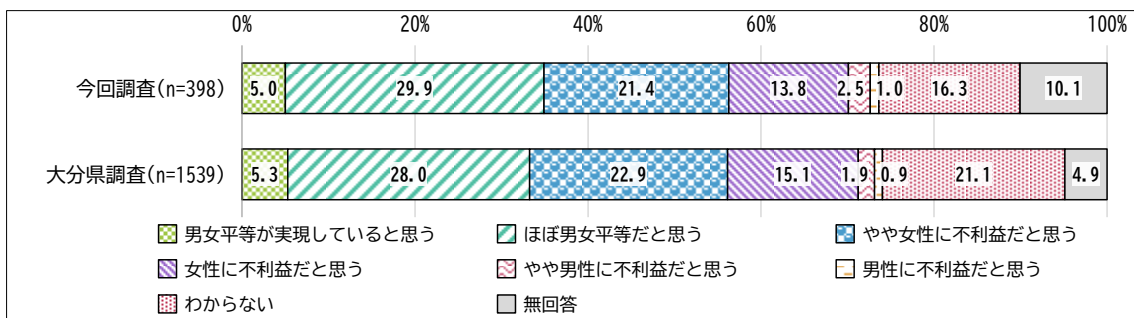
(3) 地域生活（自治会活動など）では

○性別でみると、男女ともに「ほぼ男女平等だと思う」が最も高くなっています。

○年代別でみると、20歳代では「わからない」、それ以外の年代では「ほぼ男女平等だと思う」が最も高くなっています。また、30歳代及び50～60歳代では『女性に不利益だと思う』が『男女平等だと思う』を上回っています。

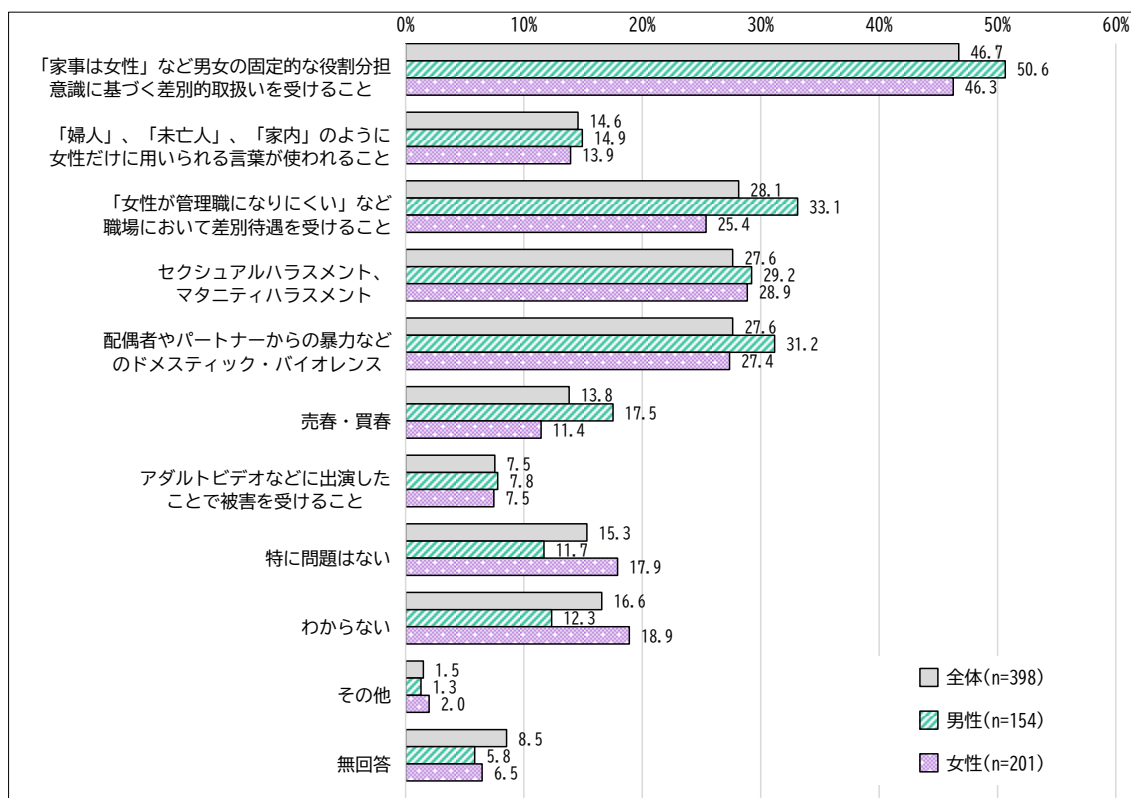


【他調査との比較】



問14 あなたは、女性に関することで、現在、どのような人権問題があると思いますか。(複数回答)

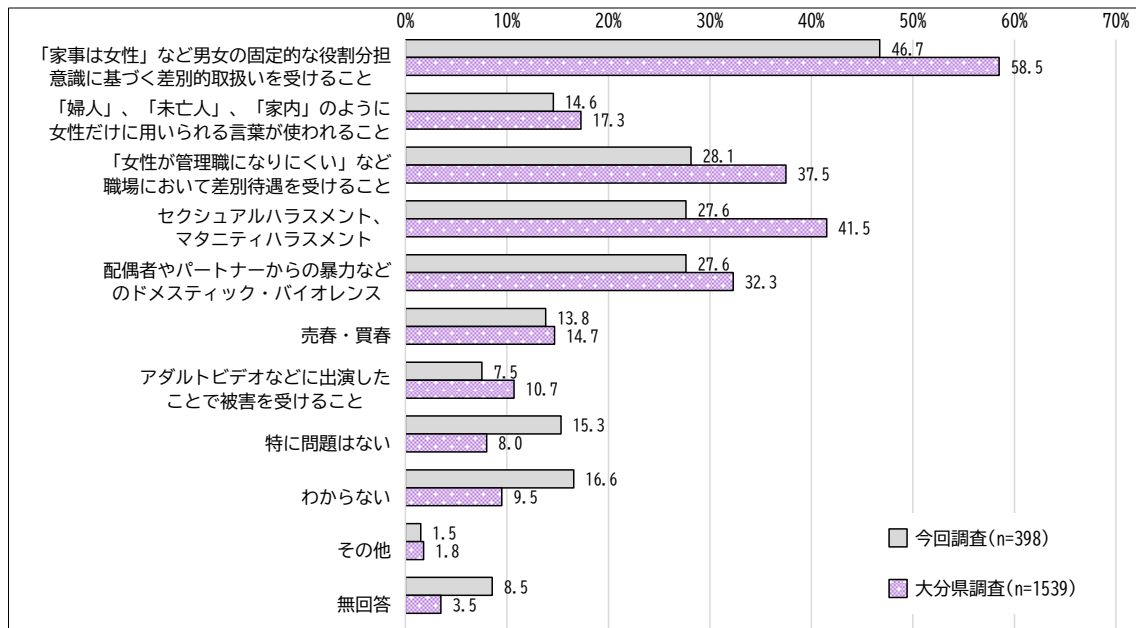
- 全体では『「家事は女性」など男女の固定的な役割分担意識に基づく差別的取扱いを受けること』が46.7%と最も高く、次いで『「女性が管理職になりにくい」など職場において差別的待遇を受けること』28.1%、「セクシャルハラスメント、マタニティハラスメント」「配偶者やパートナーからの暴力などのドメスティック・バイオレンス」27.6%となっています。
- 年代別でみると、どの年代でも『「家事は女性」など男女の固定的な役割分担意識に基づく差別的取扱いを受けること』が最も高く、特に30～50歳代では6割を超えています。また、30歳代では「女性が管理職になりにくい」など職場において差別待遇を受けること、80歳以上では「わからない」が他の年代と比べて10ポイント以上高くなっています。
- 大分県調査との比較をみると、『「家事は女性」など男女の固定的な役割分担意識に基づく差別的取扱いを受けること」「セクシャルハラスメント、マタニティハラスメント」が10ポイント以上低くなっています。



(上段：人 下段：%)

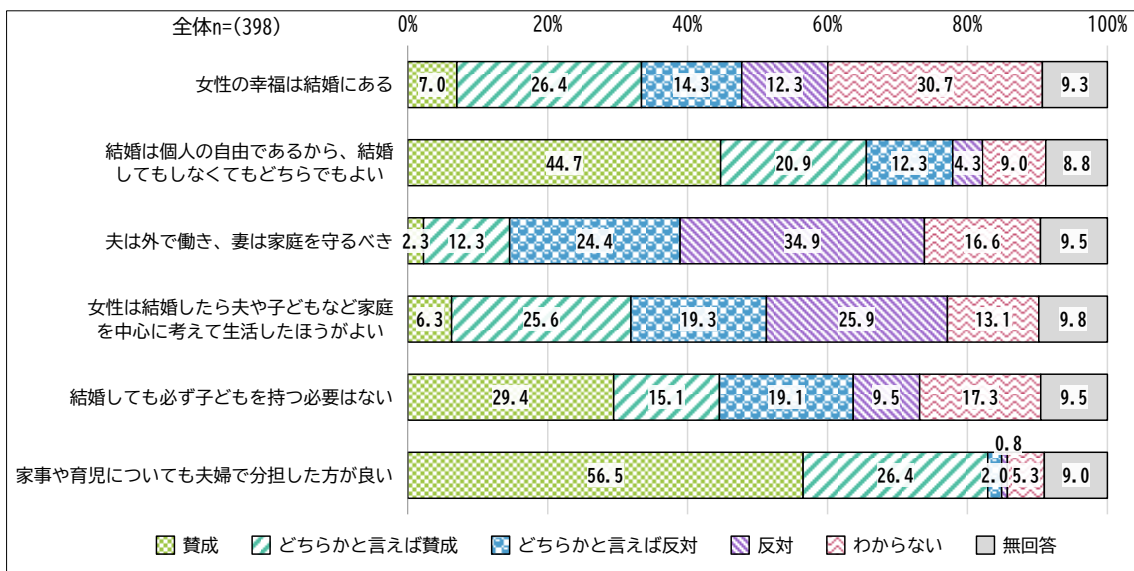
	標本数(人)	差別的な役割分担意識に基づくこと	「家事は女性」など男女の固定的な役割分担意識に基づくこと	「内」の言葉が使われること	「内」の言葉が使われること	「内」の言葉が使われること	「内」の言葉が使われること	「内」の言葉が使われること	「内」の言葉が使われること	「内」の言葉が使われること	「内」の言葉が使われること	「内」の言葉が使われること	「内」の言葉が使われること	「内」の言葉が使われること	「内」の言葉が使われること									
		186	58	112	110	110	55	30	61	66	6	34	46.7%	14.6%	28.1%	27.6%	27.6%	13.8%	7.5%	15.3%	16.6%	1.5%	8.5%	
全体(単純集計)	398	7	2	3	4	2	1	0	1	3	0	0	58.3%	16.7%	25.0%	33.3%	16.7%	8.3%	0.0%	8.3%	25.0%	0.0%	0.0%	
年代別	20~29歳	12	19	4	14	12	9	5	4	3	1	1	65.5%	13.8%	48.3%	41.4%	31.0%	17.2%	13.8%	10.3%	3.4%	3.4%	3.4%	
	30~39歳	29	22	5	12	20	19	9	6	2	4	1	0	61.1%	13.9%	33.3%	55.6%	52.8%	25.0%	16.7%	5.6%	11.1%	2.8%	0.0%
	40~49歳	36	30	7	18	23	22	7	7	3	2	1	4	60.0%	14.0%	36.0%	46.0%	44.0%	14.0%	14.0%	6.0%	4.0%	2.0%	8.0%
	50~59歳	50	34	14	19	26	24	13	7	7	11	0	3	48.6%	20.0%	27.1%	37.1%	34.3%	18.6%	10.0%	10.0%	15.7%	0.0%	4.3%
	60~69歳	70	41	10	26	15	20	8	1	22	20	2	12	38.7%	9.4%	24.5%	14.2%	18.9%	7.5%	0.9%	20.8%	18.9%	1.9%	11.3%
	70~79歳	106	25	11	13	5	8	8	3	17	20	1	4	37.9%	16.7%	19.7%	7.6%	12.1%	12.1%	4.5%	25.8%	30.3%	1.5%	6.1%
	80歳以上	66																						

【他調査との比較】



問15 結婚、家庭、出産、子育てについての考え方で、あなたのご意見にもっとも近いものはどれでしょうか。(単数回答)

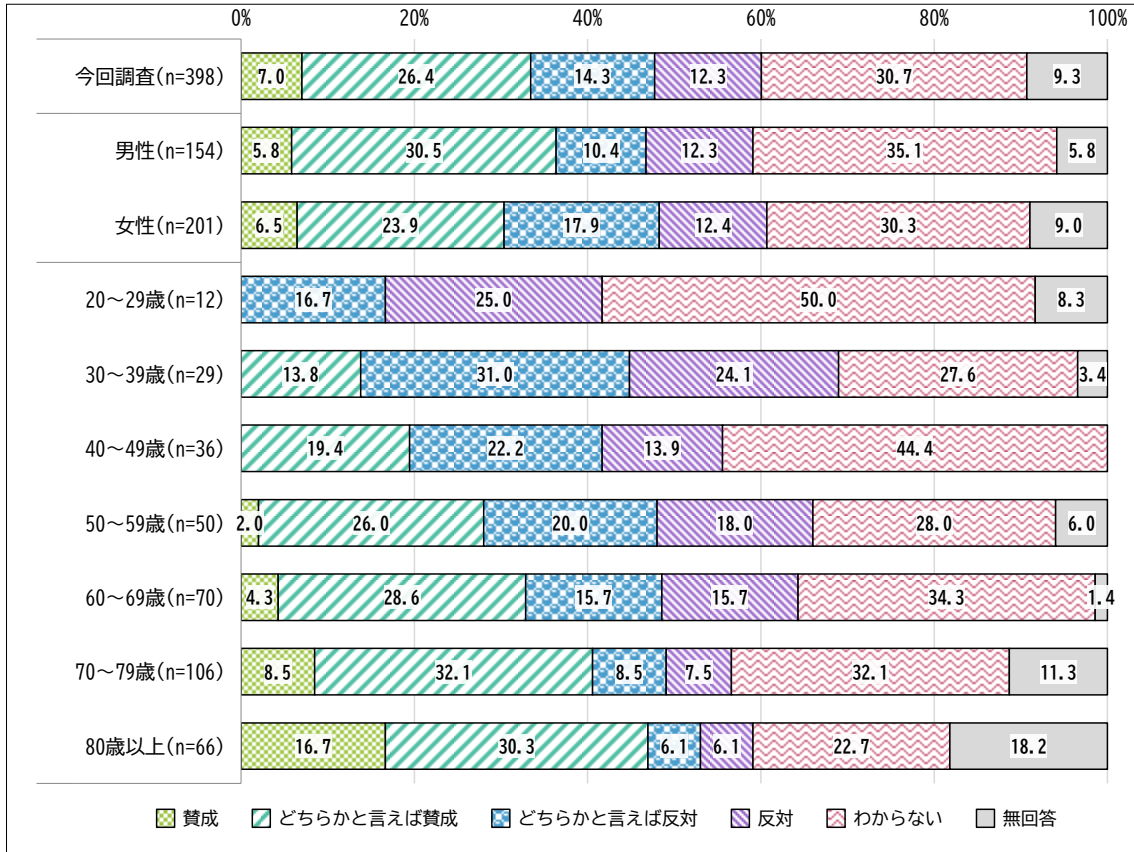
- 結婚、家庭、出産、子育て等についての考え方については、「女性の幸福は結婚にある」では「わからない」、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」「女性は結婚したら夫や子どもなど家庭を中心に考えて生活したほうがよい」では「反対」、それ以外は「賛成」が最も高くなっています。
- 「賛成：賛成+どちらかと言えば賛成」では、「家事や育児についても夫婦で分担した方がよい」が82.9%と最も高く、次いで「結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」65.6%、「結婚しても必ず子どもを持つ必要はない」44.5%となっています。
- 「反対：どちらかと言えば反対+反対」では、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」が59.3%と最も高く、次いで「女性は結婚したら夫や子どもなど家庭を中心に考えて生活したほうがよい」45.2%、「結婚しても必ず子どもを持つ必要はない」28.6%となっています。



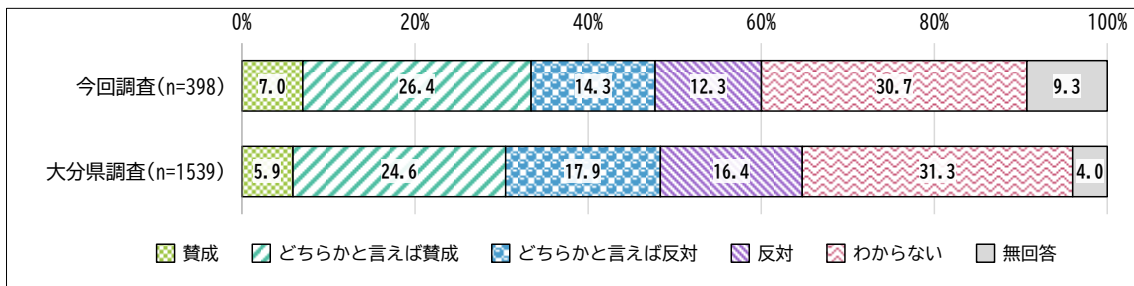
(1) 女性の幸福は結婚にある

○性別で見ると、男女ともに「わからない」が最も高くなっており、『賛成』『反対』ともに3割前後となっています。

○年代別で見ると、50歳代までは『反対』が『賛成』を上回っていますが、60歳代以上では『賛成』が『反対』を上回っており、70歳代以上では『賛成』が4割を超えています。

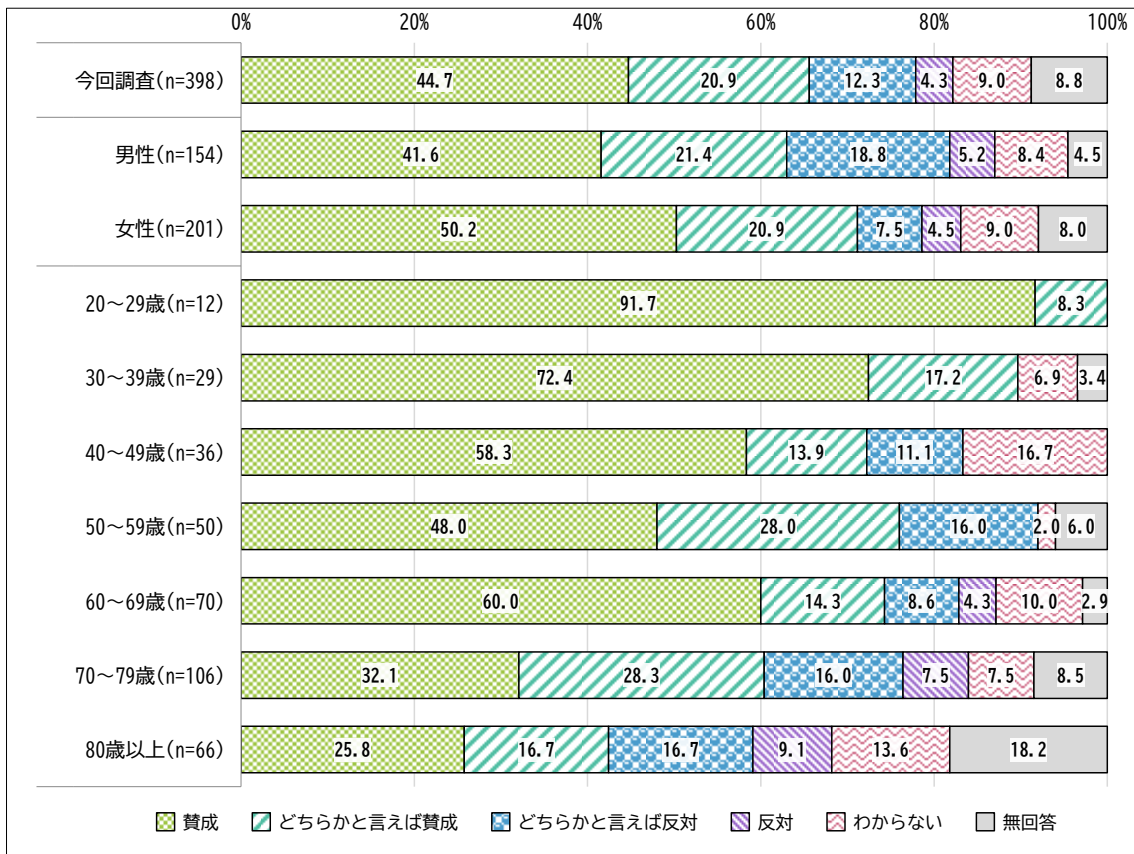


【他調査との比較】

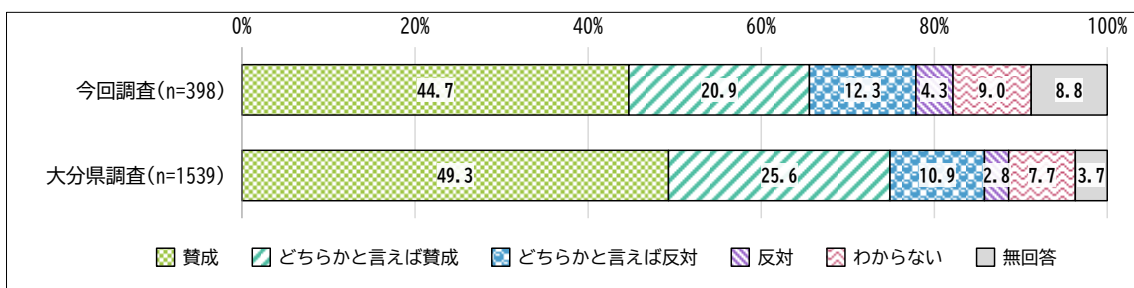


(2) 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい

- 性別で見ると、男女ともに『賛成』が6割を超えており、『反対』を上回っていますが、男性では女性と比べて『反対』が12.0ポイント高くなっています。
- 年代別で見ると、どの年代も『賛成』が『反対』を上回っていますが、70歳代以上では『反対』が2割を超えており、他の年代と比べて10ポイント以上高くなっています。



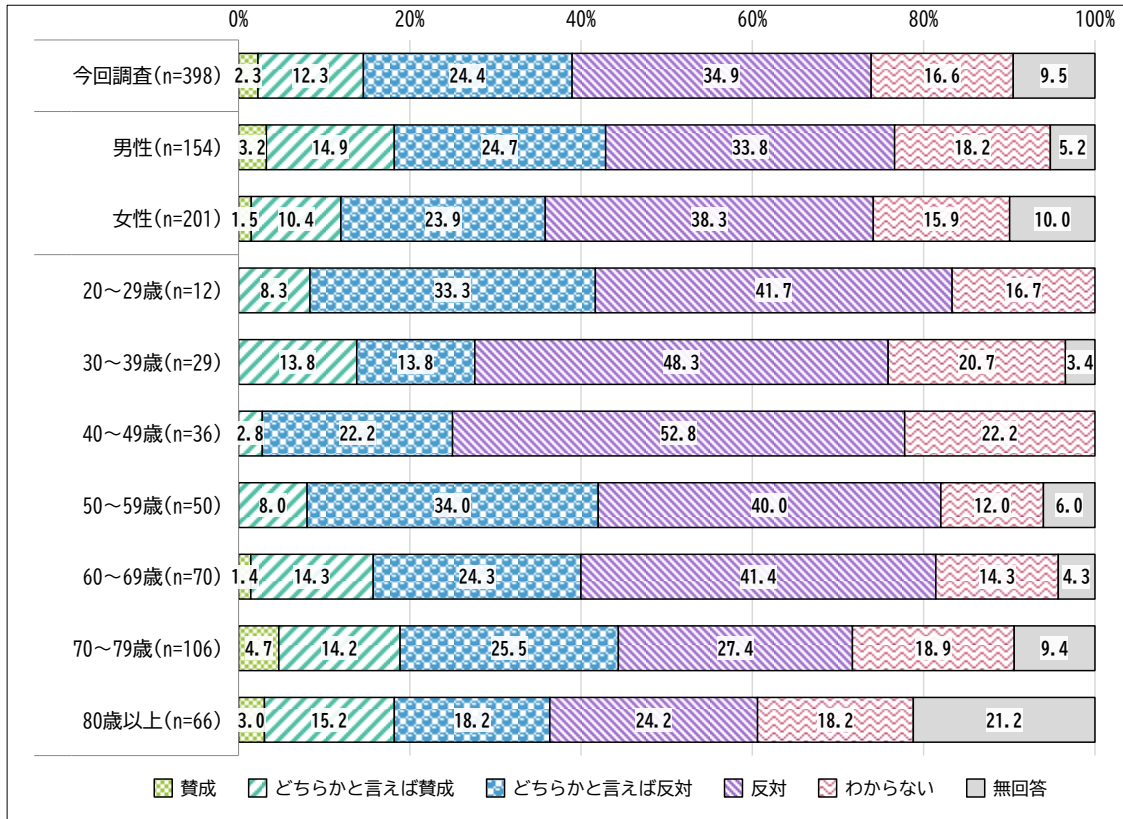
【他調査との比較】



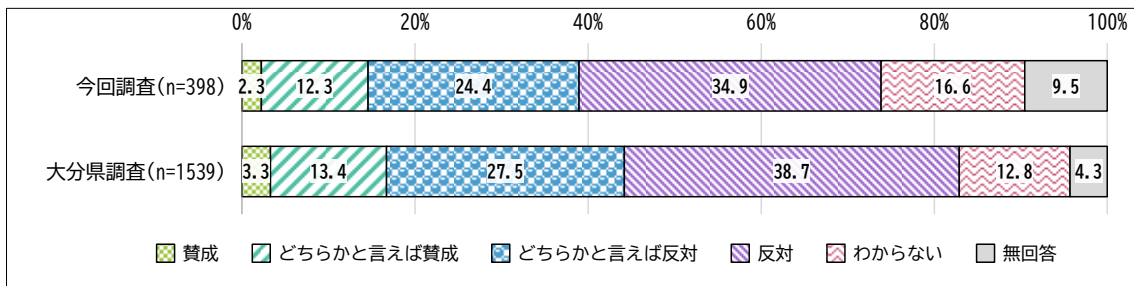
(3) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべき

○性別で見ると、男女ともに約6割は『反対』と回答しています。

○年代別で見ると、どの年代も『反対』が『賛成』を上回っており、特に20歳代及び40～50歳代では7割を超えています。70歳代では5割台、80歳以上では4割台と年代が高くなるにつれて低くなっています。



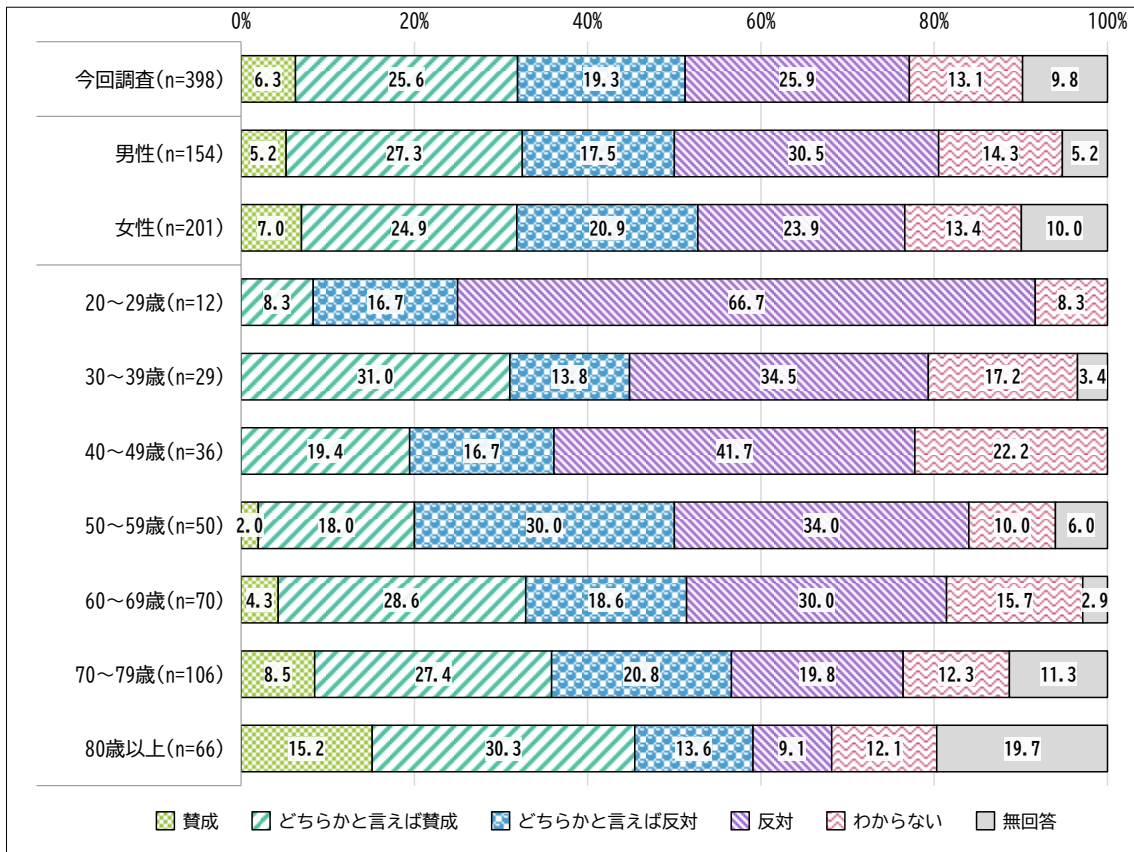
【他調査との比較】



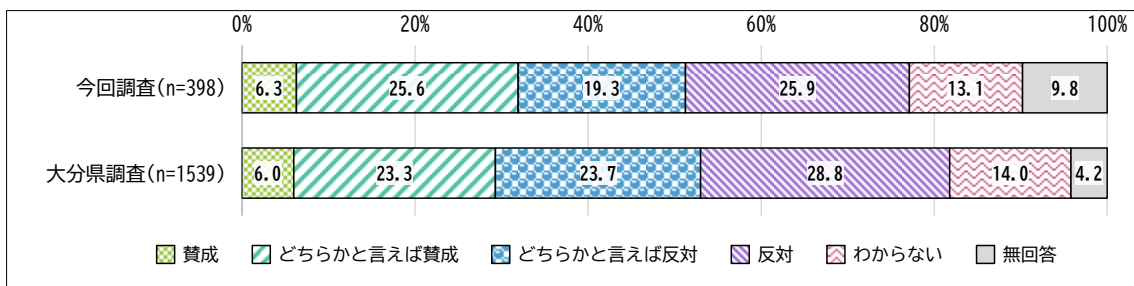
(4) 女性は結婚したら夫や子どもなど家庭を中心に考えて生活したほうがよい

○性別で見ると、男女ともに『反対』が『賛成』を上回っており、『反対』が4割を超えています。

○年代別で見ると、70歳代までは『反対』が『賛成』を上回っていますが、80歳以上では『賛成』が『反対』を上回っています。



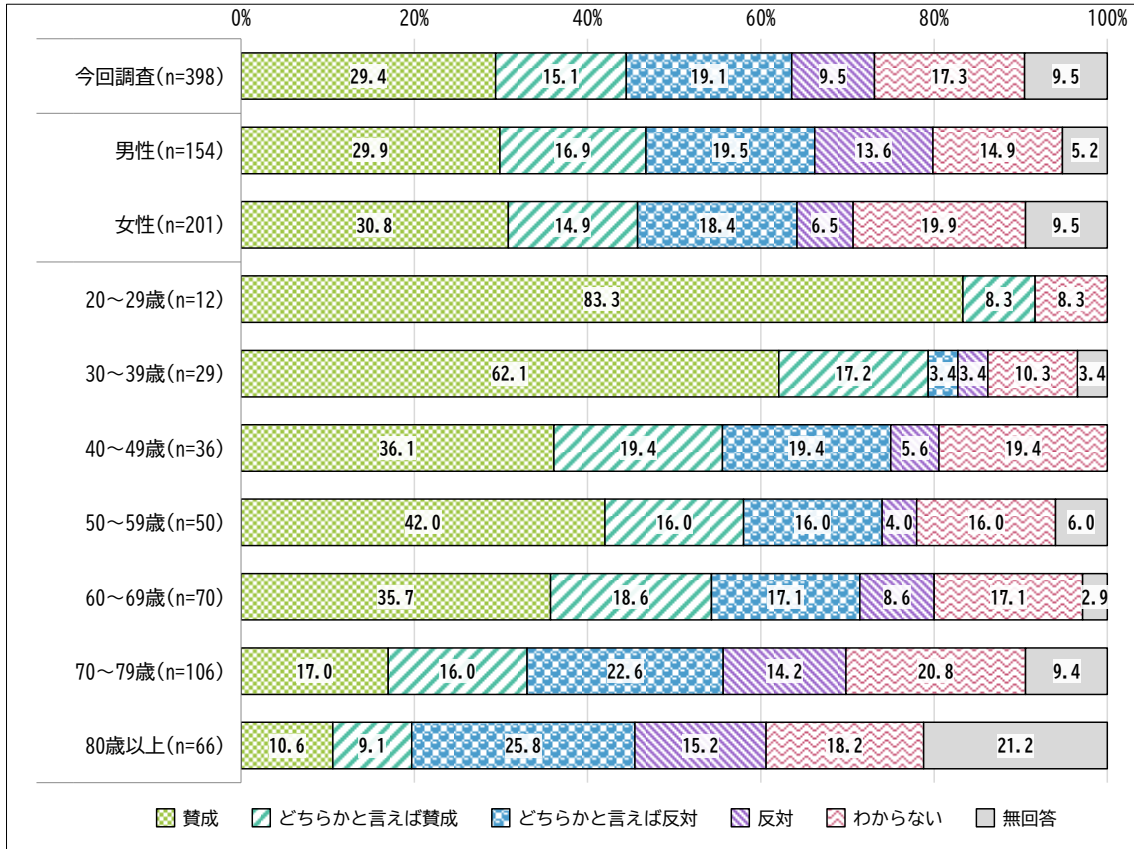
【他調査との比較】



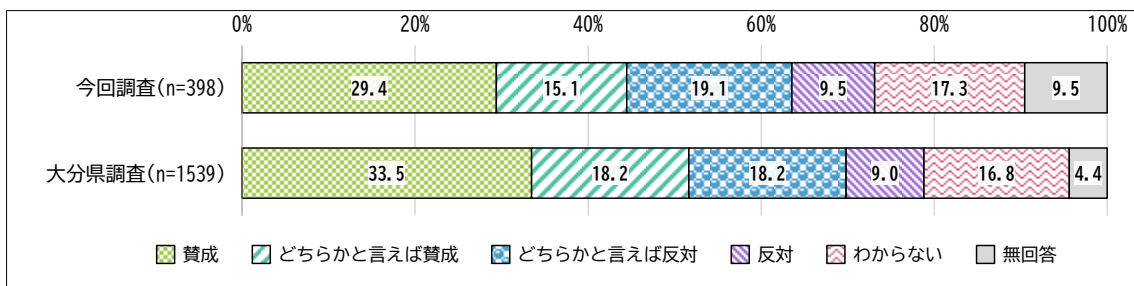
(5) 結婚しても必ず子どもを持つ必要はない

○性別で見ると、男女ともに『賛成』が『反対』を上回っており、『賛成』が4割を超えています。

○年代別で見ると、60歳代までは『賛成』が『反対』を上回っていますが、70歳代では『賛成』『反対』がともに3割台、80歳以上では『反対』が『賛成』を上回っています。



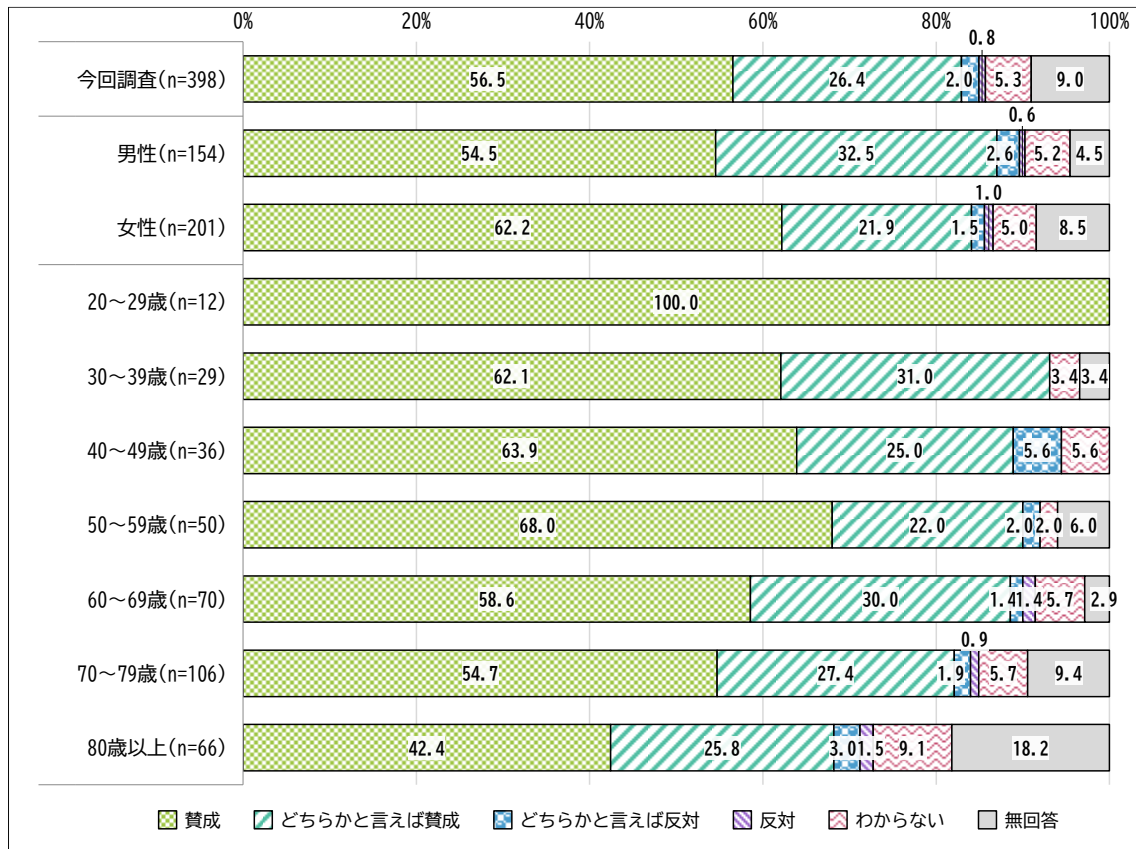
【他調査との比較】



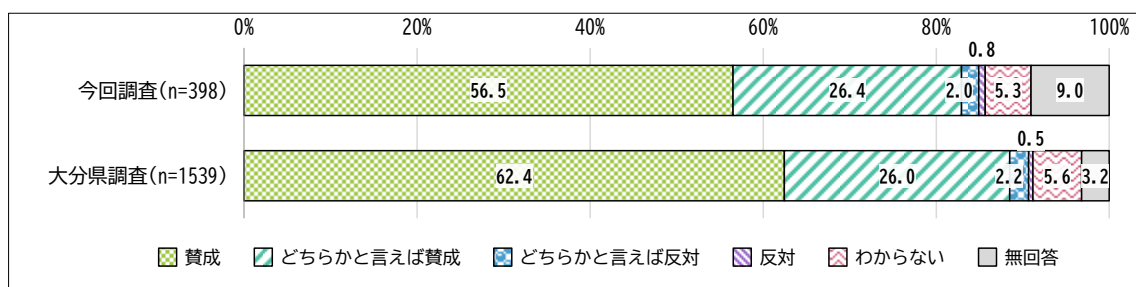
(6) 家事や育児についても夫婦で分担した方が良い

○性別で見ると、男女ともに『賛成』が8割を超えています。

○年代別で見ると、どの年代も『賛成』が7割を超えており、『反対』を大きく上回っています。

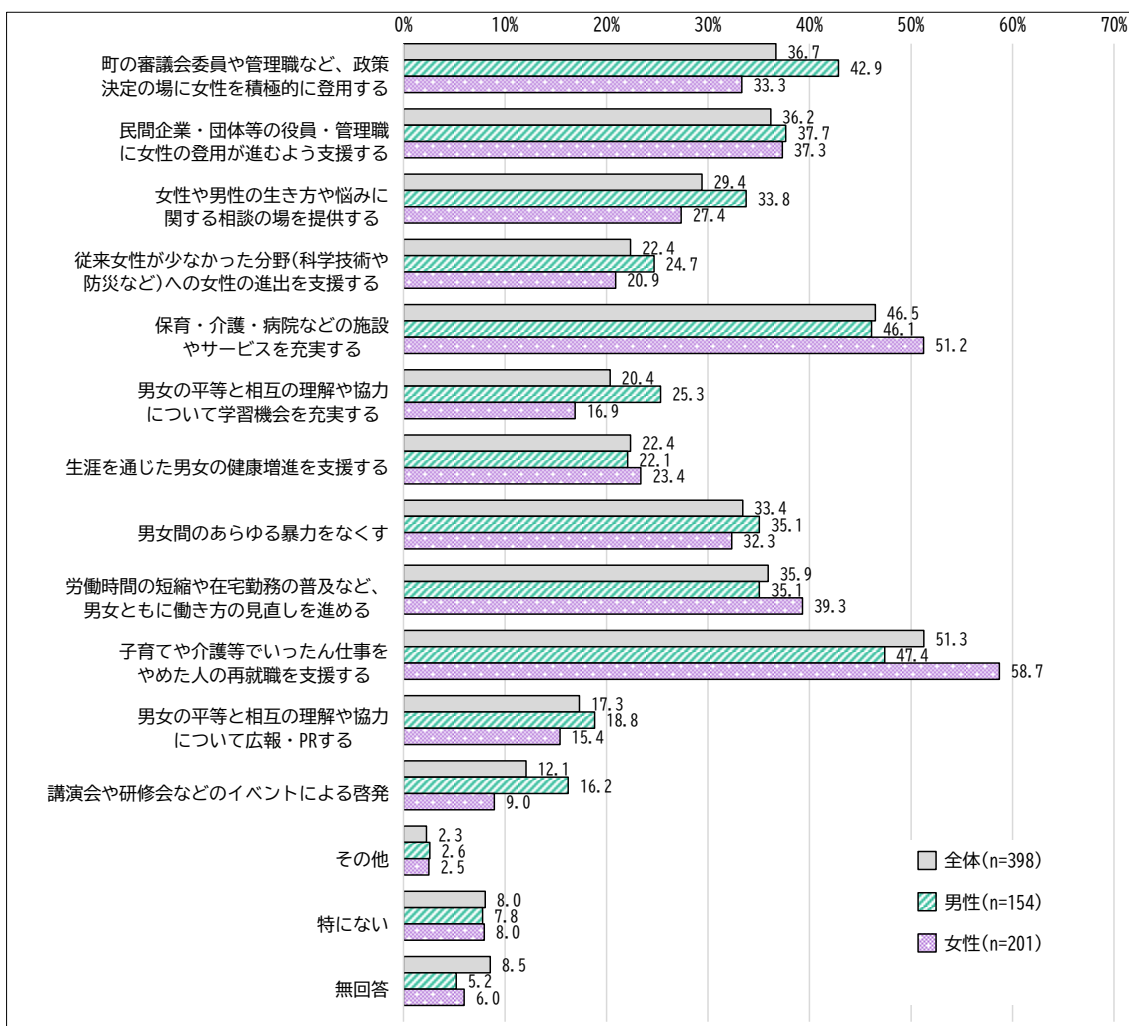


【他調査との比較】



問16 あなたは、女性の人権問題の解決に必要なことはどのようなことだと思いますか。(複数回答)

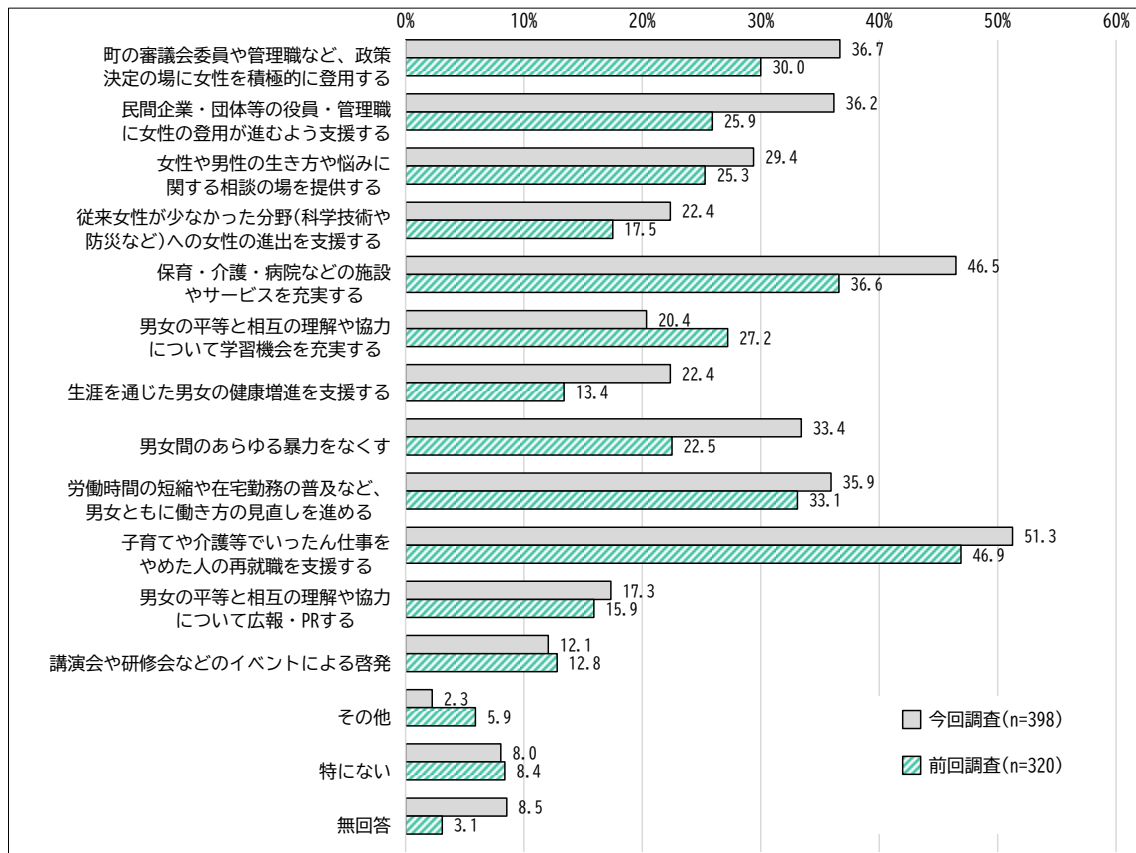
- 全体では「子育てや介護等でいったん仕事をやめた人の再就職を支援する」が51.3%と最も高く、次いで「保育・介護・病院などの施設やサービスを充実する」46.5%、「町の審議会委員や管理職など、政策決定の場に女性を積極的に登用する」36.7%となっています。
- 性別で見ると、男女ともに「子育てや介護等でいったん仕事をやめた人の再就職を支援する」が最も高く、女性では男性と比べて11.3ポイント高くなっています。
- 年代別で見ると、30歳代では「労働時間の短縮や在宅勤務の普及など、男女ともに働き方の見直しを進める」、50歳代では「保育・介護・病院などの施設やサービスを充実する」、80歳以上では「保育・介護・病院などの施設やサービスを充実する」「子育てや介護等でいったん仕事をやめた人の再就職を支援する」が同率、それ以外の年代では「子育てや介護等でいったん仕事をやめた人の再就職を支援する」が最も高くなっています。
- 前回調査との比較をみると、「民間企業・団体等の役員・管理職に女性の登用が進むよう支援する」「男女間のあらゆる暴力をなくす」が10ポイント以上高くなっています。



(上段：人 下段：%)

	標本数(人)	極	町	支	民	関	女	女	従	保	る	男	を	生	す	男	の	労	事	子	力	男	講	そ	特	無		
		的	の	理	間	性	性	性	性	来	育	力	女	生	女	女	普	及	を	育	に	女	演	他	に	回		
全体 (単純集計)	398	146 36.7%	144 36.2%	117 29.4%	89 22.4%	185 46.5%	81 20.4%	89 22.4%	133 33.4%	143 35.9%	204 51.3%	69 17.3%	48 12.1%	9 2.3%	32 8.0%	34 8.5%												
年 代 別	20~29歳	12	5 41.7%	5 41.7%	4 33.3%	2 16.7%	5 41.7%	4 33.3%	1 8.3%	3 25.0%	5 41.7%	6 50.0%	2 16.7%	3 25.0%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%											
	30~39歳	29	11 37.9%	14 48.3%	11 37.9%	6 20.7%	11 37.9%	7 24.1%	4 13.8%	7 24.1%	15 51.7%	12 41.4%	3 10.3%	3 10.3%	1 3.4%	3 10.3%	1 3.4%											
	40~49歳	36	13 36.1%	14 38.9%	12 33.3%	10 27.8%	21 58.3%	5 13.9%	6 16.7%	12 33.3%	14 38.9%	21 58.3%	8 22.2%	5 13.9%	3 8.3%	2 5.6%	0 0.0%											
	50~59歳	50	23 46.0%	20 40.0%	20 40.0%	11 22.0%	25 50.0%	11 22.0%	8 16.0%	17 34.0%	19 38.0%	24 48.0%	13 26.0%	9 18.0%	1 2.0%	0 0.0%	4 8.0%											
	60~69歳	70	26 37.1%	29 41.4%	26 37.1%	15 21.4%	37 52.9%	14 20.0%	14 20.0%	24 34.3%	30 42.9%	43 61.4%	11 15.7%	8 11.4%	1 1.4%	6 8.6%	2 2.9%											
	70~79歳	106	37 34.9%	37 34.9%	26 24.5%	26 24.5%	49 46.2%	20 18.9%	32 30.2%	35 33.0%	35 33.0%	60 56.6%	19 17.9%	11 10.4%	1 0.9%	12 11.3%	9 8.5%											
	80歳以上	66	20 30.3%	17 25.8%	13 19.7%	12 18.2%	30 45.5%	14 21.2%	19 28.8%	27 40.9%	18 27.3%	30 45.5%	7 10.6%	6 9.1%	2 3.0%	6 9.1%	9 13.6%											

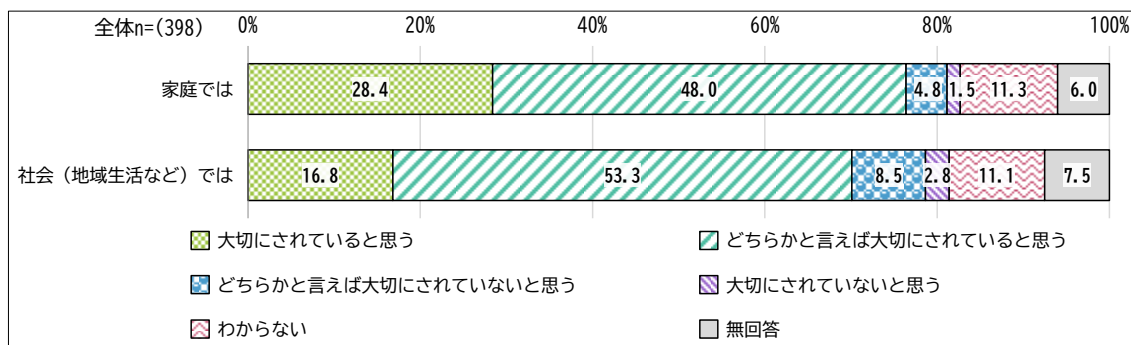
【他調査との比較】



4. 高齢者の人権について

問17 今の高齢者の状況をどう感じていますか。(単数回答)

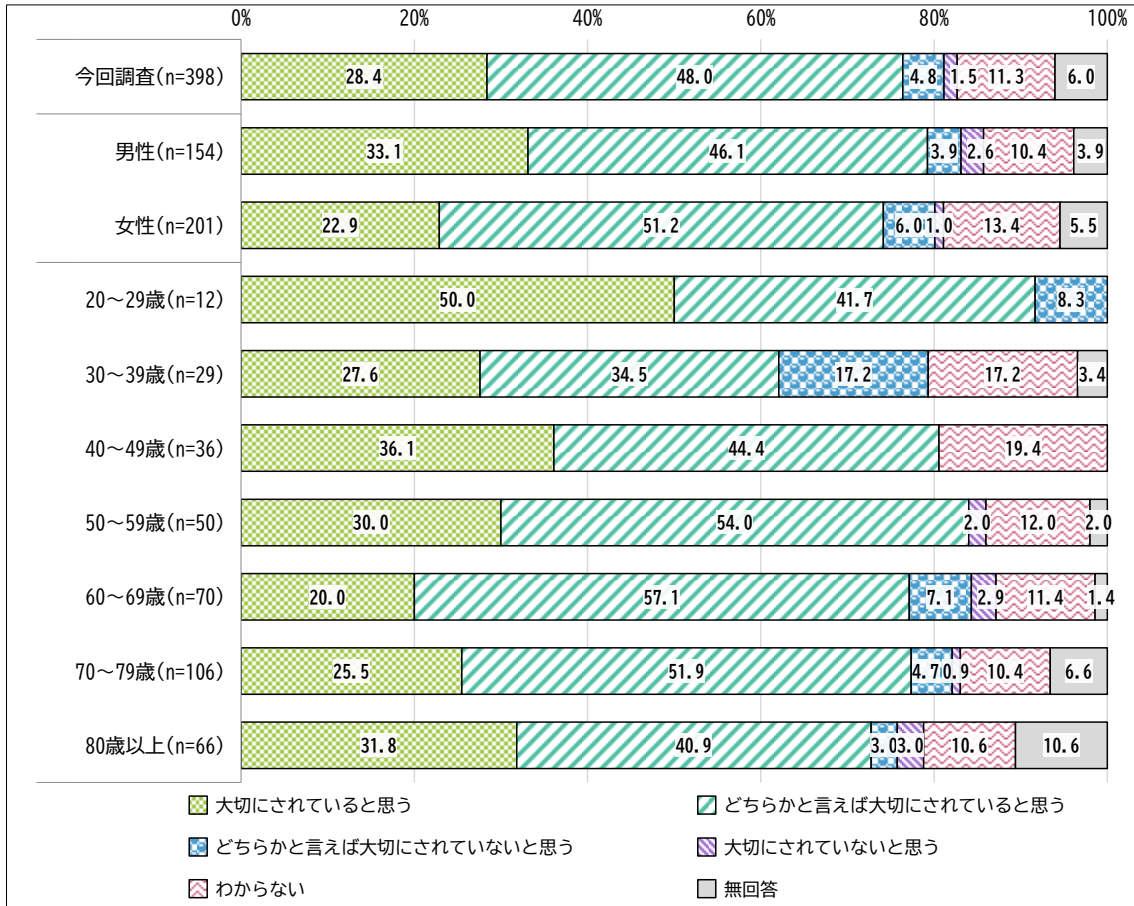
○現在の高齢者の状況については、「大切にされていると思う：大切にされていると思う＋どちらかと言えば大切にされていると思う」がいずれも7割を超えており、7割が「今の高齢者は家庭・社会において大切にされていると思う」と回答しています。



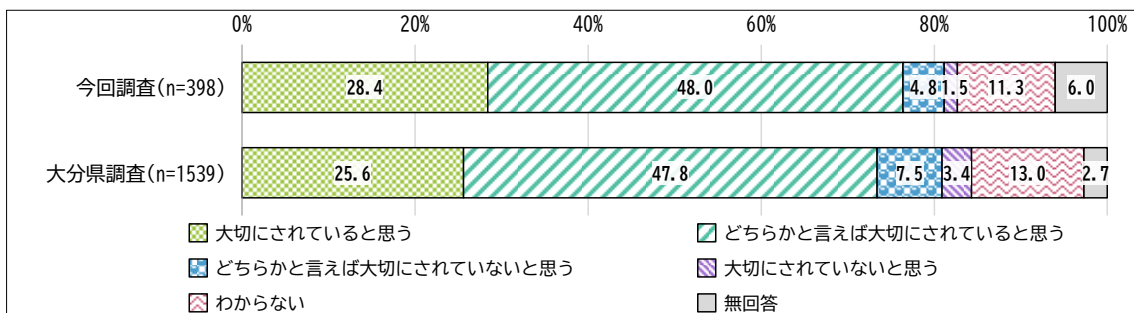
(1) 家庭では

○性別で見ると、男女ともに約7割が『大切にされていると思う』と回答しています。

○年代別で見ると、どの年代も『大切にされていると思う』が『大切にされていないと思う』を大きく上回っており、特に20歳代及び40～50歳代では8割を超えています。



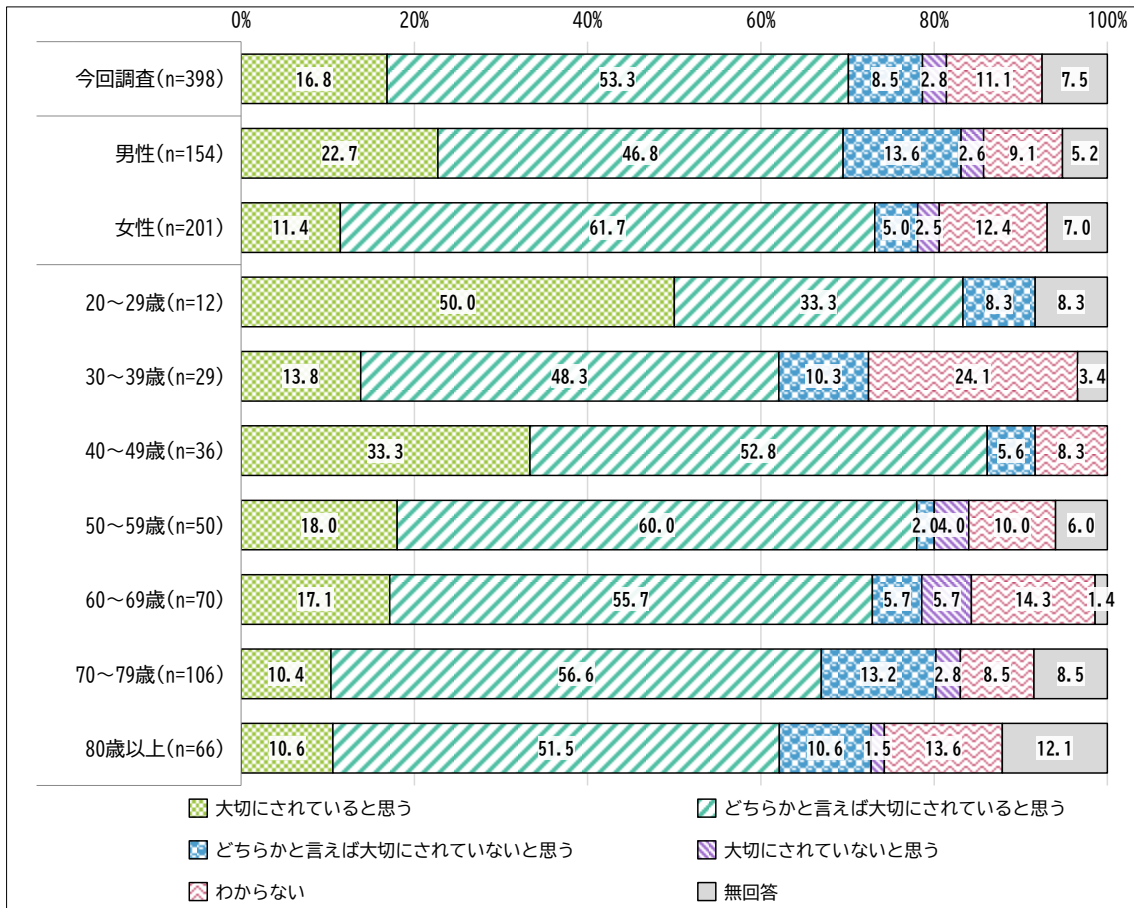
【他調査との比較】



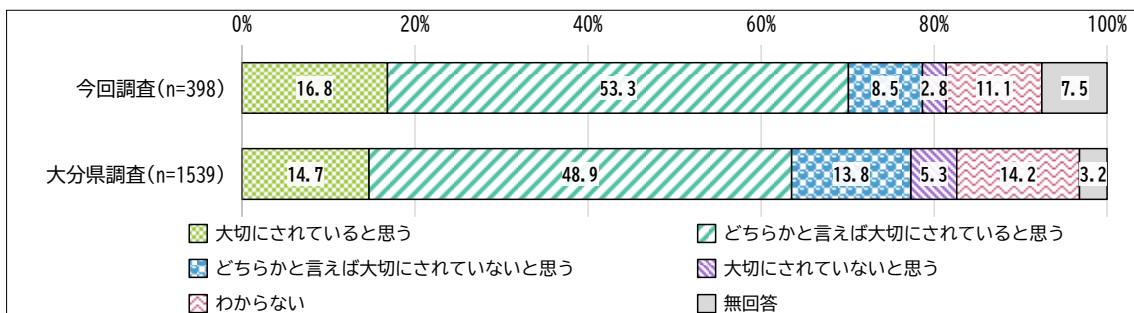
(2) 社会（地域生活など）では

○性別で見ると、男女ともに『大切にされていると思う』が7割を超えています。

○年代別で見ると、どの年代も『大切にされていると思う』が『大切にされていないと思う』を大きく上回っており、特に20歳代及び40歳代では8割を超えています。

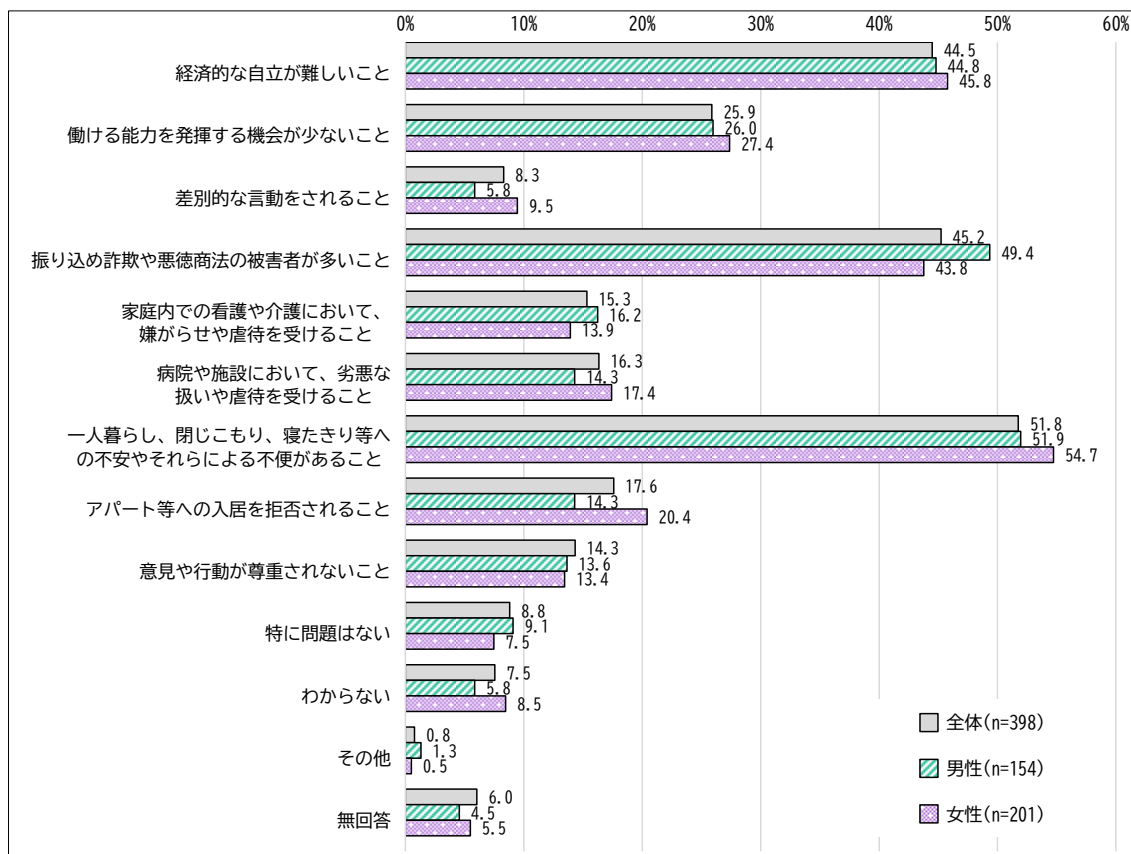


【他調査との比較】



問18 あなたは、高齢者に関することで、現在、どのような人権問題があると思いますか。(複数回答)

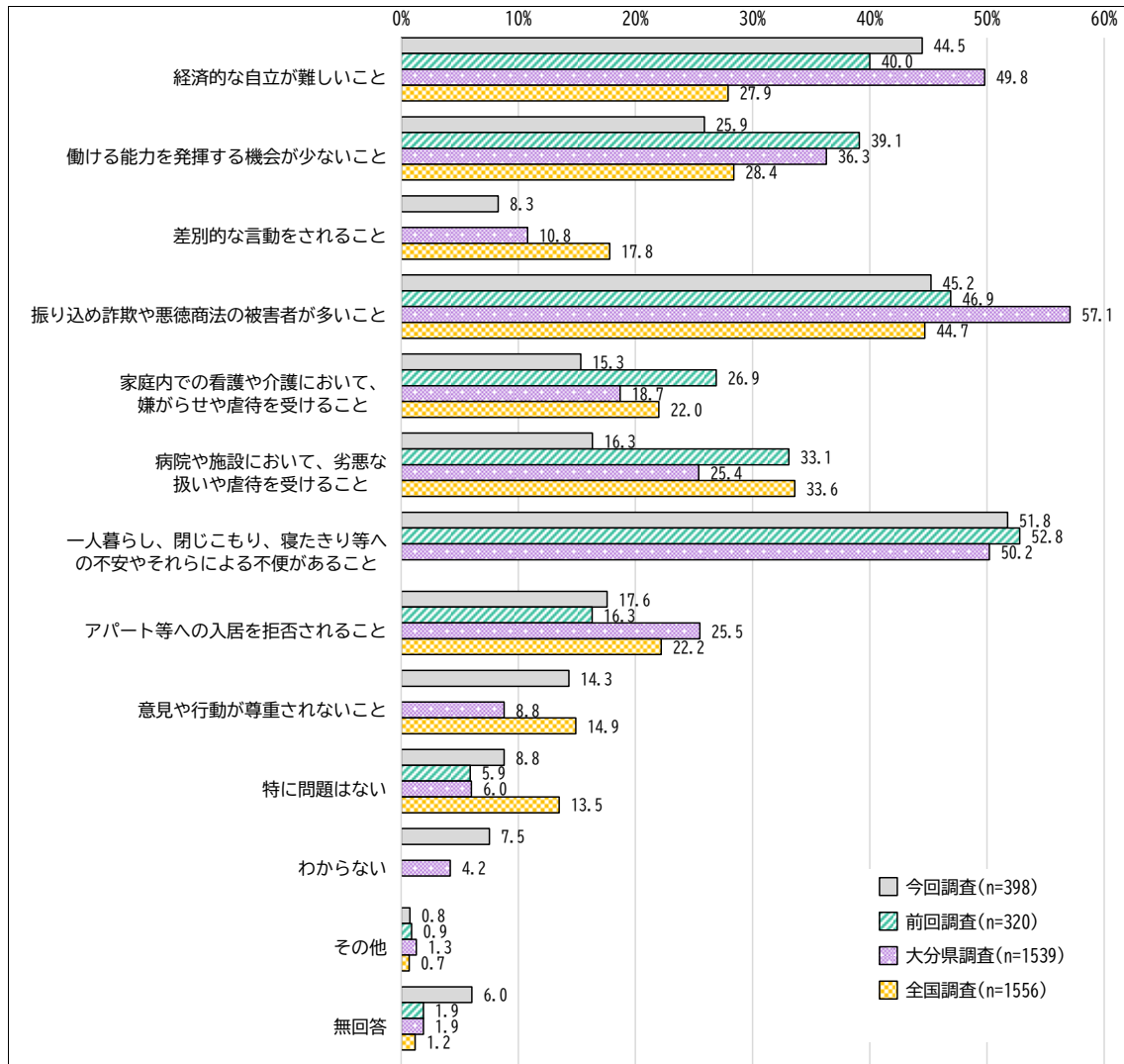
- 全体では「一人暮らし、閉じこもり、寝たきり等への不安やそれらによる不便があること」が51.8%と最も高く、次いで「振り込め詐欺や悪徳商法の被害者が多いこと」45.2%、「経済的な自立が難しいこと」44.5%となっています。
- 性別でも、男女ともに「一人暮らし、閉じこもり、寝たきり等への不安やそれらによる不便があること」が最も高くなっています。
- 年代別で見ると、30～40歳代では「振り込め詐欺や悪徳商法の被害者が多いこと」、それ以外の年代では「一人暮らし、閉じこもり、寝たきり等への不安やそれらによる不便があること」が最も高くなっています。また、30歳代では「家庭内での看護や介護において、嫌がらせや虐待を受けること」が他の年代と比べて高くなっています。
- 前回調査との比較をみると、「働ける能力を発揮する機会が少ないこと」「家庭内での看護や介護において、嫌がらせや虐待を受けること」「病院や施設において、劣悪な扱いや虐待を受けること」が10ポイント以上低くなっています。
- 大分県調査との比較をみると、「振り込め詐欺や悪徳商法の被害者が多いこと」が11.9ポイント低くなっています。
- 全国調査との比較をみると、「経済的な自立が難しいこと」が高く、「病院や施設において、劣悪な扱いや虐待を受けること」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。



(上段：人 下段：%)

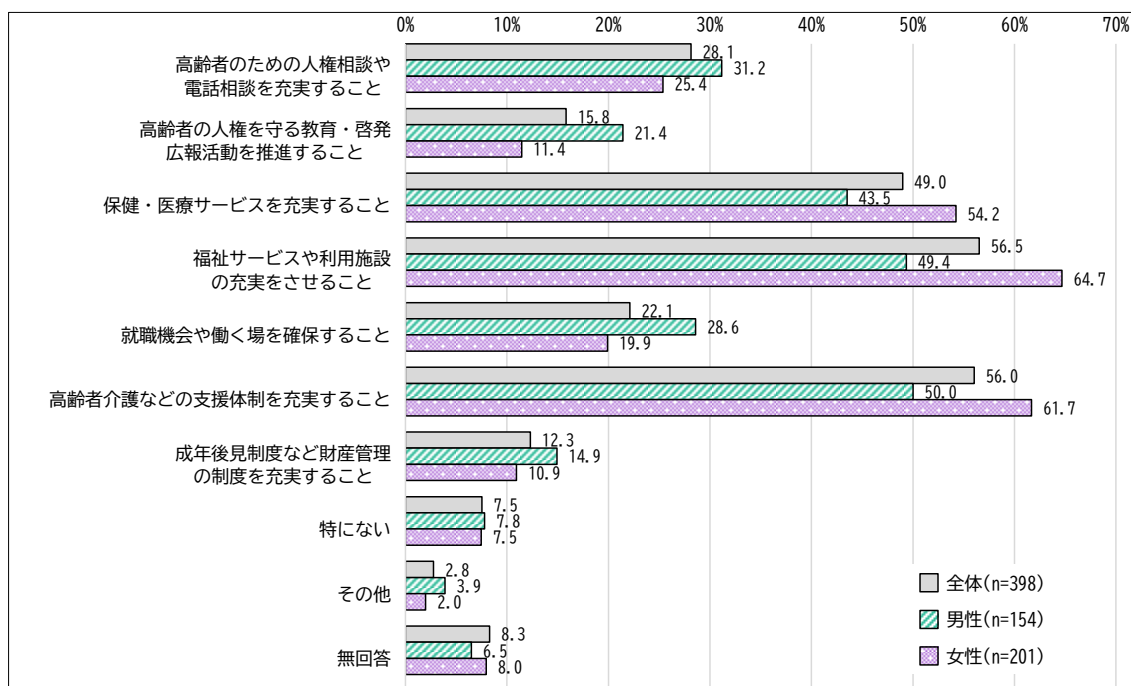
		経済的な自立が難しいこと	働ける能力を発揮する機会が少ないこと	差別的な言動をされること	振り込み詐欺や悪徳商法の被害者が多いこと	家庭内での看護や介護において、嫌がらせや虐待を受けること	病院や施設において、劣悪な扱いや虐待を受けること	一人暮らし、閉じこもり、寝たきり等への不安やそれらによる不便があること	アパート等への入居を拒否されること	意見や行動が尊重されないこと	特に問題はない	わからない	その他	無回答
全体 (単純集計)		177 44.5%	103 25.9%	33 8.3%	180 45.2%	61 15.3%	65 16.3%	206 51.8%	70 17.6%	57 14.3%	35 8.8%	30 7.5%	3 0.8%	24 6.6%
年代別	20~29歳	12 25.0%	2 16.7%	0 0.0%	5 41.7%	2 16.7%	3 25.0%	9 75.0%	2 16.7%	1 8.3%	1 8.3%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%
	30~39歳	29 27.6%	8 27.6%	2 6.9%	16 55.2%	10 34.5%	6 20.7%	14 48.3%	6 20.7%	3 10.3%	1 3.4%	5 17.2%	0 0.0%	0 0.0%
	40~49歳	36 44.4%	12 33.3%	2 5.6%	24 66.7%	8 22.2%	4 11.1%	22 61.1%	6 16.7%	5 13.9%	0 0.0%	2 5.6%	1 2.8%	0 0.0%
	50~59歳	50 54.0%	20 40.0%	5 10.0%	26 52.0%	11 22.0%	13 26.0%	33 66.0%	11 22.0%	6 12.0%	1 2.0%	0 0.0%	1 2.0%	1 2.0%
	60~69歳	70 54.3%	23 32.9%	8 11.4%	35 50.0%	7 10.0%	12 17.1%	40 57.1%	15 21.4%	13 18.6%	3 4.3%	6 8.6%	0 0.0%	3 4.3%
	70~79歳	106 42.5%	24 22.6%	8 7.5%	43 40.6%	13 12.3%	15 14.2%	48 45.3%	16 15.1%	15 14.2%	14 13.2%	8 7.5%	0 0.0%	7 6.6%
	80歳以上	66 43.9%	9 13.6%	5 7.6%	23 34.8%	6 9.1%	9 13.6%	30 45.5%	9 13.6%	10 15.2%	9 13.6%	7 10.6%	1 1.5%	8 12.1%

【他調査との比較】



問19 あなたは、高齢者の人権問題の解決に必要なことはどのようなことだと思いますか。(複数回答)

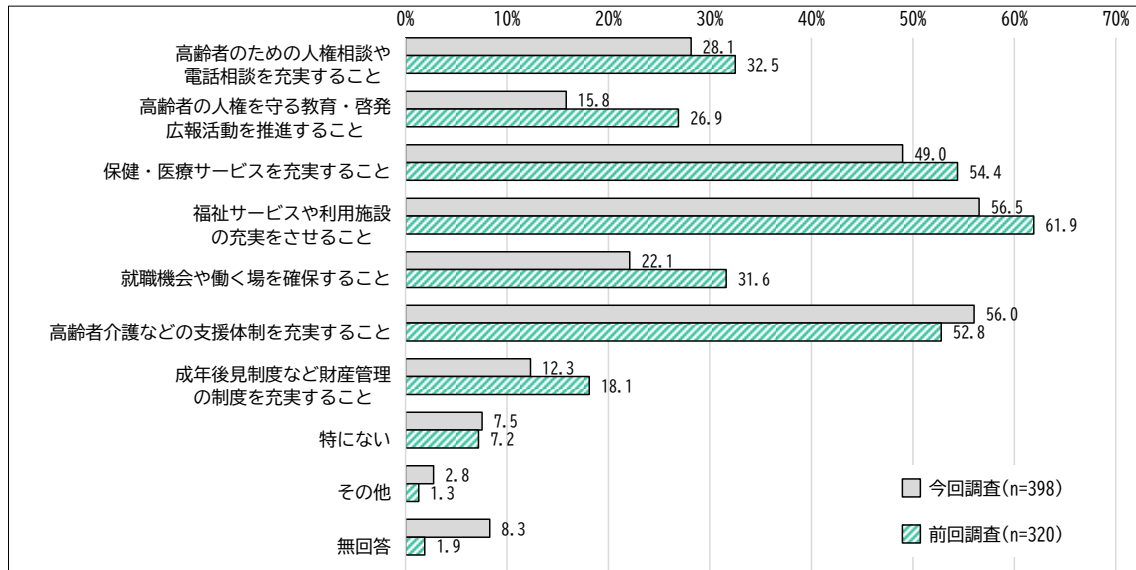
- 全体では「福祉サービスや利用施設の充実をさせること」が56.5%と最も高く、次いで「高齢者介護などの支援体制を充実すること」56.0%、「保健・医療サービスを充実すること」49.0%となっています。
- 性別で見ると、男女ともに「高齢者介護などの支援体制を充実すること」が最も高くなっています。また、女性では男性と比べて「保健・医療サービスを充実すること」「福祉サービスや利用施設の充実をさせること」が高く、「高齢者の人権を守る教育・啓発広報活動を推進すること」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。
- 年代別で見ると、どの年代も「保健・医療サービスを充実すること」「福祉サービスや利用施設の充実をさせること」「高齢者介護などの支援体制を充実すること」が高くなっています。
- 前回調査との比較をみると、「高齢者の人権を守る教育・啓発広報活動を推進すること」が11.1ポイント低くなっています。



(上段：人 下段：%)

	標本数 (人)	高齢者のための人権相談や電話相談を充実すること	高齢者の人権を守る教育・啓発活動や推進すること	保健・医療サービスを充実すること	福祉サービスや利用施設の充実をさせること	就職機会や働く場を確保すること	高齢者介護などの支援体制を充実すること	成年後見制度など財産管理の制度を充実すること	特にない	その他	無回答
全体 (単純集計)	398	112 28.1%	63 15.8%	195 49.0%	225 56.5%	88 22.1%	223 56.0%	49 12.3%	30 7.5%	11 2.8%	33 8.3%
年代別	20~29歳	12 16.7%	3 25.0%	4 33.3%	4 33.3%	3 25.0%	6 50.0%	2 16.7%	1 8.3%	0 0.0%	1 8.3%
	30~39歳	29 24.1%	1 3.4%	12 41.4%	18 62.1%	8 27.6%	17 58.6%	1 3.4%	4 13.8%	3 10.3%	0 0.0%
	40~49歳	36 19.4%	5 13.9%	18 50.0%	23 63.9%	11 30.6%	25 69.4%	9 25.0%	2 5.6%	1 2.8%	1 2.8%
	50~59歳	50 26.0%	12 24.0%	28 56.0%	32 64.0%	20 40.0%	31 62.0%	11 22.0%	0 0.0%	1 2.0%	1 2.0%
	60~69歳	70 32.9%	11 15.7%	43 61.4%	46 65.7%	24 34.3%	40 57.1%	11 15.7%	3 4.3%	0 0.0%	2 2.9%
	70~79歳	106 26.4%	18 17.0%	53 50.0%	58 54.7%	14 13.2%	59 55.7%	3 2.8%	10 9.4%	2 1.9%	11 10.4%
	80歳以上	66 36.4%	10 15.2%	28 42.4%	32 48.5%	6 9.1%	31 47.0%	10 15.2%	7 10.6%	3 4.5%	11 16.7%

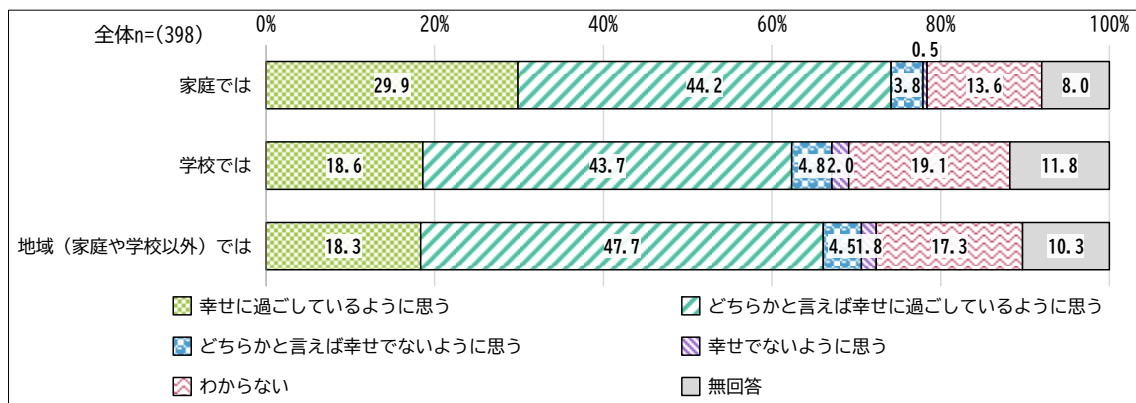
【他調査との比較】



5. 子どもの人権について

問20 今の子どもの様子をどう感じていますか。(単数回答)

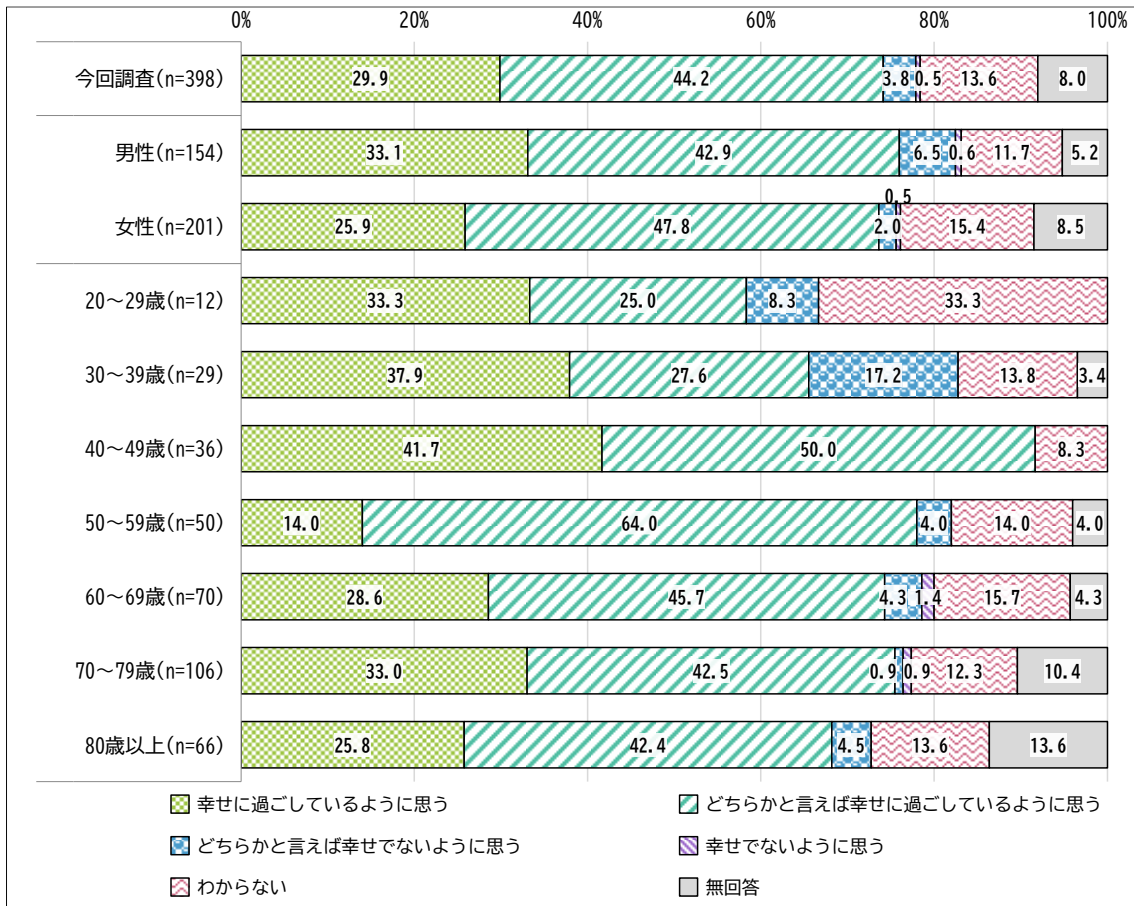
○今の子どもの状態について、「幸せに過ごしているように思う：幸せに過ごしているように思う+どちらかと言えば幸せに過ごしているように思う」がいずれも6割を超えており、6割は「家庭・学校・地域において今の子どもは幸せに過ごしているように思う」と回答しています。



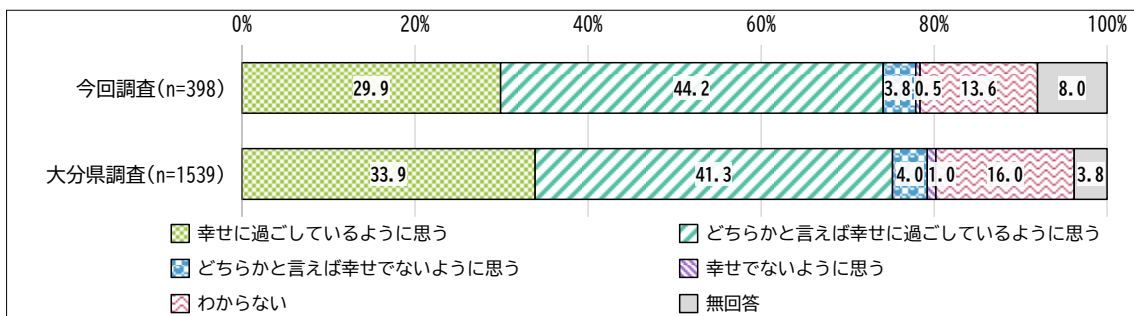
(1) 家庭では

○性別で見ると、男女ともに『幸せに過ごしているように思う』が7割を超えています。

○年代別で見ると、どの年代も『幸せに過ごしているように思う』が『幸せでないように思う』を上回っており、特に40歳代では9割を超えています。



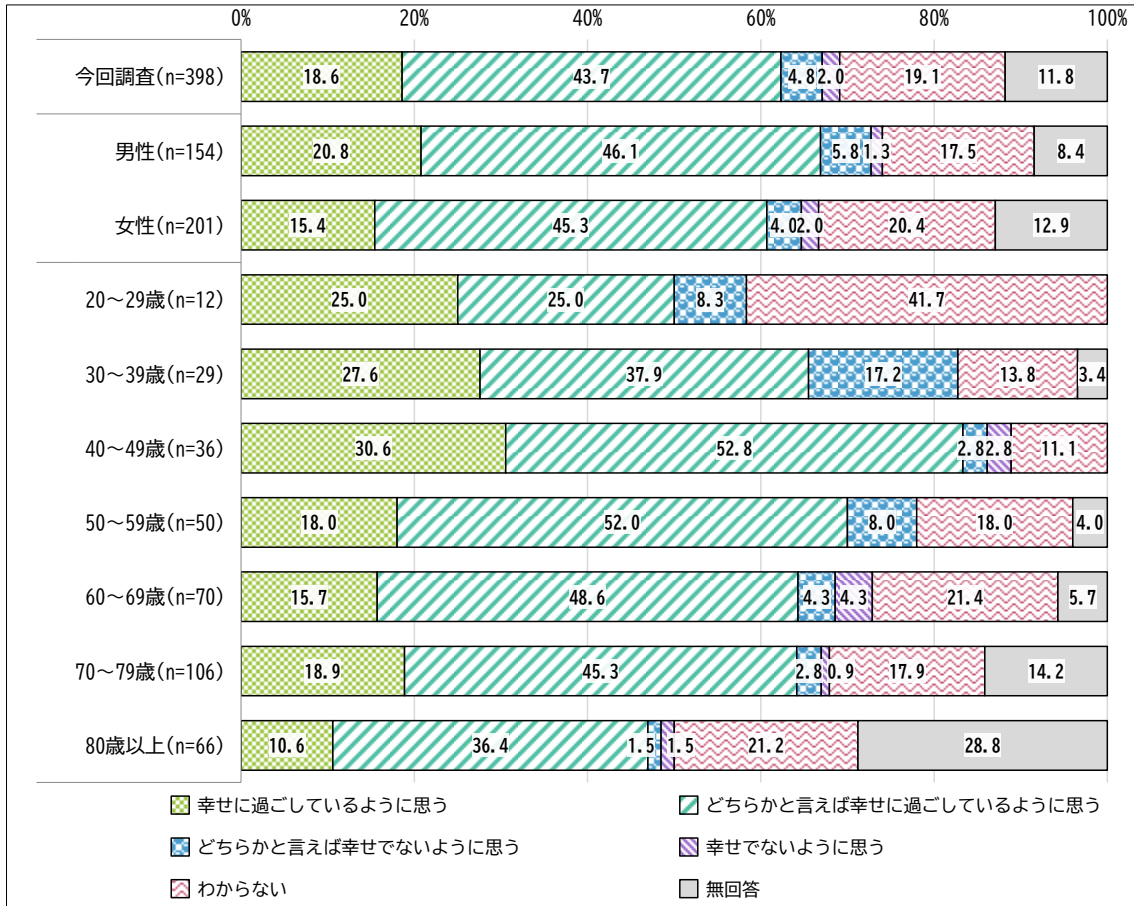
【他調査との比較】



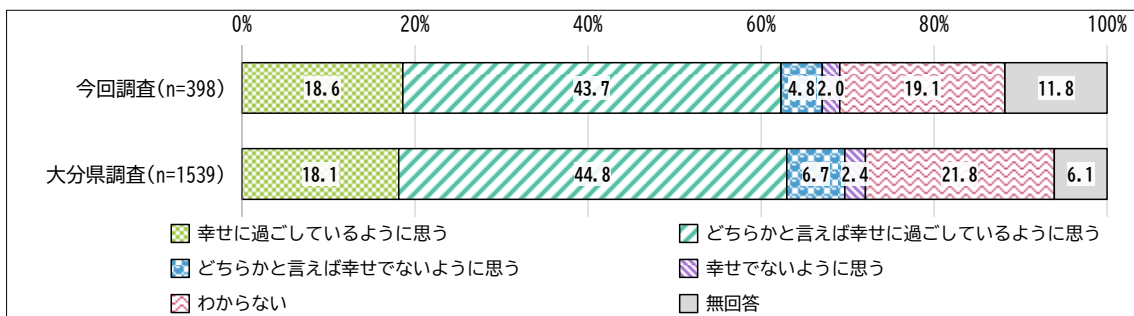
(2) 学校では

○性別で見ると、男女ともに『幸せに過ごしているように思う』が6割を超えています。

○年代別で見ると、どの年代も『幸せに過ごしているように思う』が『幸せでないように思う』を上回っており、特に40歳代では8割を超えています。



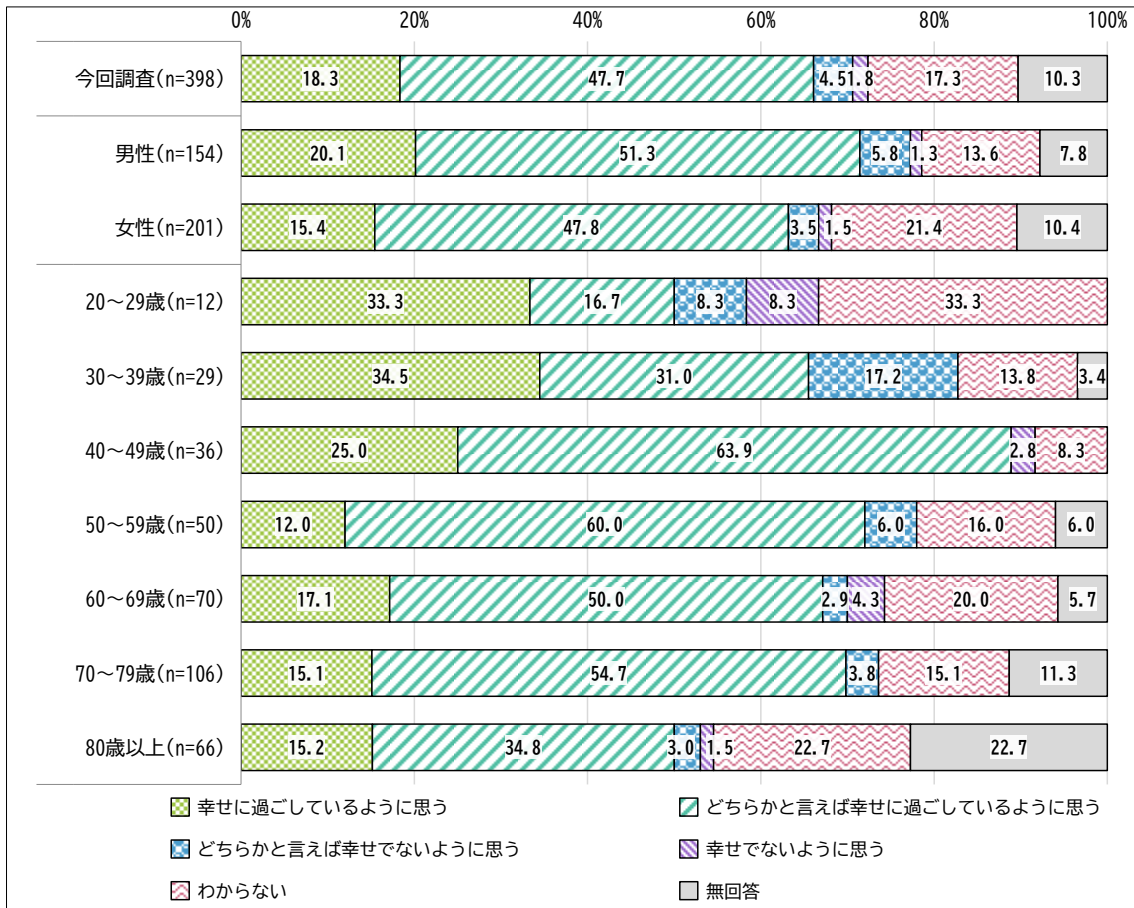
【他調査との比較】



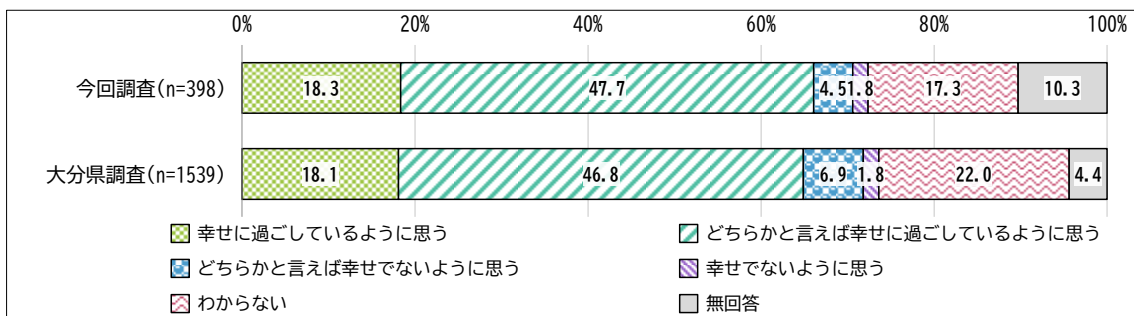
(3) 地域（家庭や学校以外）では

○性別でみると、男女ともに『幸せに過ごしているように思う』が6割を超えています。

○年代別でみると、どの年代も『幸せに過ごしているように思う』が『幸せでないように思う』を上回っており、特に40歳代では8割を超えています。

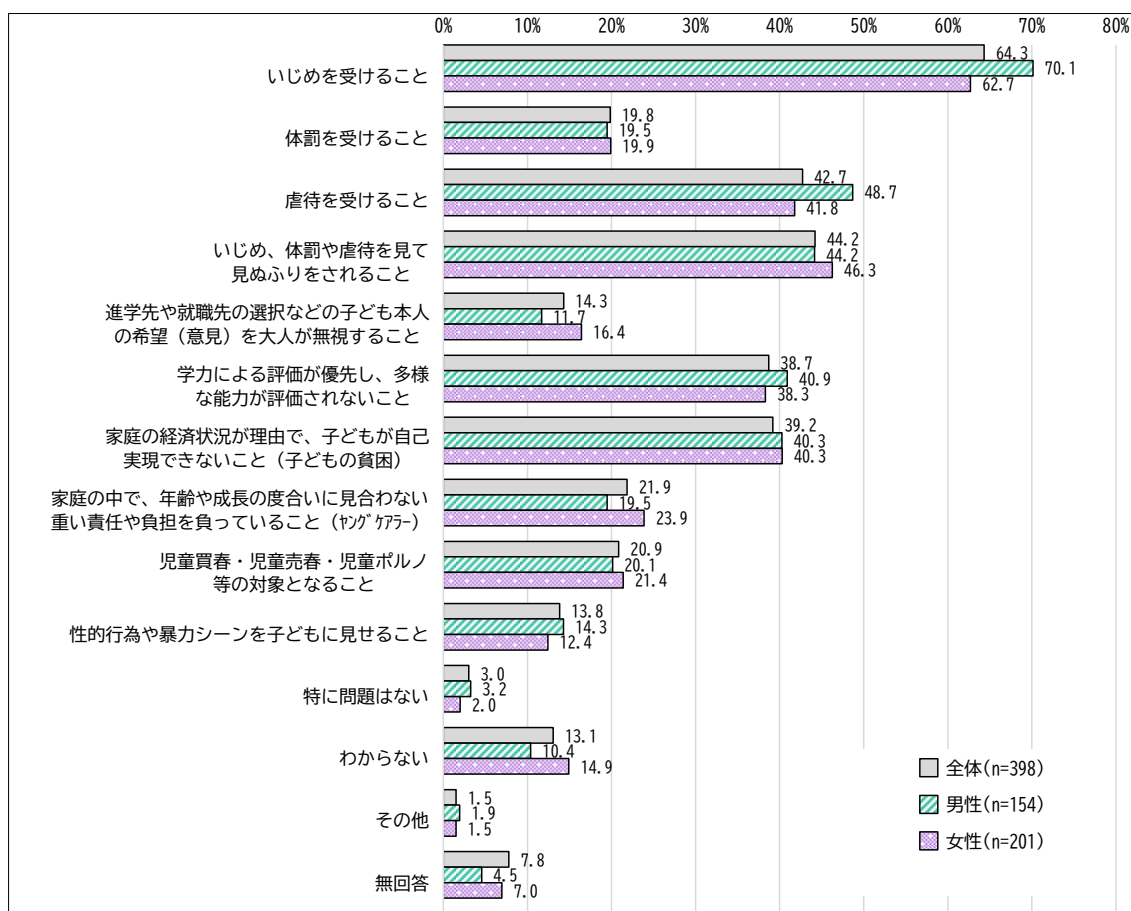


【他調査との比較】



問21 あなたは、子どもに関することで、現在、どのような人権問題があると思いますか。(複数回答)

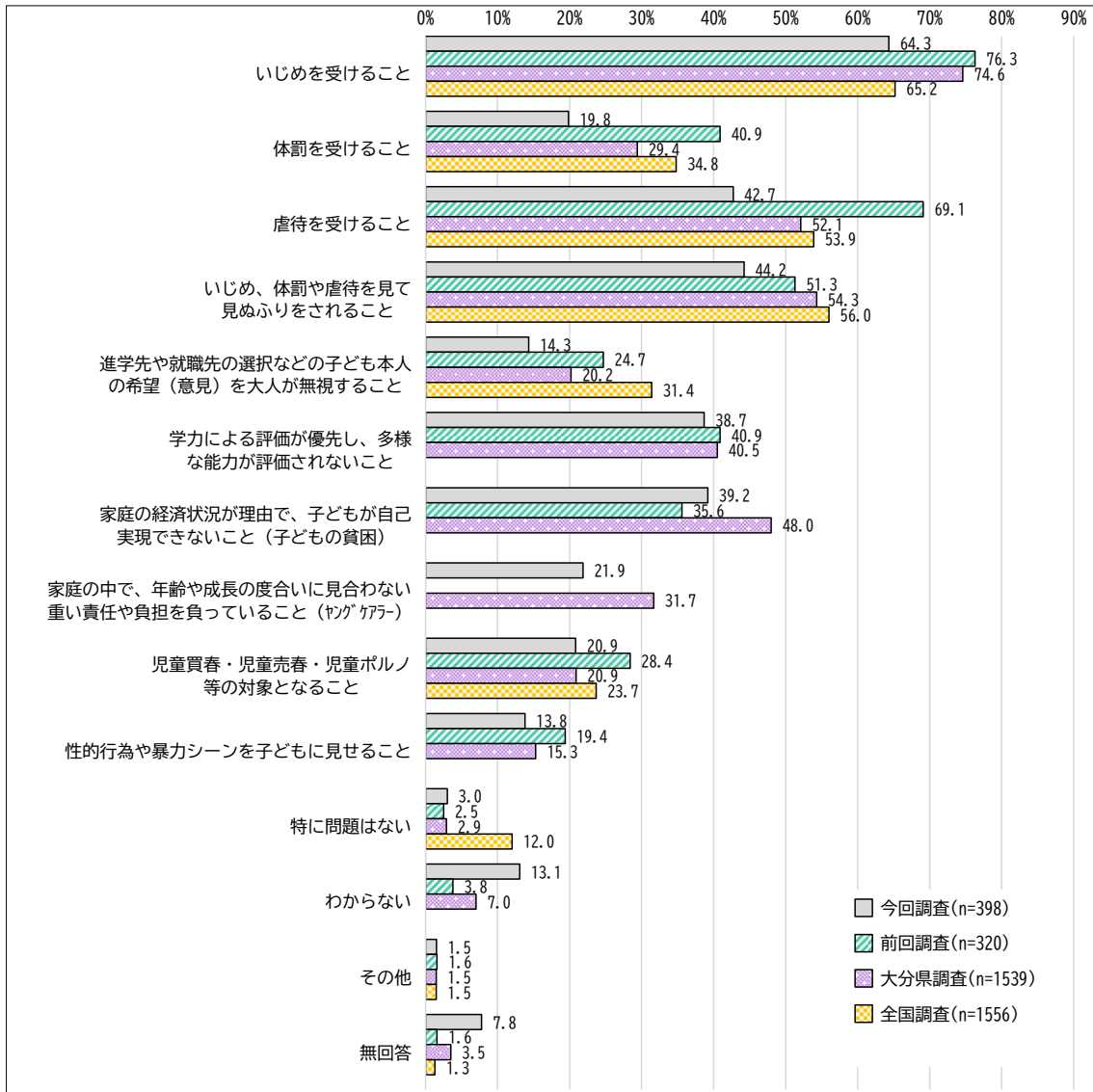
- 全体では「いじめを受けること」が64.3%と最も高く、次いで「いじめ、体罰や虐待を見て見ぬふりをされること」44.2%、「虐待を受けること」42.7%となっています。
- 性別で見ると、男女ともに「いじめを受けること」が最も高くなっています。
- 年代別で見ると、どの年代でも「いじめを受けること」が最も高くなっています。また、20歳代では「体罰を受けること」、40歳代では「いじめ、体罰や虐待を見て見ぬふりをされること」「家庭の経済状況が理由で、子どもが自己実現できないこと(子どもの貧困)」「家庭の経済状況が理由で、子どもが自己実現できないこと(子どもの貧困)」、80歳以上では「わからない」が他の年代と比べて10ポイント以上高くなっています。
- 前回調査との比較をみると、「いじめを受けること」「体罰を受けること」「虐待を受けること」「進学先や就職先の選択などの子ども本人の希望(意見)を大人が無視すること」が10ポイント以上低くなっています。
- 大分県調査との比較をみると、「いじめを受けること」が10.3ポイント低くなっています。
- 全国調査との比較をみると、「体罰を受けること」「虐待を受けること」「進学先や就職先の選択などの子ども本人の希望(意見)を大人が無視すること」が10ポイント以上低くなっています。



(上段：人 下段：%)

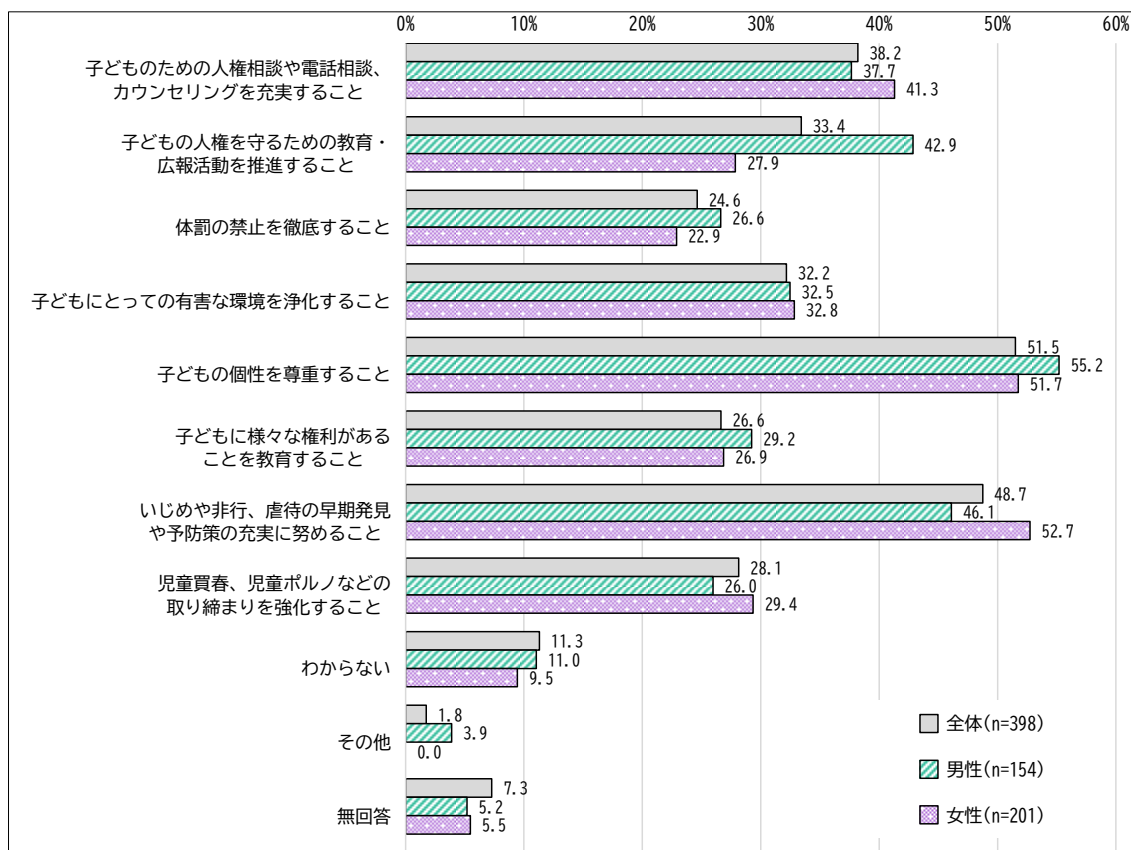
		標本数(人)	いじめを受けること	体罰を受けること	虐待を受けること	ぬいじめ、体罰や虐待を見て見ぬふりをされること	進学先や就職先の選択などの大人が無視すること	学力による評価が優先し、多様な能力が評価されないこと	家庭の経済状況が理由で、子どもが自己実現できないこと(子どもの貧困)	ク・ケ・ア・ラ・イ	家庭の中で、年齢や成長の度合いに見合っていない重い責任や負担を負っていること(ヤンキー・ケアラー)	児童買春・児童売春・児童ポルノ等の対象となること	性的行為や暴力シーンを子どもに見せること	特に問題はない	わからない	その他	無回答
全体(単純集計)		398	256 64.3%	79 19.8%	170 42.7%	176 44.2%	57 14.3%	154 38.7%	156 39.2%	87 21.9%	83 20.9%	55 13.8%	12 3.0%	52 13.1%	6 1.5%	31 7.8%	
年代別	20~29歳	12	9 75.0%	5 41.7%	4 33.3%	4 33.3%	1 8.3%	5 41.7%	4 33.3%	2 16.7%	2 16.7%	1 8.3%	1 8.3%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	
	30~39歳	29	23 79.3%	6 20.7%	18 62.1%	16 55.2%	7 24.1%	13 44.8%	14 48.3%	11 37.9%	9 31.0%	3 10.3%	0 0.0%	1 3.4%	1 3.4%	1 3.4%	
	40~49歳	36	26 72.2%	4 11.1%	24 66.7%	24 66.7%	12 33.3%	17 47.2%	23 63.9%	19 52.8%	14 38.9%	6 16.7%	0 0.0%	1 2.8%	1 2.8%	0 0.0%	
	50~59歳	50	36 72.0%	10 20.0%	27 54.0%	27 54.0%	6 12.0%	19 38.0%	24 48.0%	11 22.0%	10 20.0%	6 12.0%	1 2.0%	1 2.0%	1 2.0%	2 4.0%	
	60~69歳	70	51 72.9%	16 22.9%	34 48.6%	37 52.9%	10 14.3%	32 45.7%	31 44.3%	17 24.3%	14 20.0%	12 17.1%	1 1.4%	10 14.3%	0 0.0%	3 4.3%	
	70~79歳	106	68 64.2%	20 18.9%	37 34.9%	42 39.6%	13 12.3%	44 41.5%	34 32.1%	18 17.0%	16 15.1%	10 9.4%	5 4.7%	15 14.2%	1 0.9%	8 7.5%	
	80歳以上	66	31 47.0%	12 18.2%	18 27.3%	19 28.8%	5 7.6%	15 22.7%	18 27.3%	5 7.6%	12 18.2%	10 15.2%	2 3.0%	18 27.3%	2 3.0%	8 12.1%	

【他調査との比較】



問22 あなたは、子どもの人権問題の解決に必要なことはどのようなことだと思いますか。(複数回答)

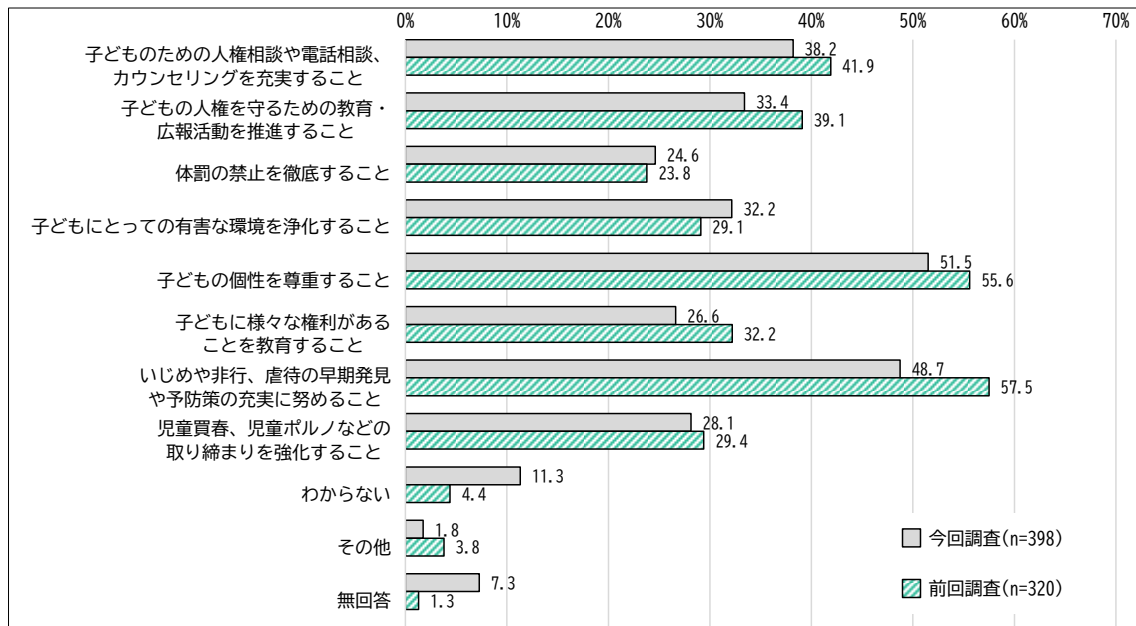
- 全体では「子どもの個性を尊重すること」が51.5%と最も高く、次いで「いじめや非行、虐待の早期発見や予防策の充実に努めること」48.7%、「子どものための人権相談や電話相談、カウンセリングを充実すること」38.2%となっています。
- 性別で見ると、男性では「子どもの個性を尊重すること」、女性では「いじめや非行、虐待の早期発見や予防策の充実に努めること」が最も高くなっています。男性では女性と比べて「子どもの人権を守るための教育・広報活動を推進すること」が15.0ポイント高くなっています。
- 年代別で見ると、20歳代では「子どものための人権相談や電話相談、カウンセリングを充実すること」が最も高くなっていますが、その他の年代では「子どもの個性を尊重すること」「いじめや非行、虐待の早期発見や予防策の充実に努めること」の割合が高くなっています。また、20～50歳代では「子どもに様々な権利があることを教育すること」、40歳代では「児童買春、児童ポルノなどの取り締まりを強化すること」が他の年代と比べて高くなっています。



(上段：人 下段：%)

	標本数(人)	実話子どものための人権相談や電話相談、カウンセリングを充実すること	子どもの人権を守るための教育・広報活動を推進すること	体罰の禁止を徹底すること	子どもにとっての有害な環境を浄化すること	子どもの個性を尊重すること	子どもに様々な権利があることを教育すること	いじめや非行、虐待の早期発見や予防策の充実に努めること	児童買春、児童ポルノなどの取り締まりを強化すること	わからない	その他	無回答
全体(単純集計)	398	152 38.2%	133 33.4%	98 24.6%	128 32.2%	205 51.5%	106 26.6%	194 48.7%	112 28.1%	45 11.3%	7 1.8%	29 7.3%
年代別	20~29歳	12	7 58.3%	6 50.0%	5 41.7%	3 25.0%	6 50.0%	5 41.7%	4 33.3%	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
	30~39歳	29	9 31.0%	9 31.0%	5 17.2%	8 27.6%	17 58.6%	14 48.3%	17 58.6%	11 37.9%	3 10.3%	0 0.0%
	40~49歳	36	18 50.0%	18 50.0%	13 36.1%	13 36.1%	22 61.1%	17 47.2%	24 66.7%	17 47.2%	3 8.3%	0 0.0%
	50~59歳	50	21 42.0%	20 40.0%	10 20.0%	16 32.0%	28 56.0%	20 40.0%	23 46.0%	11 22.0%	2 4.0%	1 2.0%
	60~69歳	70	29 41.4%	23 32.9%	16 22.9%	24 34.3%	40 57.1%	16 22.9%	40 57.1%	19 27.1%	11 15.7%	1 1.4%
	70~79歳	106	36 34.0%	29 27.4%	25 23.6%	40 37.7%	55 51.9%	17 16.0%	50 47.2%	29 27.4%	12 11.3%	3 2.8%
	80歳以上	66	25 37.9%	21 31.8%	16 24.2%	17 25.8%	27 40.9%	13 19.7%	26 39.4%	13 19.7%	9 13.6%	1 1.5%

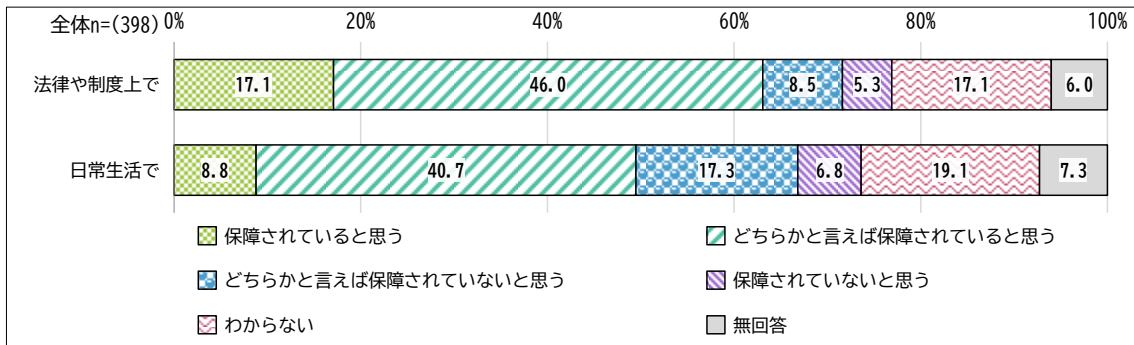
【他調査との比較】



6. 障がい者（精神障がい者を含む）の人権について

問23 あなたは、障がい者の人権は保障されていると思いますか。（単数回答）

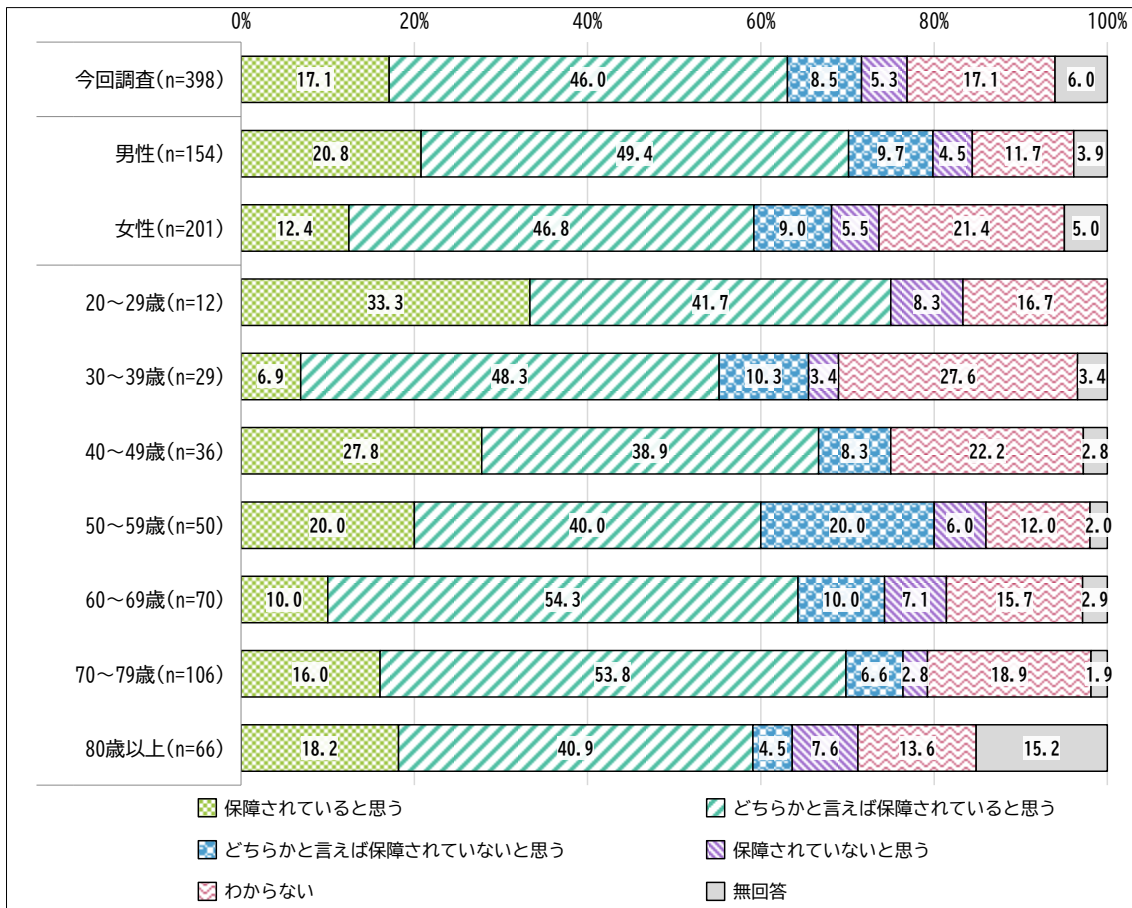
○障がい者の人権について、「保障されていると思う：保障されていると思う+どちらかと言えば保障されていると思う」割合が「法律や制度上で」では6割、「日常生活で」では約5割となっています。



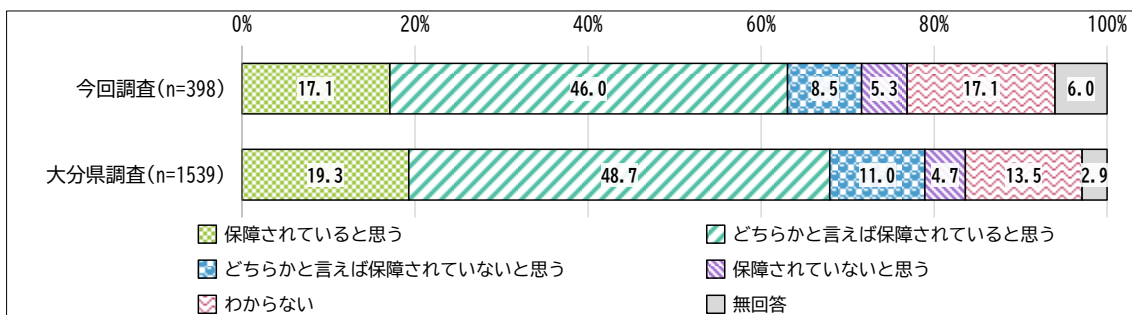
(1) 法律や制度上で

○性別で見ると、男女ともに『保障されていると思う』が『保証されていないと思う』を上回っており、男性では女性と比べて『保障されていると思う』が11.0ポイント高くなっています。

○年代別で見ると、どの年代も『保障されていると思う』が『保証されていないと思う』を上回っており、特に20歳代では7割を超えています。



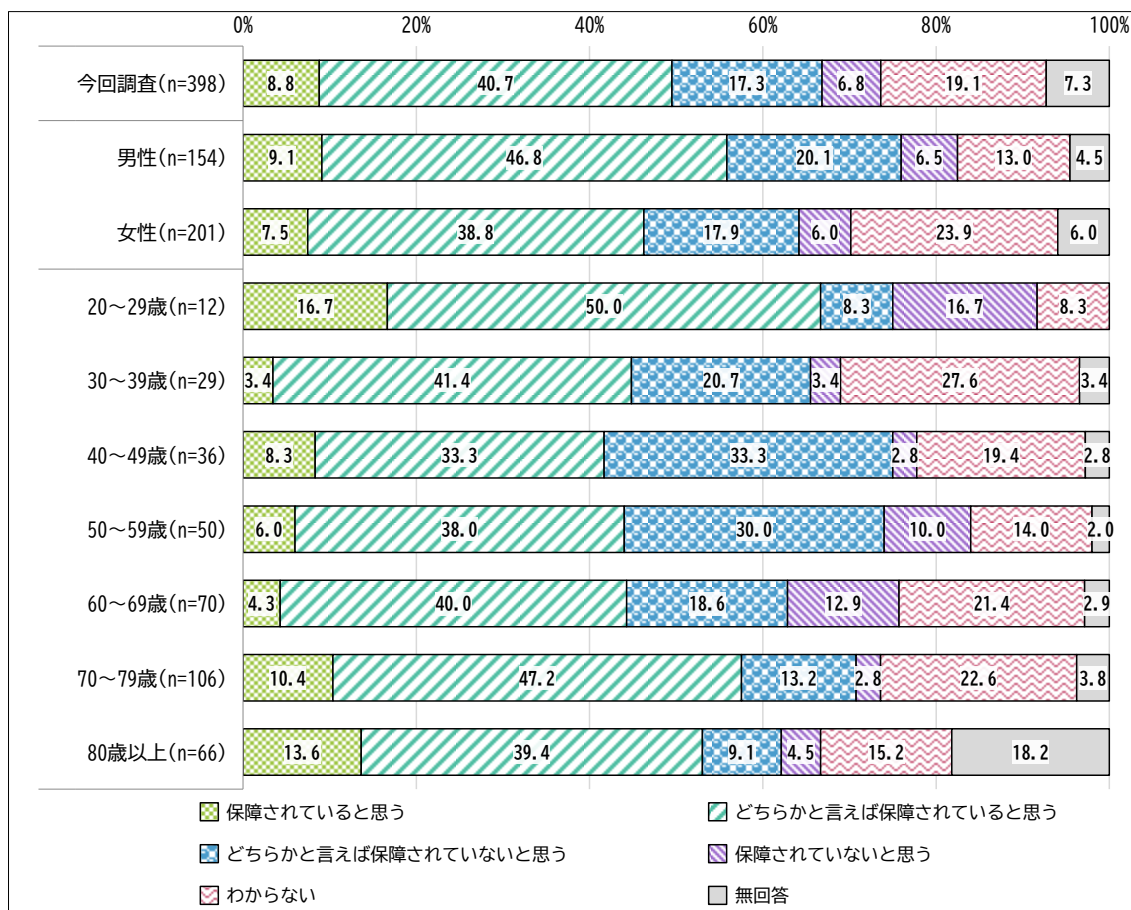
【他調査との比較】



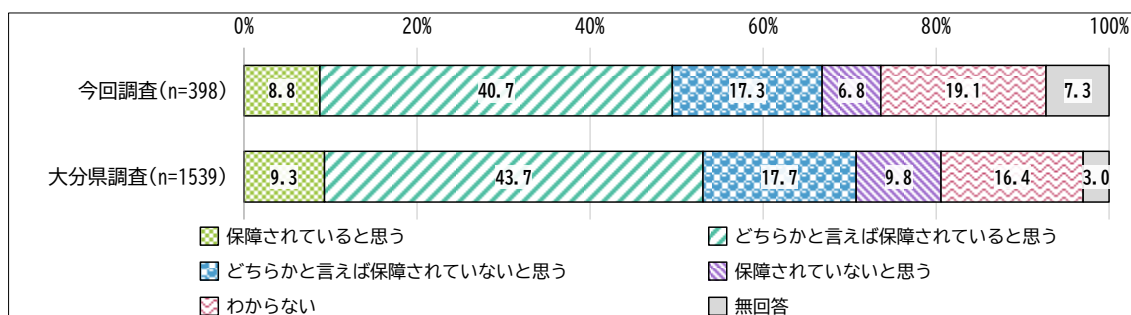
(2) 日常生活で

○性別で見ると、男女ともに『保障されていると思う』が『保証されていないと思う』を上回っています。

○年代別で見ると、どの年代も『保障されていると思う』が『保証されていないと思う』を上回っていますが、40～60 歳代では『保証されていないと思う』が3割を超えており、他の年代と比べて高くなっています。

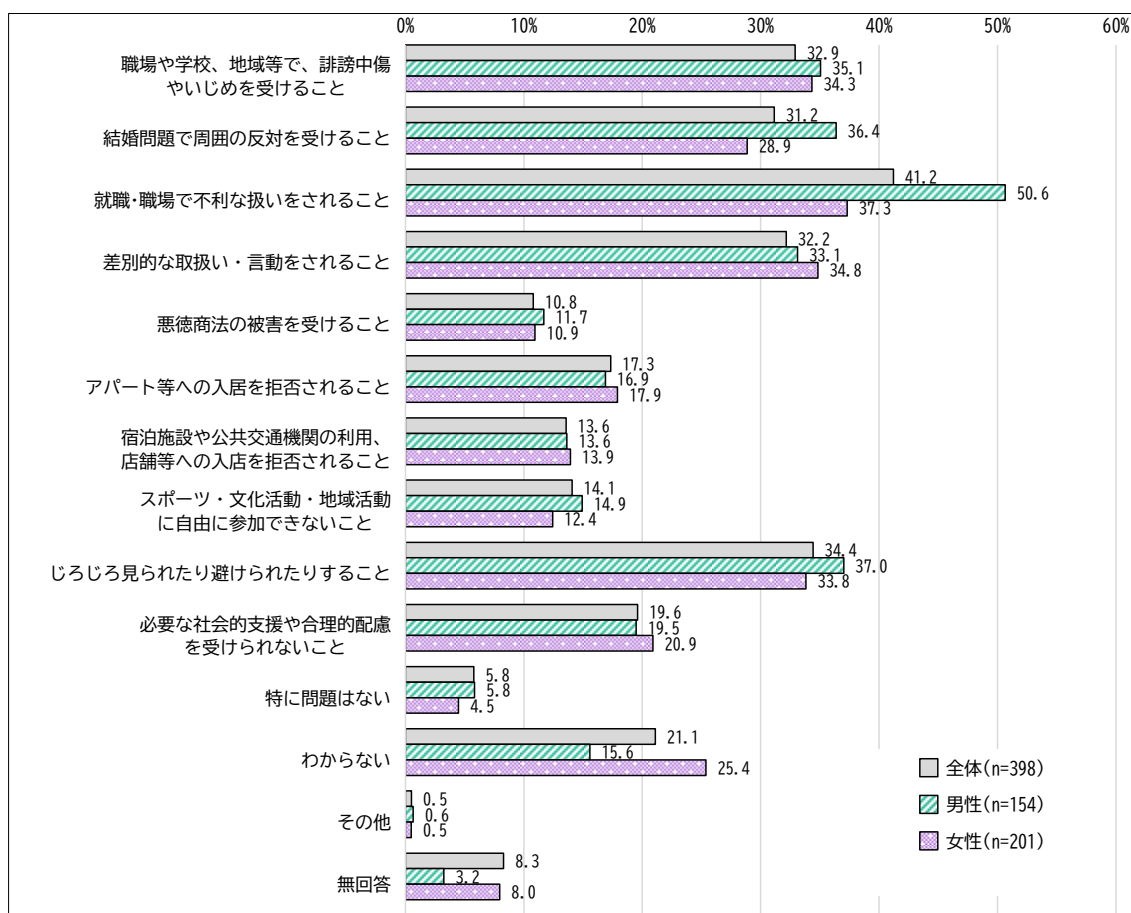


【他調査との比較】



問24 あなたは、障がい者に関することで、現在、どのような人権問題があると思いますか。(複数回答)

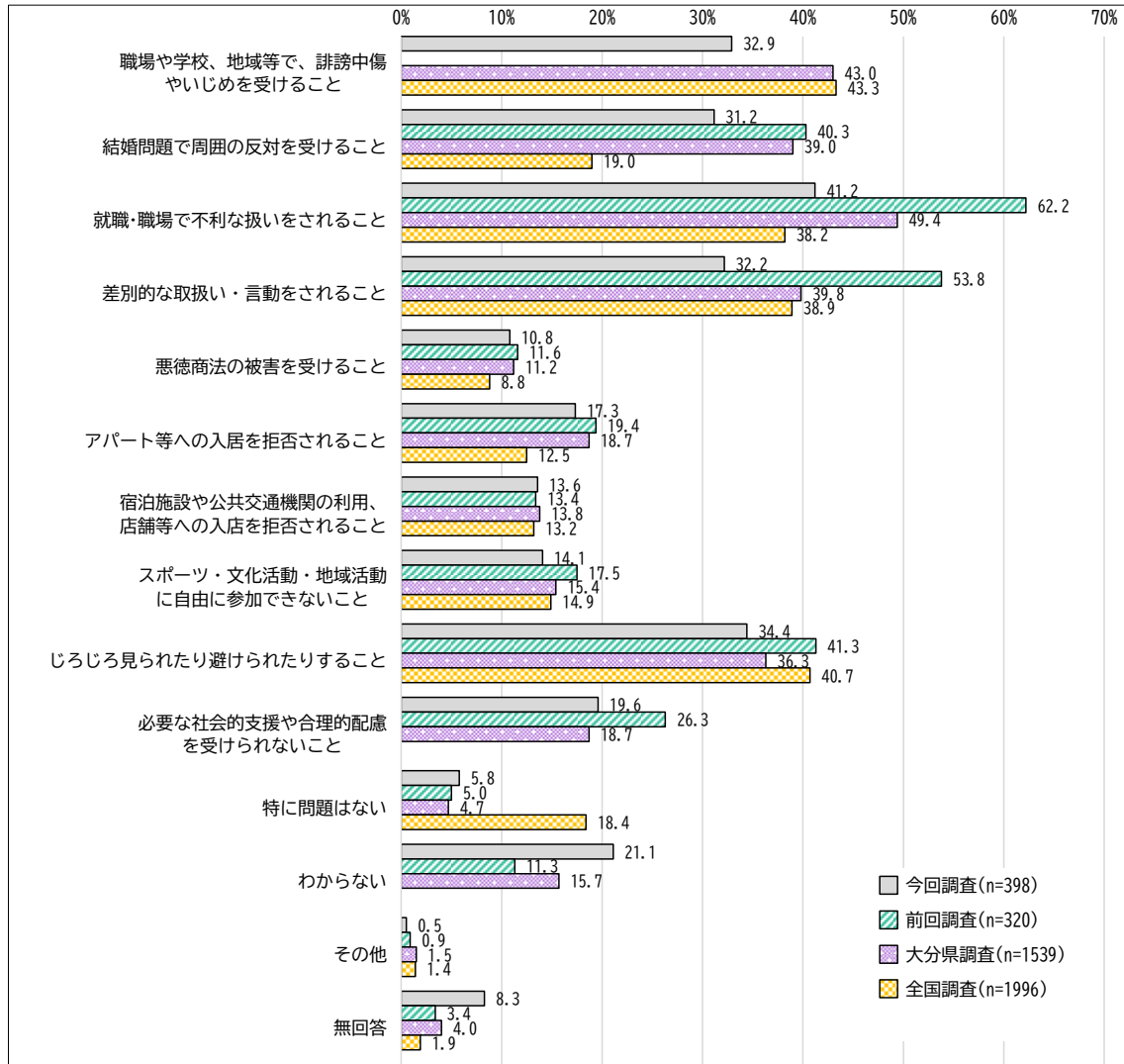
- 全体では「就職・職場で不利な扱いをされること」が41.2%と最も高く、次いで「じろじろ見られたり避けられたりすること」34.4%、「職場や学校、地域等で、誹謗中傷やいじめを受けること」32.9%となっています。
- 性別で見ると、男女ともに「就職・職場で不利な扱いをされること」が最も高くなっていますが、男性では女性と比べて13.3ポイント高くなっています。
- 年代別で見ると、70歳代までは「就職・職場で不利な扱いをされること」、80歳以上では「職場や学校、地域等で、誹謗中傷やいじめを受けること」「就職・職場で不利な扱いをされること」「わからない」が最も高くなっています。また、20歳代では「特に問題はない」、30～40歳代では「じろじろ見られたり避けられたりすること」が他の年代と比べて10ポイント以上高くなっています。
- 前回調査との比較をみると、「就職・職場で不利な扱いをされること」「差別的な取り扱い・言動をされること」が10ポイント以上低くなっています。
- 全国調査との比較をみると、「結婚問題で周囲の反対を受けること」が高く、「特に問題はない」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。



(上段：人 下段：%)

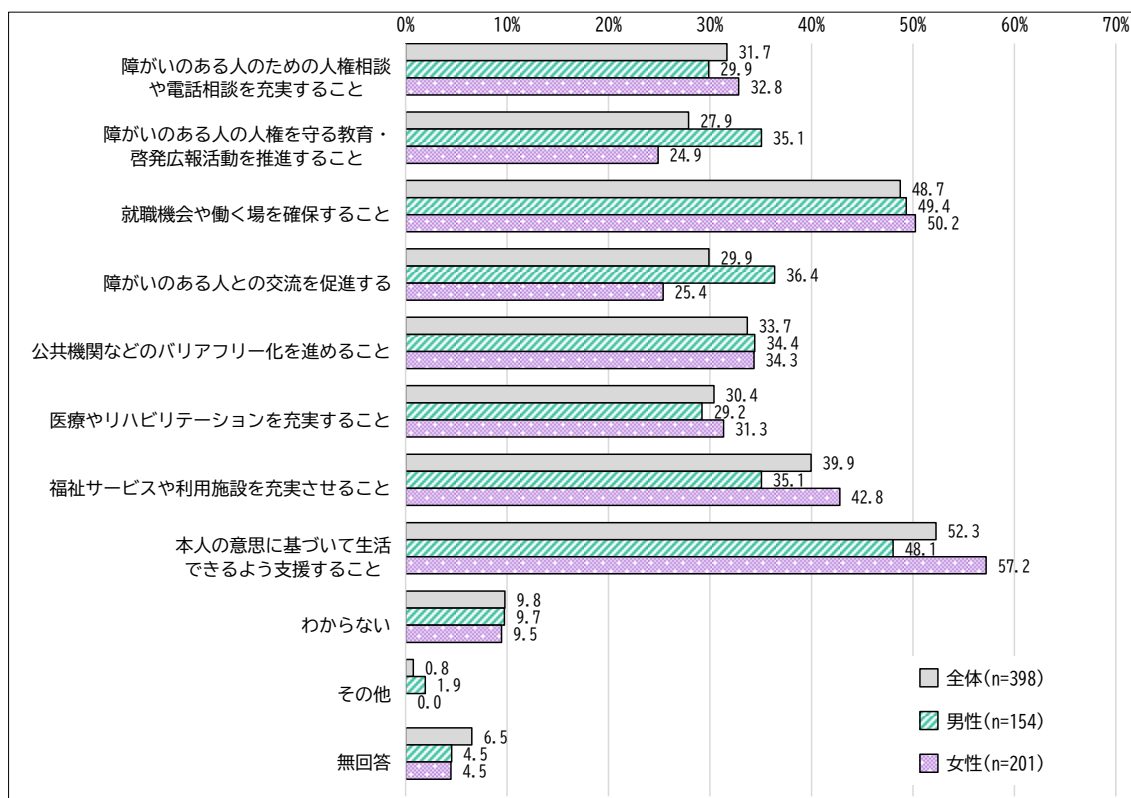
	標本数(人)	職場や学校、地域等で、誹謗中傷やいじめを受けること	結婚問題で周囲の反対を受け	就職・職場で不利な扱いをされること	差別的な取扱い・言動をされること	悪徳商法の被害を受けること	アパート等への入居を拒否されること	宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗等への入店を拒否されること	スポーツ・文化活動・地域活動に自由に参加できないこと	じろじろ見られたり避けられたりすること	必要な社会的支援や合理的配慮を受けられないこと	特に問題はない	わからない	その他	無回答
全体(単純集計)	398	131 32.9%	124 31.2%	164 41.2%	128 32.2%	43 10.8%	69 17.3%	54 13.6%	56 14.1%	137 34.4%	78 19.6%	23 5.8%	84 21.1%	2 0.5%	33 8.3%
年代別	20~29歳	12 25.0%	4 33.3%	5 41.7%	4 33.3%	1 8.3%	2 16.7%	2 16.7%	2 16.7%	5 41.7%	2 16.7%	3 25.0%	3 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30~39歳	29 37.9%	11 37.9%	16 55.2%	11 37.9%	3 10.3%	4 13.8%	6 20.7%	2 6.9%	15 51.7%	6 20.7%	0 0.0%	2 6.9%	0 0.0%	1 3.4%
	40~49歳	36 44.4%	20 55.6%	22 61.1%	15 41.7%	8 22.2%	8 22.2%	8 22.2%	8 22.2%	20 55.6%	12 33.3%	1 2.8%	5 13.9%	1 2.8%	1 2.8%
	50~59歳	50 42.0%	23 46.0%	35 70.0%	22 44.0%	5 10.0%	10 20.0%	9 18.0%	12 24.0%	17 34.0%	13 26.0%	3 6.0%	4 8.0%	0 0.0%	0 0.0%
	60~69歳	70 37.1%	20 28.6%	27 38.6%	25 35.7%	9 12.9%	11 15.7%	8 11.4%	14 20.0%	25 35.7%	17 24.3%	3 4.3%	17 24.3%	0 0.0%	4 5.7%
	70~79歳	106 29.2%	26 24.5%	34 32.1%	33 31.1%	6 5.7%	19 17.9%	13 12.3%	10 9.4%	32 30.2%	17 16.0%	6 5.7%	29 27.4%	1 0.9%	6 5.7%
	80歳以上	66 28.8%	15 22.7%	19 28.8%	15 22.7%	9 13.6%	11 16.7%	5 7.6%	5 7.6%	18 27.3%	7 10.6%	2 3.0%	19 28.8%	0 0.0%	9 13.6%

【他調査との比較】



問25 あなたは、障がいのある人の人権問題の解決に必要なことはどのようなことだと思いますか。(複数回答)

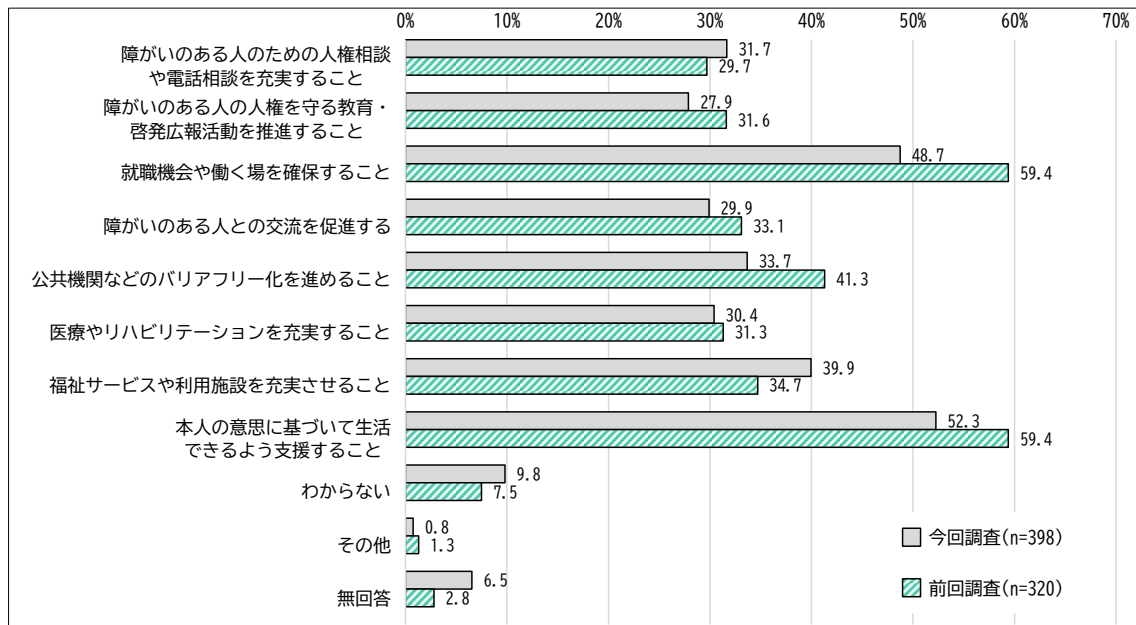
- 全体では「本人の意思に基づいて生活できるよう支援すること」が52.3%と最も高く、次いで「就職機会や働く場を確保すること」48.7%、「福祉サービスや利用施設を充実させること」39.9%となっています。
- 性別で見ると、男性では「就職機会や働く場を確保すること」、女性では「本人の意思に基づいて生活できるよう支援すること」が最も高くなっています。また、男性では女性と比べて「障がいのある人の人権を守る教育・啓発広報活動を推進すること」「障がいのある人との交流を促進する」が10ポイント以上高くなっています。
- 年代別で見ると、30～60歳代では「就職機会や働く場を確保すること」、それ以外の年代では「本人の意思に基づいて生活できるよう支援すること」が最も高くなっています。また、20歳代では「公共機関などのバリアフリー化を進めること」、40歳代では「障がいのある人との交流を促進する」「医療やリハビリテーションを充実すること」「福祉サービスや利用施設を充実させること」が他の年代と比べて10ポイント以上高くなっています。



(上段：人 下段：%)

	標本数(人)	と相談や電話相談を充実すること	障がいのある人の権利を守る教育・啓発広報活動を推進すること	障がいのある人の権利を守る就職機会や働く場を確保すること	障がいのある人との交流を促進すること	公共機関などのバリアフリー化を進めること	医療やリハビリテーションを充実すること	福祉サービスや利用施設を充実させること	本人の意思に基づいて生活できるよう支援すること	わからない	その他	無回答	
全体(単純集計)	398	126 31.7%	111 27.9%	194 48.7%	119 29.9%	134 33.7%	121 30.4%	159 39.9%	208 52.3%	39 9.8%	3 0.8%	26 6.5%	
年代別	20~29歳	12	4 33.3%	5 41.7%	5 41.7%	4 33.3%	7 58.3%	3 25.0%	3 25.0%	8 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30~39歳	29	6 20.7%	6 20.7%	16 55.2%	8 27.6%	13 44.8%	6 20.7%	10 34.5%	16 55.2%	3 10.3%	0 0.0%	0 0.0%
	40~49歳	36	8 22.2%	13 36.1%	22 61.1%	18 50.0%	17 47.2%	21 58.3%	21 58.3%	17 47.2%	2 5.6%	0 0.0%	1 2.8%
	50~59歳	50	17 34.0%	20 40.0%	31 62.0%	19 38.0%	24 48.0%	15 30.0%	20 40.0%	24 48.0%	3 6.0%	1 2.0%	0 0.0%
	60~69歳	70	19 27.1%	19 27.1%	41 58.6%	20 28.6%	25 35.7%	17 24.3%	29 41.4%	37 52.9%	10 14.3%	0 0.0%	5 7.1%
	70~79歳	106	37 34.9%	30 28.3%	44 41.5%	28 26.4%	29 27.4%	34 32.1%	47 44.3%	59 55.7%	10 9.4%	2 1.9%	2 1.9%
	80歳以上	66	27 40.9%	14 21.2%	26 39.4%	16 24.2%	12 18.2%	16 24.2%	19 28.8%	35 53.0%	8 12.1%	0 0.0%	9 13.6%

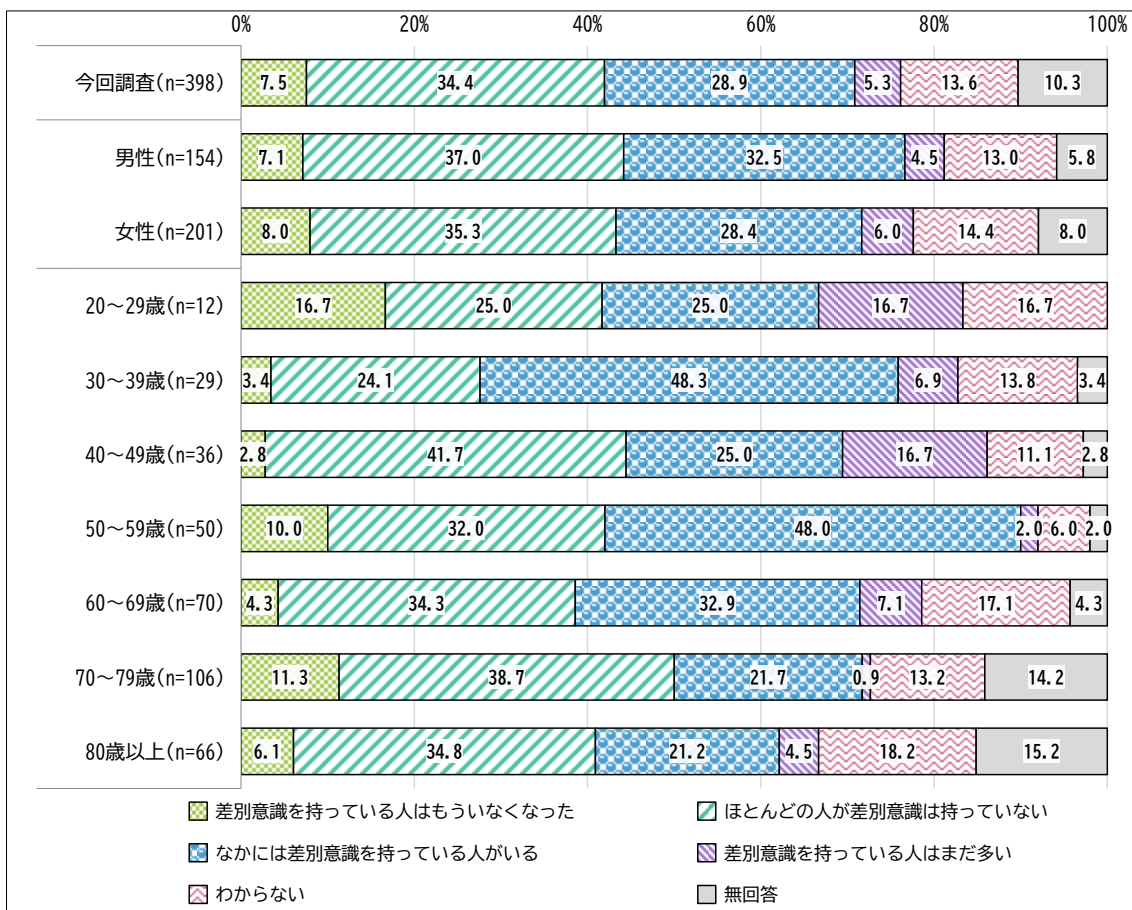
【他調査との比較】



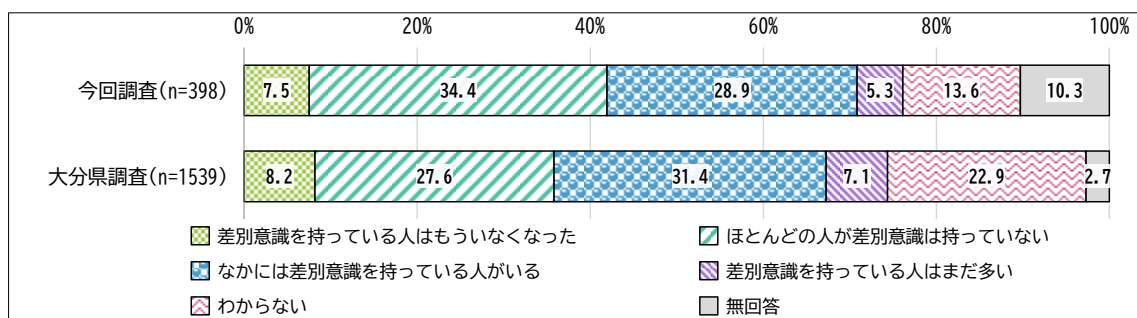
7. 部落差別問題について

問26 あなたは、被差別部落（同和地区）の人に対して、差別意識を持った人がいると思いますか。（単数回答）

- 全体では「ほとんどの人が差別意識は持っていない」が34.4%と最も高く、次いで「なかには差別意識を持っている人がいる」28.9%、「わからない」13.6%となっています。
- 性別でみると、男女ともに「ほとんどの人が差別意識は持っていない」が最も高くなっています。
- 年代別でみると、40歳代及び70歳代以上では「差別意識を持っている人はいない：差別意識を持っている人はもういなくなった+ほとんどの人が差別意識は持っていない」が「差別意識を持っている人がいる：なかには差別意識を持っている人がいる+差別意識を持っている人はまだ多い」を上回っていますが、30歳代及び50～60歳代では『差別意識を持っている人はいる』の割合が高くなっています。



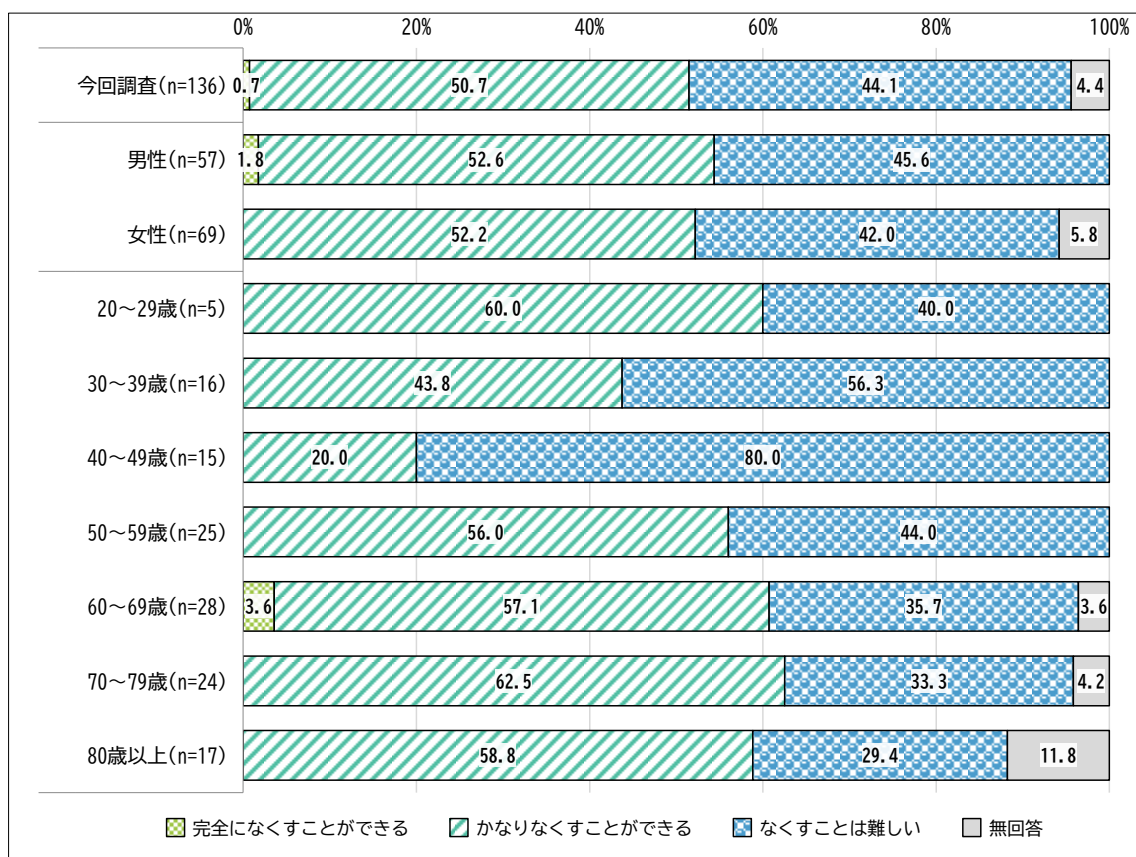
【他調査との比較】



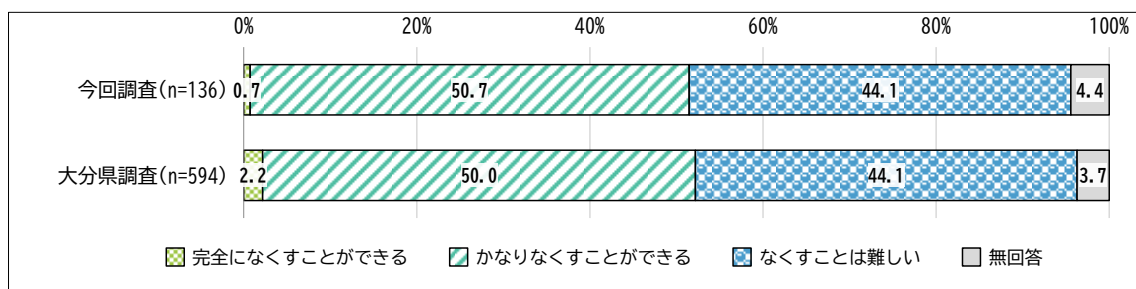
問26で「3.」「4.」を回答した方のみ

問27 あなたは、差別意識は近い将来なくすことができますか。(単数回答)

- 全体では「かなりなくすことができる」が50.7%と最も高く、次いで「なくすことは難しい」44.1%、「完全になくすことができる」0.7%となっています。
- 性別でも、「かなりなくすことができる」が最も高く、5割を超えています。
- 年代別で見ると、30～40歳代では「なくすことは難しい」、その他の年代では「かなりなくすことができる」が最も高くなっています。(問27～30：20歳代はサンプル数が少ないため参考程度)

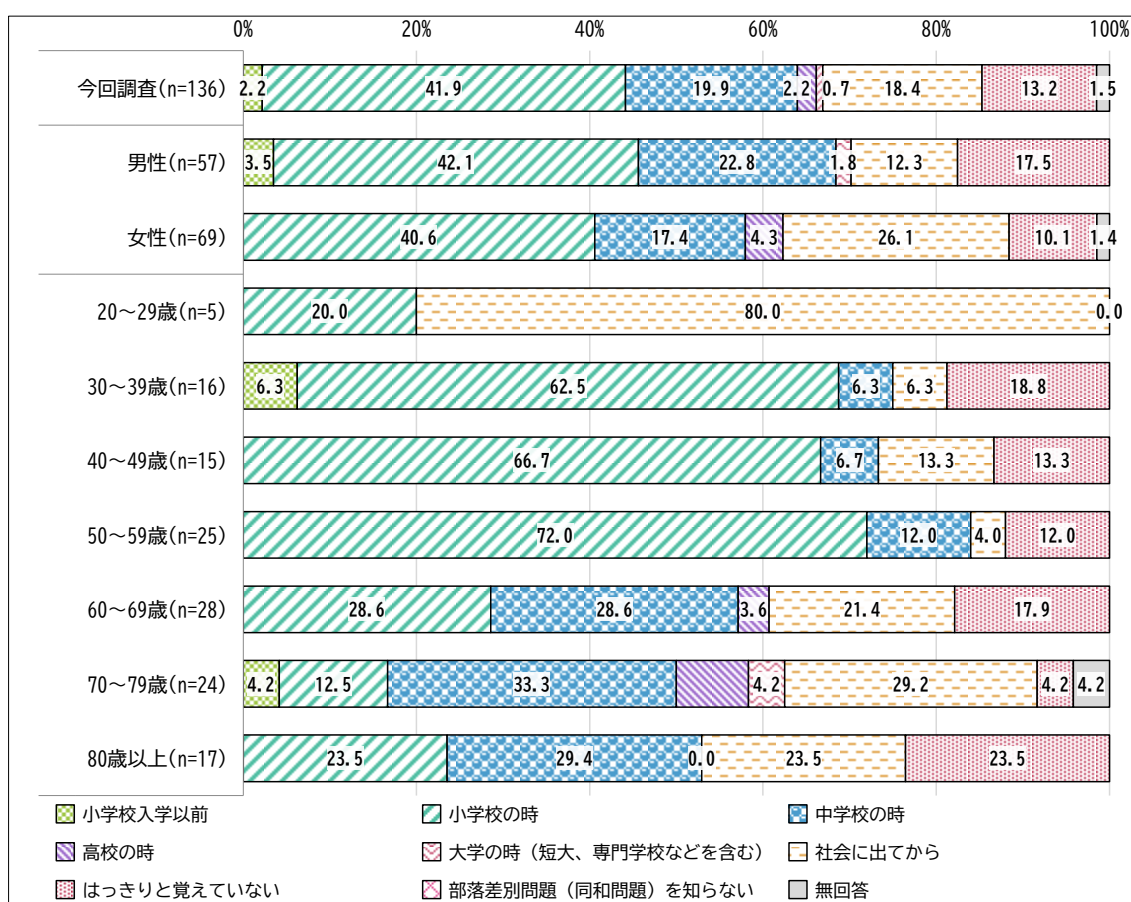


【他調査との比較】



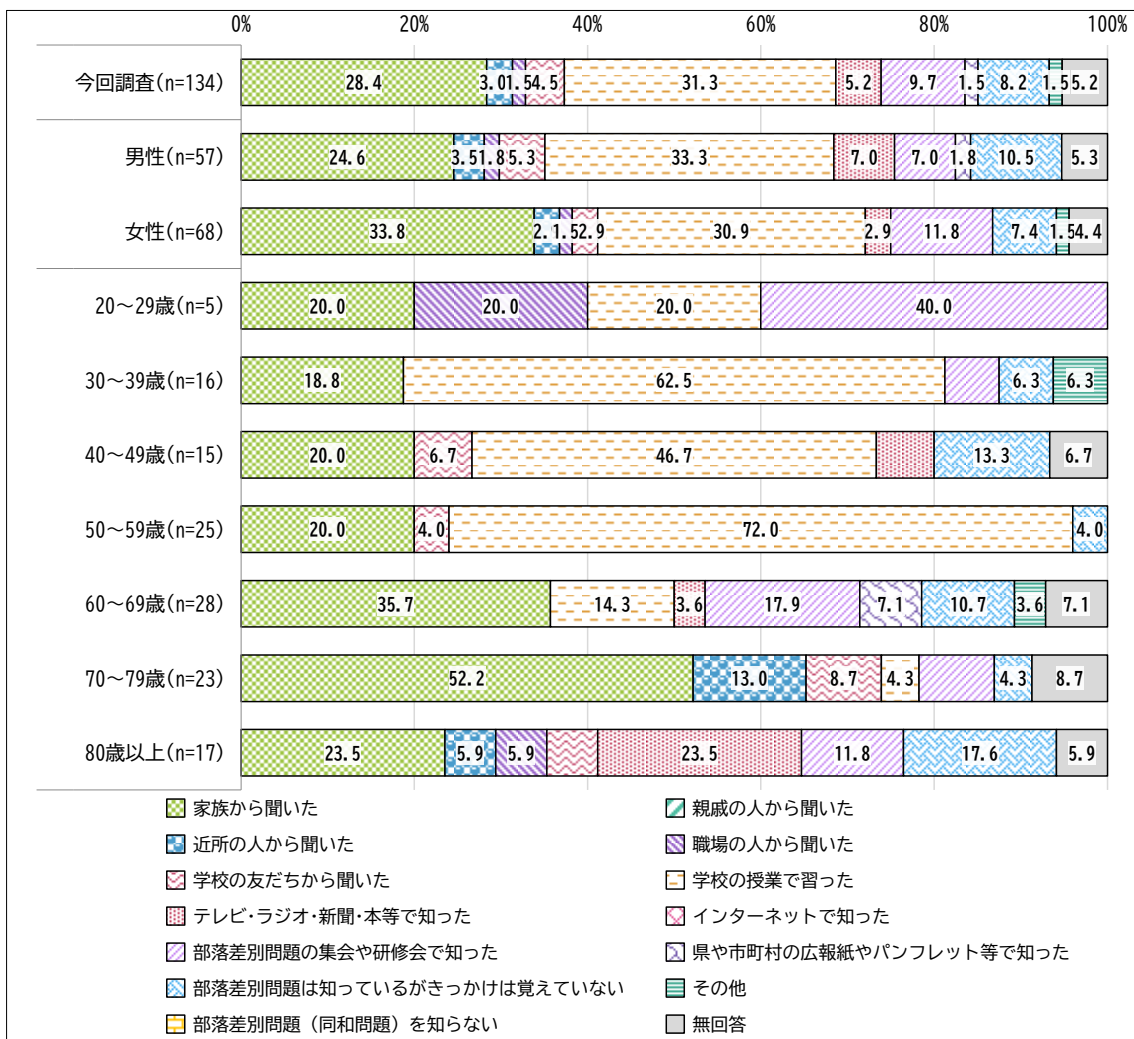
問28 あなたが部落差別問題（同和問題）を初めて知ったのはいつごろですか。
（単数回答）

- 全体では「小学校の時」が41.9%と最も高く、次いで「中学校の時」19.9%、「社会に出てから」18.4%となっています。
- 性別で見ると、男女ともに「小学校の時」が最も高くなっています。また、女性では男性と比べて「社会に出てから」が13.8ポイント高くなっています。
- 年代別で見ると30～50歳代では「小学校の時」、60歳代では「小学校の時」「中学校の時」、70歳代以上では「中学校の時」が最も高くなっています。



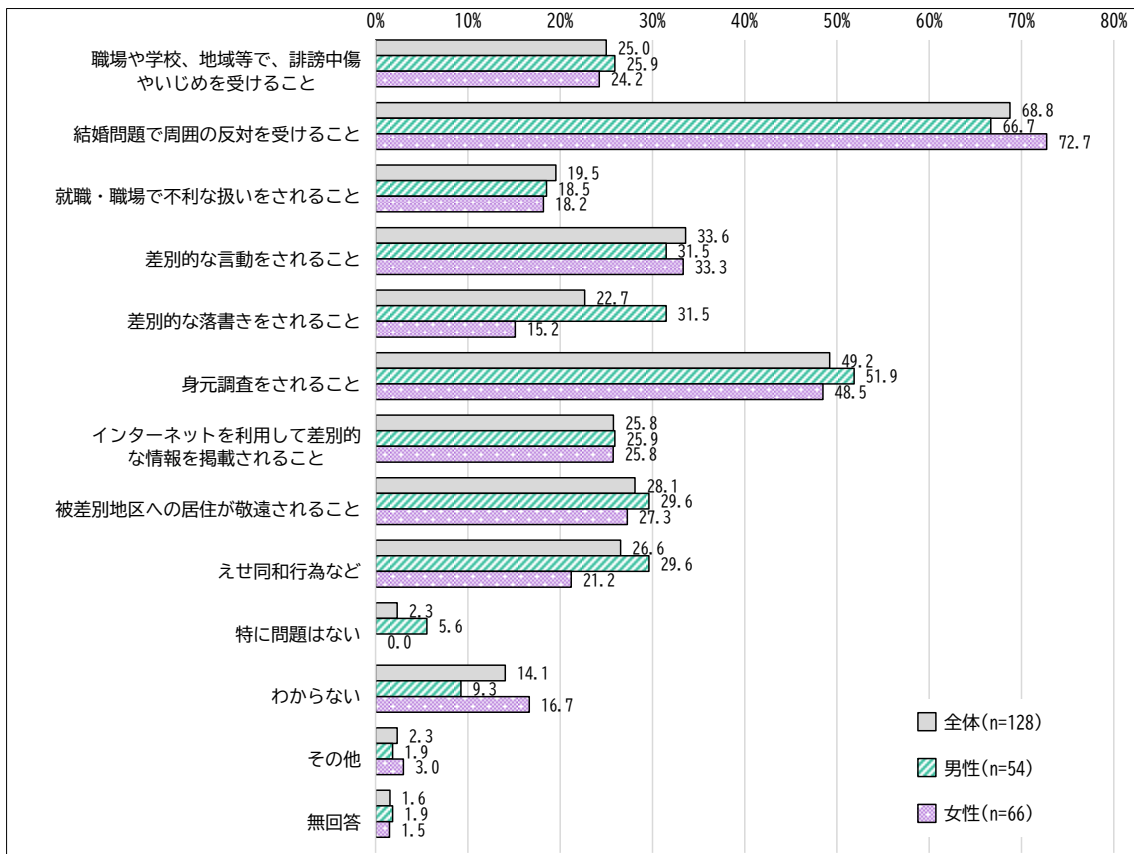
問29 あなたが部落差別問題（同和問題）を初めて知ったきっかけは何ですか。
（単数回答）

- 全体では「学校の授業で習った」が31.3%と最も高く、次いで「家族から聞いた」28.4%、「部落差別問題の集会や研修会で知った」9.7%となっています。
- 性別で見ると、男女ともに「学校の授業で習った」が最も高くなっています。
- 年代別で見ると、30～50歳代では「学校の授業で習った」、60～70歳代では「家族から聞いた」、80歳以上では「家族から聞いた」「テレビ・ラジオ・新聞・本等で知った」が最も高くなっています。



問30 あなたは、部落差別問題（同和問題）として、現在、どのような問題が起きていると思いますか。（複数回答）

- 全体では「結婚問題で周囲の反対を受けること」が68.8%と最も高く、次いで「身元調査をされること」49.2%、「差別的な言動をされること」33.6%となっています。
- 性別で見ると、男女ともに「結婚問題で周囲の反対を受けること」が最も高くなっています。また、男性では女性と比べて「差別的な落書きをされること」が16.3ポイント高くなっています。
- 年代別で見ると、70歳代までは「結婚問題で周囲の反対を受けること」、80歳以上では「結婚問題で周囲の反対を受けること」「身元調査をされること」が最も高くなっています。また、40歳代では「差別的な言動をされること」「身元調査をされること」「インターネットを利用して差別的な情報を掲載されること」が他の年代と比べて10ポイント以上高くなっています。



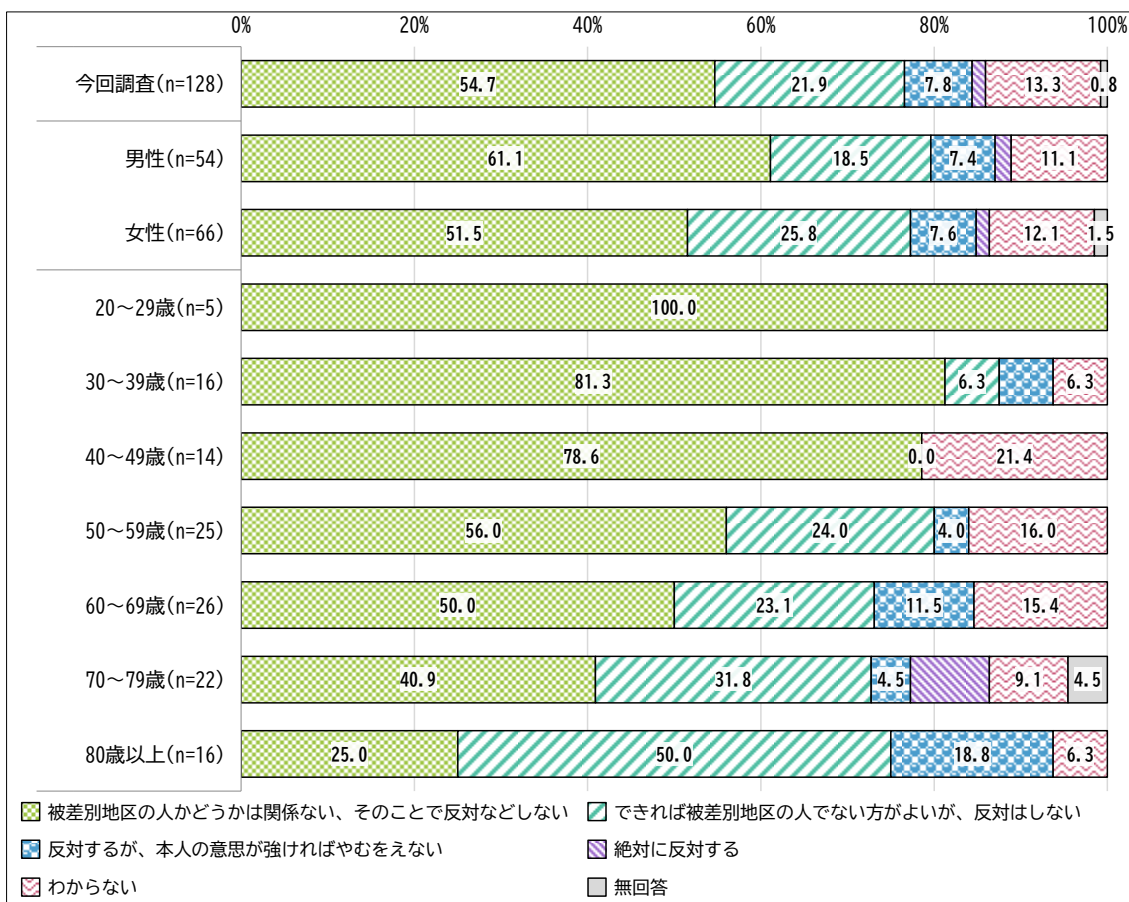
(上段：人 下段：%)

		標本数(人)	職場や学校、地域等で、誹謗中傷やいじめを受けること	結婚問題で周囲の反対を受け	就職・職場で不利な扱いをされること	差別的な言動をされること	差別的な落書きをされること	身元調査をされること	インターネットを利用して差別的な情報を掲載されること	被差別地区への居住が敬遠されること	えせ同和行為など	特に問題はない	わからない	その他	無回答
全体 (単純集計)		128	32 25.0%	88 68.8%	25 19.5%	43 33.6%	29 22.7%	63 49.2%	33 25.8%	36 28.1%	34 26.6%	3 2.3%	18 14.1%	3 2.3%	2 1.6%
年代別	20~29歳	5	3 60.0%	4 80.0%	2 40.0%	2 40.0%	2 40.0%	2 40.0%	2 40.0%	4 80.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30~39歳	16	7 43.8%	11 68.8%	3 18.8%	8 50.0%	6 37.5%	7 43.8%	4 25.0%	6 37.5%	5 31.3%	0 0.0%	1 6.3%	2 12.5%	0 0.0%
	40~49歳	14	6 42.9%	13 92.9%	5 35.7%	9 64.3%	6 42.9%	10 71.4%	8 57.1%	7 50.0%	5 35.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	50~59歳	25	8 32.0%	18 72.0%	5 20.0%	7 28.0%	6 24.0%	14 56.0%	10 40.0%	6 24.0%	4 16.0%	0 0.0%	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%
	60~69歳	26	3 11.5%	17 65.4%	2 7.7%	6 23.1%	4 15.4%	10 38.5%	4 15.4%	5 19.2%	8 30.8%	2 7.7%	5 19.2%	0 0.0%	0 0.0%
	70~79歳	22	3 13.6%	16 72.7%	2 9.1%	5 22.7%	2 9.1%	12 54.5%	1 4.5%	2 9.1%	4 18.2%	0 0.0%	5 22.7%	0 0.0%	0 0.0%
	80歳以上	16	2 12.5%	7 43.8%	5 31.3%	4 25.0%	2 12.5%	7 43.8%	3 18.8%	5 31.3%	3 18.8%	1 6.3%	5 31.3%	1 6.3%	2 12.5%

問26で「3.」「4.」を回答した方のみ

問31 あなたのお子さんが被差別地区の人との結婚をしたら、あなたはどうしますか。お子さんがいない方はいるものと仮定して考えてください。
(単数回答)

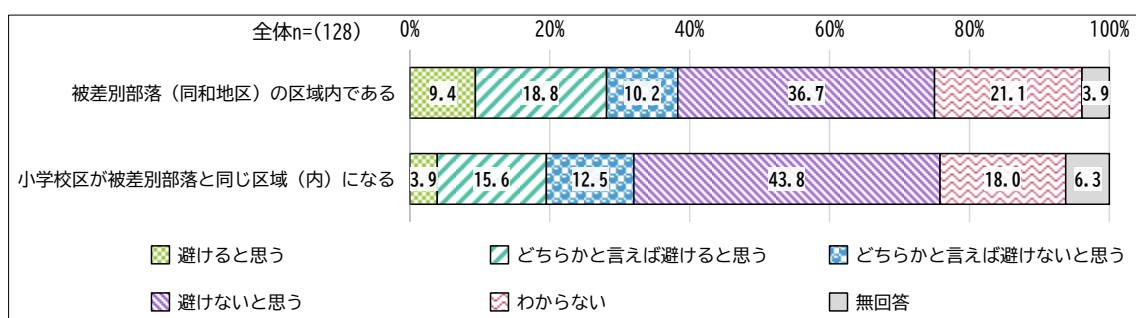
- 全体では「被差別地区の人かどうかは関係ない、そのことで反対などしない」が54.7%と最も高く、次いで「できれば被差別地区の人でない方がよいが、反対はしない」21.9%、「わからない」13.3%となっています。
- 性別で見ると、男女ともに「被差別地区の人かどうかは関係ない、そのことで反対などしない」が最も高くなっています。
- 年代別で見ると、70歳代までは「被差別地区の人かどうかは関係ない、そのことで反対などしない」、80歳以上では「できれば被差別地区の人でない方がよいが、反対はしない」が最も高くなっています。また、年代が高くなるにつれ「被差別地区の人かどうかは関係ない、そのことで反対などしない」の割合が低くなっています。
- 大分県調査との比較をみると、「被差別地区の人かどうかは関係ない、そのことで反対などしない」が10.3ポイント高くなっています。



問26で「3.」「4.」を回答した方のみ

問32 あなたが住宅を購入したり、アパートを借りるなど不動産を選ぶ際に、価格や立地条件などが希望に沿っていても、その他の条件により、避けることがありますか。(単数回答)

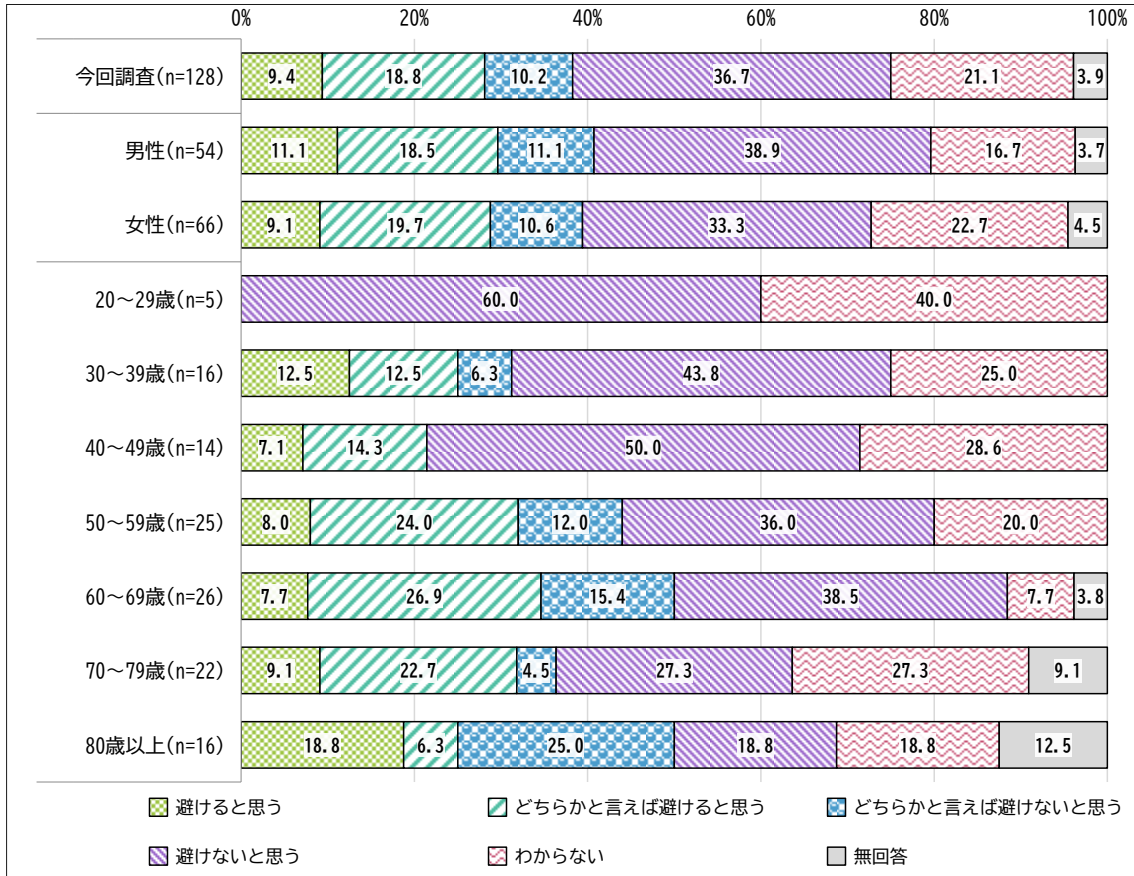
○住宅購入時等にその他の条件により、購入を避けることがあるか尋ねたところ、いずれも5割前後は「避けないと思う：どちらかと言えば避けないと思う+避けないと思う」と回答しています。



(1) 被差別部落（同和地区）の区域内である

○性別で見ると、男女ともに『避けないと思う』が『避けると思う』を上回っていますが、約3割は『避けると思う』と回答しています。

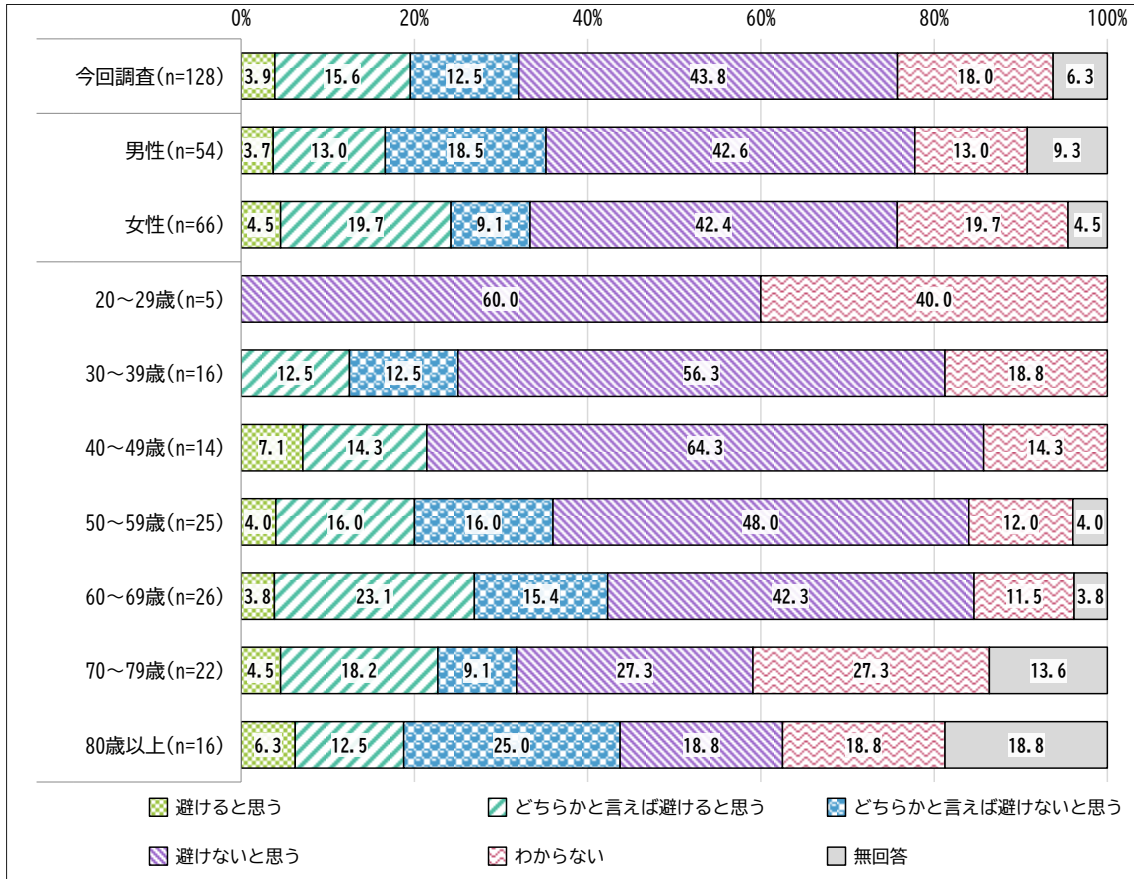
○年代別で見ると、70歳代では『避けると思う』『避けないと思う』が同率となっていますが、それ以外の年代では『避けないと思う』が『避けると思う』を上回っていますが、



(2) 小学校区が被差別部落と同じ区域（内）になる

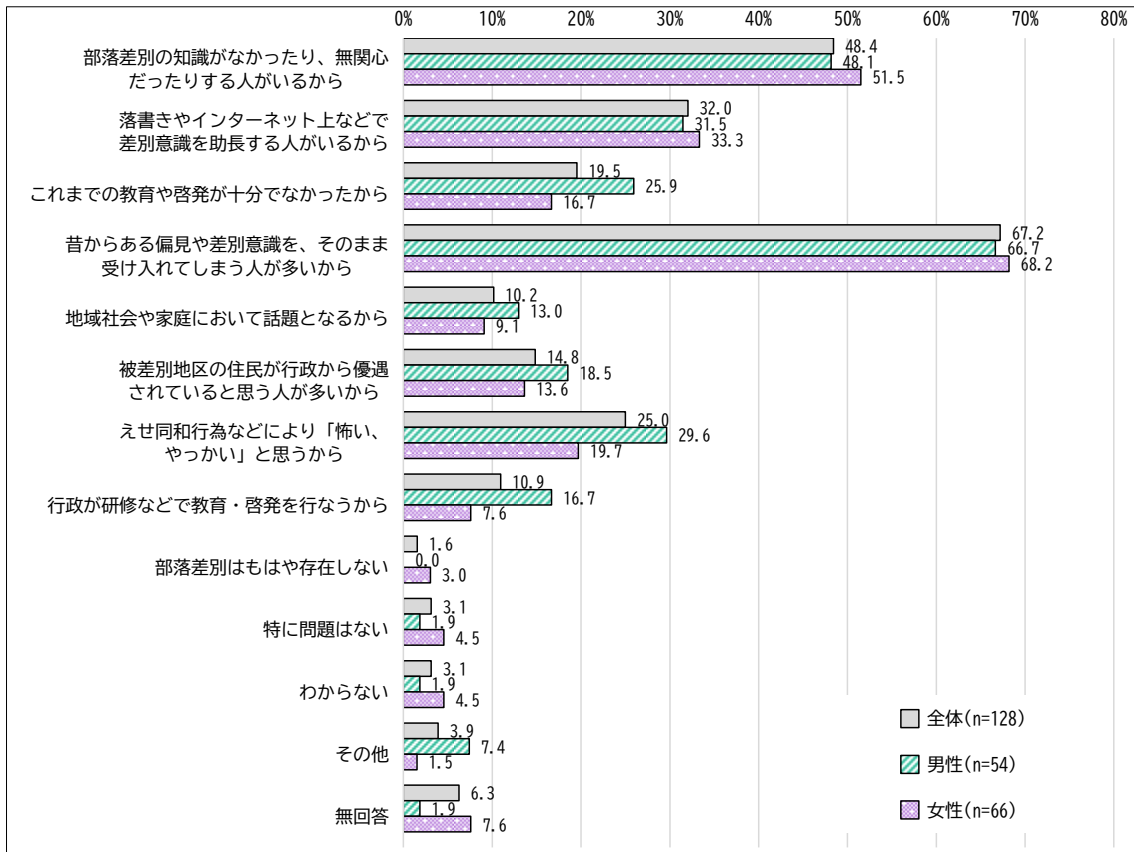
○性別で見ると、男女ともに『避けないと思う』が5割を超えており、『避けると思う』を上回っています。

○年代別で見ると、どの年代も『避けないと思う』が『避けると思う』を上回っていますが、70歳代以上では『避けないと思う』が他の年代と比べて低くなっています。



問33 現在もなお部落差別が存在するのは、なぜだと思いますか。(複数回答)

- 全体では「昔からある偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから」が67.2%と最も高く、次いで「部落差別の知識がなかったり、無関心だったりする人がいるから」48.4%、「落書きやインターネット上などで差別意識を助長する人がいるから」32.0%となっています。
- 性別で見ると、男女ともに「昔からある偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから」が最も高くなっています。
- 年代別で見ると、70歳代までは「昔からある偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから」、80歳以上では「部落差別の知識がなかったり、無関心だったりする人がいるから」が最も高くなっています。また、40歳代では「部落差別の知識がなかったり、無関心だったりする人がいるから」「落書きやインターネット上などで差別意識を助長する人がいるから」が他の年代と比べて10ポイント以上高くなっています。

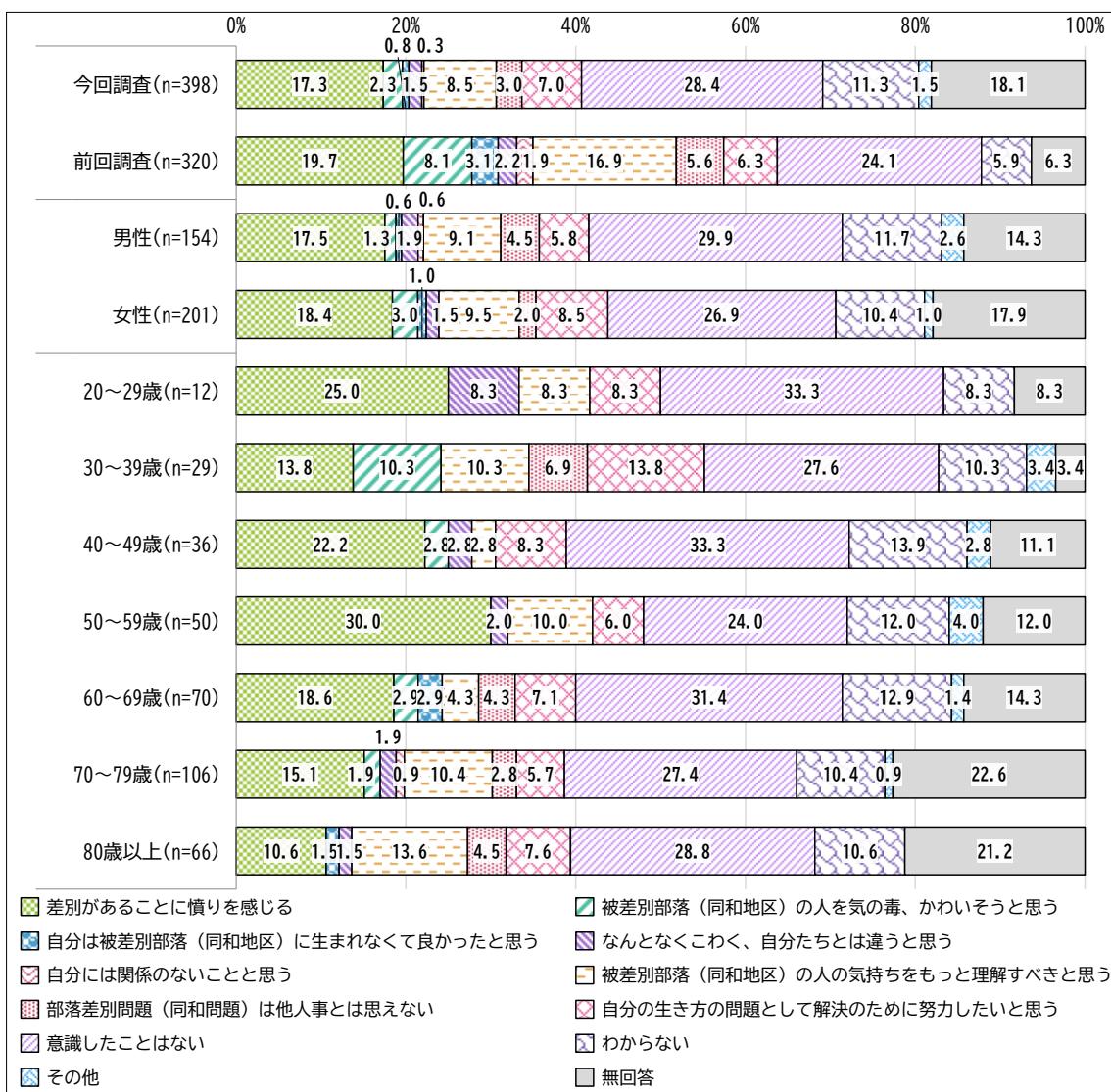


(上段：人 下段：%)

		標本数(人)	いるから	部落差	どで差	落書き	でな	これ	う人	昔	と	地	い	被	い	え	行	部	特	わ	そ	無						
			無関	差	別	意	識	を	助	長	す	る	人	が	十分	な	が	な	い	な	い	な	い					
全体 (単純集計)		128	62	41	25	86	13	19	32	14	2	4	4	5	8	48.4%	32.0%	19.5%	67.2%	10.2%	14.8%	25.0%	10.9%	1.6%	3.1%	3.1%	3.9%	6.3%
年 代 別	20~29歳	5	2	2	1	4	2	0	2	0	0	0	1	0	0	40.0%	40.0%	20.0%	80.0%	40.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%
	30~39歳	16	7	7	2	16	3	2	4	2	0	0	0	1	0	43.8%	43.8%	12.5%	100.0%	18.8%	12.5%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%
			12	10	3	13	2	3	2	1	0	0	0	0	0	0	85.7%	71.4%	21.4%	92.9%	14.3%	21.4%	14.3%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	40~49歳	14	15	8	5	16	2	3	4	3	0	1	0	2	1	60.0%	32.0%	20.0%	64.0%	8.0%	12.0%	16.0%	12.0%	0.0%	4.0%	0.0%	8.0%	4.0%
			11	8	7	20	2	2	8	4	0	0	1	0	0	0	42.3%	30.8%	26.9%	76.9%	7.7%	7.7%	30.8%	15.4%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%
	60~69歳	26	8	2	4	9	0	4	5	2	0	1	2	0	4	36.4%	9.1%	18.2%	40.9%	0.0%	18.2%	22.7%	9.1%	0.0%	4.5%	9.1%	0.0%	18.2%
			7	4	3	6	2	5	5	2	2	2	2	1	1	1	43.8%	25.0%	18.8%	37.5%	12.5%	31.3%	31.3%	12.5%	12.5%	12.5%	6.3%	6.3%

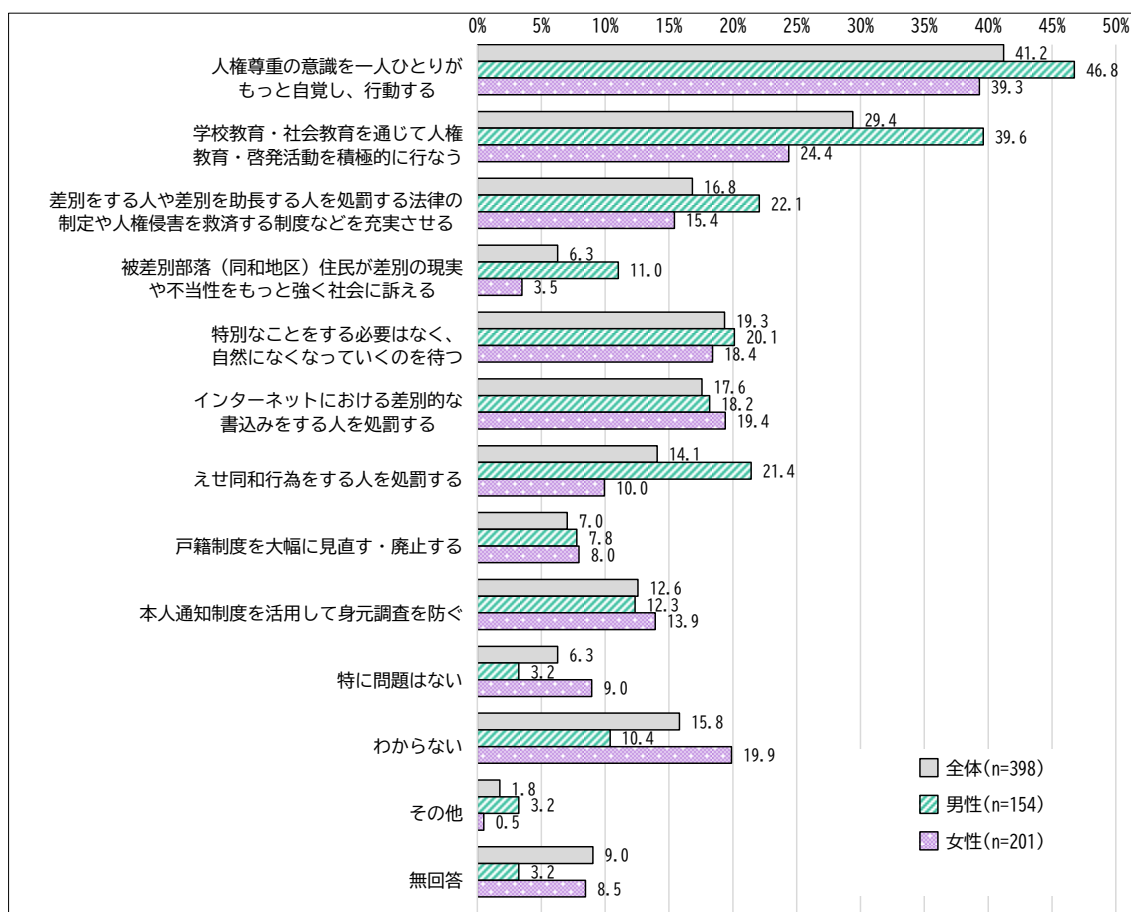
問34 あなたは、被差別部落（同和地区）や部落差別問題についてどのようにお考えですか。（単数回答）

- 全体では「意識したことはない」が 28.4%と最も高く、次いで「差別があることに憤りを感じる」17.3%、「わからない」11.3%となっています。
- 性別で見ると、「意識したことはない」が最も高くなっています。
- 年代別で見ると、50歳代では「差別があることに憤りを感じる」、他の年代では「意識したことはない」が最も高くなっています。



問35 あなたは、部落差別問題（同和問題）を解消するために、今後どうすればよいと思いますか。（複数回答）

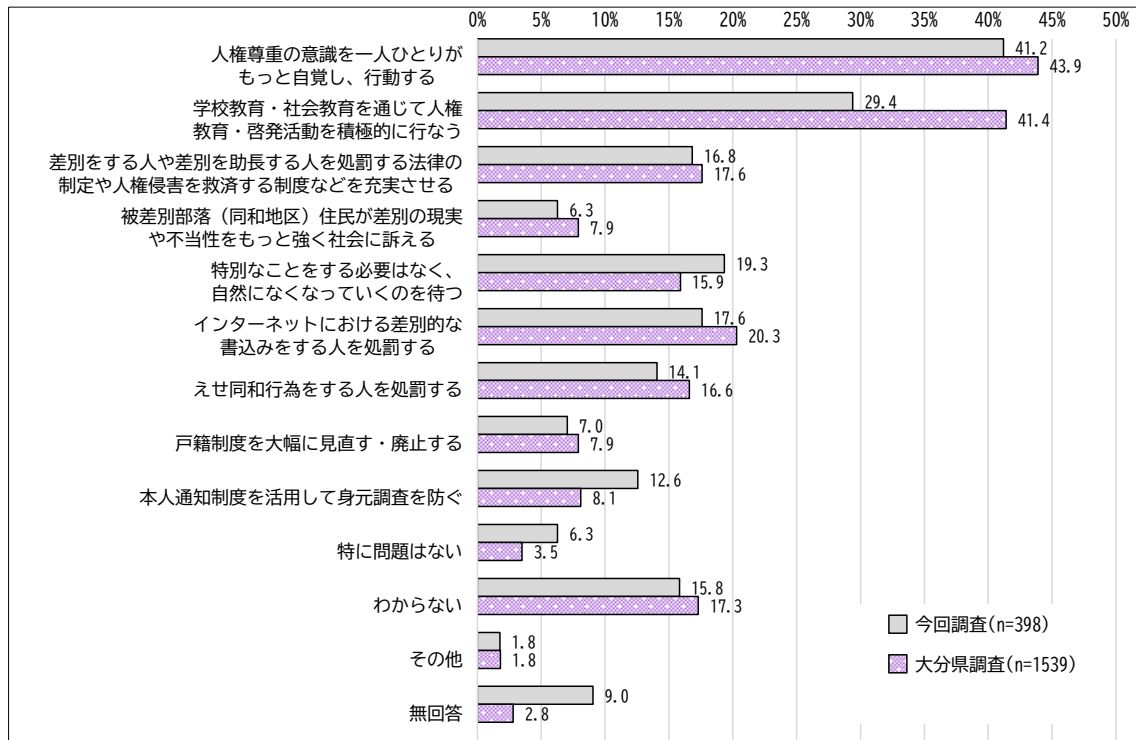
- 全体では「人権尊重の意識を一人ひとりがもっと自覚し、行動する」が41.2%と最も高く、次いで「学校教育・社会教育を通じて人権教育・啓発活動を積極的に行なう」29.4%、「特別なことをする必要はなく、自然になくなっていくのを待つ」19.3%となっています。
- 性別で見ると、男女ともに「人権尊重の意識を一人ひとりがもっと自覚し、行動する」が最も高くなっています。また、男性では女性と比べて「学校教育・社会教育を通じて人権教育・啓発活動を積極的に行なう」が15.2ポイント高くなっています。
- 年代別で見ると、どの年代も「人権尊重の意識を一人ひとりがもっと自覚し、行動する」が最も高くなっています。また、40歳代では「差別をする人や差別を助長する人を処罰する法律の制定や人権侵害を救済する制度などを充実させる」が他の年代と比べて10ポイント以上高くなっています。
- 大分県調査との比較をみると、「学校教育・社会教育を通じて人権教育・啓発活動を積極的に行なう」が12.0ポイント低くなっています。



(上段：人 下段：%)

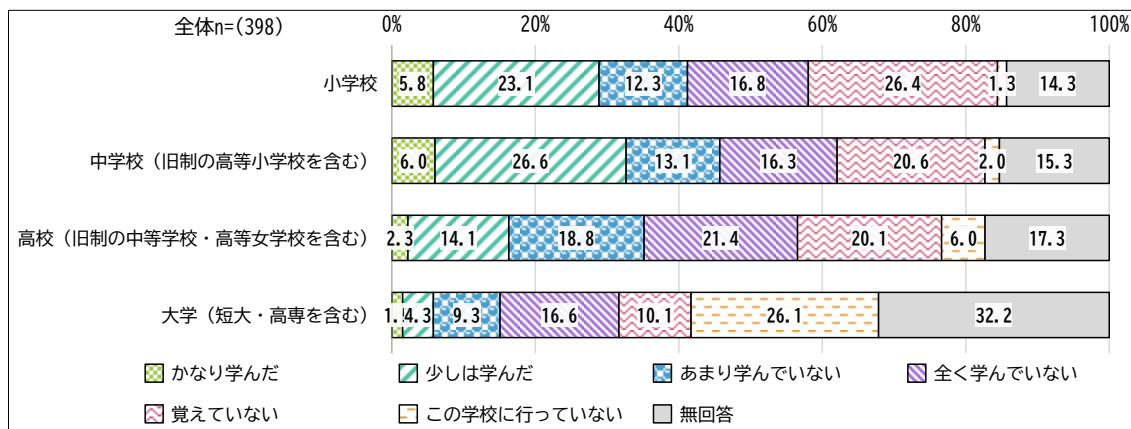
		標本数(人)	人権尊重の意識を一人ひとりがもっと自覚し、行動する	学校教育・社会教育を通じて人権教育・啓発活動を積極的にこなう	差別をする人や差別を助長する人を処罰する法律の制定や人権侵害を救済する制度などを充実させる	被差別部落(同和地区)住民が差別の現実や不当性をもっと強く社会に訴える	特別なことをする必要はなく、自然になくなっていくのを待つ	インターネットにおける差別的な書き込みをする人を処罰する	えせ同和行為をする人を処罰する	戸籍制度を大幅に見直す・廃止する	本人通知制度を活用して身元調査を防ぐ	特に問題はない	わからない	その他	無回答
全体(単純集計)		398	41.2%	29.4%	16.8%	6.3%	19.3%	17.6%	14.1%	7.0%	12.6%	6.3%	15.8%	1.8%	9.0%
年代別	20~29歳	12	58.3%	41.7%	8.3%	8.3%	0.0%	8.3%	25.0%	16.7%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%
	30~39歳	29	51.7%	27.6%	27.6%	10.3%	17.2%	34.5%	20.7%	13.8%	6.9%	3.4%	6.9%	3.4%	0.0%
	40~49歳	36	44.4%	41.7%	38.9%	8.3%	27.8%	38.9%	25.0%	13.9%	27.8%	2.8%	13.9%	2.8%	0.0%
	50~59歳	50	48.0%	40.0%	26.0%	10.0%	10.0%	30.0%	22.0%	6.0%	18.0%	4.0%	6.0%	2.0%	6.0%
	60~69歳	70	37.1%	25.7%	20.0%	7.1%	28.6%	21.4%	17.1%	2.9%	15.7%	2.9%	20.0%	1.4%	4.3%
	70~79歳	106	42.5%	28.3%	12.3%	3.8%	19.8%	8.5%	5.7%	3.8%	8.5%	7.5%	20.8%	1.9%	11.3%
	80歳以上	66	34.8%	25.8%	4.5%	4.5%	16.7%	7.6%	10.6%	10.6%	12.1%	13.6%	16.7%	0.0%	12.1%

【他調査との比較】



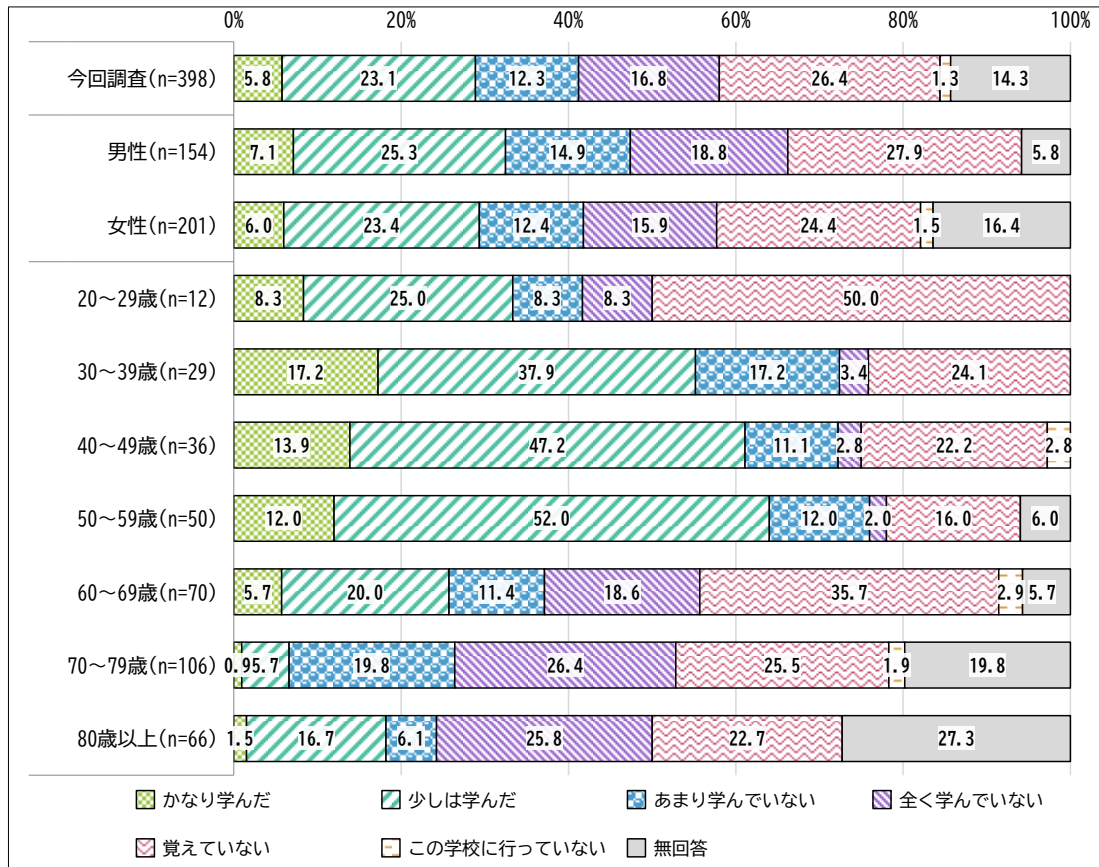
問36 あなたは、部落差別問題（同和問題）について学校で教育を受けましたか。
（単数回答）

○部落差別問題（同和問題）の学校教育について、「学んだ：かなり学んだ+少しは学んだ」が小学校及び中学校では2～3割台、高校では1割台、大学では1割以下となっており、高校では「学んでいない：あまり学んでいない+全く学んでいない」が『学んだ』を上回っています。



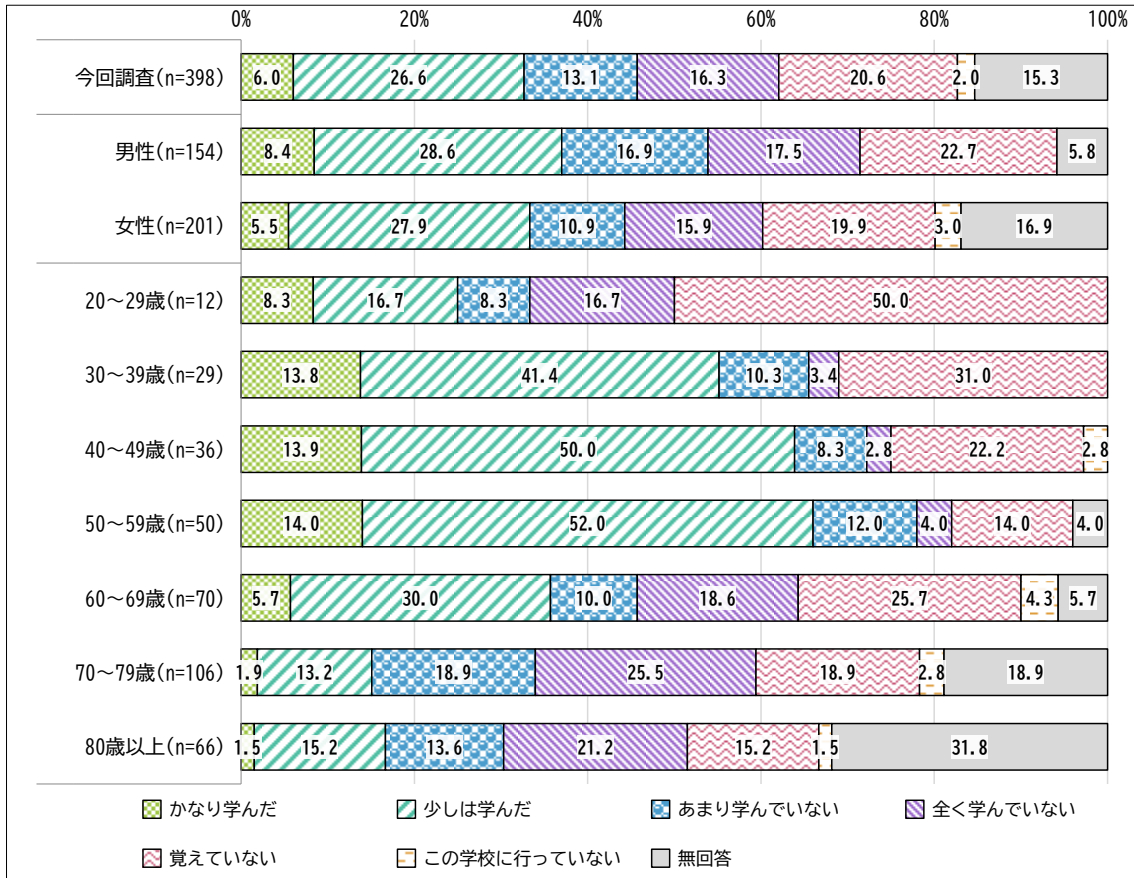
(1) 小学校

- 性別で見ると、男女ともに『学んだ』『学んでいない』がともに3割前後となっています。
- 年代別で見ると、20歳代及び60歳代では「覚えていない」が最も高くなっています。また、50歳代までは『学んだ』が『学んでいない』を上回っており、特に30～50歳代では5割を超えています。加えて、60歳以上では『学んでいない』が『学んだ』を上回っており、70歳代では『学んだ』が1割以下となっています。



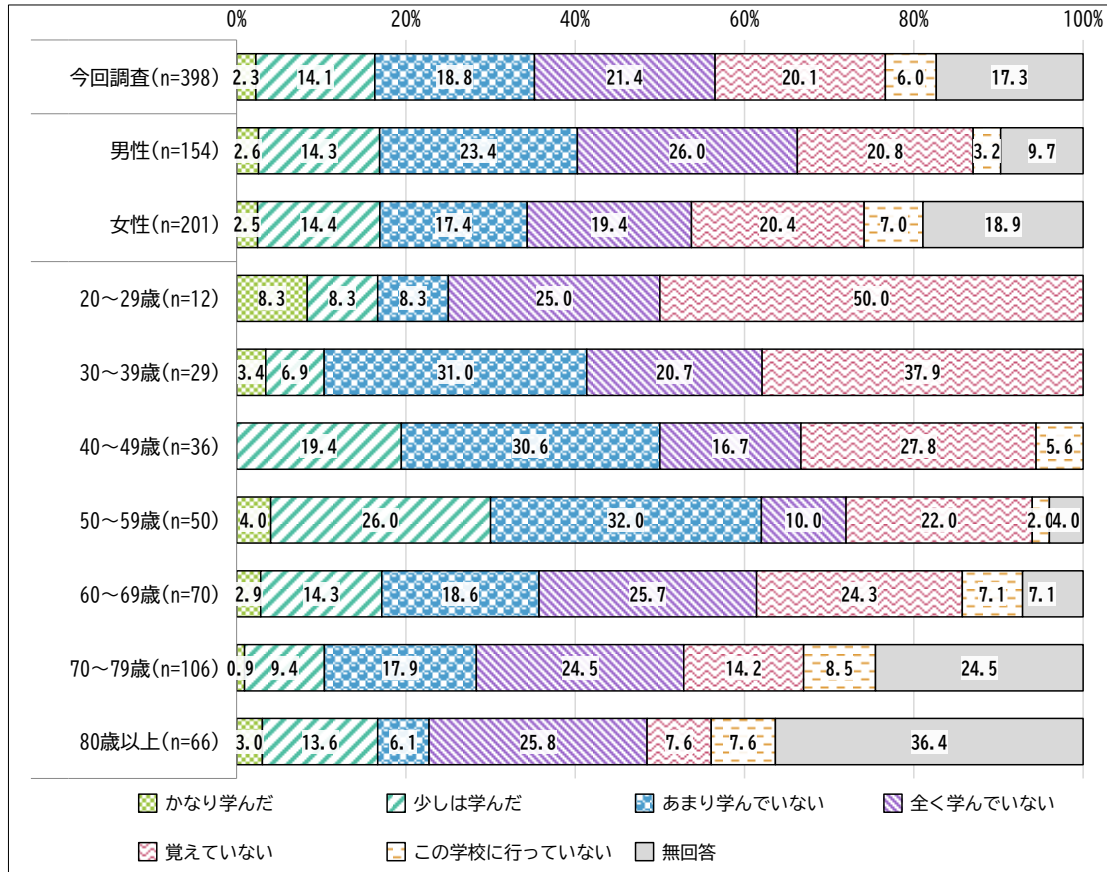
(2) 中学校（旧制の高等小学校を含む）

- 性別で見ると、男女ともに『学んだ』『学んでいない』がともに3割前後となっています。
- 年代別で見ると、20歳代では「覚えていない」が最も高くなっています。また、30～60歳代までは『学んだ』が『学んでいない』を上回っており、30～50歳代では5割を超えています。70歳以上では『学んでいない』が『学んだ』を上回っています。



(3) 高校（旧制の中等学校・高等女学校を含む）

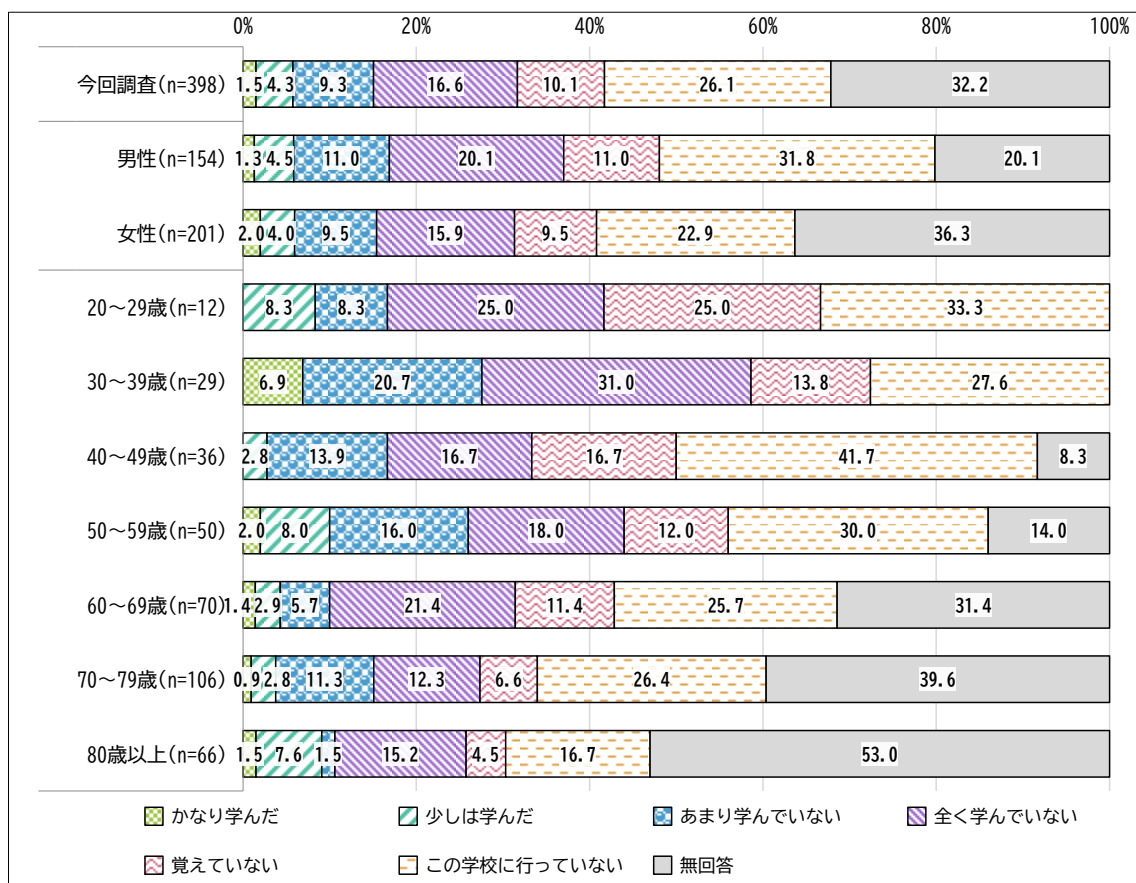
- 性別で見ると、男女ともに『学んでいない』が『学んだ』を上回っており、男性では女性と比べて12.6ポイント高くなっています。
- 年代別で見ると、20～30歳代では「覚えていない」が最も高くなっています。また、どの年代も『学んでいない』が『学んだ』を上回っています。



(4) 大学（短大・高専を含む）

○性別で見ると、男女ともに「この学校に行っていない」が最も高くなっています。また、男女ともに『学んでいない』が『学んだ』を上回っています。

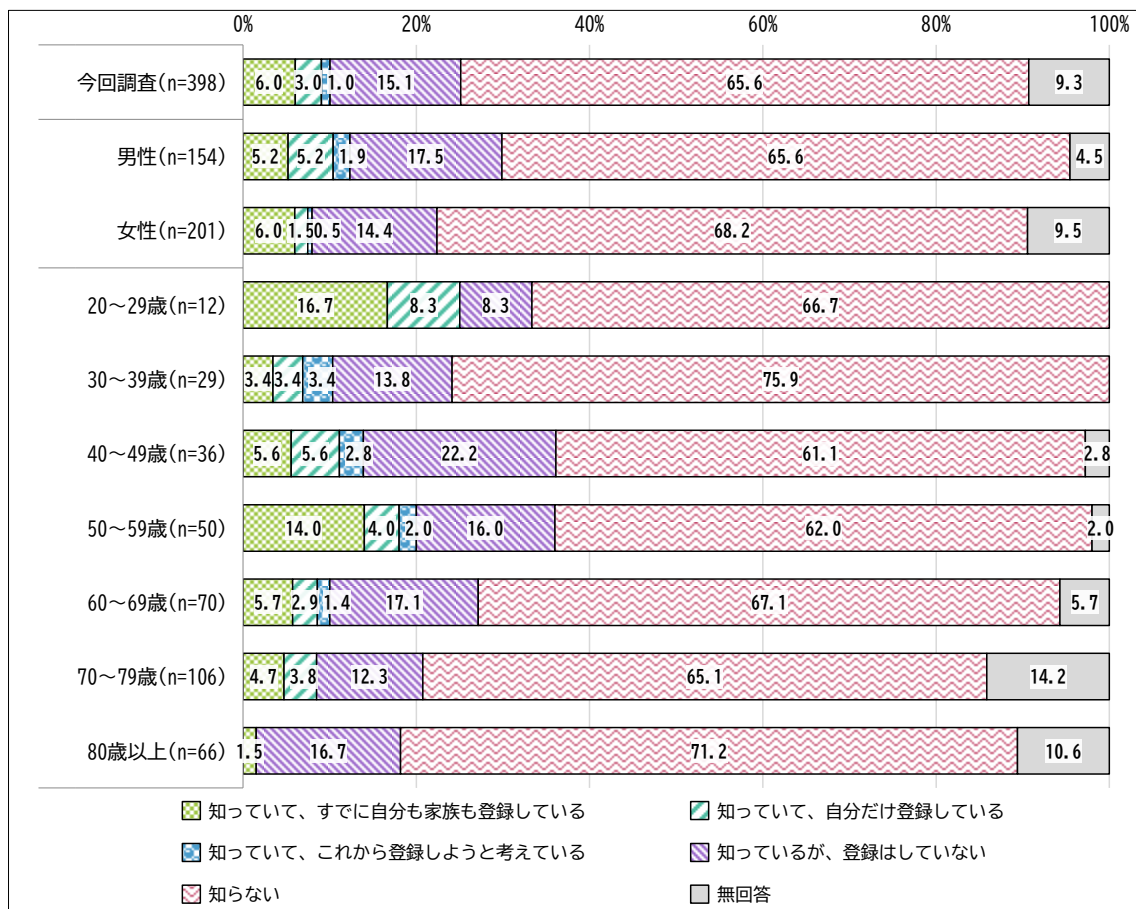
○年代別で見ると、30歳代以外の年代では「この学校に行っていない」が最も高くなっています。また、どの年代も『学んでいない』が『学んだ』を上回っています。



問37 あなたは、九重町で 2013（平成 25）年から始まった「本人通知制度」をご存じですか。（単数回答）

○全体では「知らない」が 65.6%と最も高く、次いで「知っているが、登録はしていない」15.1%、「知っている、すでに自分も家族も登録している」6.0%となっており、約7割が「知らない」と回答しています。

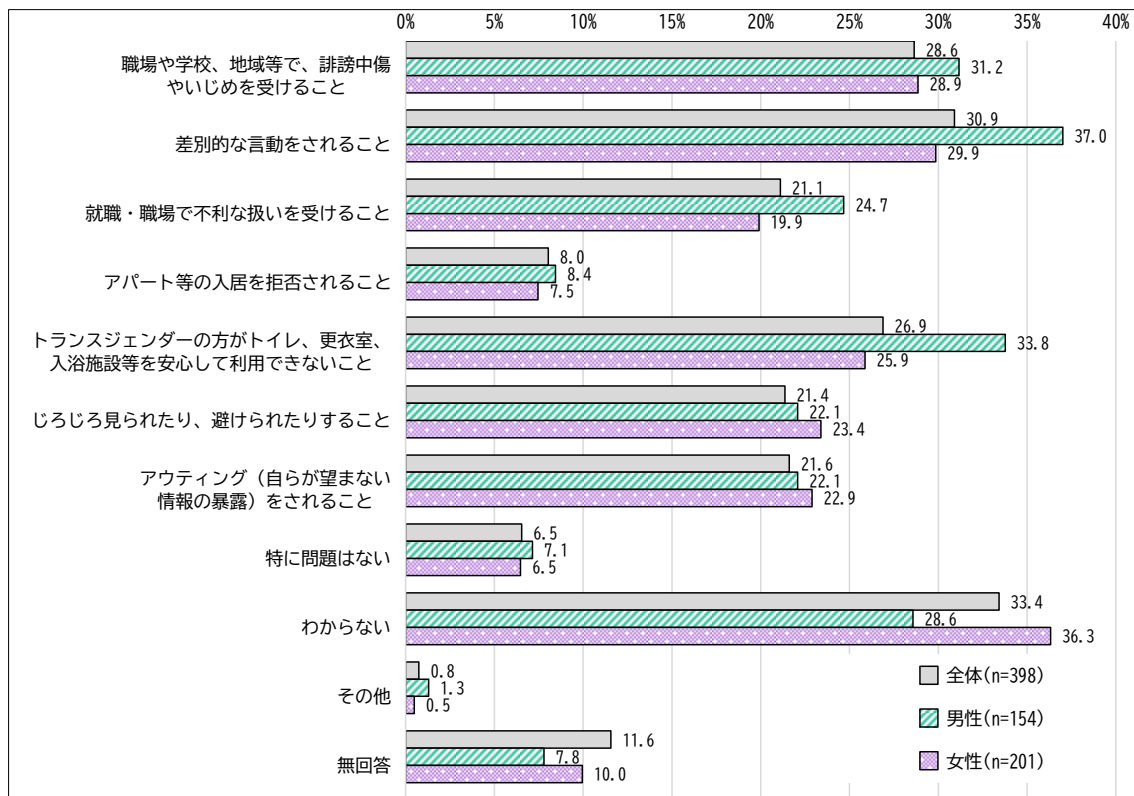
○性別及び年代別でも、いずれも「知らない」が最も高くなっており、6割を超えています。



8. 性的少数者（LGBT）の人権について

問38 あなたは、性的少数者（LGBT）に関することで、現在、どのような人権問題があると思いますか。（複数回答）

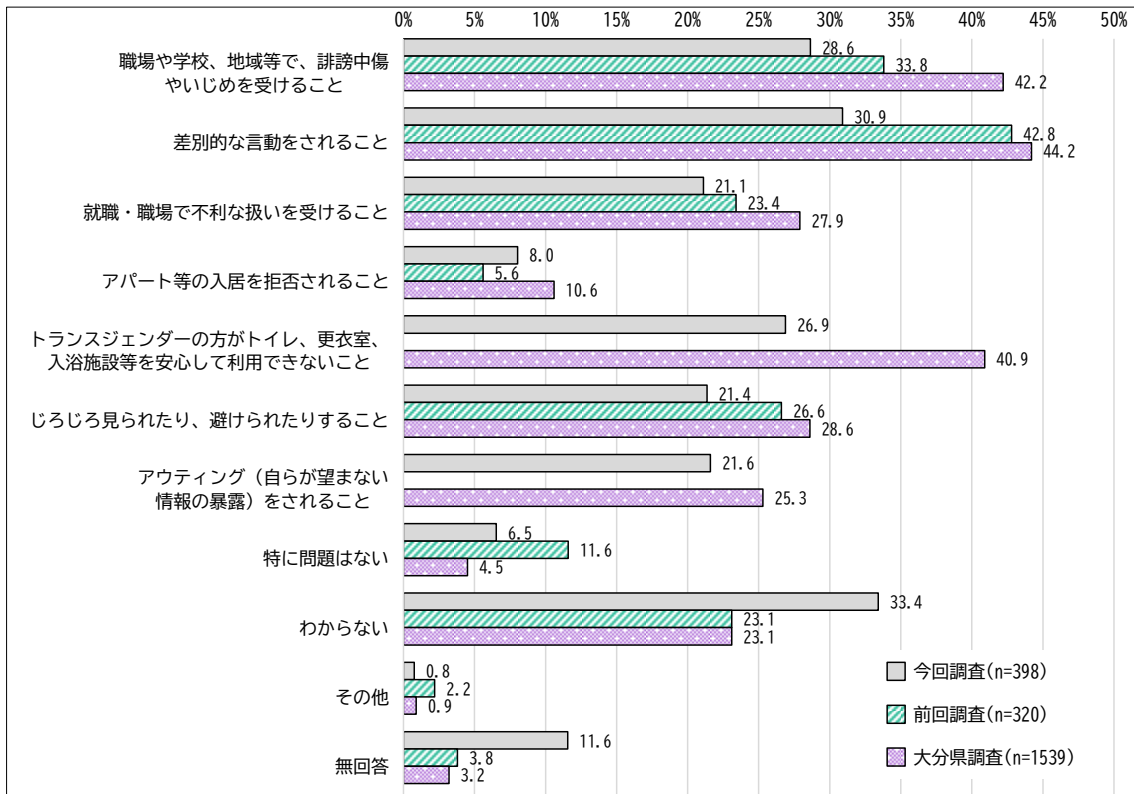
- 全体では「わからない」が33.4%と最も高く、次いで「差別的な言動をされること」30.9%、「職場や学校、地域等で、誹謗中傷やいじめを受けること」28.6%となっています。
- 性別で見ると、男性では「差別的な言動をされること」、女性では「わからない」が最も高くなっています。
- 年代別で見ると、30歳代では「アウティング（自らが望まない情報の暴露）をされること」、20歳代及び40～50歳代では「差別的な言動をされること」、60歳代以上では「わからない」が最も高くなっています。
- 前回調査との比較をみると、「差別的な言動をされること」が低く、「わからない」が高くなっており、10ポイント以上差が生じています。
- 大分県調査との比較をみると、「職場や学校、地域等で、誹謗中傷やいじめを受けること」「差別的な言動をされること」「トランスジェンダーの方がトイレ、更衣室、入浴施設等を安心して利用できないこと」が低く、「わからない」が高くなっており、10ポイント以上差が生じています。



(上段：人 下段：%)

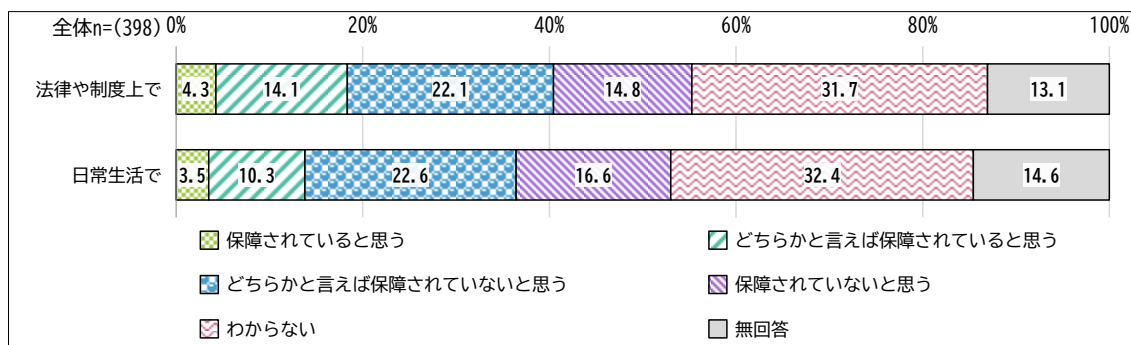
		標本数(人)	職場や学校、地域等で、誹謗中傷やいじめを受けること	差別的な言動をされること	就職・職場で不利な扱いを受けること	アパート等の入居を拒否されること	トイレ、更衣室、入浴施設等を安心して利用できないこと	じろじろ見られたり、避けられたりすること	アウトティング(自らが望まない情報の暴露)をされること	特に問題はない	わからない	その他	無回答
全体(単純集計)		398	28.6%	30.9%	21.1%	8.0%	26.9%	21.4%	21.6%	6.5%	33.4%	0.8%	11.6%
年代別	20~29歳	12	25.0%	58.3%	16.7%	8.3%	41.7%	41.7%	41.7%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%
	30~39歳	29	44.8%	44.8%	31.0%	6.9%	37.9%	31.0%	48.3%	3.4%	13.8%	3.4%	10.3%
	40~49歳	36	50.0%	52.8%	36.1%	8.3%	47.2%	38.9%	50.0%	5.6%	13.9%	2.8%	2.8%
	50~59歳	50	36.0%	52.0%	34.0%	12.0%	44.0%	30.0%	18.0%	6.0%	22.0%	0.0%	2.0%
	60~69歳	70	27.1%	34.3%	20.0%	8.6%	32.9%	21.4%	27.1%	7.1%	40.0%	0.0%	2.9%
	70~79歳	106	25.5%	19.8%	16.0%	9.4%	19.8%	16.0%	13.2%	8.5%	35.8%	0.9%	16.0%
	80歳以上	66	18.2%	16.7%	13.6%	1.5%	10.6%	13.6%	7.6%	4.5%	54.5%	0.0%	15.2%

【他調査との比較】



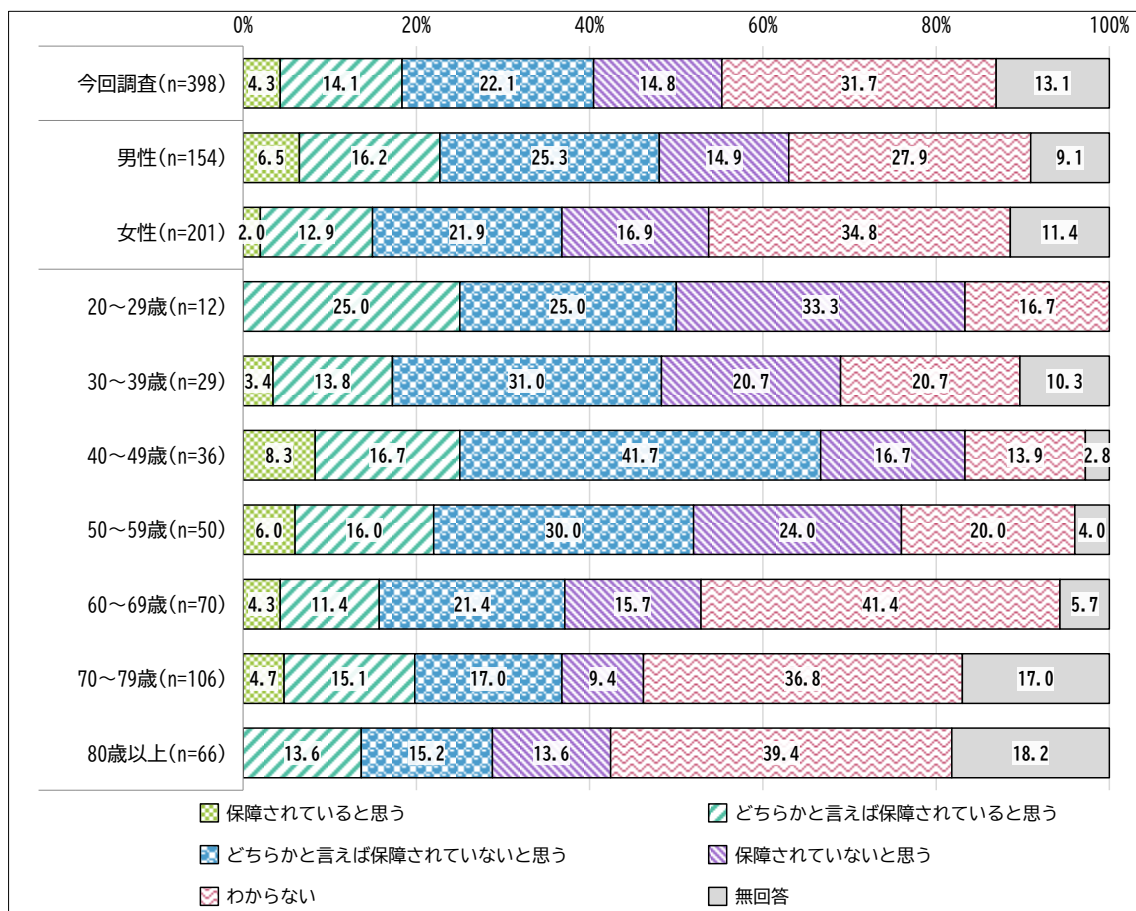
問39 あなたは、性的少数者（LGBT）の人権は保障されていると思いますか。
 （単数回答）

○性的少数者の人権が保障されているかについて、法律や制度上及び日常生活では約4割が「保証されていないと思う：どちらかと言えば保証されていないと思う+保証されていないと思う」と回答しており、「保証されていると思う：保証されていると思う+どちらかと言えば保証されていると思う」を上回っています。

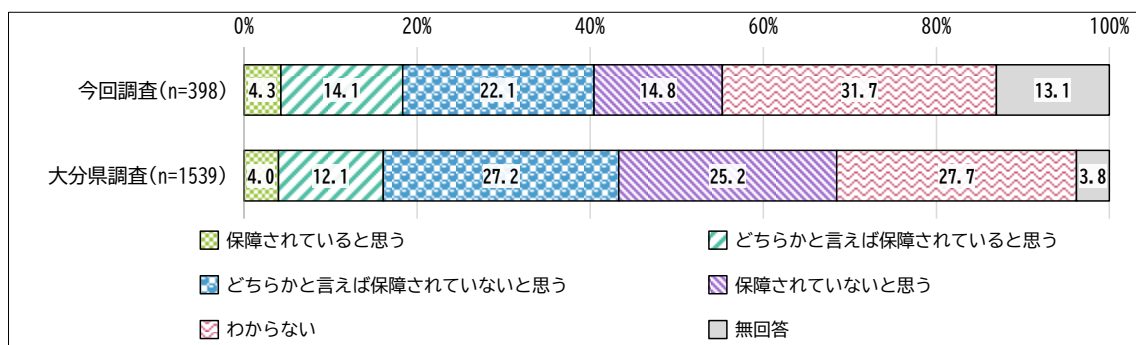


(1) 法律や制度上で

- 性別で見ると、男女ともに「わからない」が最も高くなっています。また、『保証されていないと思う』が『保証されていると思う』を上回っています。
- 年代別で見ると、60歳代以上では「わからない」が最も高くなっています。また、どの年代も『保証されていないと思う』が『保証されていると思う』を上回っており、50歳代までは『保証されていないと思う』が5割を超えています。
- 大分県調査との比較をみると、「保障されていないと思う」が10.4ポイント低くなっています。



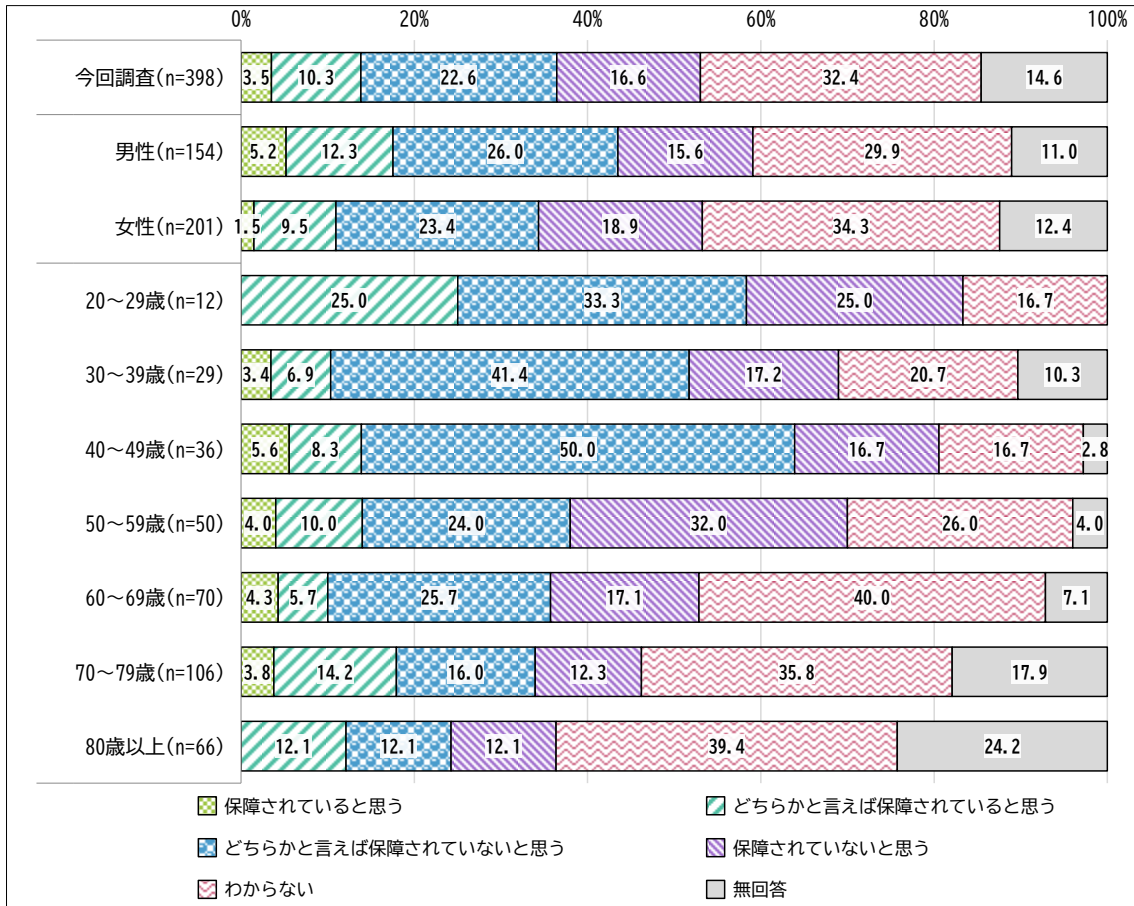
【他調査との比較】



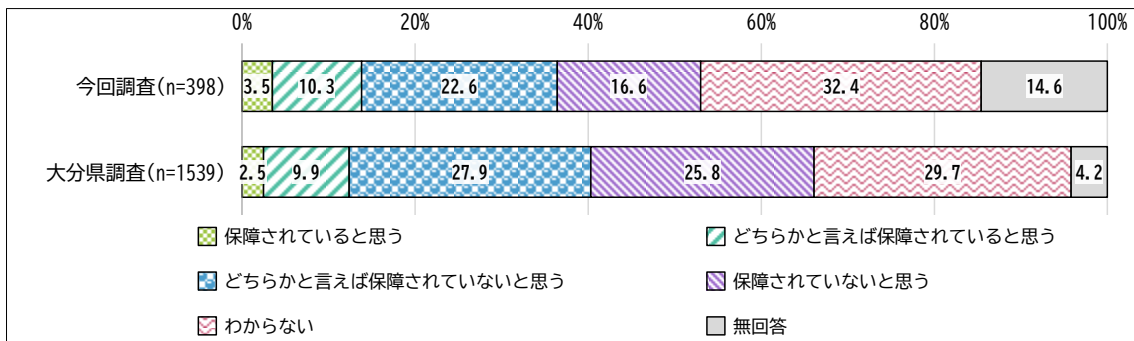
(2) 日常生活で

○性別でみると、男女ともに「わからない」が最も高くなっています。また、『保証されていないと思う』が『保証されていると思う』を上回っています。

○年代別でみると、60歳代以上では「わからない」が最も高くなっています。また、どの年代も『保証されていないと思う』が『保証されていると思う』を上回っており、50歳代までは『保証されていないと思う』が5割を超えています。

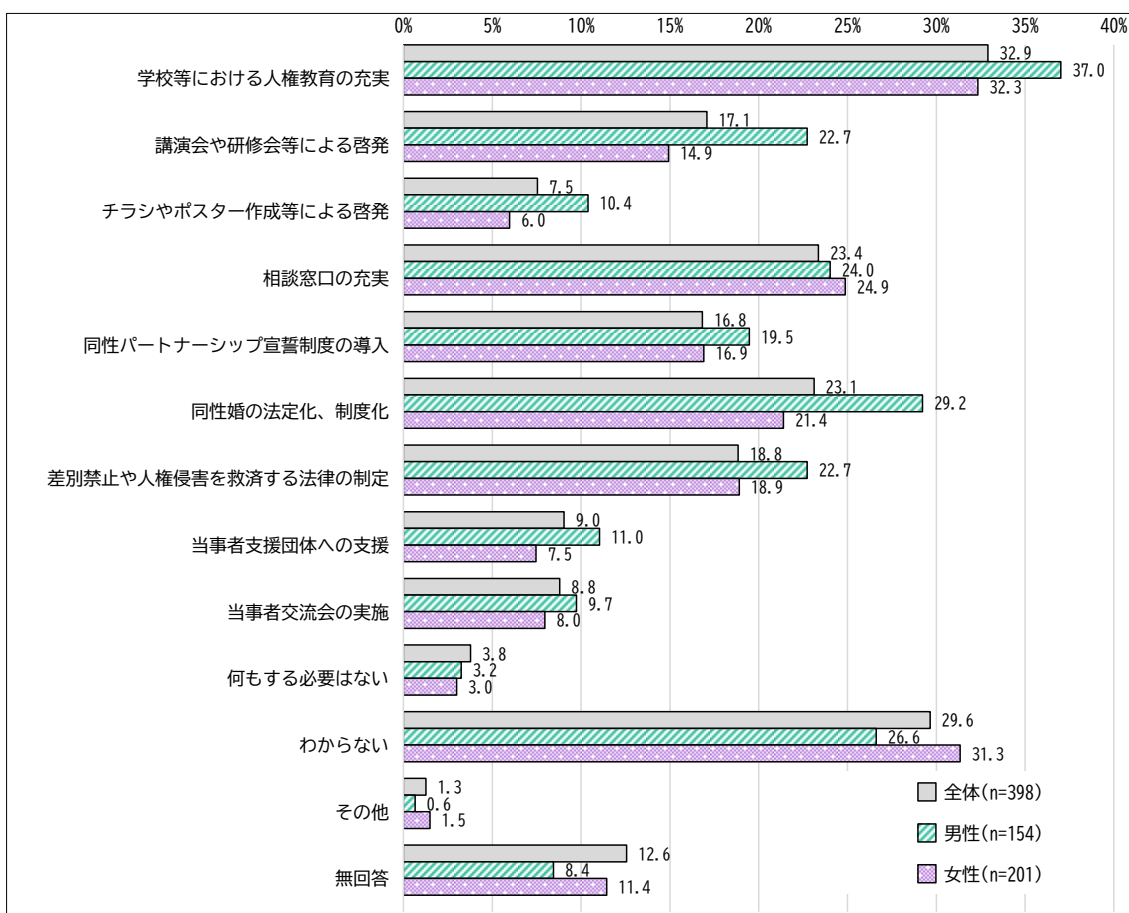


【他調査との比較】



問40 性的少数者（LGBT）の方が生活しやすい社会をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

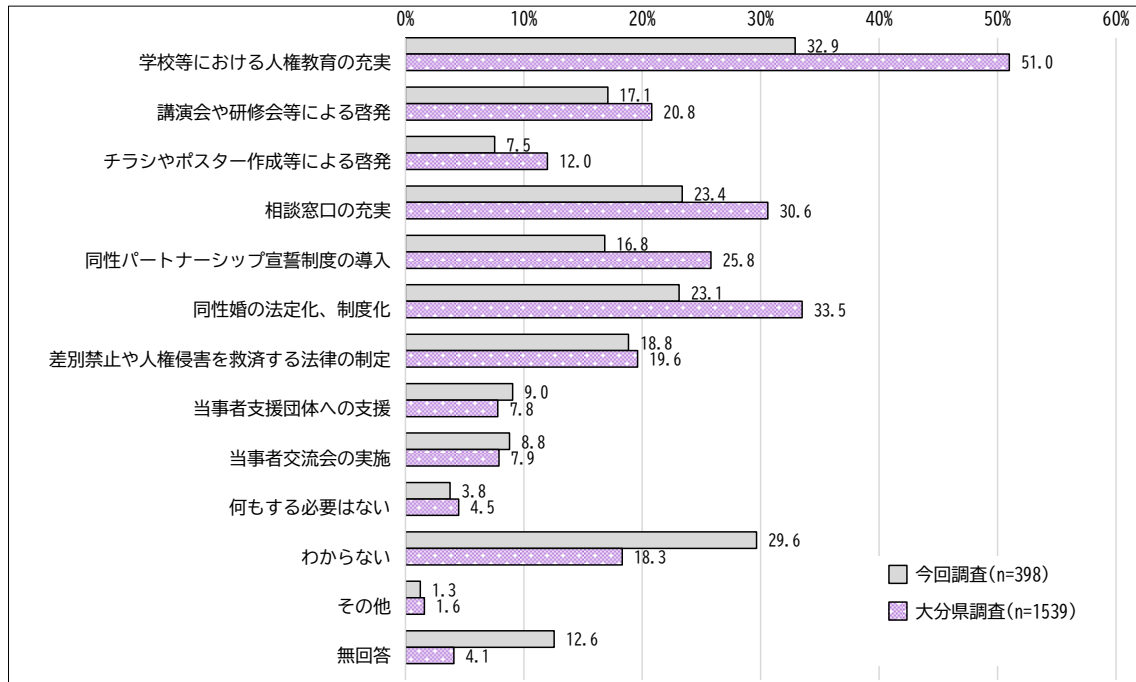
- 全体では「学校等における人権教育の充実」が32.9%と最も高く、次いで「わからない」29.6%、「相談窓口の充実」23.4%となっています。
- 性別で見ると、男女ともに「学校等における人権教育の充実」が最も高くなっています。
- 年代別で見ると、20～40歳代では「学校等における人権教育の充実」、50歳代では「相談窓口の充実」、60歳代以上では「わからない」が最も高く、30歳代では「同性婚の法定化、制度化」も同率で最も高くなっています。
- 大分県調査との比較をみると、「学校等における人権教育の充実」「同性婚の法定化、制度化」が低く、「わからない」が高くなっており、10ポイント以上差が生じています。



(上段：人 下段：%)

	標本数(人)	実学校等における人権教育の充	講演会や研修会等による啓発	チラシやポスター作成等による啓発	相談窓口の充実	同性パートナーシップ宣誓制度の導入	同性婚の法定化、制度化	差別禁止や人権侵害を救済する法律の制定	当事者支援団体への支援	当事者交流会の実施	何もする必要はない	わからない	その他	無回答
全体(単純集計)	398	131 32.9%	68 17.1%	30 7.5%	93 23.4%	67 16.8%	92 23.1%	75 18.8%	36 9.0%	35 8.8%	15 3.8%	118 29.6%	5 1.3%	50 12.6%
年代別	20~29歳	12 50.0%	4 33.3%	0 0.0%	2 16.7%	3 25.0%	5 41.7%	4 33.3%	0 0.0%	3 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30~39歳	29 37.9%	4 13.8%	4 13.8%	8 27.6%	9 31.0%	11 37.9%	9 31.0%	5 17.2%	6 20.7%	2 6.9%	4 13.8%	1 3.4%	2 6.9%
	40~49歳	36 50.0%	8 22.2%	5 13.9%	13 36.1%	17 47.2%	13 36.1%	9 25.0%	6 16.7%	6 16.7%	3 8.3%	6 16.7%	1 2.8%	0 0.0%
	50~59歳	50 36.0%	14 28.0%	3 6.0%	19 38.0%	13 26.0%	13 26.0%	12 24.0%	8 16.0%	5 10.0%	0 0.0%	11 22.0%	0 0.0%	3 6.0%
	60~69歳	70 35.7%	12 17.1%	6 8.6%	16 22.9%	12 17.1%	20 28.6%	15 21.4%	7 10.0%	4 5.7%	3 4.3%	27 38.6%	0 0.0%	5 7.1%
	70~79歳	106 25.5%	13 12.3%	8 7.5%	12 11.3%	5 4.7%	16 15.1%	16 15.1%	2 1.9%	4 3.8%	3 2.8%	40 37.7%	1 0.9%	17 16.0%
	80歳以上	66 33.3%	11 16.7%	3 4.5%	20 30.3%	7 10.6%	12 18.2%	9 13.6%	5 7.6%	5 7.6%	0 0.0%	23 34.8%	1 1.5%	10 15.2%

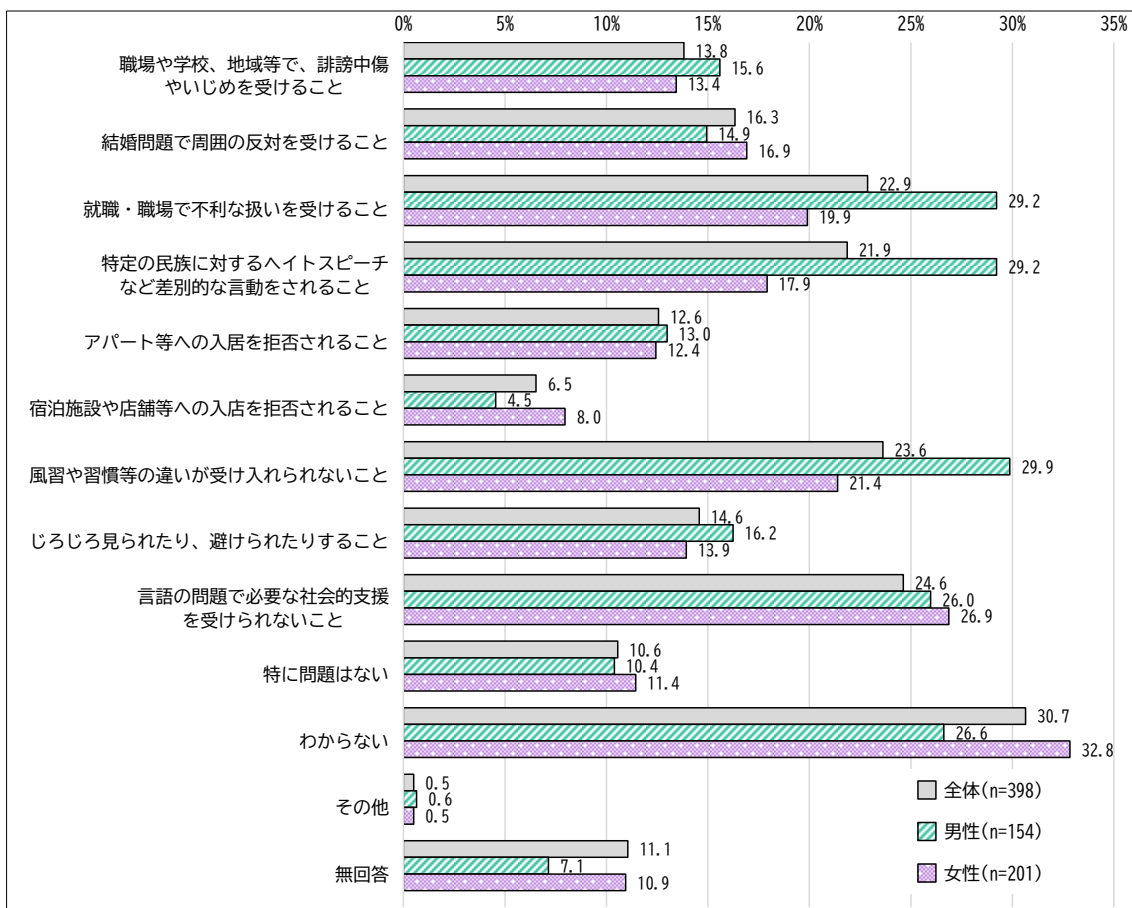
【他調査との比較】



9. 外国人の人権について

問41 あなたは、外国人に関することで、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。(複数回答)

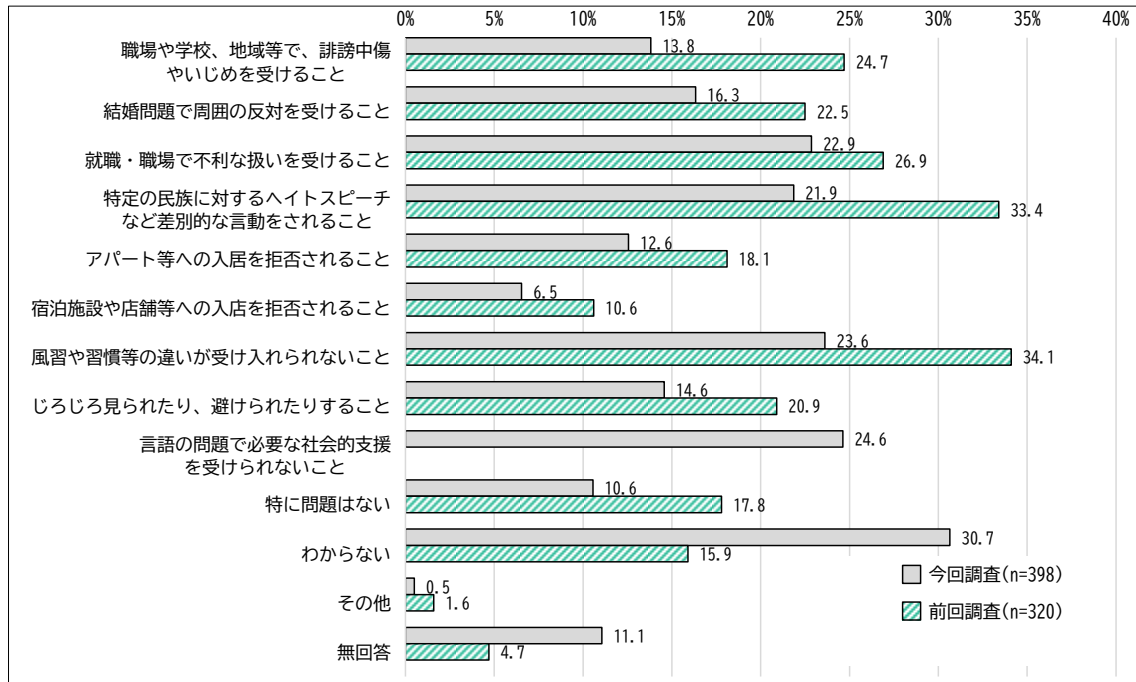
- 全体では「わからない」が30.7%と最も高く、次いで「言語の問題で必要な社会的支援を受けられないこと」24.6%、「風習や習慣等の違いが受け入れられないこと」23.6%となっています。
- 性別で見ると、男性では「風習や習慣等の違いが受け入れられないこと」、女性では「わからない」が最も高くなっています。また、男性では女性と比べて「就職・職場で不利な扱いを受けること」「特定の民族に対するヘイトスピーチなど差別的な言動をされること」が10ポイント前後高くなっています。
- 年代別で見ると、20～40歳代では「言語の問題で必要な社会的支援を受けられないこと」、50歳代では「風習や習慣等の違いが受け入れられないこと」、60歳代以上では「わからない」が最も高く、20歳代では「特定の民族に対するヘイトスピーチなど差別的な言動をされること」も同率で最も高くなっています。
- 前回調査との比較をみると、「職場や学校、地域等で、誹謗中傷やいじめを受けること」「特定の民族に対するヘイトスピーチなど差別的な言動をされること」「風習や習慣等の違いが受け入れられないこと」が低く、「わからない」が高くなっており、10ポイント以上差が生じています。



(上段：人 下段：%)

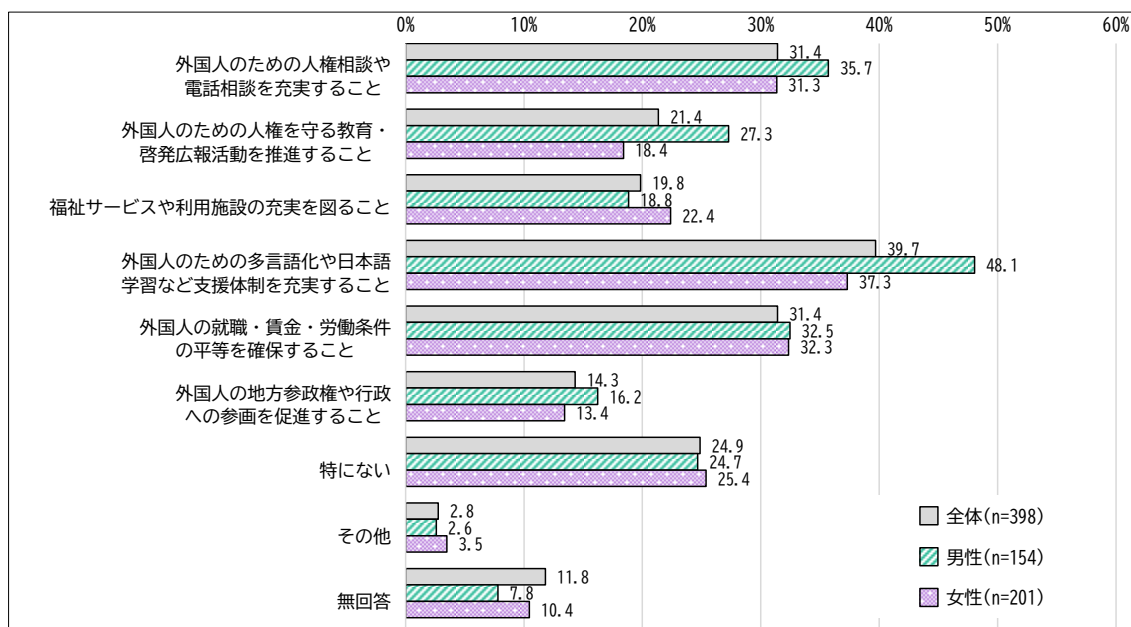
		標本数(人)	中傷や学校、地域等で、誹謗やいじめを受けること	職場や学校、地域等で、誹謗を受けること	結婚問題で周囲の反対を受けること	就職・職場で不利な扱いを受けること	特定の民族に対するヘイトスピーチなど差別的な言動をされること	アパート等への入居を拒否されること	拒否されること	宿泊施設や店舗等への入店を拒否されること	風習や習慣等の違いが受け入れられないこと	じろじろ見られたり、避けられたりすること	言語の問題で必要な社会的支援を受けられないこと	特に問題はない	わからない	その他	無回答
全体(単純集計)		398	55 13.8%	65 16.3%	91 22.9%	87 21.9%	50 12.6%	26 6.5%	94 23.6%	58 14.6%	98 24.6%	42 10.6%	122 30.7%	2 0.5%	44 11.1%		
年代別	20~29歳	12	2 16.7%	2 16.7%	3 25.0%	5 41.7%	2 16.7%	1 8.3%	4 33.3%	3 25.0%	5 41.7%	0 0.0%	4 33.3%	0 0.0%	0 0.0%		
	30~39歳	29	7 24.1%	3 10.3%	10 34.5%	8 27.6%	3 10.3%	2 6.9%	8 27.6%	6 20.7%	12 41.4%	1 3.4%	2 6.9%	0 0.0%	2 6.9%		
	40~49歳	36	7 19.4%	7 19.4%	9 25.0%	13 36.1%	7 19.4%	5 13.9%	13 36.1%	10 27.8%	14 38.9%	4 11.1%	8 22.2%	1 2.8%	0 0.0%		
	50~59歳	50	10 20.0%	11 22.0%	17 34.0%	17 34.0%	9 18.0%	6 12.0%	22 44.0%	9 18.0%	14 28.0%	2 4.0%	7 14.0%	1 2.0%	4 8.0%		
	60~69歳	70	11 15.7%	13 18.6%	14 20.0%	20 28.6%	8 11.4%	4 5.7%	17 24.3%	9 12.9%	17 24.3%	13 18.6%	27 38.6%	0 0.0%	4 4.3%		
	70~79歳	106	10 9.4%	14 13.2%	25 23.6%	15 14.2%	16 15.1%	2 1.9%	17 16.0%	11 10.4%	23 21.7%	14 13.2%	37 34.9%	0 0.0%	14 13.2%		
	80歳以上	66	6 9.1%	10 15.2%	9 13.6%	7 10.6%	2 3.0%	4 6.1%	11 16.7%	9 13.6%	11 16.7%	5 7.6%	27 40.9%	0 0.0%	11 16.7%		

【他調査との比較】



問42 あなたは、外国人の人権問題の解決に必要なことはどのようなことだと思いますか。(複数回答)

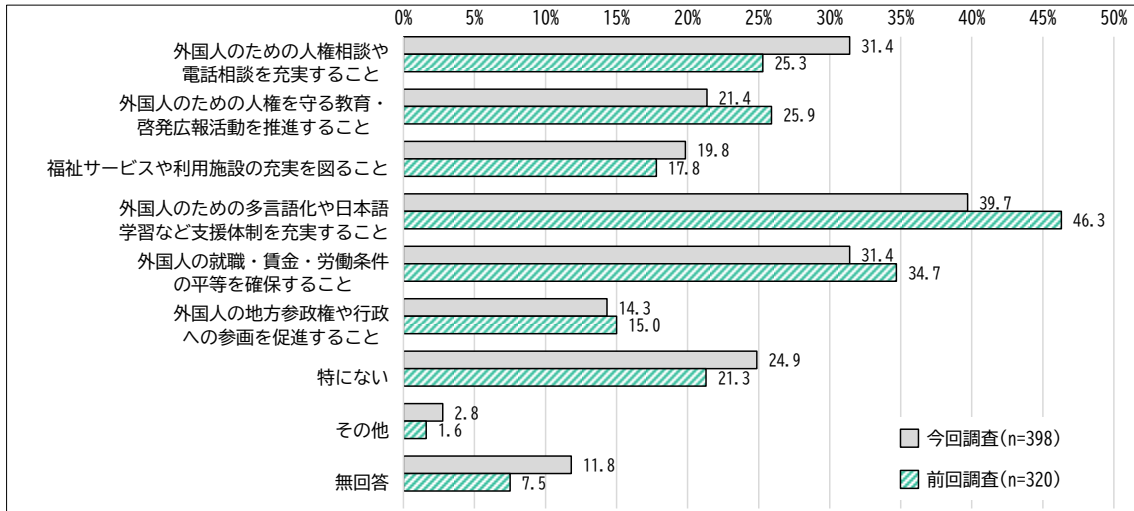
- 全体では「外国人のための多言語化や日本語学習など支援体制を充実すること」が39.7%と最も高く、次いで「外国人のための人権相談や電話相談を充実すること」「外国人の就職・賃金・労働条件の平等を確保すること」31.4%、「特にない」24.9%となっています。
- 性別で見ると、男女ともに「外国人のための多言語化や日本語学習など支援体制を充実すること」が最も高くなっており、男性では女性と比べて10.8ポイント高くなっています。
- 年代別で見ると、70歳代までは「外国人のための多言語化や日本語学習など支援体制を充実すること」、80歳以上では「外国人のための人権相談や電話相談を充実すること」が最も高くなっています。



(上段：人 下段：%)

		外国人のための 人権相談や電 話相談を充実 すること	外国人のた めの人権を 守る教育・ 啓発広報活 動を推進す ること	外国人のた めの人権を 守る教育・ 啓発広報活 動を推進す ること	福祉サー ビスや利用 施設の充 実を図るこ と	外国人のた めの多言語 学習など支 援体制を充 実すること	外国人の 就職・賃金 ・労働条件 の平等を確 保すること	外国人の 地方参政権 や行政への 参画を促進 すること	特 に な い	そ の 他	無 回 答
全体 (単純集計)		125 31.4%	85 21.4%	79 19.8%	158 39.7%	125 31.4%	57 14.3%	99 24.9%	11 2.8%	47 11.8%	
年 代 別	20～29歳	12 25.0%	3 25.0%	3 25.0%	6 50.0%	3 25.0%	3 25.0%	4 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	
	30～39歳	29 34.5%	10 17.2%	5 20.7%	6 69.0%	20 44.8%	13 44.8%	4 13.8%	3 10.3%	0 0.0%	2 6.9%
	40～49歳	36 38.9%	14 25.0%	9 33.3%	12 41.7%	15 30.6%	11 16.7%	6 27.8%	10 8.3%	3 0.0%	0 0.0%
	50～59歳	50 38.0%	19 34.0%	17 22.0%	11 56.0%	28 40.0%	20 12.0%	6 12.0%	6 8.0%	4 6.0%	3 6.0%
	60～69歳	70 35.7%	25 22.9%	16 18.6%	13 42.9%	30 34.3%	24 15.7%	11 30.0%	21 1.4%	1 5.7%	4 5.7%
	70～79歳	106 23.6%	25 15.1%	16 17.9%	19 34.0%	36 31.1%	33 12.3%	13 31.1%	33 0.9%	1 12.3%	13 12.3%
	80歳以上	66 36.4%	24 22.7%	15 18.2%	12 31.8%	21 22.7%	15 16.7%	11 22.7%	15 3.0%	2 19.7%	13 19.7%

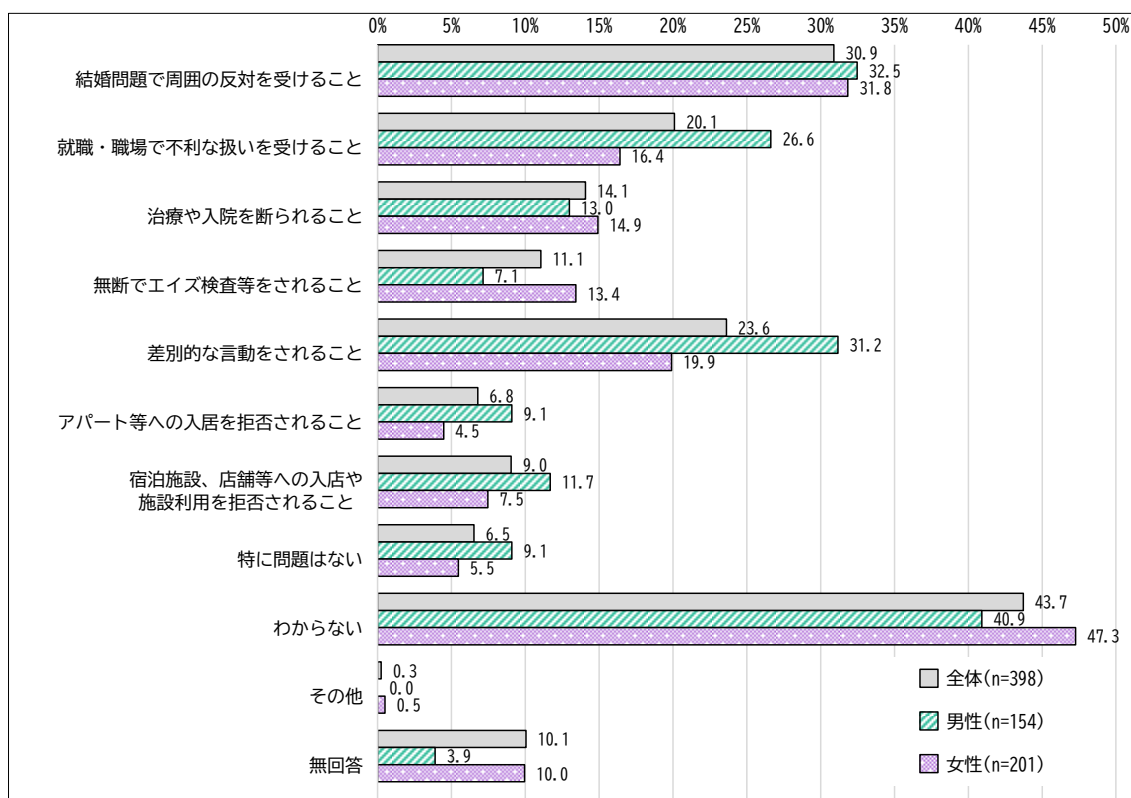
【他調査との比較】



10. その他の人権について

問43 あなたは、エイズ患者・HIV感染者やその家族に関することで、現在どのような人権問題があると思いますか。(複数回答)

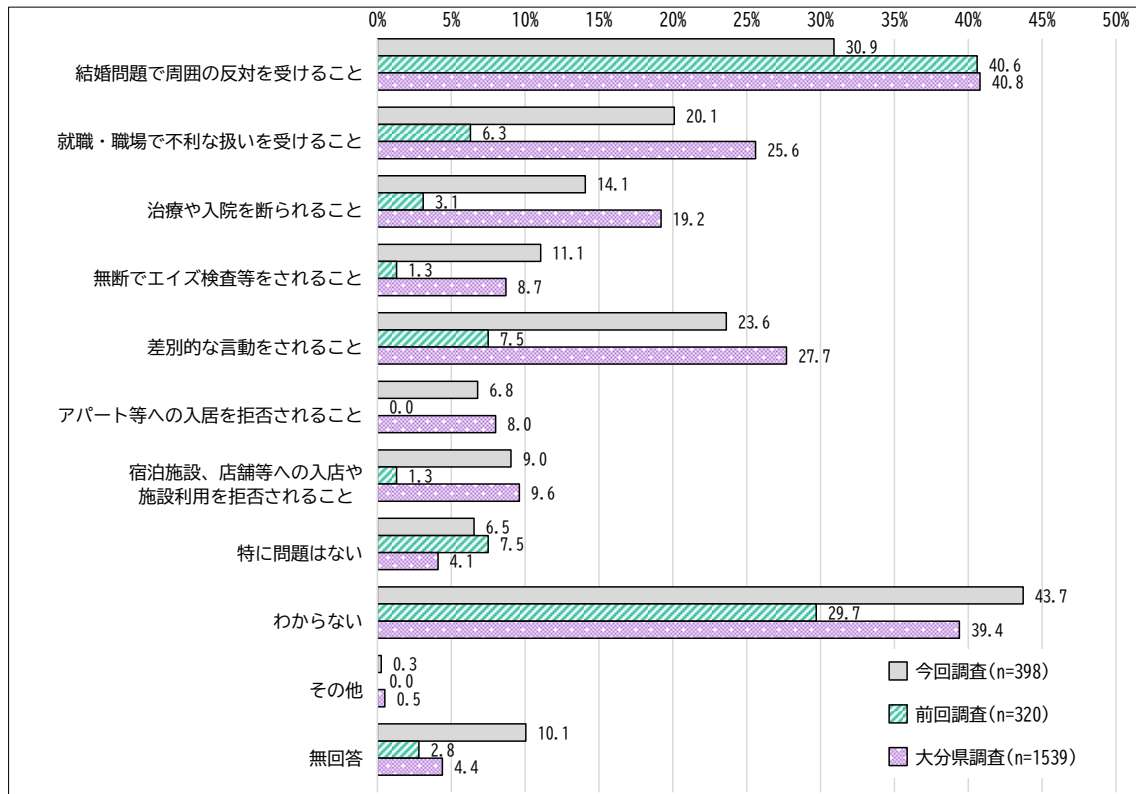
- 全体では「わからない」が43.7%と最も高く、次いで「結婚問題で周囲の反対を受けること」30.9%、「差別的な言動をされること」23.6%となっています。
- 性別で見ると、男女ともに「わからない」が最も高くなっています。また、男性では女性と比べて「就職・職場で不利な扱いを受けること」「差別的な言動をされること」が10ポイント以上高くなっています。
- 年代別で見ると、20歳代及び40～50歳代では「結婚問題で周囲の反対を受けること」、それ以外の年代では「わからない」が最も高くなっています。また、50歳代では「就職・職場で不利な扱いを受けること」が他の年代と比べて10ポイント以上高くなっています。
- 前回調査は単数回答のため参考程度。



(上段：人 下段：%)

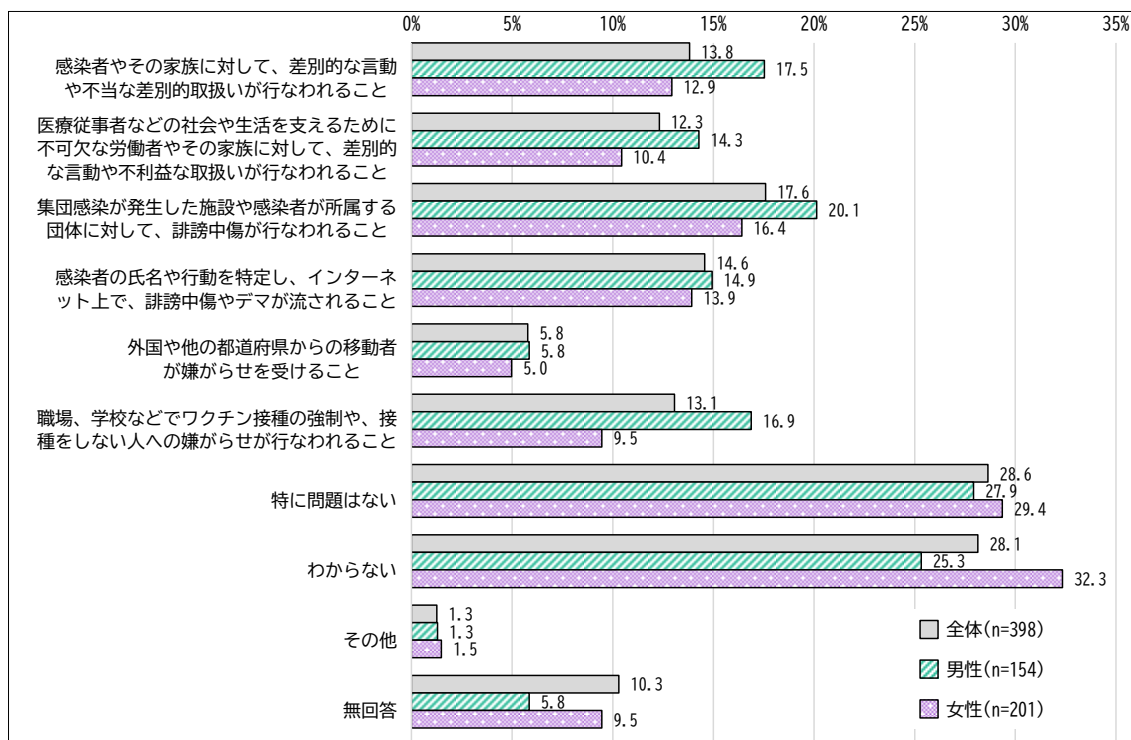
	標本数(人)	結婚問題で周囲の反対を受け	就職・職場で不利な扱いを受	治療や入院を断られること	無断でエイズ検査等をされること	差別的な言動をされること	アパート等への入居を拒否されること	宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること	特に問題はない	わからない	その他	無回答
全体(単純集計)	398	123 30.9%	80 20.1%	56 14.1%	44 11.1%	94 23.6%	27 6.8%	36 9.0%	26 6.5%	174 43.7%	1 0.3%	40 10.1%
年代別	20~29歳	12 41.7%	1 8.3%	2 16.7%	3 25.0%	4 33.3%	2 16.7%	2 16.7%	2 16.7%	4 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
	30~39歳	29 34.5%	7 24.1%	7 24.1%	7 24.1%	9 31.0%	3 10.3%	3 10.3%	2 6.9%	12 41.4%	0 0.0%	0 0.0%
	40~49歳	36 44.4%	9 25.0%	9 25.0%	7 19.4%	14 38.9%	2 5.6%	3 8.3%	2 5.6%	14 38.9%	1 2.8%	0 0.0%
	50~59歳	50 46.0%	18 36.0%	7 14.0%	2 4.0%	17 34.0%	4 8.0%	5 10.0%	1 2.0%	17 34.0%	0 0.0%	2 4.0%
	60~69歳	70 34.3%	13 18.6%	11 15.7%	6 8.6%	23 32.9%	5 7.1%	7 10.0%	4 5.7%	32 45.7%	0 0.0%	3 4.3%
	70~79歳	106 24.5%	23 21.7%	11 10.4%	13 12.3%	18 17.0%	5 4.7%	11 10.4%	12 11.3%	47 44.3%	0 0.0%	11 10.4%
	80歳以上	66 24.2%	6 9.1%	6 9.1%	4 6.1%	7 10.6%	4 6.1%	4 6.1%	2 3.0%	37 56.1%	0 0.0%	11 16.7%

【他調査との比較】



問44 あなたは、新型コロナウイルス等の感染症に関することで、現在、どのような人権問題があると思いますか。(複数回答)

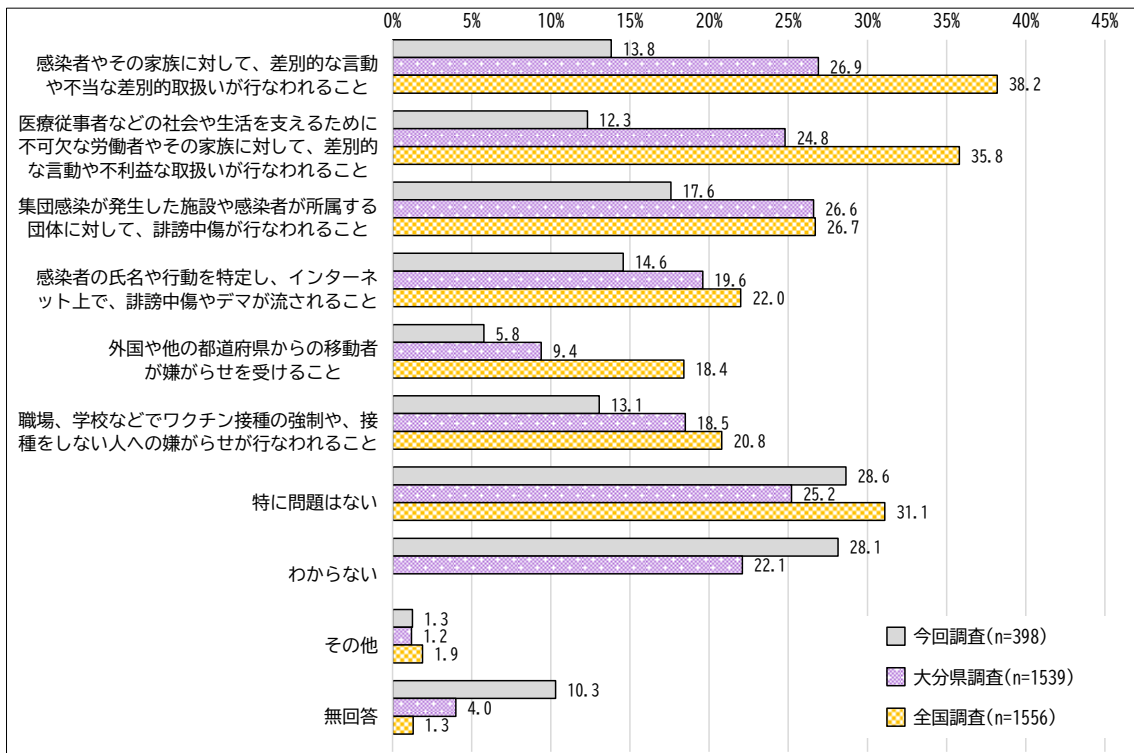
- 全体では「特に問題はない」が28.6%と最も高く、次いで「わからない」28.1%、「集団感染が発生した施設や感染者が所属する団体に対して、誹謗中傷が行われること」17.6%となっています。
- 性別で見ると、男性では「特に問題はない」、女性では「わからない」が最も高くなっています。
- 年代別で見ると、20歳代では「わからない」、30歳代では「特に問題はない」、40歳代では「集団感染が発生した施設や感染者が所属する団体に対して、誹謗中傷が行なわれること」、50歳代では「集団感染が発生した施設や感染者が所属する団体に対して、誹謗中傷が行なわれること」「感染者の氏名や行動を特定し、インターネット上で、誹謗中傷やデマが流されること」「わからない」が最も高くなっています。また、40歳代では「感染者やその家族に対して、差別的な言動や不当な差別的取扱いが行なわれること」「集団感染が発生した施設や感染者が所属する団体に対して、誹謗中傷が行なわれること」が他の年代と比べて10ポイント以上高くなっています。加えて、60歳代以上では「特に問題はない」「わからない」の割合が高くなっています。
- 他調査との比較をみると、大分県調査及び全国調査ともに「感染者やその家族に対して、差別的な言動や不当な差別的扱いが行われること」「医療従事者などの社会や生活を支えるために不可欠な労働者やその家族に対して、差別的な言動や不利益な取扱いが行われること」が10ポイント以上低くなっています。また、全国調査と比べて「外国や他の都道府県からの移動者が嫌がらせを受けること」も12.6ポイント低くなっています。



(上段：人 下段：%)

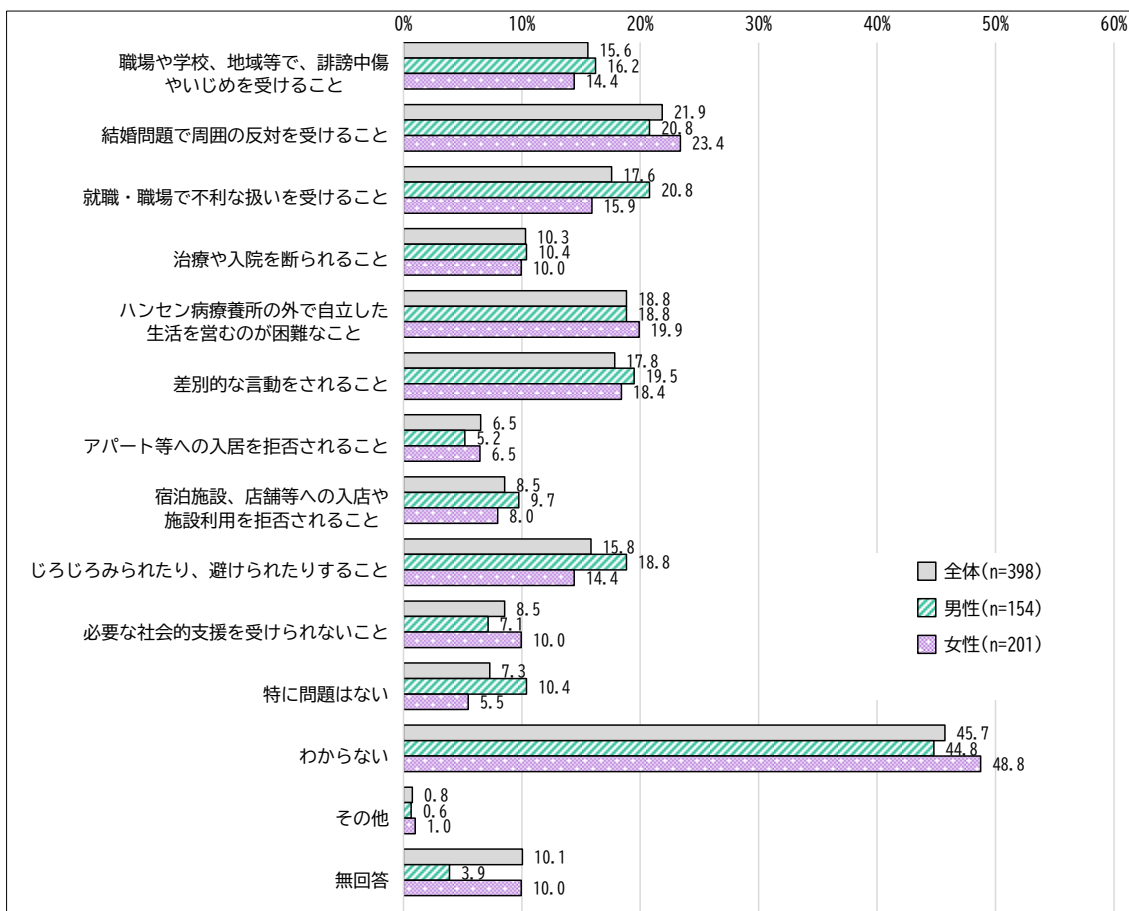
	標本数(人)	い	感	動	支	医	誇	者	集	や	感	者	外	嫌	職	特	わ	そ	無	
		別的な言動や不当な差別的取扱いが行なわれること	染者やその家族に対して、差別的な言動や不当な差別的取扱いが行なわれること	その家族に対して、差別的な言動や不利益な取扱いが行なわれること	えるために不可欠な労働者やその家族に対して、差別的な言動や不利益な取扱いが行なわれること	療従事者などの社会や生活を支えるために不可欠な労働者やその家族に対して、差別的な言動や不利益な取扱いが行なわれること	療従事者などの社会や生活を支えるために不可欠な労働者やその家族に対して、差別的な言動や不利益な取扱いが行なわれること	中傷が行なわれること	者が所属する団体に対して、誹謗中傷が行なわれること	団感染が発生した施設や感染者が所属する団体に対して、誹謗中傷が行なわれること	やデマが流されること	感染者の氏名や行動を特定し、インターネット上で、誹謗中傷やデマが流されること	者が嫌がらせを受けること	外国や他の都道府県からの移動者が嫌がらせを受けること	嫌がらせが行なわれること	職場、学校などでワクチン接種の強制や、接種をしない人への嫌がらせが行なわれること	特に問題はない	わからない	その他	無回答
全体(単純集計)	398	55 13.8%	49 12.3%	70 17.6%	58 14.6%	23 5.8%	52 13.1%	114 28.6%	112 28.1%	5 1.3%	41 10.3%									
年代別	20~29歳	12	2 16.7%	1 8.3%	0 0.0%	2 16.7%	3 25.0%	2 16.7%	3 25.0%	3 25.0%	0 0.0%	0 0.0%								
	30~39歳	29	4 13.8%	9 31.0%	6 20.7%	9 31.0%	1 3.4%	5 17.2%	10 34.5%	5 17.2%	0 0.0%	0 0.0%								
	40~49歳	36	12 33.3%	8 22.2%	14 38.9%	6 16.7%	4 11.1%	9 25.0%	8 22.2%	6 16.7%	4 11.1%	1 2.8%								
	50~59歳	50	12 24.0%	8 16.0%	13 26.0%	13 26.0%	4 8.0%	8 16.0%	9 18.0%	13 26.0%	0 0.0%	1 2.0%								
	60~69歳	70	8 11.4%	11 15.7%	10 14.3%	8 11.4%	6 8.6%	9 12.9%	25 35.7%	18 25.7%	0 0.0%	4 5.7%								
	70~79歳	106	10 9.4%	8 7.5%	19 17.9%	12 11.3%	2 1.9%	13 12.3%	36 34.0%	36 34.0%	0 0.0%	11 10.4%								
	80歳以上	66	5 7.6%	1 1.5%	5 7.6%	5 7.6%	1 1.5%	3 4.5%	15 22.7%	25 37.9%	1 1.5%	14 21.2%								

【他調査との比較】



問45 あなたは、ハンセン病患者・回復者やその家族に関する事で、現在、どのような人権問題があると思いますか。(複数回答)

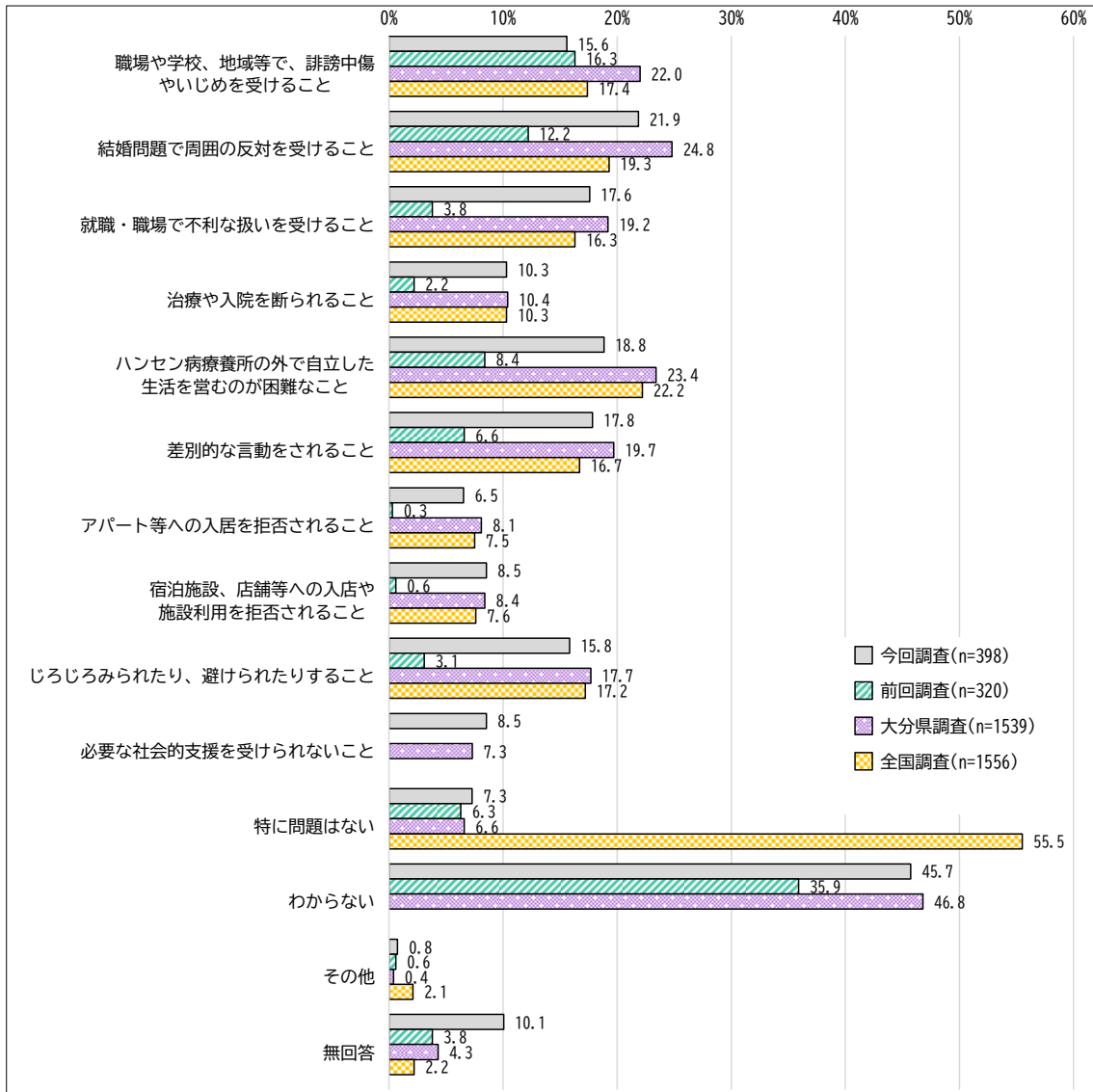
- 全体では「わからない」が45.7%と最も高く、次いで「結婚問題で周囲の反対を受けること」21.9%、「ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むのが困難なこと」18.8%となっています。
- 性別でも、「わからない」が最も高くなっています。
- 年代別で見ると、20歳代では「差別的な言動をされること」、それ以外の年代では「わからない」が最も高くなっています。
- 前回調査は単数回答のため参考程度。



(上段：人 下段：%)

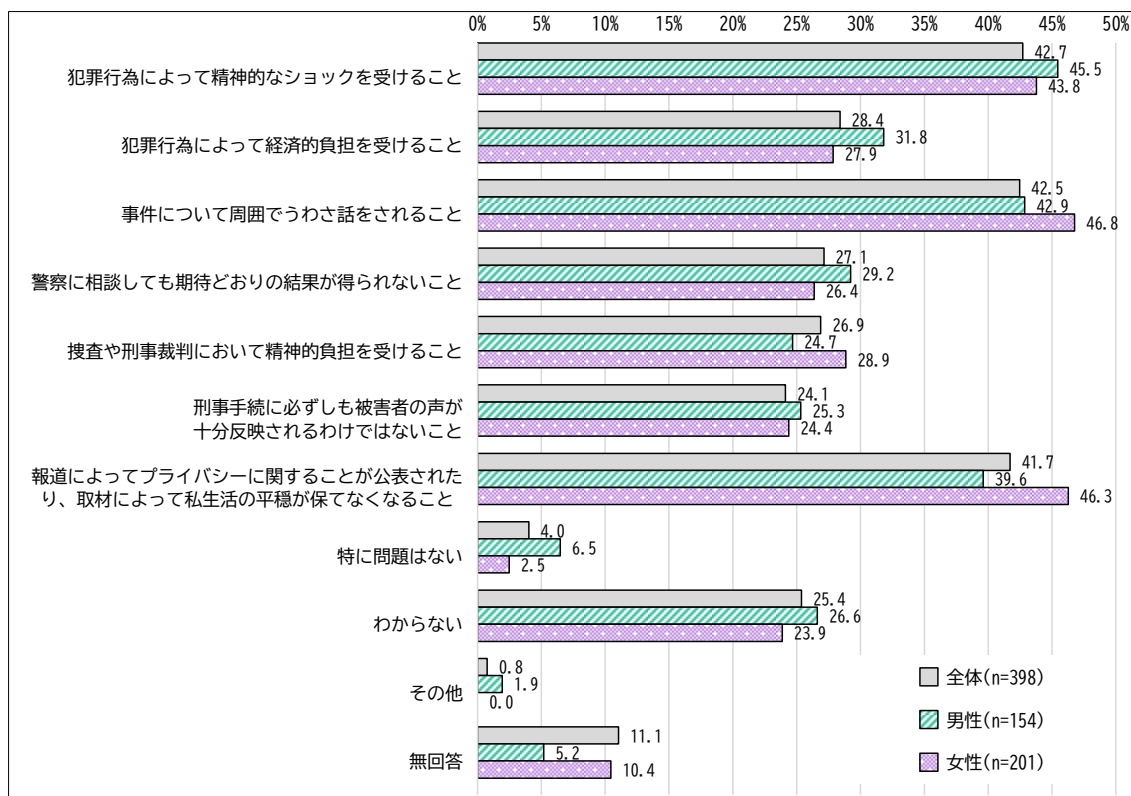
		標本数(人)	職場や学校、地域等で、誹謗中傷やいじめを受けること	結婚問題で周囲の反対を受け	就職・職場で不利な扱いを受けること	治療や入院を断られること	ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むのが困難なこと	差別的な言動をされること	アパート等への入居を拒否されること	宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること	じろじろみられたり、避けられたりすること	必要な社会的支援を受けられないこと	特に問題はない	わからない	その他	無回答
全体 (単純集計)		398	62 15.6%	87 21.9%	70 17.6%	41 10.3%	75 18.8%	71 17.8%	26 6.5%	34 8.5%	63 15.8%	34 8.5%	29 7.3%	182 45.7%	3 0.8%	40 10.1%
年代別	20~29歳	12	3 25.0%	4 33.3%	3 25.0%	1 8.3%	2 16.7%	5 41.7%	2 16.7%	0 0.0%	4 33.3%	0 0.0%	1 8.3%	4 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
	30~39歳	29	4 13.8%	4 13.8%	5 17.2%	3 10.3%	8 27.6%	7 24.1%	1 3.4%	0 0.0%	8 27.6%	3 10.3%	2 6.9%	13 44.8%	0 0.0%	0 0.0%
	40~49歳	36	8 22.2%	9 25.0%	7 19.4%	7 19.4%	9 25.0%	11 30.6%	3 8.3%	5 13.9%	6 16.7%	4 11.1%	3 8.3%	19 52.8%	1 2.8%	0 0.0%
	50~59歳	50	11 22.0%	13 26.0%	16 32.0%	8 16.0%	11 22.0%	16 32.0%	5 10.0%	8 16.0%	8 16.0%	5 10.0%	1 2.0%	20 40.0%	0 0.0%	1 2.0%
	60~69歳	70	12 17.1%	20 28.6%	15 21.4%	7 10.0%	18 25.7%	15 21.4%	5 7.1%	8 11.4%	13 18.6%	6 8.6%	7 10.0%	30 42.9%	0 0.0%	3 4.3%
	70~79歳	106	16 15.1%	19 17.9%	12 11.3%	10 9.4%	16 15.1%	9 8.5%	5 4.7%	9 8.5%	18 17.0%	11 10.4%	9 8.5%	54 50.9%	1 0.9%	13 12.3%
	80歳以上	66	5 7.6%	13 19.7%	9 13.6%	3 4.5%	7 10.6%	7 10.6%	2 3.0%	2 3.0%	5 7.6%	4 6.1%	4 6.1%	33 50.0%	1 1.5%	11 16.7%

【他調査との比較】



問46 あなたは、犯罪被害者やその家族等に関する事で、現在、どのような人権問題があると思いますか。(複数回答)

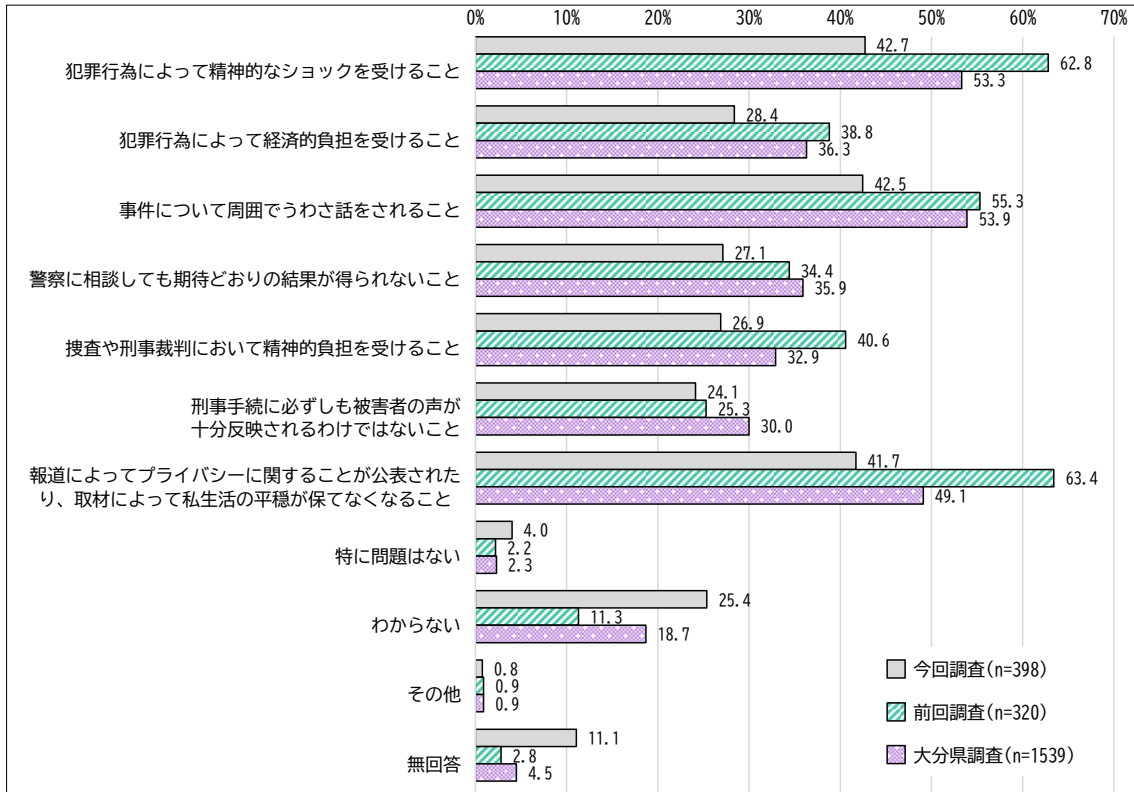
- 全体では「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」が42.7%と最も高く、次いで「事件について周囲でうわさ話をされること」42.5%、「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穩が保てなくなること」41.7%となっています。
- 性別で見ると、男性では「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」、女性では「事件について周囲でうわさ話をされること」が最も高くなっています。
- 年代別で見ると、30歳代では「事件について周囲でうわさ話をされること」、40～60歳代では「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」、80歳以上では「わからない」、それ以外の年代では「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穩が保てなくなること」が最も高くなっています。
- 前回調査との比較をみると、「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」「犯罪行為によって経済的負担を受けること」「事件について周囲でうわさ話をされること」「捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること」「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穩が保てなくなること」が低く、「わからない」が低く、「わからない」が高くなっており、10ポイント以上差が生じています。
- 大分県調査との比較をみると、「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」「事件について周囲でうわさ話をされること」が10ポイント以上低くなっています。



(上段：人 下段：%)

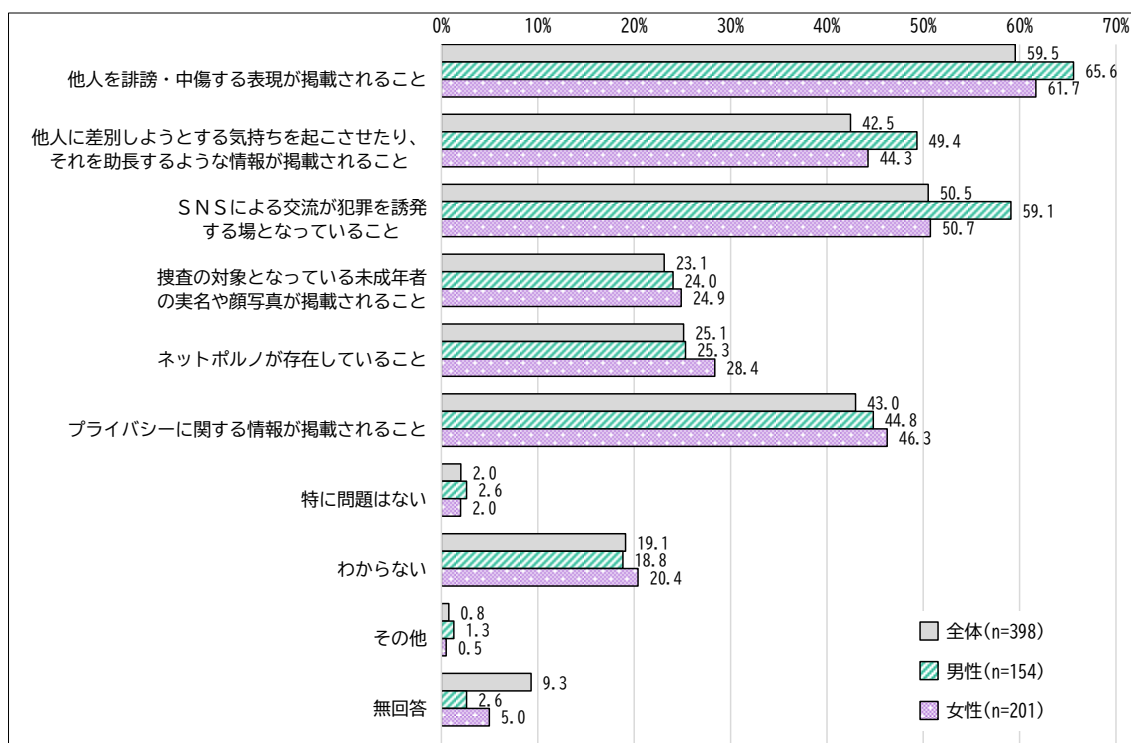
	標本数(人)	シヨツクを受けること	犯罪行為によって精神的な	犯罪行為によって経済的負担	事件について周囲でうわさ話	の警察に相談しても期待どおり	的捜査や刑事裁判において精神	な声が十分反映されるわけではないこと	保取に関するプライバシーに	報道によって公表されたり、取材によって私生活の平穩が	特に問題はない	わからない	その他	無回答
		42.7%	28.4%	42.5%	27.1%	26.9%	24.1%	41.7%	4.0%	25.4%	0.8%	11.1%		
全体(単純集計)	398	170	113	169	108	107	96	166	16	101	3	44		
年代別	20~29歳	12	5	4	6	5	2	5	8	1	1	0	0	
			41.7%	33.3%	50.0%	41.7%	16.7%	41.7%	66.7%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	
	30~39歳	29	12	9	17	11	12	9	15	1	7	0	0	
			41.4%	31.0%	58.6%	37.9%	41.4%	31.0%	51.7%	3.4%	24.1%	0.0%	0.0%	
	40~49歳	36	25	17	20	16	18	13	25	1	6	0	0	
			69.4%	47.2%	55.6%	44.4%	50.0%	36.1%	69.4%	2.8%	16.7%	0.0%	0.0%	
	50~59歳	50	33	26	32	25	19	23	25	3	4	1	1	
			66.0%	52.0%	64.0%	50.0%	38.0%	46.0%	50.0%	6.0%	8.0%	2.0%	2.0%	
60~69歳	70	35	22	32	17	19	16	27	1	22	0	4		
		50.0%	31.4%	45.7%	24.3%	27.1%	22.9%	38.6%	1.4%	31.4%	0.0%	5.7%		
70~79歳	106	36	19	39	19	25	20	48	6	27	1	13		
		34.0%	17.9%	36.8%	17.9%	23.6%	18.9%	45.3%	5.7%	25.5%	0.9%	12.3%		
80歳以上	66	18	12	18	10	8	6	14	2	26	1	13		
		27.3%	18.2%	27.3%	15.2%	12.1%	9.1%	21.2%	3.0%	39.4%	1.5%	19.7%		

【他調査との比較】



問47 あなたは、インターネットによる人権侵害に関することで、現在、どのような人権問題があると思いますか。(複数回答)

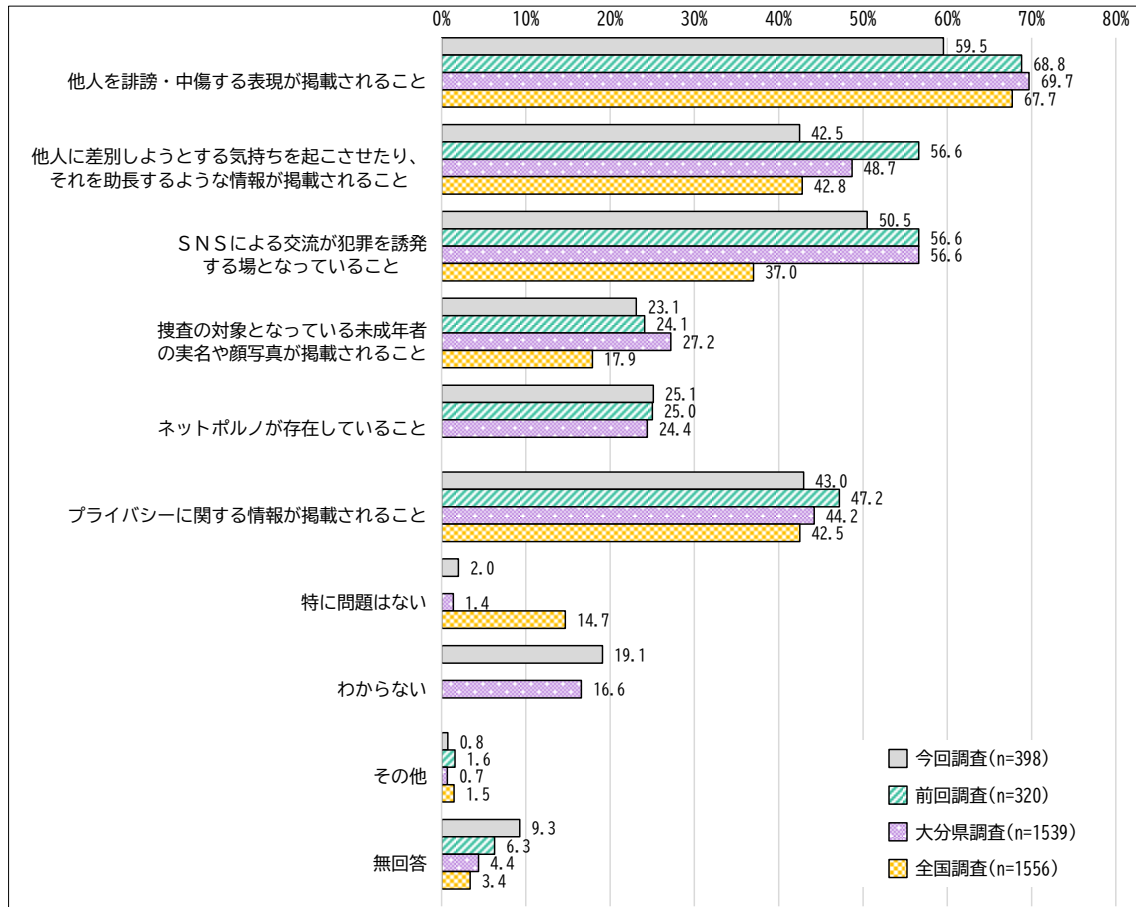
- 全体では「他人を誹謗・中傷する表現が掲載されること」が59.5%と最も高く、次いで「SNSによる交流が犯罪を誘発する場となっていること」50.5%、「プライバシーに関する情報が掲載されること」43.0%となっています。
- 性別で見ると、男女ともに「他人を誹謗・中傷する表現が掲載されること」が最も高くなっています。
- 年代別で見ると、70歳代までは「他人を誹謗・中傷する表現が掲載されること」、80歳以上では「わからない」が最も高くなっています。また、40歳代では「ネットポルノが存在していること」が他の年代と比べて20ポイント以上高くなっています。
- 前回調査との比較をみると、「他人に差別しようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されること」が14.1ポイント低くなっています。
- 全国調査との比較をみると、「SNSによる交流が犯罪を誘発する場となっていること」が高く、「特に問題はない」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。



(上段：人 下段：%)

	標本数(人)	他人を誹謗・中傷する表現が掲載されること	他人に差別しようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されること	SNSによる交流が犯罪を誘発する場となっていること	捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載されること	ネットポルノが存在していること	プライバシーに関する情報が掲載されること	特に問題はない	わからない	その他	無回答
		59.5%	42.5%	50.5%	23.1%	25.1%	43.0%	2.0%	19.1%	0.8%	9.3%
全体(単純集計)	398	237	169	201	92	100	171	8	76	3	37
年代別	20~29歳	12	10	6	7	3	2	7	0	1	0
			83.3%	50.0%	58.3%	25.0%	16.7%	58.3%	0.0%	8.3%	0.0%
	30~39歳	29	20	16	17	8	11	14	0	3	0
			69.0%	55.2%	58.6%	27.6%	37.9%	48.3%	0.0%	10.3%	0.0%
	40~49歳	36	28	25	23	15	23	23	0	2	0
			77.8%	69.4%	63.9%	41.7%	63.9%	63.9%	0.0%	5.6%	0.0%
	50~59歳	50	41	33	35	12	14	22	2	0	1
			82.0%	66.0%	70.0%	24.0%	28.0%	44.0%	4.0%	0.0%	2.0%
60~69歳	70	51	37	48	23	19	39	2	12	0	
		72.9%	52.9%	68.6%	32.9%	27.1%	55.7%	2.9%	17.1%	0.0%	
70~79歳	106	62	36	54	22	23	45	2	26	1	
		58.5%	34.0%	50.9%	20.8%	21.7%	42.5%	1.9%	24.5%	0.9%	
80歳以上	66	22	14	15	7	6	18	2	29	1	
		33.3%	21.2%	22.7%	10.6%	9.1%	27.3%	3.0%	43.9%	1.5%	

【他調査との比較】

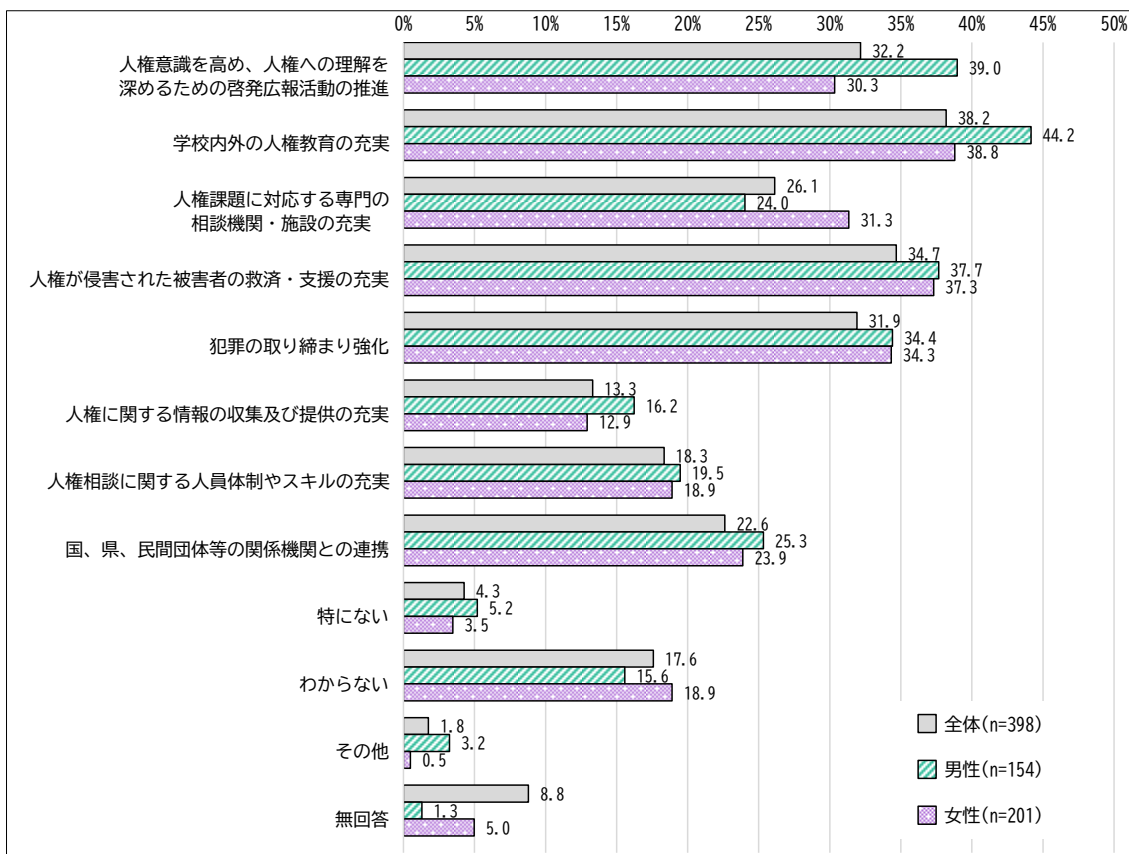


**問48 あなたは、人権問題の解決のためにどのような方法が効果的だと思いますか。
(複数回答)**

○全体では「学校内外の人権教育の充実」が38.2%と最も高く、次いで「人権が侵害された被害者の救済・支援の充実」34.7%、「人権意識を高め、人権への理解を深めるための啓発広報活動の推進」32.2%となっています。

○性別で見ると、男女ともに「学校内外の人権教育の充実」が最も高くなっています。

○年代別で見ると、20～50歳代では「学校内外の人権教育の充実」、60歳代では「人権が侵害された被害者の救済・支援の充実」、70歳代以上では「人権意識を高め、人権への理解を深めるための啓発広報活動の推進」が最も高く、80歳以上では「わからない」も同率で最も高くなっています。また、20歳代では「学校内外の人権教育の充実」が他の年代と比べて15ポイント以上高くなっています。



(上段：人 下段：%)

		標本数(人)	人権意識を高めるための啓発広報活動の推進	学校内外の人権教育の充実	人権関係・施設の充実	人権が侵害された被害者の救済・支援の充実	犯罪の取り締まり強化	人権に関する情報の収集及び提供の充実	人権相談に関する人員体制やスキルの充実	国、県、民間団体等の関係機関との連携	特になし	わからない	その他	無回答
全体 (単純集計)		398	128 32.2%	152 38.2%	104 26.1%	138 34.7%	127 31.9%	53 13.3%	73 18.3%	90 22.6%	17 4.3%	70 17.6%	7 1.8%	35 8.8%
年代別	20~29歳	12	4 33.3%	9 75.0%	3 25.0%	5 41.7%	3 25.0%	3 25.0%	3 25.0%	3 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30~39歳	29	10 34.5%	14 48.3%	10 34.5%	9 31.0%	13 44.8%	4 13.8%	7 24.1%	10 34.5%	2 6.9%	3 10.3%	1 3.4%	0 0.0%
	40~49歳	36	14 38.9%	21 58.3%	14 38.9%	20 55.6%	18 50.0%	6 16.7%	10 27.8%	11 30.6%	0 0.0%	3 8.3%	1 2.8%	0 0.0%
	50~59歳	50	22 44.0%	25 50.0%	17 34.0%	19 38.0%	15 30.0%	5 10.0%	11 22.0%	11 22.0%	0 0.0%	5 10.0%	3 6.0%	0 0.0%
	60~69歳	70	19 27.1%	30 42.9%	18 25.7%	35 50.0%	29 41.4%	10 14.3%	20 28.6%	19 27.1%	4 5.7%	15 21.4%	0 0.0%	1 1.4%
	70~79歳	106	37 34.9%	35 33.0%	24 22.6%	35 33.0%	29 28.3%	18 17.0%	12 11.3%	25 23.6%	8 7.5%	20 18.9%	1 0.9%	5 4.7%
	80歳以上	66	21 31.8%	17 25.8%	17 25.8%	14 21.2%	17 25.8%	6 9.1%	9 13.6%	10 15.2%	2 3.0%	21 31.8%	1 1.5%	6 9.1%

11. ご意見・ご要望について

- ◆ あなたが、人権が守られる社会を作るために考えられていることや、ご意見・ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。(自由記述)

内 容
そもそもみんなが自分の人権を守るために他人の人権を犯さないようにすれば人権なんて守られるんじゃないの？
そもそもまず、気にしない。それに尽きると思います。今の人は弱すぎます。もっと自分を強くなるような努力が必要です。
差別やいじめなどをしないような人間に育てる教育も必要だと思う。
この世の中には全てが同じ人など存在するわけではなく、存在する全ての人に個性があるので、それを狭い世界で考えるのではなく人それぞれがもっと大きな広い世界で物事も考えることが大切だと思います。そうすれば互いを受け入れ尊重して生きていけるのではないかと思います。
九重町でも人権にまつわる講演会、講話等が多数開催されているが「ただ話を聞く」だけの講演会では何も変わらないと思う。当事者間での交流会や小グループでのワークショップの方が、こちら側も人権や差別を自分ごととしてとらえることができると思う。部落差別についても、子どもの頃から話を聞くことはあったが、具体的に現在どのような人たちが、どのような差別を受けているのか、行政や各種研修で過剰に伝えている？がために、完全に差別がなくなるのではないかとこの印象もある。正しい情報を知ることは大切なことだが、その反面、知らなかったことを知る、それが新たな差別につながる可能性があることを、考えておく必要があると思う。
どの人権問題でも共通のことですが、インターネットの取り締まりを強化することが大事だと考えます。
差別は人によって色んな捉え方、考え方、発し方があるので、それに左右されるのではなく、自分の考え、生き方を大切に自分は差別をしないことが大切だと思う。
正直、人権問題について考えた事はありませんでした。自分が人権を侵害されたと感じた事が無いのでどこか他人事のように捉えています。実際に差別を受けた事のある人との交流の場等も、現状あるのかもしれないですが、参加した事が無いので、今後そういう集まりがあれば参加してみるのもありかなと思いました。
大半の問題は金銭で解決する。民間の意識改革より、景気向上と行政支援が重要。
これからも人権について考えようと思います。
差別や人権問題は、数えきれないほど存在すると思う。全てを守る法律や制度や取り組みもほんの一部にしか機能できていないのかもしれない。そんな社会の中に自分も存在している、という事を、自覚・想像するべき。まず、目の前の人や、関わりのある知人に対してから認める事が出来ると良いと思う。他人の嫌な部分、すばらしい部分、ひっくるめて個性を受け入れた上で、社会の中で関わっていけるような心の余裕のある人でありたいと思う。
自分には関係がないからではなく、みんながもっと人権について勉強した方が良いと思います。勉強して、正しい事を子どもや周りの人達に教えてあげられる人にならないと、と思います。
少しでも差別がなくなる事を願っています。
PTA で人権学習の担当の決定が当然のように行われていますが、必要がないと思っています。時間を奪われています。人権侵害ではないでしょうか。学習会やセミナーは希望者で行う等対策をお願いします。
質問にありました、人権を守られていない場合の相談は、九重町役場の人権尊重・部落差別推進課に連絡したらよいのでしょうか。現在、困り事はありませんが、それぞれの連絡(相談)先をわかりやすくして下さると助かります。

内 容
<p>人権などの尊重も大切だとの思いはありますが、過度に問う事もどうなのかとも思っています。このアンケートには書かれていないですけど、普通の方の人権も尊重すべきであると思う。いやだ、こわい、など思う人の心も人権だとみとめていかなければいけないのではないかと。これもまたいやだ、こわいを過度に発信すれば問題とはおもいますけど。</p>
<p>小さな頃から人権について学ぶ事は大切だと思っております。私は、小学校の時に先生から教えてもらった事が初めてで、最初は少しショックを受けたのを覚えております。家庭では子ども達に人権についての教育などは難しく、伝え方によっては違った考え方になってしまうかもしれません。昔からの古くさい考え方を変えていくには、今、小さな子ども達から人権を学ぶ必要があると考えます。SDGsの目標にもあるジェンダーやハラスメントは、実はずっと昔からあった事だけど、自然とそれに向き合う事をさけていたと感じています。その問題に今、取り組む事をしなければ、きっとそのまま昔からかわる事がないままだと思えます。ぜひ、このアンケートが必要としている人の役に立つことを願っております。</p>
<p>政治とマスコミが悪いと思う。新自由主義という言葉が出始めて以降、日本は悪くなる一方に感じる。自己責任論をとる政治では、人権問題は解決するはずがない。</p>
<p>人権意識調査をこれからの人権問題に活かしていただきたいです。まず、人権問題は知る事が大切だと思います。知らなければ否定する事も肯定する事もできないからです。人権とは人が生きている限り消えない、なくならない問題です。だからこそ平和でありたい、一人一人を尊重しなくていけないと願い考えていく事が大切だと思います。九重町がこれから人権についていろいろな取り組みをされると思いますが…。九重町の人口は減少するばかりです。現在はこども園、小学校、中学校では人権の講習会など定期的開催されています。こどもの人数が減れば保護者、人権講演を聴く人数も減り、今までのような動員数は不可能になり、また出席する日が多ければ負担が増えて、知りたい、聴きたいという気持ちもなくなってきます。早急に講義の内容や回数、動員数などの見直しが必要です。数より内容が大切です。是非ご検討をよろしくお願い致します。</p>
<p>九重町は人権に関して積極的に取り組んでいると思います。私自身も、人権講演会などが開催されれば、一町民として参加しています。今後も地道に取り組むことが大切だと考えます。事務局の皆様、色々ご苦労様です。感謝申し上げます。</p>
<p>お年寄りの食材の買い出しや病院の通院の為、コミュニティバスの便を増やしたり、タクシーチケットを渡したら良いと思います。</p>
<p>人権侵害が価値の押し付けにならないよう十分配慮し、存分に意見のやりとりができる場所を作るべき。悪質な物に関しては処罰の適用も含めた対策が必要であるものの、基本的には啓発と説得、又は検討を通じた活動が大切だと思う。説得する側は様々な分野からの多角的な分析を収集し、十分理解する能力を有する事と同時に心理学やロジック、話法に関して十分教育を受けている事が必要。但し、決して一方的な正義になりきってはならず、柔軟な認識を構築又は共有し得る精神的、知的成熟度が必須であると思う。これを国単位で進めていく。</p>
<p>人権教育を進めるべきだと思います。子どもから大人まで、すべての人が自分の権利を理解し、他人の権利を尊重するために重要だと思います。それから部落内で孤立している世帯など無いかを確認出来るといいですね。私の知り合いは町内部落内で「何故か嫌われている感じがして、皆が冷たい」など村八分的な感じがあると言っていました</p>
<p>意見や要望しても余り意味がないし、周りに聞く前に自主的に取り組む姿勢がない。こういう事を聞かれ、書かされる事もイヤである。平等な世の中は絶対はないと思う。強く経済力のある人だけが暮らしやすい世の中にどんどんなって、他国の様に富裕層と貧困の差が日本中に広がると思う。</p>
<p>人権問題を担当する窓口の方、職員さんがまずは当事者の話や訴えをていねいにじっくり聞き取る。その内容はうやむやにせず、市町村、県、国へと情報伝達する。</p>
<p>全ての人権について、考えているだけではなく、実行するべきだと思われました。啓発、推進はいつでも実行できるようにつねに心にもつべきだと思います。町民、みなさんにおいて、全ての人権についてつねに心の中に持っていていただきたいと思います。学習会、研修会、学校教育は大切な事です。隣保館の皆さまの活動を応援します。</p>
<p>自分の生活の為に働いており、他の事を考えられません。すみません。</p>

内 容
相手を十分理解した上で、発声、行動すべき
家事専業一人暮らしなので、差別に関する機会は少ないと思われます。意識もしていません。
人の話をまず聞く事、お互いのコミュニケーションが第 1 で、お互いを知ろうとする努力が必要だと思う。いろんな考え方の人がいる事をまず知って、お互いを理解する努力をおしななければ差別はなくなっていくはずだと思う。
子育て世代は小、中の人権講座や町や隣保館主催の人権学習会など動員とはいえ、学習の場に参加する機会が何に何回もありました。その世代を過ぎると、自ら進んで参加しないと学べる機会が得られない現実があります。よって人権問題への意識が薄れてしまいがちな人は多いのではと思います。私は先日、初めて隣保館祭りに参加しました。参加されている人は、年齢層幅広く、自然に参加できる内容のものもあり、和やかな雰囲気で行われていました。たんぽぽの会の皆さんの参加もあり、自然に溶け込み、楽しまれている様子が伺えました。このお祭りは隣保館が東飯田にあるという事もあり、東飯田のお祭りのように感じてしまいがちですが、町の人権のお祭りなので、この大きなイベント（行事）の捉え方、在り方について感じ、もったいないと思いました。このようなお祭りが他の地域にもあったら良いのではと思いました。お祭りではなくてもそれぞれの地域で人権問題について自然に学べる場があれば最高だと思いました。それぞれ地域の行事の中に組み込まれていくと良いと思います。
あまりわかりません。人のことより自分を見ましよう。迷惑かけてないかなって
例えば問 49 の性別の問い方はもっと熟慮して種類を増やすことが望ましいと思います
色々な分野で働く方々に学校で子ども達に向けて講演をして欲しいです。世界に目を向け、世界に出て行き、色々な人がいることを子ども達が肌で感じると人権意識も高くなると思います。
他人に対するおもいやりではないかと思えます。本来日本はおもいやりや他人を気づかう国だとおもっていましたが。差別される人と自分をおきかえて見ると痛みが分かれるとおもいます。気にいらぬからと差別したり、いじめたりいかなものでしょう。
差別は無くなりません。人を思いやる心が大切です。
・どんなことをしても差別はなくならないと思えますが努力をするのは大事だと思います。教えること、そして皆がやさしい心を持たねばなくなるのかなと思えます。・親の経済状況で子どもの進路が決まるのはおかしいです。お金がなくても大学などへ行ける、そんな助けを行政や国にお願いしたいと思えます。今、都会で起きている事件など悪いことですがこの影響もあるのではないのでしょうか？
人間は生まれながらにして、平等である！
皆平等
私の小学校の時代に今でも忘れず覚えている事は、家庭、学校、社会（教育）の中で道徳の時間を思い出します。今こそ必要と思えます。悲しみ、痛み、苦しみのわかる思いやりの心を育てて頂きたい。この教育こそ大切と思う。
田舎では地位の高い方や、財政の豊かな人権差別の激しい気がします。1人1人がやさしく、思いやる心になる必要があり、もっと大きな心の人となる事が必要だと思います。人権侵害をする方より自分自身強くなり、気にしない事も必要だと思います。
本当に一人ひとりが大事にされているのだろうか。児童クラブにバイトとして、週1～2回子どもとふれあっている。グレーゾーンの子や学習障害と思う子ども。日々トラブルが起きる。そのとりにいる子は、きつい思い、我慢をしている状況。子どもに学校の様子を聞く。「先生はいつもその子の味方」どんなことがあっても…。寄り添うとは何だろう？子どもに変ながまんをさせてないだろうか。知ることが始まりだが、それさえできていない現実。子どもに関わる全ての人が必要。子どもを我慢をさせていませんか？
教育
実態がわからないことばかりで…。あまり人と関わらない暮らしなこと、自分は平穩に暮らせている。すみません、役に立ちませんね。

内 容
人間は弱いためつい口に出してしまう心の中。このような中常に色々話しをし、心をいやし、学習しつつも研さんしなければ。
毎年このようなアンケートを提出しますが、何も変わったこともなし。何の進捗もありません。何の為のアンケートなのでしょう？
現在はTV局も政治家もよその国に支配されていることの方が問題だと思います。日本の土地は他の国に買われ自然は太陽光で汚染され、外国人による犯罪は増え、日本が駄目になって行っているのが悲しいです。
いじめや差別はなくならないと思います。のけものにして喜ぶ、楽しむ、そんな気がします。やさしさ、思いやり、相手の気持ちを考えたらいいのにといつも思っています。
今は比較的人権は守られていると思っているが、私の知らない所でそのような事が数多くあるのであれば、もっと勉強して皆が平等にできるよう願う。今でもこの質問にある様な事が多く発生しているのでしょうか？いろいろな所で取り組まれ改善して来ているのではと私は思っています。
同和、部落といった言葉をなくしてほしい。差別は昔のことであり、知らない人が知ってしまうと思う。
一人一人の尊厳の守られる事を願います。
現在はTV局も政治家もよその国に支配されていることの方が問題だと思います。日本の土地は他の国に買われ自然は太陽光で汚染され、外国人による犯罪は増え、日本が駄目になって行っているのが悲しいです。
一人一人の尊厳の守られる事を願います。
いじめられた人は、自分は被害者だから何をしても許されると思うようになる。イスラエルや隣国の人達の国民性を見るにつけ、負の連鎖は深く断ちがたい事を思い知らされる。日本人も自由と権利ばかり主張して、義務や責任を負わない風潮が強くなりつつある。体罰を一律に悪としたのは正しかったのか？少しはがまんや耐える事を覚えさせないでよいのか？ほめて伸ばす教育で育った孫たちは、どこか将来空しい大人になる気がする。きびしい教育・しつけ=人権侵害なのか？私達の世代はまちがった方向で今の親や大人を育ててしまった気がして仕方ない。人権教育の基本中の基本は、「自由・平等・権利⇔義務・責任・社会貢献」好きに生きるためにはたくさんのがまんもしなければならない。人権と好き勝手はイコールではない。私はきびしくしつけてくれた親や祖父母に感謝しています。
インターネットとかスマホなど正しい方向に使ってほしいものです。コンピューターなどは人の家の預貯金などが調べ出せるものなのでしょうか。
地域、学校において人権に対する教育を行うべき。全ては思いやりの気持ちだと思う。今の世代で、完全に無くす事はできないと思うが、この先の世代の方にそんな時代を作ってほしい！
家の中に大黒柱である主、「主人」が「夫」が居ない事で、色んな差別言葉を言われた。「男が居ないからそんなに田、畑（財産）はいらんやろう。早く売ればいいのに」「女世帯でそんなに金はいらんやろー。売って楽になればいいのに」「女のくせに米を作る。作れる。しゃくにさわる」等のかけ口→伝える人がいて→本人に伝わる。九重町は田舎すぎる。「人」の事「人の家の中」に介入しすぎる。結局の所、人権尊重の教育がなされていないから、子供も大人のマネをする。人の気持ちや苦しみを理解しようとしない。心はいずれは己、自分が滅びる、心のない人間となるのだが…人は1人では決して生きて行けない事を早い時期から人間は学ばなければいけない。
1. 人権、差別等声を大にしている者ら（団体等）が、それを収入の手段としており逆に差別等がなくなるとこまる連中がかなり多いように見受けられる。 2. 多様性社会とよく耳にするが、「自分の価値観は、相手に受け入れさせて（自分が正しく）、相手の価値観は受け入れない（間違っている）」そういう風潮も目にするので、多様性と連呼する人間もかなり疑問を感じる。 3. 日本人に対する逆差別（留学生（特定の国）に対する学費等の補助、生活保護受給申請のハードルの差）等、あらゆる具体例を含めて、人権、差別問題の教育・研修の時に周知するべきではないか。結論として、あらゆる差別をなくす事は容易ではなく不可能に近いと思う。
アンケート難しかった。差別偏見のない九重町でお願い致します。

内 容
いろいろな場に出て、話を聞き、考え、自分の考え（意見）を持つこと（高齢者になれば、このことも出来にくくなる…）。学校教育の中で「差別のおかしさ」を考える場（場面に即して）を持つこととか。アンケートに対して、自分の身近にない差別に対する設問は、応えにくい。例えば、エイズ、コロナ、インターネット、ハンセン病、LGBT など
私わからない事が多いのでアンケート調査出さないで下さい。お願いします。

